



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2018

平成 30 年度

シラバス

人間発達学部 子ども教育学科



子ども教育学科シラバス目次

基礎教養ゼミ(教養基礎)	1
日本語表現法(教養基礎)	3
日本国憲法(教養基礎)	5
法学(教養基礎)	7
経済学(教養基礎)	9
社会学(教養基礎)	11
生涯健康論(教養基礎)	13
生涯学習概論(教養基礎)	16
生命と環境の科学(教養基礎)	18
国際関係論(教養基礎)	21
体育理論(教養基礎)	23
体育実技(教養基礎)	25
キャリア形成論(教養基礎)	27
哲学(人間理解)	30
倫理学(人間理解)	32
心理学(人間理解)	34
文学と人間(人間理解)	36
芸術論(人間理解)	38
ボランティア・市民活動論(人間理解)	40
人権論(人間理解)	41
人間関係論(人間理解)	44
ジェンダー論(人間理解)	46
共生の倫理(人間理解)	48
チーム医療アプローチ論(人間理解)	50
国際医療事情(人間理解)	52
Introduction to Healthcare Sciences (人間理解)	54
囲碁の世界(人間理解)	57
英語 IA(リテラシー)	59
英語 IB(リテラシー)	61
英語 IC(リテラシー)	63
英語 II A (リテラシー)	65
英語 II B(リテラシー)	67
英語 II C(リテラシー)	69
英語 III A(リテラシー)	71
英語 III B (リテラシー)	73
英語 III C(リテラシー)	74
英語 IV A(リテラシー)	77
英語 IV B(リテラシー)	79
英語 IV C (リテラシー)	81
Integrated English I (リテラシー)	83
Integrated English II (リテラシー)	85
ドイツ語(リテラシー)	87

フランス語(リテラシー)	89
ポルトガル語(リテラシー)	91
中国語(リテラシー)	93
ハングル語(リテラシー)	95
コンピュータ入門 I (リテラシー)	97
コンピュータ入門 II (リテラシー)	99
コンピュータ実習 I (リテラシー)	101
コンピュータ実習 II (リテラシー)	103
レクリエーション論(専門教養)	105
子どもと医療(専門教養)	107
宗教と倫理(専門教養)	109
人間発達論(専門教養科目)	111
人間行動学(専門教養)	113
音楽基礎 I (幼・保)(専門教養科目)	115
音楽基礎 I (小学校)(専門教養)	117
音楽基礎 II (幼・保)(専門教養科目)	120
音楽基礎 II (小学校)(専門教養)	122
現代教育論 I (幼・保)(専門教養)	124
現代教育論 I (小・中)(専門教養)	126
現代教育論 II (幼・保)(専門教養)	128
現代教育論 II (小・中)(専門教養)	130
世界と子ども(専門教養)	132
特別支援教育入門(専門教養)	134
保育原理(保育・教育の原理)	136
教育基礎論 A(保育・教育の原理)	138
教育制度論 A(保育・教育の原理)	140
地域教育社会論(保育・教育の原理)	142
児童家庭福祉 I (保育・教育の原理)	144
児童家庭福祉 II (保育・教育の原理)	146
障害者福祉論(保育・教育の原理)	148
社会福祉(保育・教育の原理)	150
社会的養護(保育・教育の原理)	152
子どもの保健 I (保育・教育の原理)	154
子どもの保健 II (保育・教育の原理)	156
子どもの保健 III (保育・教育の原理)	158
教育心理学 A(保育・教育の原理)	160
乳幼児心理学(保育・教育の原理)	162
発達心理学(保育・教育の原理)	164
臨床心理学(保育・教育の原理)	166
保育者論(保育・教育の原理)	168
遊びの指導(保育・教育の原理)	170
保育者論(保育・教育の原理)	172
教師論 A(保育・教育の原理)	174
青年心理学(保育・教育の原理)	176
こころの健康(保育・教育の原理)	177

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

保育内容総論(保育・教育の内容).....	180	音楽と表現Ⅱ(保育・教育の方法技術科目).....	269
保育内容健康(保育・教育の内容).....	182	造形と表現Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	271
保育内容人間関係(保育・教育の内容).....	184	身体と表現Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	273
保育内容環境(保育・教育の内容).....	186	ことばと表現Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	275
保育内容言葉(保育・教育の内容).....	188	幼児音楽演習Ⅰ(保育・教育の方法技術科目).....	277
保育内容表現(保育・教育の内容科目).....	190	初等音楽演習Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	279
子どもの食と栄養Ⅰ(保育・教育の内容).....	192	幼児音楽演習Ⅱ(保育・教育の方法技術科目).....	281
子どもの食と栄養Ⅱ(保育・教育の内容).....	194	初等音楽演習Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	283
乳児保育Ⅰ(保育・教育の内容).....	196	造形と表現Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	285
乳児保育Ⅱ(保育・教育の内容).....	198	身体と表現Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	287
障害児保育Ⅰ(保育・教育の内容).....	200	ことばと表現Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	289
障害児保育Ⅱ(保育・教育の内容).....	202	在宅保育論(保育・教育の方法技術).....	291
社会的養護内容(保育・教育の内容).....	204	家庭支援論(保育・教育の方法技術).....	293
国語(保育・教育の内容).....	206	親子遊び論(保育・教育の方法技術).....	295
算数(保育・教育の内容).....	208	教育課程論A(保育・教育の方法技術).....	297
社会(保育・教育の内容).....	210	カリキュラム論(保育・教育の方法技術).....	299
理科(保育・教育の内容).....	212	幼児教育指導論(保育・教育の方法技術).....	300
生活(保育・教育の内容).....	214	初等特別活動論(保育・教育の方法技術).....	303
家庭(保育・教育の内容).....	216	初等教育方法論(保育・教育の方法技術).....	305
音楽(保育・教育の内容).....	218	中等特別活動論(保育・教育の方法技術).....	307
図画工作(保育・教育の内容).....	220	中等教育方法論(保育・教育の方法技術).....	309
体育(保育・教育の内容).....	222	国語科指導法(保育・教育の方法技術).....	311
外国語活動(保育・教育の内容).....	225	算数科指導法(保育・教育の方法技術).....	313
英語学概論(保育・教育の内容).....	227	社会科指導法(保育・教育の内容).....	315
学校英文法論(保育・教育の内容).....	229	理科指導法(保育・教育の方法技術).....	317
現代英語学の理論と応用Ⅰ(保育・教育の内容).....	231	生活科指導法(保育・教育の内容).....	319
現代英語学の理論と応用Ⅱ(保育・教育の内容).....	233	家庭科指導法(保育・教育の方法技術).....	321
英語文学入門(保育・教育の内容).....	235	音楽科指導法(保育・教育の方法技術).....	323
英語文学批評(保育・教育の内容).....	237	図画工作科指導法(保育・教育の方法技術).....	325
英語文学論(保育・教育の内容).....	239	体育科指導法(保育・教育の方法技術).....	328
英語児童文学論(保育・教育の内容).....	241	英語科指導法Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	330
英語教育学Ⅰ(保育・教育の内容).....	243	英語科指導法Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	332
英語教育学Ⅱ(保育・教育の内容).....	245	英語科教材研究Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	335
Communicative Classroom EnglishⅠ(保育・教育の内容).....	246	英語科教材研究Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	337
Communicative Classroom EnglishⅡ(保育・教育の内容).....	249	小学校理科実験(保育・教育の方法技術).....	338
Writing for English Teaching(保育・教育の内容).....	251	初等道德教育論(保育・教育の方法技術).....	341
Speech Workshop(保育・教育の内容).....	253	中等道德教育論(保育・教育の方法技術).....	343
異文化コミュニケーション論(保育・教育の内容).....	255	相談援助(保育の教育方法技術).....	345
ヨーロッパ思想と多文化理解(保育・教育の内容).....	257	保育相談Ⅰ(保育・教育の方法技術).....	347
表現演習(保育・教育の内容科目).....	259	保育相談Ⅱ(保育・教育の方法技術).....	349
絵本論(保育・教育の内容).....	261	幼児教育運営論(保育・教育の方法技術).....	351
家庭教育と幼児教育(保育・教育の内容).....	263	保育内容指導法(保育・教育の方法技術).....	353
パーソナリティの心理学(保育・教育の内容).....	265	子ども理解の理論と方法(保育・教育の方法技術).....	355
音楽と表現Ⅰ(保育・教育の方法技術科目).....	267	幼小教育相談(保育・教育の方法技術).....	357
		中学校教育相談(保育・教育の方法技術).....	360

生徒指導論A(保育・教育の方法技術)	363
生徒・進路指導(保育・教育の方法技術)	365
学校危機管理論(保育・教育の方法技術)	367
心理検査法(保育・教育の方法技術)	369
家族療法(保育・教育の方法技術)	372
保育方法論(保育・教育の方法技術)	374
心身の発達と学習過程(保育・教育の方法技術)	376
チーム医療アプローチ演習(保育・教育の方法技術) ..	379
保育実習Ⅰ(実習)	381
保育実習指導Ⅰ(実習)	382
保育実習Ⅱ(保育所)(実習)	384
保育実習Ⅲ(施設)(実習)	386
保育実習指導Ⅱ(実習)	387
保育実習指導Ⅲ(実習)	389
幼稚園教育基礎実習(実習)	391
小学校教育基礎実習(実習)	392
中学校教育基礎実習(実習)	393
幼稚園教育実習(事前事後指導含む)(実習)	394
小学校教育実習(事前事後指導含む)(実習)	395
中学校教育実習(事前事後指導含む)(実習)	397
特別支援学校教育基礎実習(実習)	398
特別支援学校教育実習(事前事後指導を含む)(実習)	400
保育・教職実践演習(幼)(実践演習)	402
教職実践演習(小中)(実践演習)	404
卒業研究(卒業研究)	407
特別支援教育概論(特別支援)	410
特別支援教育の課題と実践(特別支援)	412
知的障害児の心理・生理・病理	414
肢体不自由児の心理・生理・病理(特別支援)	417
病弱児の心理・生理・病理(特別支援)	419
障害児の発達診断(特別支援)	421
知的障害児の指導(特別支援)	423
肢体不自由児の指導(特別支援)	425
病弱児の指導(特別支援)	427
知的障害児教育演習(特別支援)	429
肢体不自由児教育演習(特別支援)	432
病弱児教育演習	435
視覚障害・聴覚障害教育総論(特別支援)	438
知的障害者教育総論(特別支援)	440
重複障害児教育総論(特別支援)	443
発達障害児教育総論(特別支援)	445
学校経営と学校図書館(司書教諭)	447
学校図書館メディアの構成(司書教諭)	448
学習指導と学校図書館(司書教諭)	451
読書と豊かな人間性(司書教諭)	453

科目名	基礎教養ゼミ(教養基礎)				LAB001	講義
担当教員	町田 修三 根岸 恵子 小泉 英明 武藤 洋一					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位			
講義目標	充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。					
到達目標	1.大学での学習生活を確立する。 2.基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3.社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。 4.総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5.キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。					
課題に対するフィードバック	提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。					
使用教材	資料、プリント					
1	講義内容	大学で何を学ぶか(意義と目的)				
	該当する到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。			1 時間
2	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)				
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートテーキング、レポートの書き方をマスターする。			1 時間
3	講義内容	基礎力テスト(計算/言葉)				
	該当する到達目標	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。			1 時間
	1,2,3,4	復習	今までの学習を振り返り、復習する。			1 時間
4	講義内容	解くためのワークⅠ(計算)				
	該当する到達目標	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。			1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。			1 時間
5	講義内容	考えるためのワークⅠ(言葉の多様性①GW)				
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。			1 時間
6	講義内容	コミュニケーションスキルⅠ(アクティブラーニング GW)				
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	レポートを書く。			1 時間
7	講義内容	考えるためのワークⅡ(言葉の多様性②)				
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	講義内容	解くためのワークⅡ(数的処理①)		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン		
	該当する到達目標	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
	1,2,5	復習	レポート書き方を確認しておく。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキルⅠ(新聞を読み説く)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ(数的処理②)		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	考えるためのワークⅢ(自己紹介・他者紹介)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
13	講義内容	コミュニケーションスキルⅡ(プレゼンテーション GW)		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,5	復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当する到達目標	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	2 時間
	1,2,3,4	復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキルⅡ(社会を正しく理解する)		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
備考	オフィスアワー: 学習支援センター(2号館2階)は月~金(数的処理)、言語関係・レポート等は、木曜3時限より質問を受け付ける。 メールアドレス「machida@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1号館6階603 予習復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	日本語表現法(教養基礎)			LAB002	講義
担当教員	武藤 洋一				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。				
到達目標	1 自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2 日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3 日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。 4 文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5 日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準については、講義時に通達する。				
課題に対するフィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。				
使用教材	『文章表現テクニック』(教育弘報研究所)				
1	講義内容	「考え」をまとめるための 5 段階			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、自分なりの5段階法を考察しておく。		1 時間
	1,4	復習	実際に5段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。		1 時間
2	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅰ 「公的」と「私的」			
	該当する到達目標	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト1を解いておく。		1 時間
	1,5	復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。		1 時間
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト2を解いておく。		1 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。		1 時間
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト3を解いておく。		1 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」～「故事成語」についてノートにまとめ、自分でも調べてみる。		1 時間
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト4を解いておく。		1 時間
	2,3,5	復習	「四字熟語」の見識を深めるために、日常的に使われている熟語を調べてみる。		1 時間
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法			
	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。		1 時間
	2,3,5	復習	比喩法を正確に識別できるか、試してみる。		1 時間
7	講義内容	表現のミスⅠ 主述関係			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1 時間
	2,3,5	復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1 時間
8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語		
	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語についての基本的知識を「文の成分」から学んでおく。	1 時間
	2,3,5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を用いてノートにまとめてみる。	1 時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ 重複表現		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	重複表現を故意に使用した駄洒落文を作ってみる。	1 時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ 副詞の誤用		
	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1 時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ 日本語表現の誤用		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1 時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ 起承転結		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1 時間
	1,4,5	復習	「起承転結」を使用して400字程度の小論文を書いてみる。	1 時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ 5WIH		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5WIH の基本知識を習得しておく	1 時間
	1,4,5	復習	5W1H に従いながら文章構成を考え、100 字以内の文章を作ってみる。	1 時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ キーワード・キーセンテンス		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1 時間
	1,4,5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項をノートにまとめてみる。	1 時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ 字数制限		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従いまとめておく。	1 時間
	1,4,5	復習	800 字の文章を 200 字に、200 字の文章を 400 字に変える練習をしてみる。	1 時間
備考	オフィスアワーは後期・金3、4時限目。場所は2号館2階の学習支援センター。受講には履修登録が必要。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておく。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。※1単位を修得には、演習時間 30 時間(実質 90 分×15 回)＋自習時間(15 時間)が必要。			

科目名	日本国憲法(教養基礎)			LAB003	講義
担当教員	金井 洋行				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目指す。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2.憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3.市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4.政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5.主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対する フィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキスト:有斐閣新書『注釈憲法』) * テーマによってはDVDの視聴あり。				
1	講義内容	憲法とは何か?ー憲法学習の意義と憲法の本質ー			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 233-243 頁		2 時間
		復習	予備知識アンケート		0.5 時間
2	講義内容	国家・国民・政府ー憲法を構成する基本要素の内容ー			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-6 頁、138-140 頁		1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
3	講義内容	日本国憲法の制定過程			
	該当する到達目標 1,4	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 2-4 頁、資料;「日本国憲法の有効性」		1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色			
	該当する到達目標 1,2	予習	資料;「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明		1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制			
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-26 頁		1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
6	講義内容	平和主義と9条解釈の変遷			
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 27-33 頁		1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 40-44 頁、232-234 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容		基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)	
	該当する到達目標 2,3,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 35-36 頁、40-45 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容		個人主義・自由主義・平等主義	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 42-67 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容		日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 68-87 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容		国会の地位と選挙の構造と機能	
	該当する到達目標 4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 109-121 頁、133-136 頁、145-149 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容		行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴	
	該当する到達目標 4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 154-168 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容		司法権の意義と裁判のルール	
	該当する到達目標 4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 179-184 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容		権力分立と地方自治・分権	
	該当する到達目標 1,4	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 111-120 頁、214-226 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容		憲法改正と憲法保障	
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 227-243 頁	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入りの割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名	法学(教養基礎)				LAB004	講義
担当教員	金井 洋行					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。					
到達目標	1.法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2.法制度の社会学的意義を理解することができる。 3.契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4.家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5.法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。					
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)					
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってはDVDの視聴あり。					
1	講義内容	法の意義と機能				
	該当する到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと			2 時間
	1,5	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	成人と法—一人の年齢と能力の法的意味				
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	就職と法—採用の法的意味と選別の法的問題				
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	労働と法—労働契約の内容と労働条件の保護				
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
5	講義内容	結婚と法—婚姻の要件と夫婦の法律関係				
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
6	講義内容	親子と法その 1—出生をめぐる法律問題と親子関係の形成				
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
7	講義内容	親子と法その 2—親権関係と扶養関係				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法－義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法－団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法－租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法－出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法－取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法－犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法－紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法－介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入りの的に割り込ませることはある。日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名	経済学(教養基礎)			LAB005	講義
担当教員	町田 修三				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。				
到達目標	1. 日本の経済の現状を説明できる 2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3. 景気やGDPについて理解を深め、概説できる 4. 国の予算や税金制度について説明できる 5. お金の流れや物価変動について説明できる 6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど) 20%				
課題に対するフィードバック	コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材	必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する				
1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する		1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
6	講義内容		価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
7	講義内容		国民所得 I (国の経済力はどう測るんだろう? GDPって何?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
8	講義内容		国民所得 II (あなたが 1 万円使うとGDPはいくら増える?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
9	講義内容		財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
10	講義内容		景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
11	講義内容		金融(日本銀行は何をしたらいい?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
12	講義内容		経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
13	講義内容		為替レートメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
14	講義内容		世界と日本(日本の貿易は黒字?赤字?)(一部AL実施)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习	1.5 時間
15	講義内容		まとめと確認のためのテスト	
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1~8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日4限目、金曜日2限目 研究室: 1号館6階603 メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること			

科目名		社会学(教養基礎)			LAB006	講義
担当教員		安達 正嗣				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		社会学的なものの見方とは、どういうものか、社会学的にものを考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。				
到達目標		1.大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2.社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3.日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 4.社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5.現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
			問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
			自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		平常点(毎回、提出してもらうアクションペーパーについては、第 1 回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。				
課題に対する フィードバック		各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。				
使用教材		篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。				
1	講義内容	オリエンテーション、社会学とは何かについて解説する。				
	該当する到達目標 1,4	予習	「はじめに」(1～9 頁)を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	「はじめに」の内容、提示された概念や考え方などを理解しておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	「第 1 章 社会学でわかる『私』という存在」第 1～2 節(22～39 頁)を解説する。				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	第 1 章第 1～2 節を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	第 1 章第 1～2 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。			1.5 時間
3	講義内容	「第 1 章 社会学でわかる『私』という存在」第 3～5 節(40～66 頁)を解説する。				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	第 1 章第 3～5 節を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	第 1 章第 3～5 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。			1.5 時間
4	講義内容	「第 2 章 社会学でわかる『人間関係』」第 1～2 節(68～86 頁)を解説する。				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	第 2 章第 1～2 節を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	第 2 章第 1～2 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。			1.5 時間
5	講義内容	「第 2 章 社会学でわかる『人間関係』」第 3～5 節(87～112 頁)を解説する。				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	第 2 章第 3～5 節を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	第 2 章第 3～5 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。			1.5 時間
6	講義内容	「第 3 章 社会学でわかる『家族』」第 1～2 節(114～131 頁)を解説する。				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第 3 章第 1～2 節を読んでおくこと。			1.5 時間
		復習	第 3 章第 1～2 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。			1.5 時間
7	講義内容	「第 3 章 社会学でわかる『家族』」第 3～4 節(132～153 頁)を解説する。				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	第 3 章第 3～4 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 3 章第 3～4 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。	1.5 時間
8	講義内容	「第 3 章 社会学でわかる『家族』第 5～6 節(154～166 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 3 章第 5～6 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 3 章第 5～6 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。	1.5 時間
9	講義内容	「第 4 章 社会学でわかる『会社と仕事』第 1～2 節(168～197 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 4 章第 1～2 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 4 章第 1～2 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。	1.5 時間
10	講義内容	「第 4 章 社会学でわかる『会社と仕事』第 3～4 節(198～220 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 4 章第 3～4 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 4 章第 3～4 節の内容、提示された概念や考え方などを理解すること。	1.5 時間
11	講義内容	「第 5 章 社会学でわかる『文化・流行』第 1 節(222～229 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 5 章第 1 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 5 章第 1 節の内容、提示された概念を理解すること。	1.5 時間
12	講義内容	「第 5 章 社会学でわかる『文化・流行』第 2 節(229～241 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 5 章第 2 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 5 章第 2 節の内容、提示された概念を理解すること。	1.5 時間
13	講義内容	「第 5 章 社会学でわかる『文化・流行』第 3 節(242～252 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 5 章第 3 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 5 章第 3 節の内容、提示された概念を理解すること。	1.5 時間
14	講義内容	「第 5 章 社会学でわかる『文化・流行』第 4 節(253～266 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 5 章第 4 節を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 5 章第 4 節の内容、提示された概念を理解すること。	1.5 時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3 時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。なお、オフィスアワーは火曜日 5 限と水曜日 3 限であり、質問などを受けている。			

科目名		生涯健康論(教養基礎)			LAB007	講義
担当教員		鈴木 忠				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸のための生涯にわたる健康増進法について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎能力を身に着けることを目的としている。				
到達目標		1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60 点、期末試験:40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		レポートに対しコメントする。				
使用教材		テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、これから重要なのは、健康寿命であることを理解する。				
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。			1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。			1.0 時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き 健康を維持するための主たる生理機構は、<物質代謝>である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。				
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。			1.5 時間
	2	復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。			1.0 時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(<ホメオスタシス>)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。				
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。			1.5 時間
	2	復習	生体の恒常性(<ホメオスタシス>)維持機構について理解する。			1.0 時間
4	講義内容	食物と健康 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー源<栄養素>だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。	1.0 時間
5	講義内容	運動と健康 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	ストレスと生活環境 現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケアが健康維持にいかに重要であるかを理解する。		
	該当する到達目標 2,3	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	喫煙による健康障害 たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの＜喫煙と健康障害＞のメカニズムについて理解する。＜受動喫煙の影響＞についても考える。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.0 時間
8	講義内容	21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21) 2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を＜健康維持の 3 本柱＞とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する＜予防医学＞のスタートである。		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	特定健康診断の重要性及びメタボリックシンドローム 特定健康診断の結果の値を、発病予防のための健康管理の指標とできることを理解する。さらに、＜定期健康診断＞によって、疾患の早期発見あるいは疾患前状態を発見することで、二次予防にも繋がることを理解する。また、＜内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)＞の怖さを理解し、その予防法について考える。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	メタボリックシンドロームの病態・対策を理解する。	1.0 時間
10	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 ＜糖尿病＞には、I 型と II 型があり、第 12 回で学習する冠動脈や脳動脈における血液循環障害発生の危険因子となるのみならず、微小血管循環障害による腎障害、視力障害及び神経障害という＜三大合併症＞を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病を理解する。	1.0 時間
11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と発症を予防する生活習慣 死亡原因の 2 位及び 3 位の＜心疾患(狭心症・心筋梗塞症)＞及び＜脳卒中＞は、＜血液循環障害＞によ		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		る。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。 ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間
13	講義内容	生活習慣病(がん)と発症を予防するための生活習慣 日本人の死亡原因の 1 位はがん、2 位は心疾患、3 位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	微生物感染症と感染・発症予防 日本人の死亡原因の第 4 位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割:まとめ これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。		
	該当する到達目標 4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。:	1.0 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4 号館 2 階学部長室 メールアドレス suzuki-t@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名		生涯学習概論(教養基礎)			LAB008	講義
担当教員		小西 尚之				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動やフィールドワークなどを通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標		1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		小テストに約 20%、レポート・発表に約 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		授業担当者の作成資料による。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	「学習」とは何か				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	今なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	公民館とは何か				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	図書館とは何か				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	博物館とは何か		
	該当する到達目標 2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	美術館とは何か		
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か		
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	グループ発表①		
	該当する到達目標 2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グループ発表②		
	該当する到達目標 2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	グループ発表③		
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表④		
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表⑤		
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 409 研究室 履修上の注意： 学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク（生涯学習施設への訪問）、その成果の発表など多様な学習活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)			LAB009	講義
担当教員	奥 浩之				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)				
到達目標	1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%				
課題に対する フィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
1	講義内容	生命と環境－地球における化学進化と生命における元素の役割			
	該当する到達目標 1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。		1 時間
		復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割		1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環			
	該当する到達目標 1,5	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。		1 時間
		復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響		1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化			
	該当する到達目標 1,5	予習	温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。		1 時間
		復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第5次報告書(2014 年)におけるRCPシナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体の CO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約		1.5 時間

			(日本における温室効果ガス削減目標)	
4	講義内容	生命と生体分子…DNA 二重らせんとX線構造解析		
	該当する到達目標 2,5	予習	ワトソンとクリックによるDNA二重らせんモデル (1) 当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2) 1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3) DNA構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
		復習	(1) DNAの分子構造はX線回折法によって求められる (2) ブラッグの回折条件式 (3) DNA繊維写真のX型パターン	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造解析における2つの方法		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1) タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2) アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
		復習	(1) アミノ酸 20 種類の分子構造 (2) X線回折測定によるタンパク質の3次元構造解析 (3) NMR測定によるタンパク質の3次元構造解析	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造と機能		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1) 膜タンパク質とは？ (2) アイススクリームの成分について。 (3) 低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。	1 時間
		復習	(1) swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう (2) 低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子…さまざまなタンパク質		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1) 70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2) 電子伝達系におけるATP合成 (3) ビタミンB12の役割 (4) マメ科植物における根粒菌とは？	1 時間
		復習	(1) 70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2) F1-ATPase プロトン濃度勾配によるATP合成 (3) カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln) (PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子…酵素・タンパク質の反応機構		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1) セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2) 加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3) 光合成における二酸化炭素固定反応について	1 時間
		復習	(1) 酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について (2) 光合成における RuBisCO(二酸化炭素と水とリブローズ 1,5 ビスリン酸から二分子の3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。	1.5 時間
9	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2,5	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4 とは？	1 時間
		復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境： 食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
		復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境： バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？	1 時間
		復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境： 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは？ (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか？	1 時間
		復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は？ (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は？	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境・・・インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
		復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境・・・グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？ (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
		復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境・・・食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
		復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	国際関係論(教養基礎)			LAB010	講義
担当教員	片桐 庸夫				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	アメリカのトランプ大統領の誕生、北朝鮮の核開発、イスラエルによるエルサレム首都化などにより増々混乱の度を増す今日の世界の基本構造について理解すること。				
到達目標	1. 現代世界の理解 2. 今日の世界の基本構造の理解 3. 国家間の対立要因の理解 4. 国家間の相互理解の理解 5. 自由主義イデオロギーと社会主義的イデオロギーの理解 6. 現代の戦争の理解 7. 国家の安全保障の理解 8. 核の下での平和の理解 9. 国際秩序概念の理解 10. 国際テロ、難民、民族や宗教対立発生要因の理解 11. 第二次世界大戦後の米軍による日本占領の理解 12. 日本の原型の形成の理解 13. 戦後日本外交の理解 14. 日本に突き付けられた国際貢献問題の理解				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	講義中に行う 3 回程度の試験(60%)と授業に臨む態度(20%)、授業参加度(20%)等により総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験を行った場合には、翌週に採点結果を返却する。その際には、一人一人に論文やレポート用の分の構成、文体、文の修正、誤字脱字等について指導を行う。				
使用教材	教科書を用いず、プリントを配布する。				
1	講義内容	授業展開の方法、出席の取り方、試験の方法、成績評価の方法等についてガイダンスを行う。			
	該当する到達目標	予習	必要なし。	0 時間	
		復習	必要なし。	0 時間	
2	講義内容	今日の世界の混乱した状況やトランプ氏当選の背景等について概観する。			
	該当する到達目標 1,3,7,8,10	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。	1 時間	
		復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理と新聞記事の内容を付加すること。	1 時間	
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。			
	該当する到達目標 1,2,3,9	予習	プリントのウィーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間	
		復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120、p.282 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間	
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的事例であるウィーン会議について理解する。			
	該当する到達目標 2,4,7	予習	プリントのウィーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間	
		復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

5	講義内容	国際コミュニケーションにとって大切な共通の価値観の意味について理解する。		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	プリントの共通の価値観の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
6	講義内容	ウィーン会議とは反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当する到達目標 2,3,4,5,8	予習	プリントの米ソ間の体制間対立の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際秩序』の p.230-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標 3,5,7	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化について理解する。		
	該当する到達目標 6,7,8	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	戦争の性格の変化についてのDVDを観て、同変化をノートにまとめること	1 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく形で冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標 2,6,7,8	予習	プリントの冷戦の定義と冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	永井陽之助『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
10	講義内容	究極の兵器がもたらした核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標 1,6,7,8	予習	プリントの核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際政治』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である長い平和について理解する。		
	該当する到達目標 1,7,8,9	予習	プリントのガディスの逆説についての項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際政治』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
12	講義内容	冷戦終焉と終焉後の世界の不安定性の理由について理解する。		
	該当する到達目標 2,7,9	予習	プリントの国際秩序維持勢力と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際政治』p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
13	講義内容	冷戦後の初の戦争-湾岸戦争の意義、テロ・民族対立・宗教対立・難民発生の理由を理解する。		
	該当する到達目標 6,7,10	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の p.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標 7,11,12	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶応大学出版会 p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
15	講義内容	『「戦後」の克服』の意味、現代の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標 1,10,13,14	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題等の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	講義中に配布する新聞の切抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
備考	オフィスアワーは、前期の木曜日、昼休み時間に講師室に設ける。質問等があったら、随時来てほしい。「復習」に挙げられている本が参考文献も兼ねています。利用してください。予習復習の結果、不明の点がありましたら質問して下さい。			

科目名		体育理論(教養基礎)			LAB011	講義
担当教員		山西 加織				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康づくり・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力や生活を見つめるとともに、健康づくり・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。				
到達目標		1.自己の身体活動や生活行動の実態から課題を見つけることができる。 2.自己の健康や体力を測り、評価することができる。 3.健康づくり・体力づくりに必要な方法を知り、実際の生活に活用することができる。 4.運動・スポーツによる心身への影響を理解し、説明することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度・態度(30%)、グループワークや発表への参加度・態度(10%)、期末試験(60%)を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		提出された課題は適宜返却するので、復習しておくこと。期末試験後に、問題出題の意図を説明する。				
使用教材		特別なテキストはなく、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション 健康とは				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、健康づくり・体力づくりに関して、興味関心を高める。			0.5 時間
	1	復習	自分の生活を振り返り、規則正しい生活習慣を心がける。			0.5 時間
2	講義内容	身体活動量を計算しよう				
	該当する到達目標	予習	入学後の身体活動の現状を把握する。			0.5 時間
	1,2	復習	授業で算出した身体活動量をもとに、身体活動を維持・改善する。			0.5 時間
3	講義内容	現代の生活スタイルと身体活動				
	該当する到達目標	予習	入学後の生活スタイルや身体活動を振り返り、課題を見つける。			0.5 時間
	1,2	復習	生活スタイルや身体活動における課題をもとに、健康な生活を送れるよう意識して行動する。			0.5 時間
4	講義内容	「肥満」と「痩せ」				
	該当する到達目標	予習	肥満や痩せが引き起こす弊害について調べる。			0.5 時間
	1,2	復習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間
5	講義内容	正しい「ダイエット」法を知る				
	該当する到達目標	予習	肥満や痩せを予防する方法について調べる。			0.5 時間
	1,2,3	復習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間
6	講義内容	体力を知る (1)体力テスト(前半)				
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間
	2	復習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間
7	講義内容	体力を知る (2)体力テスト(後半)				
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2	復習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
8	講義内容	体力を評価しよう		
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
9	講義内容	健康づくり運動 (1)有酸素運動		
	該当する到達目標	予習	健康づくり運動に関して、具体的な運動方法を調べる。	0.5 時間
	3,4	復習	授業で学習した健康づくり運動を実践する。	0.5 時間
10	講義内容	健康づくり運動 (2)筋力トレーニング		
	該当する到達目標	予習	健康づくり運動に関して、具体的な運動方法を調べる。	0.5 時間
	3,4	復習	授業で学習した健康づくり運動を実践する。	0.5 時間
11	講義内容	健康づくり運動 (3)ストレッチングほか		
	該当する到達目標	予習	健康づくり運動に関して、具体的な運動方法を調べる。	0.5 時間
	3,4	復習	授業で学習した健康づくり運動を実践する。	0.5 時間
12	講義内容	運動カルテを作成しよう		
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
	2,3,4	復習	授業で作成した運動カルテにもとづき、運動を実践する。	0.5 時間
13	講義内容	運動と栄養		
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
	3,4	復習	授業で作成した運動カルテにもとづき、運動を実践する。	0.5 時間
14	講義内容	運動とメンタルヘルス		
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
	3,4	復習	授業で作成した運動カルテにもとづき、運動を実践する。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学んだ健康づくり・体力づくりの方法を実際の生活に活用する。	0.5 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限, 木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限, 火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 505 研究室			

科目名		体育実技(教養基礎)			LAB012	演習
担当教員		山西 加織				
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標		生涯にわたり健康づくり・体力づくりを実践するために必要な基礎知識や方法を学び、実際の生活に活用する能力を養う。様々な運動やスポーツの実践をとおして、基礎体力の保持・向上とともに、運動・スポーツを楽しむ習慣を身につける。				
到達目標		1.各基本運動の効果や方法を理解し、実践することができる。 2.さまざまなスポーツの方法やルールを理解し、役割分担をしてゲームを運営することができる。 3.さまざまなスポーツを得意・不得意に関係なく、楽しく実践することができる。 4.仲間と積極的にコミュニケーションをとり、協力しながら行動することができる。 5.生涯にわたり運動・スポーツに親しむために必要な態度を理解し、説明することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度・態度(70%)、レポート課題(30%)を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		毎回、自分の「からだ」と「こころ」の変化について記録する課題を設ける。提出された課題は適宜返却し、授業時間内にフィードバックする。				
使用教材		特別なテキストはなく、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション・レクリエーション				
	該当する到達目標 4,5	予習	自己の健康に興味関心をもち、体調を整える。			0.5 時間
		復習	授業を通じて触れ合った仲間と友好関係を深める。			0.5 時間
2	講義内容	基本運動: ストレッチ・ヨガ・ジョギング・ウォーキング				
	該当する到達目標 1,5	予習	「運動」「栄養」「休養」のバランスを心がけ、良好な生活習慣を保つ。			0.5 時間
		復習	実践したい基本運動を行う。			0.5 時間
3	講義内容	ドッジボール				
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を行う。			0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。			0.5 時間
4	講義内容	バスケットボール				
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。			0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。			0.5 時間
5	講義内容	ティーボール				
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。			0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。			0.5 時間
6	講義内容	フットサル				
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。			0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。			0.5 時間
7	講義内容	ソフトバレーボール				
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。			0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	バドミントン (1)チーム練習・ゲーム		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
9	講義内容	バドミントン (2)ダブルス		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
10	講義内容	キックベースボール		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
11	講義内容	キンボール		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
12	講義内容	インディアカ (1)チーム練習・ゲーム		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
13	講義内容	インディアカ (2)チーム練習・ゲーム		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
14	講義内容	インディアカ(3)トーナメント戦		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	実践したいスポーツを仲間と行う。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	実践したい基本運動を積極的に行う。	0.5 時間
		復習	これまでに実践した運動・スポーツを積極的に行う。	0.5 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 ※実技をする上で配慮を必要とする学生は事前に申し出ること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限, 木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限, 火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 505 研究室			

科目名	キャリア形成論(教養基礎)			LAB013	講義
担当教員	小泉 英明				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会(企業・組織)から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業では SGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。				
到達目標	1. 社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。 2. 自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。 3. 社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。 4. 読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。 5. 論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。 6. アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。 7. 気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。 8. 問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。 9. 自己変革のために必要な自身の問題点を探る。 10. 自律型人材に向けての目標管理ができる。 11. 社会における人間関係を学び、社会適応力を高める				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。				
使用教材	講義内容を随時プリントして配布します。				
	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと			
1	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む		1.5 時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。		1.5 時間
	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材			
2	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 2 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。		1.5 時間
	講義内容	自己の理解			
3	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 3 回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。		1.5 時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。		1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 4 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1.5 時間
	講義内容	実践コミュニケーション力		
5	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 5 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1.5 時間
	講義内容	気づく力		
6	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 6 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1.5 時間
	講義内容	考える力Ⅰ（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）		
7	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 7 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。（課題→第 9 回の BS で使用）	1.5 時間
	講義内容	考える力Ⅱ（クリエイティブシンキング）		
8	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 8 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	1.5 時間
	講義内容	創造力を伸ばす（BS 演習ほか）		
9	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 9 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8,9	復習	ブレインストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1.5 時間
	講義内容	問題解決能力Ⅰ（問題点を探る・WHY ツリー）		
10	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 10 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。（課題→提出）	1.5 時間
	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」		
11	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 11 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。（課題→提出）	1.5 時間
	講義内容	問題解決能力Ⅱ（問題解決の手法・HOW ツリー／目標設定・キャリアマニフェスト）		
12	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 12 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。（課題→提出）	1.5 時間
	講義内容	社会における人間関係		
13	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 13 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5 時間
	講義内容	自己の確立（内面のコントロール）		
14	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 14 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1.5 時間
	講義内容	ストレスマネジメント		
15	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 15 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜日（12～17 時） 事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に 関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。 〔人間発達学部の学生に求められる基本的な資質〕 ① 「保育者」・「教育者」を目指す強い意志を持つ ② 子どもを取り巻く社会に対し、幅広い関心と課題意識を持つ			

	③ 他者との協調性とコミュニケーション能力
	④ チームワーキングへの参画
	⑤ 探究心
	⑥ 自己研鑽

科目名	哲学(人間理解)				LAH001	講義
担当教員	大石 桂子					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材を中心に、教育に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。					
到達目標	1.人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2.共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3.各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4.課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5.自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
	講義内容	ガイダンス				
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。			1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。			1 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能?——ヘーゲル				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	自分と他者(3)人と人との関係性——ブーバー、サルトル				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。			1.5 時間
5	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと				
	該当する到達目標	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。			1 時間
	1,3,4,5	復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。			1.5 時間
6	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	2,3	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。			2 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3,4	復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定		
	該当する到達目標	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで？——アリストテレスほか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2)「何もしなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3,4	復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
備考	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 オフィスアワー:水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室:1 号館 6 階 601 予習・復習については試験前の学習で補完すること。			

科目名	倫理学(人間理解)				LAH002	講義
担当教員	出雲 春明					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。					
到達目標	1.医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得する。 2.自分の考えを表現することができる。 3.自分と対立する考えについても理解を深める。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末レポート(80%)から評価する。					
課題に対するフィードバック	講義中、課題を出し、自分の考えをまとめて提出してもらう場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。					
使用教材	講義中に資料を配布する。					
1	講義内容	ガイダンス—生命倫理学について				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の目的を理解する。			1 時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。			1.5 時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精				
	該当する到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	不妊治療(2)体外受精、代理母				
	該当する到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画				
	該当する到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。			1 時間
	1,2	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。			1.5 時間
5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術と優生思想				
	該当する到達目標	予習	遺伝子診断技術と優生思想について調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	実際の事件などを手がかりに優生思想について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	人工妊娠中絶: パーソン論				
	該当する到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	遺伝子操作(3)クローン技術				
	該当する到達目標	予習	クローン技術に対する現段階のイメージとその是非についてまとめてみる。			1 時間
	1	復習	映画などで描かれるクローンと実際のクローンを比較して考えてみる。			1.5 時間
8	講義内容	遺伝子操作(4)幹細胞研究と将来世代のための倫理				
	該当する到達目標	予習	クローン技術に関して確認し、再生医療との関わりについて調べてみる。			1 時間
	1, 2	復習	ES 細胞、iPS 細胞ならびに今後期待されるその役割について理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	終末期医療(1)告知をめぐる問題		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	告知をすべきか、すべきでないかその理由と共に考えをまとめてみる。	1 時間
		復習	予習での自分の意見と比較しつつ、告知をめぐる状況と議論について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	終末期医療(2)インフォームド・コンセント		
	該当する到達目標 1,2	予習	インフォームド・コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1 時間
		復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
11	講義内容	終末期医療(3)安楽死とホスピスケア		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	安楽死に対する現段階のイメージ、その是非についてまとめてみる。	1 時間
		復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
12	講義内容	臓器移植(1)生体臓器移植		
	該当する到達目標 1,2	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
		復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(2)死後移植と臓器移植法改正		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
		復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
14	講義内容	エンハンスメント:薬剤の使用をめぐる問題		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	エンハンスメントの定義を調べておく。	1 時間
		復習	ドーピングなどの薬剤による強化をめぐる問題について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括—福祉に携わる者として		
	該当する到達目標 1,2	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1 時間
		復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義前にシラバスを確認し、当該テーマについて自分がどのようなイメージを持っているのかについて、講義後はそれがどのように変わったのかについて確認しておくこと。配付された資料に基づいて必ず復習しておくこと。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。 参考文献:加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療—バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理—「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。 オフィスアワー:質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名		心理学(人間理解)			LAH003	講義
担当教員		角野 善司				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。				
到達目標		1.心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2.人の成長・発達と心理との関係について説明できる。 3.日常生活と心の健康との関係について説明できる。 4.心理的支援の方法と実際について説明できる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
			自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の宿題 30%(復習課題 15%、予習課題 15%)、学期末テスト 70%(知識問題 50%、論述問題 20%)。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック		宿題は毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材		加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第2版]」ミネルヴァ書房 2014 年 2,800 円+税				
1	講義内容		こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
2	講義内容		こころのしくみの理解(2):心と脳／情動・情緒			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
3	講義内容		こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
4	講義内容		こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
5	講義内容		こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考／知能・創造性			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
6	講義内容		こころのしくみの理解(6):人格・性格／自己概念・自己実現			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
7	講義内容		こころのしくみの理解(7):集団			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。			1.5 時間
8	講義内容		こころのしくみの理解(8):適応／人と環境			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理:発達の概念		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレッサ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1):心理検査の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
12	講義内容	心理的支援の方法と実際(2):カウンセリングの概念と範囲		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3):カウンセリングとソーシャルワークとの関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
14	講義内容	心理的支援の方法と実際(4):心理療法の概要と実際		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
備考	・宿題の提出は、C-learning による。 ・オフィスアワー(後期):月曜 3 限、月曜 4 限 研究室:8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス:zsumino@takasaki-u.ac.jp			

科目名	文学と人間(人間理解)			LAH004	講義
担当教員	斎藤 順二				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読CDで味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。				
到達目標	1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	まとめのレポートを 100 点満点で採点し、それに授業参加度を加味して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
使用教材	小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体 720+税)				
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間	
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間	
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容 川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容 林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容 谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容 志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容 壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甍』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容 学習の整理と展望(まとめのレポート)			
	該当する到達目標 1,2	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1 時間
		復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
備考	授業では、視聴覚教材を活用して作品の梗概を理解させ、人物相関図の板書とテキストの読解から、作品鑑賞を深める。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。予習・復習については、レポート作成等で補完すること。			

科目名		芸術論(人間理解)			LAH005	講義
担当教員		石原綱成				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標		芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、他文化の芸術を深く理解することは、これから国際化が進む現代にあっては必須の教養となる。また、自国の芸術や文化を学ぶことで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につけることができる。また、これらの学問に真摯に取り組むことによって、より豊かな人間性を涵養できる。				
到達目標		1.芸術に対してより専門的な知識を身につけることができる。 2.芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につけることができる。 3.自国の文化を深く理解することで、他国の文化を受け入れることができる。 4.歴史・文化に精通することで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につく 5.学生として自律的・意欲的に学習する力を身につけることができる				
学位授与方針 との対応	✓	1.豊かな人間性と教養				
	✓	2.専門的知識				
	✓	3.問題発見・解決力				
	✓	4.多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		5.自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		筆記試験にて評価する。				
課題に対する フィードバック		講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。				
使用教材		教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。				
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。			1.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。			1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー				
	該当する到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。			1.5 時間
		1,2	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。		
3	講義内容	芸術史概説				
	該当する到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。			1.5 時間
		1,2	復習	芸術史の区分についてそれぞれの特色を理解する。		
4	講義内容	視覚芸術について				
	該当する到達目標	予習	視覚芸術の特色を理解する。			1.5 時間
		1,2	復習	視覚芸術と人間の「主体」との関係を理解する。		
5	講義内容	宗教と芸術ーキリスト教美術の起源ー				
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに宗教美術の特色を理解する。			1.5 時間
		1,2,4	復習	キリスト教の教理・教義を理解する。		
6	講義内容	宗教と芸術ーロマネスク美術ー				
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにロマネスク建築の構造を理解する。			1.5 時間
		1,2,5	復習	宗教美術の抽象性とはなにかを理解する。		
7	講義内容	宗教と芸術ーゴシック美術ー				
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにゴシック建築の構造を理解する。			1.5 時間
		1,2,5	復習	宗教美術の具象性とはなにかを理解する。		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	ルネサンス美術—古典古代の芸術—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにギリシャ・ローマ神話を読んでおく。	1.5 時間
		復習	神話の世界がいかに図像化されたかの経緯を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ルネサンス美術—遠近法の思想—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。。	1.5 時間
		1,2,5	復習 遠近法と人間の「主体」への意識を考える。	1.5 時間
10	講義内容	ルネサンス美術—イデア論をめぐる—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5 時間
		1,2,5	復習 イデア論の違いが視覚芸術にいかに現れるかを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	ルネサンス美術—図像解釈学と美術—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにパノフスキーの学説を理解する。	1.5 時間
		1,2,5	復習 パノフスキーの学説をもとに図像を解釈してみる。	1.5 時間
12	講義内容	仏教美術史概説—仏像彫刻の様式—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
		1,2,5	復習 各時代の仏像彫刻の特徴を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	仏教美術—仏教の世界観と仏像—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
		1,2,5	復習 日本人の宗教心を考える。	1.5 時間
14	講義内容	精神史としての芸術—心とかたち—		
	該当する到達目標	予習	これまで配布したプリントをもとに精神と形象の関係を総合的に理解する。	1.5 時間
		1,2,3,4	復習 精神史としての芸術史とは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	芸術と人間性 —ヒューマニズムとは何か—		
	該当する到達目標	予習	芸術と人間について総合的に考察する。	1.5 時間
		1,2,3,4	復習 人間性とは何か、多様な社会・背景を理解しながら総合的に考察する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501			

科目名		ボランティア・市民活動論(人間理解)			LAH006	講義
担当教員		金井 敏				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		ボランティア・市民活動は、自主的な貢献活動として身近な地域や福祉分野に限らず医療や教育、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在となっている。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践することができる力を養成する。				
到達目標		1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義説明できる。 2.ボランティア・市民活動の多くの実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		成績評価 ①学期末レポートによる評価(60%)なお、追再試は実施しない。 ②ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%) ③授業のリアクションペーパーによる評価(20%) その他の評価 ①授業開講数の2／3以上を出席することにより、成績の評価対象とする。 ②忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとする。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなす。 ③ボランティア実践の時間(1回当たり4時間×4回＝16時間相当)も本時の講義時間に含める。				
課題に対する フィードバック		リアクションペーパーの質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックする。				
使用教材		テキストは使用しない。レジュメ・関係資料は授業にて配布する。				
1	講義内容	ガイダンス ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法の説明、授業の進め方を確認する。				
	該当する到達目標 1,3	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。			1.5 時間
		復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。			1.5 時間
		復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。			1.5 時間
		復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。			1.5 時間
		復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。			1.5 時間
5	講義内容	人々はどうのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1.5 時間
		復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
6	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動		
		予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
		復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
7	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 ボランティアとNPO～学生でも創れるNPO法人		
		予習	NPO 法人の概要について調べる。	1.5 時間
		復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件, ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 新しい支え合いの必要性～20 年後のあなたへ		
		予習	地域における生活のしづらさや今後の課題などについて自分なりに考える。	1.5 時間
		復習	地域において生ずる生活課題や住民同士の支援のあり方を理解する。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 身近な動物とボランティアの良い関係		
		予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか		
		予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1.5 時間
		復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～		
		予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
		復習	高齢者の介護予防や健康, 子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 国際貢献・多文化共生とボランティア活動		
		予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金		
		予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
		復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～		
		予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
		復習	民生委員・児童委員の活動を理解し, 自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,3,4	講義内容 まとめ～ボランティア・市民活動から考える社会の現在と将来		
		予習	さまざまなボランティア活動を振り返り, 自身の関心を確認する。	1.5 時間
		復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえてボランティアを考察する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日4時限・木曜日1時限で相談に応じます。研究室: 1号館3階310研究室 質問・意見はメールでも対応します。 ボランティア・市民活動支援センター(VSC)も活用してください。9号館1階です。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に応じます。 直通 TEL: 027-352-1108, VSC メールアドレス: vsc@takasaki-u.ac.jp			

科目名	人権論(人間理解)		LAH007	講義
担当教員	金井 洋行			
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位	

講義目標	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。			
到達目標	1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)		
		自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト			
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)			
使用教材	テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) * テーマによってDVDの視聴あり			
1	講義内容	人権の観念と内容		
	該当する到達目標	予習	前期の「日本国憲法」において履修した基本的人権の項目の教材を再チェック	2 時間
	1	復習	予備知識アンケート	0.5 時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りの割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名	人間関係論(人間理解)			LAH008	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「人間関係論」とはホーソン実験によって得られた発見をもとに、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その間の因果関係を体系化した理論である。当然のことながら、これらのことを講じるが、本科目が全学部全学科共通教養科目であるということも鑑みて、人間関係の心理学的・社会学的側面についても焦点を当てる。また、人間関係の発達の側面についても講じる。				
到達目標	1.人間関係論に関する基礎的な知識を有している。 2.日常生活における人間関係に関する心理学的な基礎的な知識を有している。 3.日常生活における人間関係に関する社会学的な基礎的な知識を有している。 4.日常生活における人間関係に関する教育学的な基礎的な知識を有している。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学-調査での出会いを通して』北大路書房				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	なし	0 時間	
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間	
2	講義内容	初対面の人間関係			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間	
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間	
3	講義内容	他者との距離			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間	
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間	
4	講義内容	表層的な人間関係			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間	
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間	
5	講義内容	人間関係の深まり			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておく	1 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4		こと。	
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
6	講義内容	青年期の人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
7	講義内容	2者間のジレンマ		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	社会的ジレンマ		
	該当する到達目標	予習	ジレンマについて客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
9	講義内容	「人間関係論」の成立		
	該当する到達目標	予習	経営学について調べておく。	2 時間
	1	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
10	講義内容	職場と人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
11	講義内容	恋愛関係論(1): 恋と愛の違い		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
12	講義内容	恋愛関係論(2): 恋愛の心理学		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
13	講義内容	恋愛関係論(3): 現代日本社会における恋愛		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
14	講義内容	恐ろしい人間関係		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
備考	非常勤講師なのでオフィスアワーはありません。 講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		ジェンダー論(人間理解)			LAH009	講義
担当教員		前田 由美子				
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。				
到達目標		1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
			自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		レポートを4日間それぞれに提出(1日につき25%相当)。合計で評価する。 総合評価60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック		レポートを返却し、コメント解説を行う。				
使用教材		授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。				
1	講義内容	講義全体の説明				
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。			1時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。			1.5時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念				
	該当する到達目標	予習	文献資料に目を通す。			1時間
		1	復習	ジェンダー概念について理解する。		
3	講義内容	生き物としての性とその多様性				
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1時間
		1,2	復習	性の多様性を理解する。		
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向				
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1時間
		1,2,3	復習	セクシュアリティの多様性について理解する。		
5	講義内容	性役割と性規範				
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1時間
		1,2	復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。		
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ				
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1時間
		1,2,3	復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。		
7	講義内容	性別と経済				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5時間
8	講義内容 女性とこども			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5時間
9	講義内容 男性と子ども			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5時間
10	講義内容 労働と性別			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5時間
11	講義内容 労働と性別とそれぞれの暮らし			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5時間
12	講義内容 男性のかかえる問題			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5時間
13	講義内容 セクシュアル・ハラスメント			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	問題の本質を理解する。	1.5時間
14	講義内容 ドメスティック・バイオレンス			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
		復習	社会問題として理解する。	1.5時間
15	講義内容 性別と社会の問題			
	該当する到達目標 3,4	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1時間
		復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5時間
備考	仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	共生の倫理(人間理解)				LAH010	講義
担当教員	大石 桂子					
学年・開講期	1 年 後期		必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。					
到達目標	1.現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2.共生の歴史について理解し、説明できる。 3.共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4.共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5.テーマについて自分の考えをもつことができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対する フィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。			1 時間
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識				
	該当する到達目標	予習	共生の定義を調べる。			1.5 時間
		1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。		
3	講義内容	多文化社会と価値の多様化				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		1,5	復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。		
4	講義内容	分断と隔離の歴史				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		2,5	復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。		
5	講義内容	優生思想				
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		2,5	復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。		
6	講義内容	共生の歴史：ノーマライゼーションからエンパワーメントへ				
	該当する到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。			1 時間
		2,4,5	復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。		
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン				
	該当する到達目標	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。			1 時間
		4,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究: 多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 6 階 601 予習・復習については試験前の学習で補完すること。			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)				LAH011	講義
担当教員	竹内真理、木村憲洋、原田欣宏、土井信幸、小笠原映子、鈴木忠、篠原智行、松田直					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。					
到達目標	1.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。 2.各専門職の役割と活動について理解できる。 3.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%					
課題に対するフィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。					
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。					
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について				
	該当する到達目標 1	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。			1.5 時間
		復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。			1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく。			1.5 時間
		復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。			1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる。			1.5 時間
		復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する。			1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。			1 時間
		復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること。			2 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む			1.5 時間
		復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する			1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③ 社会福祉専門職の職場を調べる。			1.5 時間
		復習	①疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。			1.5 時間

7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
		復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	0.5 時間
		復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	0.5 時間
備考	予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ 【オフィスアワー】 木村(情報): 月曜日 1 時限(1 号館 610 研究室) 原田(福祉): 火 2 限、金 3 限(1 号館 506 研究室) 竹内(栄養): 木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室) 質問等はメールでも受け付けます. mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 小笠原(看護): 月曜日 3 限(4 号館 505 研究室) 鈴木(理学): 月曜日 12:30~13:30、15:30~16:30(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学): 月曜日 5 限 . 随時メールで問い合わせを受けます. 土井(薬学): 12:00~13:00(7 号館 319 研究室) doi-n@takasaki-u.ac.jp 松田(子ども): 火曜日 3 限、木曜日 2 限(9 号館 301 研究室) メールアドレス: matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	国際医療事情(人間理解)				LAH012	講義
担当教員	クリストファー・ターン 町田 修三					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する					
到達目標	1.諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2.諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3.諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4.諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5.日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる					
学位授与方針		豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	最終レポート(50%)、提出物(20%)、発表、討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)、研修レポート(30%)、研修中のパフォーマンス(40%)					
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える					
使用教材	特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと					
1	講義内容	イントロダクション				
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する			1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく			1 時間
		復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する			1.5 時間
3	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情（一部 AL 実施）				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく			1 時間
		1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情を英語で説明してみよう				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく			1 時間
		5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		
5	講義内容	先進国(アメリカ、イギリス、ドイツ)の医療教育				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく			1 時間
		1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

6	講義内容	先進国の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標 4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国（北欧、カナダ、オーストラリアなど）の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国（台湾、シンガポール、中国など）、途上国（ベトナム、インドネシア、タイなど）の医療教育		
	該当する到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国、途上国の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国、途上国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
		復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
		復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室：1 号館 6 階603 メールアドレス：machida@takasaki-u.ac.jp AL（アクティブラーニング）は、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンなど			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences（人間理解）				LAH013	講義
担当教員	小澤 静司 町田 修三 クリストファー・ターン 下川 哲昭 今井 純 長谷川 恵子					
学年・開講期	1 年 後期		必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。					
到達目標	1.医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2.理解した内容について、第三者に説明できる 3.医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4.医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する					
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する					
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する					
1	講義内容	Introduction of the course（町田）				
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える			1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system（町田）				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解			1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries（町田）				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解			1.5 時間
4	講義内容	U.S. healthcare in the media I（長谷川）				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解			1.5 時間
5	講義内容	U.S. healthcare in the media II（長谷川）				
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく			1.5 時間
	1,2,3,4					

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases III (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease I (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease II (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備	オフィスアワー(町田): 月曜日4限目、金曜日2限目 研究室: 1号館6階603			

考	英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。

科目名		囲碁の世界(人間理解)			LAH014	講義
担当教員		三谷 哲也				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。				
到達目標		1.全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19路盤で最後まで打てるようになる。 2.いくつかの 패턴の囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回				
課題に対する フィードバック		試験後に解説を行う。				
使用教材		光文社新書「東大教養囲碁講座」				
1	講義内容		囲碁の歴史と基本ルール			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第1章1～3に目を通し講義の目的を理解する。		1.5 時間
			復習	囲碁の基本的なルールを理解する。		1.5 時間
2	講義内容		ルールの復習(1)			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第2章1－1～1－3に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
			復習	囲碁の5つの基本ルールを理解する。		1.5 時間
3	講義内容		ルールの復習(2)			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第2章1－4～1－5に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
			復習	打てない場所、打てる場所を理解する。		1.5 時間
4	講義内容		ルールの復習及び初歩技術(1)			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第P97に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。		1.5 時間
			復習	基本的な3つの心得を理解する。		1.5 時間
5	講義内容		ルールの復習及び初歩技術(2)			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。		1.5 時間
			復習	取れている石、シチョウを理解する。		1.5 時間
6	講義内容		問題演習			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。		1.5 時間
			復習	地の数え方、石のつながりを理解する。		1.5 時間
7	講義内容		技術の解説(1)			
	該当する到達目標 1,2		予習	教科書 P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。		1.5 時間
			復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。		1.5 時間
8	講義内容		技術の解説(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)		
	該当する到達目標	予習	教科書P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)		
	該当する到達目標	予習	教科書P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)		
	該当する到達目標	予習	教科書P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	代表者対局 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1～2に目を通し、9子局の攻め方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
備考	囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。チューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。オフィスアワーは授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。			

科目名		英語IA(リテラシー)			LAL001	演習	
担当教員		ベアリー・キース					
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位			
講義目標		本講義の目的は学生の英語力を総合的に向上させることとともに学生の語彙力を高めることである。また、英語の本(多読教材)を読むことによって異文化理解や学生の教養を涵養する。英語を流暢に読めるように、読む速度を高めることに主眼を置く。具体的に、英語読本の「多読」を始め、語彙学習や速読訓練やリーディング・サークルでそれらについてグループ・ディスカッションし、自らの意見や解釈を発表することが主である。					
到達目標		1. 英語を読む速度が早くなる(一分間 250 語を目指す)。 2. グループ・ディスカッションし、自らの意見や解釈を発表することができる。 3. 英単語の語彙力を 200 以上増やすこと。					
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養				
			専門的知識				
			問題発見・解決力				
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック		レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。					
使用教材		Paul Nation (2007), <i>Reading for Speed and Fluency 2</i> (Compass Publishing Japan), 1,900 円					
1	講義内容		Reading for Speed & Fluency 1; Vocabulary Test; Oxford Reading Level Test, Moodle Orientation				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	シラバスの確認			1.5 時間
			復習	語彙を確認し、多読プログラムを進める			1.5 時間
2	講義内容		Reading for Speed & Fluency 2; Hand in Vocabulary Test & Oxford Reading Level Test Results				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間
			復習	リフレクションと語彙			1.5 時間
3	講義内容		Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 3; Book Spot 1				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間
			復習	リフレクションと語彙			1.5 時間
4	講義内容		Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 4; Reading Circle #1-1				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間
			復習	リフレクションと語彙			1.5 時間
5	講義内容		Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 5; Reading Circle #1-2				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間
			復習	リフレクションと語彙			1.5 時間
6	講義内容		Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 6; Book Spot 2				
	該当する到達目標 1,2,3		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間
			復習	リフレクションと語彙			1.5 時間
7	講義内容		Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 7; Reading Circle #2-1				
	該当する到達目標		予習	多読プログラムを進める			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
8	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 8; Reading Circle #2-2		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
9	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 9; Book Spot 3		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
10	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 10; Reading Circle #3-1		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
11	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 11; Reading Circle #3-2; Reading list for Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
12	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 12; Book Spot 4		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
13	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 13; Reading Circle #4-1; Sign-up for Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
14	講義内容	Vocabulary Quiz; Reading for Speed & Fluency 14; Reading Circle #4-2; Hand in Oxford Reading Level #2; Confirm Final Test		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
15	講義内容	Reading for Speed & Fluency 15; Final Test & Reflection Paper		
	該当する到達目標	予習	多読プログラムを進める	1.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションと語彙	1.5 時間
備考				

科目名		英語IB(リテラシー)			LAL001	演習
担当教員		ジム・ヘイ				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標		1. 英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2. 基礎的な英語表現を理解する。 3. 英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材		特に定めない。				
1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
4	講義内容	be 動詞				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
7	講義内容	He, She, It				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
8	講義内容	過去形				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考				

科目名		英語IC(リテラシー)			LAL001	演習
担当教員		中村 博生				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
		教員を目指す学生向けのテキストを使用し、教育現場で必要とされる英語のスキルを身につける。とりわけ、小学校における外国語教育の機会が増える中、教育現場において、英語でコミュニケーションを図る力、授業を行う力が求められている状況に対応し、英語でのアクティビティやクラスルーム・イングリッシュなど、教育にまつわる実践的な英語力を獲得することを目的とする。				
到達目標		1. 異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 教育現場で必要とされる英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされる英語によるコミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材		相羽千州子他, <i>Hello, English: English for Teachers of Children</i> (成美堂, 2016 年), 2,592 円				
1	講義内容	イントロダクション				
	該当する到達目標	予習				1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
2	講義内容	Unit 1 ALT's First Visit to Minami Elementary School				
	該当する到達目標	予習	Unit 1 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
3	講義内容	Unit 2 Getting to Know Each Other				
	該当する到達目標	予習	Unit 2 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
4	講義内容	Unit 3 School Lunch				
	該当する到達目標	予習	Unit 3 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
5	講義内容	Unit 4 Play Time				
	該当する到達目標	予習	Unit 4 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
6	講義内容	Unit 5 The First English Class				
	該当する到達目標	予習	Unit 5 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
7	講義内容	Unit 6 Teaching Numbers 1				
	該当する到達目標	予習	Unit 6 の単語を調べてくる			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
8	講義内容	Unit 7 Teaching Numbers 2				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	Unit 7 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
9	講義内容	Unit 8 Reflection		
	該当する到達目標	予習	Unit 8 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
10	講義内容	Unit 9 Activities at a Kindergarten		
	該当する到達目標	予習	Unit 9 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
11	講義内容	Unit 10 Growing Plants and Observing the Butterfly Lifecycle		
	該当する到達目標	予習	Unit 10 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
12	講義内容	Unit 11 Making Onigiri and Curry		
	該当する到達目標	予習	Unit 11 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
13	講義内容	Unit 12 Making a Town Map		
	該当する到達目標	予習	Unit 12 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
14	講義内容	Unit 13 Introducing Japanese Culture		
	該当する到達目標	予習	Unit 13 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
15	講義内容	Unit 14 Evacuation Drills		
	該当する到達目標	予習	Unit 14 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日の 1 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 301 号室			

科目名	英語ⅡA（リテラシー）				LAL002	演習
担当教員	中村 博生					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	教育に携わる者として、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることを目標とする。本演習では社会の急速なグローバル化に備え、保育の現場における日常生活に関した題材を英語で取り扱いながら、特に学生のリスニング能力とスピーキング能力のレベルアップを図り、教育現場で英語でのコミュニケーションがとれるようになることをめざす。					
到達目標	1. 幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることができる。 2. 子どもや保護者と英語での会話が行えるように、場面に応じた会話例を身に付けることができる。 3. 保育の現場で生じる会話を英語で作成し、学生同士でロールプレイを行い、子どもや保護者と英語でコミュニケーションする能力を身に付けることができる。 4. 自ら進んで英語を習得し、職場での英語によるコミュニケーション能力を身につけ活用することができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験 60%、授業での活動と発表 40%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	授業での活動と発表については、毎時間評価をする。 定期試験については、事前と事後に指導を行う。					
使用教材	教科書 <i>Happy English for Childcare</i> 、土屋麻衣子著、金星堂、2015、2,150 円					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	教科書のはしがき、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			0.5 時間
2	講義内容	Unit 1 Hi, I'm Yuri Tanaka				
	該当する到達目標	予習	Unit 1 に目を通す。			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	担任の先生と保護者の会話を例として対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。			0.5 時間
3	講義内容	Unit 2 Where Is the Multi-purpose Room?				
	該当する到達目標	予習	Unit 2 に目を通す。			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	保護者に対する園内の案内に関する対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。			0.5 時間
4	講義内容	Unit 3 Good Morning. How Are You Today?				
	該当する到達目標	予習	Unit 3 に目を通す。			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	園児との対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。			0.5 時間
5	講義内容	Unit 4 What Color Do You Like?				
	該当する到達目標	予習	Unit 4 に目を通す。			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	工作の時間で園児をほめる対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。			0.5 時間
6	講義内容	Unit 5 There's a Ladybug on the Leaf				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	Unit 5 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	園外散歩の対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
7	講義内容	Unit 6 It's Time to Play Outside		
	該当する到達目標	予習	Unit 6 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	園庭で遊具で遊ぶ時の対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
8	講義内容	Unit 7 She Is Allergic to Eggs		
	該当する到達目標	予習	Unit 7 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	保護者からの相談(食物アレルギーなど)についての対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 8 You Should Go to the Bathroom		
	該当する到達目標	予習	Unit 8 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	お昼寝の時間の対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
10	講義内容	Unit 9 We Made Masks Today		
	該当する到達目標	予習	Unit 9 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	降園時の園児と保護者に対する対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
11	講義内容	Unit 10 If It Rains, What Happens?		
	該当する到達目標	予習	Unit 10 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	保護者と行事予定について話す対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
12	講義内容	The Bamboo Princess		
	該当する到達目標	予習	Reading 教材 “The Bamboo Princess” に目を通す。	0.5 時間
	1, 4	復習	物語を読み、語彙、文法などを理解して内容を正確に把握できる。	0.5 時間
13	講義内容	Momotaro, The Peach Boy		
	該当する到達目標	予習	Reading 教材 “Momotaro, The Peach Boy” に目を通す。	0.5 時間
	1, 4	復習	物語を読み、語彙、文法などを理解して内容を正確に把握できる。	0.5 時間
14	講義内容	Review (1) Listening and Speaking		
	該当する到達目標	予習	自作の対話文の発表ができるように準備する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	これまでの学習のまとめとしての対話文を作り、英語でコミュニケーション活動ができる。	0.5 時間
15	講義内容	Review (2) Reading and Writing		
	該当する到達目標	予習	Reading and Writing のまとめの学習の準備をする。	0.5 時間
	1, 4	復習	学習した範囲の語彙、文、文法などを駆使して正確に英文を読解したり、英作文したりすることができる。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日の 1 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名	英語ⅡB(リテラシー)				LAL002	講義
担当教員	Stacy Clause					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	This class's goal is to help students to use basic conversational English. We will also learn about and discuss issues in global health. Class participation and discussion are essential components of this course.					
到達目標	1. To foster a positive attitude toward communication through English. 2. To understand issues in global health. 3. To develop lifelong skills for learning English					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.					
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。					
使用教材	Provided by instructor					
1	講義内容	Introductions, greetings				
	該当する到達目標	予習	Prepare presentation			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
2	講義内容	About me/my hometown presentation				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
3	講義内容	Practical English: Explanations・how to use something				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
4	講義内容	Practical English: Asking and giving information				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
5	講義内容	Practical English: compliments, apologies and other speech acts				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
6	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
7	講義内容	Lifelong learning: Metaphors in songs				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
8	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
9	講義内容	Lifelong learning: Songs (part 2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
10	講義内容	Practical English: Getting around -at the hotel, restaurant, airport		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
11	講義内容	Presentation on an English speaking country		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Current health issues (Public Service announcements)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Comparative issues in medicine: technology		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Comparative issues in medicine: global health		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Future of medicine: class presentations		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Complete presentation with group	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 火曜日 3 限、水曜日 3 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名		英語ⅡC(リテラシー)			LAL002	演習
担当教員		嶋田 和成				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標		本授業では、保育・教育の現場で実践的な英語会話力が必要とされていることを考慮し、英語によるリスニング・会話練習に重点を置く。あわせて基本的な語彙、文法を確認しながら、英語のコミュニケーション能力を総合的に高める訓練を行う。				
到達目標		1. 基本的な語彙・文法を修得する。 2. 基本的な教室英語を使い、英語で授業運営できる素地を身につける。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材		S. Williams & V. Morooka (2014). <i>Student Teacher: Introductory English for Education Majors</i> . 東京:南雲堂. 2,100 円				
1	講義内容		ガイダンス・Warm-up			
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.5 時間
	1, 2	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容		Unit 1: Meeting and Greeting			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 1 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 1 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
3	講義内容		Unit 2: Family and Friends			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 2 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 2 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
4	講義内容		Unit 3: Likes and Dislikes			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 3 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 3 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
5	講義内容		Unit 4: Good Habits and Bad Habits			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 4 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 4 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
6	講義内容		Unit 5: Summer and Fun			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 5 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 5 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
7	講義内容		Unit 6: Here and There			
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 6 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 6 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。			1.5 時間
8	講義内容		Units 1-6 のまとめ			
	該当する到達目標	予習	教科書 Units 1-6 の指定された練習問題を解く。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1, 2	復習	教科書 Units 1-6 の内容を使って、音読、会話練習をする。	1.5 時間
9	講義内容	Unit 7: Giving and Receiving		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 7 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 7 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
10	講義内容	Unit 8: Parties and Fashion		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 8 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 8 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
11	講義内容	Unit 9: Physical Education and Health		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 9 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 9 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit 10: Nursery School and Day Care		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 10 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 10 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
13	講義内容	Unit 11: Educating and Caring		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 11 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 11 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit 12: Bullying and Other Problems		
	該当する到達目標	予習	教科書 Unit 12 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Unit 12 の内容を理解する。また、授業で学んだ教室英語を練習する。	1.5 時間
15	講義内容	Units 7-12 のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書 Units 7-12 の指定された練習問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書 Units 7-12 の内容を使って、音読、会話練習をする。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス：shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 303 研究室 授業外学習においては、オンラインの授業支援システム CaLabo Bridge を使用する。			

科目名		英語ⅢA(リテラシー)			LAL003	演習
担当教員		出雲春明				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標		大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標		1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常の実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材		外山晴子『Enjoy English with Charlie Brown and Friends 『ピーナッツ』で学ぶ英語と比較文化』、南雲堂、2008 年。¥2,100+税。				
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスとテキストを照らし合わせ、予習、復習、評価方法について確認する。			1.5 時間
		復習	講義におけるテキストの使用法について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	Lesson 1 Body Language in Peanuts ①				
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 12-15.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。			1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。			1.5 時間
3	講義内容	Lesson 1 Body Language in Peanuts ②				
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 16-17.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。			1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。			1.5 時間
4	講義内容	Lesson 2 Lucy's Psychiatry Stand ①				
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 18-21.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。			1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。			1.5 時間
5	講義内容	Lesson 2 Lucy's Psychiatry Stand ②				
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 22-23.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。			1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。			1.5 時間
6	講義内容	Lesson 3 Friends Forever ①				
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 24-27.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。			1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。			1.5 時間
7	講義内容	Lesson 3 Friends Forever ②				
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp.28-29.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。			1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。			1.5 時間
8	講義内容	Lesson 4 Peanuts as a Social Group ①				
	該当する到達目標 1,3	予習	テキスト pp.32-35.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。			1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	Lesson 4 Peanuts as a Social Group ②		
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 36-37.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lesson 5 Schroeder the Music Lover ①		
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 38-41.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
11	講義内容	Lesson 5 Schroeder the Music Lover ②		
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 42-43.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
12	講義内容	Lesson 6 Girls in Peanuts ①		
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 44-47.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
13	講義内容	Lesson 6 Girls in Peanuts ②		
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 48-49.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
14	講義内容	Lesson 7 Sally and her Legal Beagle ①		
	該当する到達目標 1, 3	予習	テキスト pp. 52-55.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
15	講義内容	Lesson 7 Sally and her Legal Beagle ②		
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキスト pp. 56-57.の不明な単語を調べ、英文を読んでみる。	1.5 時間
		復習	不明であった文法事項を確認しておく。	1.5 時間
備考	辞書必携。最低限の予習として不明な単語を調べておくこと。テキスト付属の CD を用いて発音の確認と練習をしておくとなおよい。			

科目名	英語ⅢB（リテラシー）			LAL003	演習
担当教員	中村 博生				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	教育に携わる者として、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることを目標とする。本演習では、保育の現場にまつわる様々なテーマを扱う英文を読み、英語で職場の状況を理解し、子どもたちや保護者と英語で会話ができることをめざす。また、これらに関連する基礎的な文法や語彙を理解し身に付けることをめざす。				
到達目標	1. 幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることができる。 2. 保育の現場に関する様々なテーマを扱う英文を読み、英語で職場の状況を理解し表現することができる。 3. 子どもや保護者と英語で会話が行えるように、口語表現や基礎的な文法を身に付けることができる。 4. 自ら進んで英語を習得し、職場でのコミュニケーション能力を身につけ活用することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 70%、授業での発表とコミュニケーション活動 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	授業での発表とコミュニケーション活動は、その都度評価する。 定期試験については、事前と事後に指導を行う。				
使用教材	教科書『新保育の英語』、森田和子著、三修社、2015、1,900 円				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1	予習	テキストのはしがきとシラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		0.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	Lesson 1 The School Year Begins			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキストの Lesson 1 に目を通す。		0.5 時間
		復習	本文の内容を確認し、園の人々や園舎の英語の名称を覚えて言うことができる。		0.5 時間
3	講義内容	Lesson 2 Arrival			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキストの Lesson 2 に目を通す。		0.5 時間
		復習	本文を読み、子どもの送迎に関する英語表現や家族に関する英語を言うことができる。		0.5 時間
4	講義内容	Lesson 3 Playtime in the Classroom			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキストの Lesson 3 に目を通す。		0.5 時間
		復習	本文を読み、子どもの遊びに関する英語表現やおもちゃなどに関する英語を言うことができる。		0.5 時間
5	講義内容	Lesson 4 In the Sandbox			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキストの Lesson 4 に目を通す。		0.5 時間
		復習	本文を読み、砂場の遊びに関する英語表現や花などに関する英語を言うことができる。		0.5 時間
6	講義内容	Lesson 5 In the playground			
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 5 に目を通す。		0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4	復習	本文を読み、子どもの園庭での遊びに関する英語表現やゲーム、けんかなどに関する英語を言うことができる。	0.5 時間
7	講義内容	Grammar 1 一般動詞・be 動詞		
	該当する到達目標	予習	テキストの Grammar 1 に目を通す。	0.5 時間
	1,3,4	復習	これまで学習した英語の文法を整理する。	0.5 時間
8	講義内容	Lesson 6 Lunchtime		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 6 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文を読み、給食に関する英語表現や食事に関する英語を言うことができる。	0.5 時間
9	講義内容	Lesson 7 Changing Clothes and Story Time		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 7 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文を読み、子どものお着替えに関する英語表現や衣類などに関する英語を言うことができる。	0.5 時間
10	講義内容	Lesson 8 Nap Time		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 8 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文を読み、子どものお昼寝に関する英語表現を言うことができる。	0.5 時間
11	講義内容	Lesson 9 Blowing Bubbles		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 9 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文を読み、シャボン玉に関する英語表現や生き物などに関する英語を言うことができる。	0.5 時間
12	講義内容	Lesson 10 A Sick Child		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lesson 10 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文を読み、子どもの病気に関する英語表現や感情の表現などに関する英語を言うことができる。	0.5 時間
13	講義内容	Grammar 2 疑問文・否定文・命令文		
	該当する到達目標	予習	テキストの Grammar 2 に目を通す。	0.5 時間
	1,3,4	復習	これまで学習した英語の文法を整理する。	0.5 時間
14	講義内容	Review (1) コミュニケーション活動のまとめ		
	該当する到達目標	予習	学習した各レッスンのコミュニケーション活動を自己表現で行えるよう準備する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	対話の内容を、自己表現で話すことができる。	0.5 時間
15	講義内容	Review (2)リーディング、ライティング活動のまとめ		
	該当する到達目標	予習	学習した各レッスンの読解の要点、文法、英語表現などを理解し説明できるよう準備する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	本文の読解や英作文などを行うことができる。	0.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日の 1 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名	英語ⅢC(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	Stacy Clause				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	This class's goal is to help students to use basic conversational English. We will also learn about and				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	discuss issues in global health. Class participation and discussion are essential components of this course.			
到達目標	1. To foster a positive attitude toward communication through English. 2. To understand issues in global health. 3. To develop lifelong skills for learning English			
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養		
		専門的知識		
		問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)		
	✓	自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.			
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。			
使用教材	Provided by instructor			
1	講義内容	Introductions, greetings		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare presentation	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
2	講義内容	About me/my hometown presentation		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
3	講義内容	Practical English: Explanations -how to use something		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
4	講義内容	Practical English: Asking and giving information		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
5	講義内容	Practical English: compliments, apologies and other speech acts		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
6	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
7	講義内容	Lifelong learning: Metaphors in songs		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
8	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
9	講義内容	Lifelong learning: Songs (part 2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

10	講義内容	Practical English: Getting around -at the hotel, restaurant, airport		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
11	講義内容	Presentation on an English speaking country		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Current health issues (Public Service announcements)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Comparative issues in medicine: technology		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Comparative issues in medicine: global health		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Future of medicine: class presentations		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Complete presentation with group	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 火曜日 3 限、水曜日 3 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名	英語ⅣA(リテラシー)				LAL004	講義
担当教員	Stacy Clause					
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位			
講義目標	This class's goal is to help students to use basic conversational English. We will also learn about and discuss issues in global health. Class participation and discussion are essential components of this course.					
到達目標	1. To foster a positive attitude toward communication through English. 2. To understand issues in global health. 3. To develop lifelong skills for learning English					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.					
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。					
使用教材	Provided by instructor					
1	講義内容	Introductions, greetings				
	該当する到達目標	予習	Prepare presentation			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
2	講義内容	About me/my hometown presentation				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
3	講義内容	Practical English: Explanations ·how to use something				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
4	講義内容	Practical English: Asking and giving information				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
5	講義内容	Practical English: compliments, apologies and other speech acts				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
6	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
7	講義内容	Lifelong learning: Metaphors in songs				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
8	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
9	講義内容	Lifelong learning: Songs (part 2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
10	講義内容	Practical English: Getting around -at the hotel, restaurant, airport		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
11	講義内容	Presentation on an English speaking country		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Current health issues (Public Service announcements)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Comparative issues in medicine: technology		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Comparative issues in medicine: global health		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Future of medicine: class presentations		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Complete presentation with group	1.0 時間
		復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 火曜日 3 限、水曜日 3 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名	英語ⅣB(リテラシー)				LAL004	演習
担当教員	松田幸子					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	保育の現場にまつわる様々なテーマを扱うエッセイを読みながら、保育の現場における子どもたちや保護者との口語表現を中心に学ぶ。また、これに関連して基礎的な文法や語彙も確認する。					
到達目標	1. 保育・教育に関する英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 保育・教育に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。					
使用教材	森田和子『新・保育の英語』(三修社、2010 年), 1,900 円					
1	講義内容	イントロダクション				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Please Speak More Slowly の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
2	講義内容	1. The School Year Begins				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 1 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
3	講義内容	2. Arrival				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 2 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
4	講義内容	3. Playtime in the Classroom				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 3 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
5	講義内容	4. In the Sandbox				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 4 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
6	講義内容	5. In the Playground				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 5 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
7	講義内容	6. Lunchtime				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 6 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間
8	講義内容	7. Changing Clothes and Story Time				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 7 の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ワークシートによる内容理解			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	8. Nap Time		
	該当する到達目標	予習	Unit 8 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
10	講義内容	9. Blowing Bubbles		
	該当する到達目標	予習	Unit 9 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
11	講義内容	10. A Sick Child		
	該当する到達目標	予習	Unit 10 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
12	講義内容	11. Preparation for the Sports Day		
	該当する到達目標	予習	Unit 11 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
13	講義内容	12. The Sports Day		
	該当する到達目標	予習	Unit 12 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
14	講義内容	13. Going for a Walk		
	該当する到達目標	予習	Unit 13 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
15	講義内容	14. Discovering Autumn		
	該当する到達目標	予習	Unit 14 の単語を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
備考	オフィス・アワー: 木曜 4 限・金曜 2 限 メールアドレス: matsuda-y@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 304 号室			

科目名	英語IVC（リテラシー）			LAL004	演習
担当教員	中村 博生				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	教育に携わる者として、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることを目標とする。特に、実際のコミュニケーションに役立つ、発音の力を身に付けることをめざす。発音記号に基づき、正しい発音の方法を系統的に学習し、Nursery Rhyme などを読むことで正確で自然な発音を習得することをめざす。				
到達目標	1. 幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語に関する一般的な知識と技能を備えることができる。 2. 英語のコミュニケーションに役立つ発音の知識と技術を学び、演習を通して身に付けることができる。 3. 音声教材を活用し、学生同士の教え合いや評価し合うことで、より正確な発音を身に付けることができる。 4. 英語コミュニケーション能力を身に付けるために、自ら進んで英語の発音(主にアメリカ英語)やリズムとイントネーションに習熟する。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 70%、授業における発表 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業における発表(英語の発音)では随時個人指導と全体指導を行う。 定期試験(英語の発音)に関する指導は、授業中に個人指導と全体指導で行う。				
使用教材	教科書 <i>English Pronunciation for Communication</i> 、小泉節子・杉森幹彦著、南雲堂、2012、2,300 円				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書のはしがき、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	0.5 時間	
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	0.5 時間	
2	講義内容	Lesson 1 ([iː] - [i]) ~ Lesson 2 ([e] - [eɪ]), Nursery Rhymes 1,2			
	該当する到達目標	予習	Lesson 1 と Lesson 2 に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4	復習	母音([iː] - [i], [e] - [eɪ]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間	
3	講義内容	Lesson 3 ([æ]) ~ Lesson 4 ([ɑːr]), Passage for Reading (1), Nursery Rhymes 3,4			
	該当する到達目標	予習	Lesson 3 と Lesson 4 に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4	復習	母音([æ], [ɑːr]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間	
4	講義内容	Lesson 5 ([ɑ]) ~ Lesson 6 ([ʌ]), Passage for Reading (2), Nursery Rhymes 5,6			
	該当する到達目標	予習	Lesson 5 と Lesson 6 に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4	復習	母音([ɑ], [ʌ]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間	
5	講義内容	Lesson 7 ([ɔː] - [ou]) ~ Lesson 8 ([uː] - [u]), Nursery Rhymes 7,8,9, Poems 1,2			
	該当する到達目標	予習	Lesson 7 と Lesson 8 に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4	復習	母音([ɔː] - [ou], [uː] - [u]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間	
6	講義内容	Lesson 9 ([ə] - [ər] - [ɜːr]), Nursery Rhyme 10, Poem 3			
	該当する到達目標	予習	Lesson 9 に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4	復習	母音([ə] - [ər] - [ɜːr]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間	
7	講義内容	Lesson 10-(1) ([ai], [au], [ɔi], [iə], [iə̯]), Nursery Rhymes 11,12,13,14			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 10-(1) に目を通す。	0.5 時間
		復習	二重母音([ai], [au], [ɔi], [iər], [iə]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
8	講義内容	Lesson 10-(2) ([ɛər], [ɛə], [ɔər], [ɔə], [ɔ:r], [uər], [uə], [juər]), Nursery Rhymes 15,16, Passage for Reading (3)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 10-(2) に目を通す。	0.5 時間
		復習	二重母音([ɛər], [ɛə], [ɔər], [ɔə], [ɔ:r], [uər], [uə], [juər]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
9	講義内容	Lesson 11 ([p] - [b]) ~ Lesson 12 ([t] - [d]), Tongue Twister 1		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 11 と Lesson 12 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音([p] - [b], [t] - [d]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
10	講義内容	Lesson 13 ([k] - [g], [f] - [v]), Nursery Rhymes 17,18,19		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 13 と Lesson 14 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音([k] - [g], [f] - [v]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
11	講義内容	Lesson 15 ([θ] - [ð]) ~ Lesson 16 ([s] - [z]), Nursery Rhymes 20,21		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 15 と Lesson 16 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音([θ] - [ð], [s] - [z]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
12	講義内容	Lesson 17 ([ʃ] - [ʒ]) ~ Lesson 18 ([h]), Tongue Twister 2		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 17 と Lesson 18 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音([ʃ] - [ʒ], [h]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
13	講義内容	Lesson 19 ([tʃ] - [dʒ]) ~ Lesson 20 ([r] - [l]), Nursery Rhyme 22		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 19 と Lesson 20 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音([tʃ] - [dʒ], [r] - [l]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
14	講義内容	Lesson 21 ([m], [n], [ŋ]) ~ Lesson 22 ([w], [r], [j]), Nursery Rhymes 23,24,25,26		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 21 と Lesson 22 に目を通す。	0.5 時間
		復習	子音と半母音([m], [n], [ŋ], [w], [r], [j]) の発音の方法を身につけ発音することができる。	0.5 時間
15	講義内容	Review		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Lesson 1 ~ Lesson 22 で学習した発音を確認する。	0.5 時間
		復習	学習した発音を単語や文、文章を読んだり、会話をしたりする時に応用でき、正しく発音できる。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日の 1 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名		Integrated English I（リテラシー）			LAL005	講義
担当教員		クリストファー・ターン				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。				
到達目標		1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ。 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする。 3.プレゼンテーションの実践練習を行う。 また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業内/パフォーマンス 90%、提出物 10%				
課題に対する フィードバック		レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。				
使用教材		開講時に指示する。				
1	講義内容		What is communication?			
	該当する到達目標		予習	なし	時間	
	1		復習	授業内容についての要約を書く。	1.5 時間	
2	講義内容		Cognitive Psychology: Get to know yourself			
	該当する到達目標		予習	自分自身について書く。	1.5 時間	
	1		復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。	1.5 時間	
3	講義内容		Social skills.			
	該当する到達目標		予習	社会心理学について事前調べを行う。	1.5 時間	
	1		復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。	1.5 時間	
4	講義内容		The power of imagination and innovation			
	該当する到達目標		予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。	1.5 時間	
	2		復習	その国について調べる。	1.5 時間	
5	講義内容		learning to control a conversation			
	該当する到達目標		予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。	1.5 時間	
	2		復習	ホストファミリーとの会話例を考える。	1.5 時間	
6	講義内容		Listening strategies			
	該当する到達目標		予習	訪問国の英語発音について調べる。	1.5 時間	
	2		復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。	1.5 時間	
7	講義内容		Basic English: Self introduction and first steps for communication in English			
	該当する到達目標		予習	自己紹介文を書く。	1.5 時間	
	3		復習	自己紹介文を仕上げる。	1.5 時間	
8	講義内容		Create your own English database			
	該当する到達目標		予習	ノートの準備をする。	1.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3	復習	English Database を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	Meet a foreigner		
	該当する到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える。	1.5 時間
	2	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。	1.5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience		
	該当する到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。	1.5 時間
	3	復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)		
	該当する到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)		
	該当する到達目標	予習	テーマーについてプレゼンテーションの準備をする。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1		
	該当する到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
	2	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook		
	該当する到達目標	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する	1.5 時間
	2	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。	1.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当する到達目標	予習	1～14 回の授業の復習をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜 3 限、金曜 3 限 メールアドレス：tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 315 研究室 予習復習時間については各自補完すること。			

科目名	Integrated English II (リテラシー)				LAL006	講義
担当教員	英語担当教員					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	実践問題演習を通して、TOEIC テストの全貌と特徴、傾向と対策をおさえるとともに、スコアアップのための受験のストラテジーも習得する。					
到達目標	1.TOEIC の形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.音読トレーニングで英語の音の聞き取りに慣れる。 5.英文読解力が身につく。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	語彙テスト(50%)、ミニ模擬テスト(50%)で「評価する」。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	前回の授業で学習した語彙を、毎回テストする。 課題(文法プリント)の解説をする。					
使用教材	TOEIC テスト学習スタートブック JMook18(Jリサーチ出版) JCBN978-4-86392-270-9- C9482					
1	講義内容	Introduction (TOEIC テストの概略説明と学習法)				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1 時間
		復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。			1.5 時間
2	講義内容	Part 1 文法:品詞				
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 1 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。			1 時間
		復習	Part 1 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。			1.5 時間
3	講義内容	Part 2 文法:名詞を修飾する言葉				
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。			1 時間
		復習	Part 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。			1.5 時間
4	講義内容	Part 3 文法:動詞の形				
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 3 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。			1 時間
		復習	Part 3 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。			1.5 時間
5	講義内容	Part 4 文法:時制と仮定法				
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。			1 時間
		復習	Part 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

6	講義内容	Part 5 文法:代名詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 5 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 5 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
7	講義内容	Part 6 文法:接続詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
8	講義内容	Part 7		
	該当する到達目標 2, 4, 5	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
9	講義内容	Part 1, 2 文法:分詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 1, 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 1, 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
10	講義内容	Part 3, 4 文法:関係詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 3, 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 3, 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
11	講義内容	Part 5,6 文法:比較		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 5, 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 5, 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
12	講義内容	Part 7 文法:語法		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
13	講義内容	ミニ模擬テスト(リスニング)		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4, 5	予習	Part 1-4 のリスニング問題を練習する。	1 時間
		復習	リスニング問題の確認をする。	1.5 時間
14	講義内容	ミニ模擬テスト(リーディング)		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4, 5	予習	Part 5-7 のリーディング問題を練習する。	1 時間
		復習	リーディング問題の確認をする。	1.5 時間
15	講義内容	模擬テストの解答と解説		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4, 5	予習	リスニング問題、リーディング問題を練習する。	1 時間
		復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	ドイツ語(リテラシー)				LAL007	講義
担当教員	出雲 春明					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築く。					
到達目標	1.ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2.初級文法を用いて基本的な会話をを行い、読み書きすることができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末テスト(80%)で評価する。					
課題に対するフィードバック	授業の進行に応じて、練習問題を課し、採点して返却する。					
使用教材	羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。なお、必要に応じて別途資料を配付する。					
1	講義内容	ガイダンス—日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベット—				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。			1 時間
		復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。			1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶 (1)				
	該当する到達目標 1	予習	テキスト(p. 1, 8.)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音 (1)、ドイツ語の挨拶 (2)				
	該当する到達目標 1	予習	テキスト(p. 1-2, 8.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音 (2)、ドイツ語の数字 (1)				
	該当する到達目標 1	予習	テキスト(p. 2, 14.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字 (2)				
	該当する到達目標 1	予習	テキスト(p. 1-2, 8.)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化 (1)、ドイツ語の時刻表現				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 4-5, 14.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキスト(p.4.) を用いて人称変化の練習をしておくこと。			1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化 (2)				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 5-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。			1.5 時間
8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (1)				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 4-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
		復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。			1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (2)、ドイツ語での自己紹介				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 7.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音か確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容 Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (1)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 9-10, 12.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容 Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (2)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容 Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (1)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 9, 11.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容 Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (2)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容 Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (1)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 15-16.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
15	講義内容 Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (2)			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p. 16-17.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
備考	予習としてはシラバスを参考にテキストの該当部分に目を通しておくこと。余裕があれば単語の意味を調べておくこと。語学は積み重ねが大切なので一つ一つの事項をきちんと復習しておくこと。特に、発音に関してはテキスト付属の CD を用いて確認し、おろそかにしないこと。 オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名		フランス語(リテラシー)			LAL008	講義
担当教員		カディオンボ・アナスタシア				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標		1.基本の読み書きができる 2.初級文法を用いて基本的な会話をを行い、フランス語検定 5 級合格レベルに到達する				
学位 授与方 針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対する フィードバック		宿題を返却する。				
使用教材		「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				
1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音				
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく			1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでもくる			1.5 時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン				
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる			1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでもくる、宿題を出すのでやってくる			1.5 時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字				
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる			1.5 時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる			1.5 時間
4	講義内容	母音の発音				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる			1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる			1.5 時間
5	講義内容	子音の発音				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる			1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる			1.5 時間
6	講義内容	あいさつ表現				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる			1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる			1.5 時間
7	講義内容	依頼の表現				
	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる			1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる			1.5 時間
8	講義内容	Be 動詞(être)				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる			1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる			1.5 時間
9	講義内容	Have(avoir) 動詞				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる	1.5 時間
10	講義内容	第 1 群規則動詞(-er 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5 時間
11	講義内容	否定文		
	該当する到達目標	予習	第8～10回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5 時間
12	講義内容	時刻・年齢の表現		
	該当する到達目標	予習	第3回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5 時間
13	講義内容	第 2 群規則動詞(-ir 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語で書いてくる	1.5 時間
14	講義内容	形容詞①		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
15	講義内容	形容詞②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	第1～15回授業の復習をしてくる	1.5 時間
備考	毎回の復習を必ずしてくること。 コミュニケーションを目的にした授業のため、積極的に会話に参加してほしい。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)			LAL009	講義
担当教員	伊勢島 セリア明美				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目標とします。又、ブラジルの文化にも触れたいと思います。				
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.異文化理解				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	小テスト(50%)及びミニ会話の発表(50%)で100%評価。 総合評価60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。				
使用教材	教材プリントを配布します。				
1	講義内容	ガイダンス。アルファベット、挨拶、基本構文。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
	1, 2	復習	会話の発表に向けて、挨拶と自己紹介ができるようにする。		1.5 時間
2	講義内容	否定文、疑問文、動詞 ser、前置詞 de。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	疑問文の作り方と答えかたを確認する。		1.5 時間
3	講義内容	家族や親族の呼び方、所有形容詞。			
	該当する到達目標	予習	所有形容詞の単数形及び家族の呼び方を覚える。		1 時間
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業が言えるようにする。		1.5 時間
4	講義内容	形状を表す形容詞①、形容詞の変化。			
	該当する到達目標	予習	形容詞①を覚える。		1 時間
	1	復習	形容詞を使った文型を確認する。		1.5 時間
5	講義内容	数詞①、名詞の性と数、動詞 ter。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ter の活用形及び数詞(1～10)を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	年齢を表す表現を確認する。		1.5 時間
6	講義内容	比較の表現、形容詞②、定冠詞。			
	該当する到達目標	予習	形容詞②を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	日本とブラジルを比較する表現を確認する。		1.5 時間
7	講義内容	動詞 gostar、動詞 preferir			
	該当する到達目標	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	自分の好みを表現できるようにする。		1.5 時間
8	講義内容	不定冠詞、動詞 querer			
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形を覚える。		1 時間
	1, 2	復習	願望を表現できるようにする。		1.5 時間
9	講義内容	動詞 estar、前置詞 em			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	動詞 estar の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	存在を表す表現を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	動詞 ir、前置詞 a、前置詞 de		
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	行き先を伝える表現を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	数詞②、-ar 動詞		
	該当する到達目標	予習	-ar 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1	復習	時間を表現できるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	時の表現①、-er 動詞、前置詞 com		
	該当する到達目標	予習	-er 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	日課を伝える表現を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	曜日、-ir 動詞、前置詞 em		
	該当する到達目標	予習	曜日の言い方を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	曜日の言い方と使いかたを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	時の表現②、月の名前、規則動詞の完全過去形		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完全過去形の変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	過去の事柄を伝える表現を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	時の表現③、規則動詞の未来形。小テスト。		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未来形の変化を確認する。	1 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。 参考文献： ニューエクスプレス ブラジル ポルトガル語 香川正子著 白水社 初級 ブラジル ポルトガル語 深沢暁著 東洋書店 メッセージ： 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 第2又は第3外国語を話す楽しさを味わえて頂ければ嬉しく思います。			

科目名	中国語(リテラシー)			LAL010	講義
担当教員	渡邊 賢				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。				
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。				
課題に対する フィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。				
使用教材	教科書『大学一年生のための合格中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1	予習	シラバス内容、教科書第8頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。		1 時間
		復習	不要		0 時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ：ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ：複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ：鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。		0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。		1.5 時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。		0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。		1.5 時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。			
	該当する到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。		0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第6課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第10課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第11課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	机に向かって学習するには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。また習慣的学習を身に着けたい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。			

科目名	ハングル語(リテラシー)				LAL011	講義
担当教員	徐 明煥					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。					
到達目標	1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%					
課題に対する フィードバック	宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。					
使用教材	李淑炫(2011)『チェミナ韓国語―自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593					
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第1課:母音				
	該当する到達目標 1	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	第2課:子音(平音と有声音)				
	該当する到達目標 1	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	第2課:子音(激音と濃音)				
	該当する到達目標 1	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	第3課:パッチム、パッチム 7 つの代表音				
	該当する到達目標 1	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	第4課:二重母音、名前を書く、まとめ				
	該当する到達目標 1	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
6	講義内容	第5課:発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化				
	該当する到達目標 1	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
7	講義内容	第6課:主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I				
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。			1 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
8	講義内容	第7課:指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第8課:主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第9課:場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第10課:用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第10課:羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第6課～10課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第11課:指定詞(丁寧な表現Ⅱ)逆接を表す表現数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第11課:数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	数詞Ⅰと数詞Ⅱの使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	質問等がある場合は intgvseo21jp@gmail.com までに連絡すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。 毎回小テストを行う。必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	コンピュータ入門Ⅰ(リテラシー)			LAL012	講義
担当教員	片山 豪 木幡 直樹				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	保育所, 幼稚園, 小学校等の教育現場で効果的に校務を遂行するためのコンピュータの基本的な技術を習得する。そのために, インターネット, 電子メール, ワープロ, 表計算, プレゼンテーション等各種ソフトウェアの基本的な操作方法を身に付ける。				
到達目標	1.インターネットを用いて情報を検索できる。 2.電子メールを用いて, 情報のやり取りができる。 3.Word の基本的な操作ができる。 4.Picture Manager の基本的な操作ができる。 5. Excel の基本的な操作ができる。 6. Power Point の基本的な操作ができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	課題に対する提出物(ファイル)の内容 90%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 10%で評価する。				
課題に対する フィードバック	提出物(ファイル)の内容が, 求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し, その結果を学生に伝え, 必要に応じ, 再提出を求める。				
使用教材	30 時間でマスターoffice2010(実教出版)。自作資料。授業において紹介。				
1	講義内容	学内コンピュータの利用法, 電子メールの基本操作			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。今までのコンピュータの知識をまとめておく。		1.5 時間
	1,2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
2	講義内容	Windows の基本操作, インターネットの情報検索, 情報セキュリティ			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
3	講義内容	Word 文書作成の基本操作・文字列の入力			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
4	講義内容	Word 文書の作成(1) 基本的な文書の作成, 書式の設定			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
5	講義内容	Word 文書の作成(2) 文書の編集, 文書の印刷			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
6	講義内容	Office のフォトレタッチ機能			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間
	3,4	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
7	講義内容	Word 文書の作成(3) 表と図表の作成			
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	Word 課題, レポート作成		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。指示された写真を用意しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	Excel 基本操作(1) セルとワークシート		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	Excel 基本操作(2) 集計表の作成		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	授業外の時間も用いて, オリジナル作品を完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	Excel の関数		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	Excel の便利な機能(条件付き書式, 並び替え, フィルター)		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	PowerPoint プレゼンテーション作成の基本操作		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	PowerPoint 図形の描画		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	PowerPoint プレゼンテーション効果の活用, アニメーション		
	該当する到達目標	予習	教科書を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜日 1 限(片山), 前期水曜日 4 限, 後期水曜日 3 限(木幡) メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp(片山), kohata@takasaki-u.ac.jp(木幡) 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室(片山), 1 号館 6 階 02 研究室(木幡)			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）			LAL013	講義
担当教員	片山 豪 木幡 直樹				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	保育所，幼稚園，小学校等の教育現場で効果的に校務を遂行するためのコンピュータの実践的な技術を習得する。そのために，コンピュータ入門Ⅰで学んだインターネット，ワープロ，表計算ソフトの実践的な操作方を身につける。また，データベースソフトや教育論文作成に便利なソフト及び統計の基本的な操作方を身に付けさせる。				
到達目標	1.インターネットを用いて実践的な検索ができる。 2.Excel の実践的な利用ができる。 3.Word の実践的な利用ができる。 4.文献管理ソフト(Mendeley)の基本的な操作ができる。 5.インターネットを活用してアンケートのフォーム(Google Form)を作成できる。 6.Access の基本的な操作ができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	課題に対する提出物(ファイル)の内容 90%，授業への参加度，態度，積極性等 10%で評価する。				
課題に対する フィードバック	提出物(ファイル)の内容が，求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し，その結果を学生に伝え，必要に応じ，再提出を求める。				
使用教材	自作資料。授業において紹介。				
1	講義内容	HP の表の Excel での利用，小学校の時間割の作成(Internet Explorer, Excel)			
	該当する到達目標 1,2	予習	コンピュータ入門Ⅰで学んだ Internet Explorer,と Excel の使い方を確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
2	講義内容	中学校の時間割の作成(Internet Explorer, Excel)			
	該当する到達目標 1,2	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
3	講義内容	学級通信の作成(Word, Excel)			
	該当する到達目標 2,3	予習	コンピュータ入門Ⅰで学んだ Word と Excel の使い方を確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
4	講義内容	座席表の作成(Excel)			
	該当する到達目標 2	予習	コンピュータ入門Ⅰで学んだ Excel の使い方を確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
5	講義内容	保護者あて文書の作成(Word, Excel)			
	該当する到達目標 2,3	予習	コンピュータ入門Ⅰで学んだ Word と Excel の使い方を確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間
6	講義内容	タックシール印刷(Word, Excel)			
	該当する到達目標 2,3	予習	コンピュータ入門Ⅰで学んだ Word と Excel の使い方を確認しておく。		1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	差し込み印刷(Word, Excel)		
	該当する到達目標 2,3	予習	コンピュータ入門 I で学んだ Word と Excel の使い方を確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	教育論文の作成と文書校正(Word), 文献管理ソフトの基本操作(Mendeley)		
	該当する到達目標 3,4	予習	コンピュータ入門 I で学んだ Word の使い方を確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	統計処理・基礎統計量(Excel)		
	該当する到達目標 2	予習	コンピュータ入門 I で学んだ Excel の使い方を確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	統計処理・ヒストグラム・回帰(Excel)		
	該当する到達目標 2	予習	コンピュータ入門 I で学んだ Excel の使い方を確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	統計処理・検定(Excel)		
	該当する到達目標 2	予習	コンピュータ入門 I で学んだ Excel の使い方を確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	アンケート作成ソフトの基本操作(Form)		
	該当する到達目標 5	予習	Gmail を取得しておく。どのようなアンケートをしたいか考えておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	データベースソフトの利用 1: テーブルとクエリの作成(Access)		
	該当する到達目標 6	予習	見本となる Excel のサンプルファイルに目を通して内容の理解に努める。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる	1.5 時間
14	講義内容	データベースソフトの利用 2: フォームの作成(Access)		
	該当する到達目標 6	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	データベースソフトの利用 3: レポートの作成(Access)		
	該当する到達目標 6	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だったところを完成させる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜日 1 限(片山), 前期水曜日 4 限, 後期水曜日 3 限(木幡) メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp(片山), kohata@takasaki-u.ac.jp(木幡) 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室(片山), 1 号館 6 階 02 研究室(木幡)			

科目名	コンピュータ実習 I (リテラシー)			LAL014	演習
担当教員	片山 豪 木幡 直樹				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	保育所, 幼稚園, 小学校等の教育現場で効果的に校務を遂行するためのコンピュータの基本的な技術を習得することが目標である。本科目では, 特に教材作り等の能力の育成を念頭に, アニメーション, 画像, 動画等の各種ソフトウェアの基本的な操作方法を習得する。				
到達目標	1.Adobe Flash を用いて簡単なアニメーションを作成できる。 2.Adobe Photoshop Elements を用いて初歩的な画像の処理が行える。 3.Windows Movie Maker や Adobe Premiere を用いて初歩的な動画の編集が行える。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	課題に対する提出物(ファイル)の内容 90%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 10%で評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物(ファイル)の内容が, 求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し, その結果を学生に伝え, 必要に応じ, 再提出を求める。				
使用教材	自作資料。授業において紹介。				
1	講義内容	Adobe Flash① 基本操作			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
2	講義内容	Adobe Flash② 基本図形描画			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
3	講義内容	Adobe Flash③ 図形編集			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
4	講義内容	Adobe Flash④ キーフレームアニメーション			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
5	講義内容	Adobe Flash⑤ クラシクトゥイーンアニメーション			
	該当する到達目標	予習	オリジナル作品の作成に向け, 理科の教科書等を調べる。 前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
6	講義内容	Adobe Flash⑥ モーショントゥイーンアニメーション			
	該当する到達目標	予習	オリジナル作品の作成に向け, 各人が担当する理科分野の内容を決定する。 前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
7	講義内容	Adobe Flash⑦ 自由な動線に沿ったトゥイーン			
	該当する到達目標	予習	オリジナル作品に向け, 大まかな構想を絵コンテにする。 前回学んだ操作を再確認しておく。		1 時間
	1				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
8	講義内容	Adobe Flash⑧ シンボル内アニメとその活用		
	該当する到達目標 1	予習	オリジナル作品に向け、各自、時間外でアニメ作成を進めていく。 前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
9	講義内容	Adobe Flash⑨ 操作ボタンの設置 (ActionScript)		
	該当する到達目標 1	予習	オリジナル作品に向け、各自、時間外でアニメ作成を進めていく。 前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
10	講義内容	Adobe Flash⑩ オリジナル作品の作成		
	該当する到達目標 1	予習	オリジナル作品に向け、各自、時間外でアニメ作成を進めていく。	1 時間
		復習	授業外の時間も用いて、オリジナル作品を完成させる。	3 時間
11	講義内容	Adobe Photoshop Elements① 基本操作		
	該当する到達目標 2	予習	画像処理ソフトの機能について調べておく。	0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	Adobe Photoshop Elements② 画像のレタッチ・合成		
	該当する到達目標 2	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
13	講義内容	Windows Movie Maker① 基本操作		
	該当する到達目標 3	予習	動画編集ソフトの機能について調べておく。	0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	Windows Movie Maker② 動画の編集		
	該当する到達目標 3	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	Adobe Premiere 基本操作		
	該当する到達目標 3	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜日 1 限(片山), 前期水曜日 4 限, 後期水曜日 3 限(木幡) メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp(片山), kohata@takasaki-u.ac.jp(木幡) 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室(片山), 1 号館 6 階 02 研究室(木幡)			

科目名	コンピュータ実習Ⅱ(リテラシー)				LAL015	実習
担当教員	片山 豪 木幡 直樹					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	保育所、幼稚園、小学校等の教育現場で効果的に校務を遂行するためのコンピュータの基本的な技術を習得することが目標である。本科目では、特に成績処理等の能力の育成を念頭に、表計算ソフトの関数の実践的な使い方及びマクロ(VBA)の設定方法を習得する。					
到達目標	1.表計算ソフト Excel を用いて基本的な成績処理が行える。 2.Excel マクロや VBA プログラミングの初歩を理解し、簡単なマクロを作成できる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	課題に対する提出物(ファイル)の内容 90%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 10%で評価する。					
課題に対する フィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
使用教材	自作資料。授業において紹介。					
1	講義内容	考査(得点)の集計表(1) 表の概形の作成				
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
2	講義内容	考査(得点)の集計表(2) 男女別平均点(SumIF・CountIF・AverageIF 関数)				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
3	講義内容	考査(正解率)の集計表 得点別人数分布(CountIFs 関数)・セル(シート)の保護				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
4	講義内容	中間考査・学力テスト・期末考査を含む集計表への拡張(各種関数の再確認)				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
5	講義内容	評定値を含む表への拡張とテスト別に重み付けのある場合の合計点の出し方				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
6	講義内容	順位付けと評定基準に基づく評定値の決定(Rank・IF 関数)				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
7	講義内容	評定値の決定(Vlookup 関数による方法)と入力規則の利用				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間
8	講義内容	通年集計表の作成				
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	評価数と評価平均を含む表の作成		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
10	講義内容	条件に該当する者を見つけるためのチェック欄の作成と条件付き書式		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	該当者一覧用シートの作成 (Vlookup・Match・Index 関数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	内申点・標準偏差を含む表の作成		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
13	講義内容	マクロ(1) マクロ記録による操作の自動化		
	該当する到達目標	予習	見本となる Excel のサンプルファイルに目を通して内容の理解に努める。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	マクロ(2) VBA(Visual Basic for Applications)プログラミングの基礎		
	該当する到達目標	予習	見本となる Excel のサンプルファイルに目を通して内容の理解に努める。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	マクロ(3) VBA を用いた実用的マクロの作成		
	該当する到達目標	予習	実用的なマクロが組み込まれたサンプルファイルを事前に確認し、その動作やプログラムの理解に努める。	1 時間
	2	復習	授業外の時間を使って、実用的なマクロを完成させる。	2 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜日 1 限(片山), 前期水曜日 4 限, 後期水曜日 3 限(木幡) メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp(片山), kohata@takasaki-u.ac.jp(木幡) 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室(片山), 1 号館 6 階 02 研究室(木幡)			

科目名		レクリエーション論(専門教養)			LSE1	講義
担当教員		大家千枝子				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。				
到達目標		1.レクリエーション支援の目的と手段を理解している。 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることを理解している。 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であると理解している。 4.授業の性質やグループ内での個人の役割を理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集して意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning での回答を含む)。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		グループ・ワークでの活発な議論・活動への貢献度 30%、授業での課題 35%、レポート 35% (※ 履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)				
課題に対する フィードバック		自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning やコメントシートを使ってフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
使用教材		「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6				
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1.5 時間
			復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	テキスト第1章に目をとおす。		1.5 時間
			復習	レクリエーション支援の目的と方法について授業を振り返って、理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	テキスト第2章に目をとおす。		1.5 時間
			復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論 (楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	テキスト第2章に目をとおす。		1.5 時間
			復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
5	講義内容	レクリエーション支援の理論 (コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	テキスト第3章に目をとおす。		1.5 時間
			復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		1.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論 (良好な集団づくりの理論)				
	該当する到達目標	1,2,3,4,5	予習	テキスト第3章に目をとおす。		1.5 時間
			復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		1.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論 (自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その1）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その2）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレイキング・モデルの体験）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレイキングのプログラムを体験する）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法（ハードル設定の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法（アレンジ方法の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートに読み直し、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	レクリエーション支援の方法（CSS プロセスの習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
15	講義内容	安全管理の方法		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートに読み直し、復習する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー…火曜日 12:00～14:30、1 号館(健康福祉学部)、3F302 研究室、3Fエレベータ前ポスト有。 受講上の注意…①積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい(※整っていない場合は大学 PC 室などを利用してください)。②「レクリエーション・インストラクター」(公益財団法人日本レクリエーション協会)の資格取得を希望する者は本科目の履修が必要になる。			

科目名	子どもと医療(専門教養)				LSE2	講義
担当教員	田島 貞子					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	子どもは、発熱やけいれん、けがなど突発的な症状を起こすことが多いので、子どもの特性を学ぶ。また、入院中の子どもやその家族への支援方法、疾病を持ちながら保育・教育生活を送っている子ども達が、より快適に過ごすことができるための方策を考えると共に、「命」について、「健康」について考える。					
到達目標	1.子どもに多い疾患とその対応について、基礎的な知識を得る。 2.医療を必要とする子どもやその家族の気持ちを理解し、支援方法を考えることができる。 3.「命」の大切さを考えることができる。 4.統計資料から現在の日本の子ども達の健康状態を読みとることができる。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	子どもの病気や命についての書籍の抜粋を読み、自分の考えをまとめたレポート(6編程度)と、県立小児医療センター及び県立赤城特別支援学校小児医療センター校見学後のレポート 80%、授業参加度・学習態度 20%で評価する。					
課題に対するフィードバック	レポートには、コメントをつけて返却する。医学用語が多いため、積極的に質問を促し、その都度回答するように努める。					
使用教材	その都度配布する。					
1	講義内容	ガイダンス及び健康診断で行った抗体価とワクチン接種について				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標及び健康診断結果を確認する。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容、到達目標、成績評価方法等を確認すると共に、予防接種について確認する。			1.5 時間
2	講義内容	『今、伝えたい「いのちの言葉」』細谷亮太著から抜粋した資料を読み、感想をレポートにまとめる。				
	該当する到達目標	予習	「命」について考える。			1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み返し、療養中の子どもたちの気持ちを考える。			1.5 時間
3	講義内容	絵本「チャーリー:ブラウンなぜなんだい?」チャールズ・M・シュルツ作 細谷亮太訳 岩崎書店 「わすれられないおくりもの」スーザン・バーレイさく・え 小川仁央やく 評論社を読み、感想をレポートにまとめる。				
	該当する到達目標	予習	子どもの病気や入院についての書籍に目を通す。			1.5 時間
	1,2,3	復習	絵本について、どのように活用できるか考える。			1.5 時間
4	講義内容	健康について、病院の仕組み、用語の解説、病児・病後児保育について				
	該当する到達目標	予習	健康について考えると共に、病気になった時の状況を考える。			1.5 時間
	1,2,4	復習	配布資料を読み直し、再度健康について、受診について理解を深める。			1.5 時間
5	講義内容	子どもに多い疾患について				
	該当する到達目標	予習	自分自身が罹った病気について思い出す。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	配布資料を読み直し、理解を深める。			1.5 時間
6	講義内容	子どもに多い疾患への対応				
	該当する到達目標	予習	前回の配布資料に目を通し、自分自身が罹った時の気持ちとその時の親の気			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4		持ちを考える。	
		復習	配布資料を読み直し、理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	我が国における保健水準		
	該当する到達目標	予習	我が国の保健水準についてのニュースに触れる。	1.5 時間
	1,4	復習	配布資料を読み直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	県立小児医療センター及び県立赤城特別支援学校小児医療センター校の見学について 1. 事前学習		
	該当する到達目標	予習	県立小児医療センター及び小児医療センター校についての情報に触れる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料を読み直し、見学についての理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	県立小児医療センターの見学		
	該当する到達目標	予習	子どもを対象とした病院についての情報に触れる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	担当者からの説明及び院内見学で得た知識をまとめる。	1.5 時間
10	講義内容	県立赤城特別支援学校小児医療センター校の見学		
	該当する到達目標	予習	病弱児を対象とした特別支援学校についての情報に触れる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	担当者からの説明及び学校見学後に得た知識をまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	県立小児医療センター及び県立赤城特別支援学校小児医療センター校の見学について 2. 事後学習(レポート作成)		
	該当する到達目標	予習	これまで持っていた病院や特別支援学校についてのイメージと、見学によるイメージについて考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	入院している子ども達や保護者の気持ちを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	県立小児医療センターに於ける病棟保育士の役割		
	該当する到達目標	予習	県立小児医療センター見学について振り返る。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容と配布資料により、子どもに寄り添う保育者について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	チーム医療としての役割		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料や講義内容を読み直す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	チーム医療における保育者の役割について理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	『「仲間と」がんと向きあう子どもたち 岩崎書店』『種まく子どもたち 小児ガンを体験した 7 人の物語』佐藤律子編 ポプラ社』から抜粋した資料を読み、レポートを作成する。		
	該当する到達目標	予習	子どもの闘病記に触れる	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料を読み直し、子どもや保護者の気持ちを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料を読み直す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	将来、保育者、教育者になった時、「命の大切さ」について理解を深めると共に、何らかの疾病を持ちながら保育や教育を受けている子ども達と保護者の気持ちとその対応について理解を深める。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 金曜日 8 号館 4 階 408 研究室 メールアドレス: tajima@takasaki-u.ac.jp ・県立小児医療センター等見学及び病棟保育士講義については、日程を変更することがある。また、インフルエンザ等感染症が流行した場合には、中止することがある。 ・予防接種の必要な学生は、授業開始前までに必ず済ませておくこと。 ・県立小児医療センター等の見学日程は、12 月初～中旬を予定しているため、インフルエンザの予防接種を必ず受けておくこと。			

科目名		宗教と倫理(専門教養)			LSE3	講義
担当教員		出雲 春明				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。				
到達目標		1.講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2.そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加と小レポート(30%)、期末レポート(70%)から評価する。				
課題に対するフィードバック		毎回、授業終了時に意見や質問などを提出してもらう(小レポート)。質問に関しては次回授業時に解説の時間を設ける。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。				
使用教材		講義中に資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。			1 時間
	1	復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。			1.5 時間
2	講義内容	『聖書』の思想:一神教の系譜				
	該当する到達目標	予習	一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)それぞれの関係について調べておく。			1 時間
	1, 2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。			1.5 時間
3	講義内容	善人とは何か—『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。			1 時間
	1, 2	復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。			1.5 時間
4	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(2)生誕の災い				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。			1 時間
	1, 2	復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(3)自己の在り方を省みる				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。			1 時間
	1, 2	復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える				
	該当する到達目標	予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。			1 時間
	1, 2	復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的的事件を通じて理解する。			1.5 時間
7	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。			1 時間
	1, 2	復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。			1.5 時間
8	講義内容	旧約から新約へ:イエスの教え				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。			1 時間
	1, 2	復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。			1.5 時間
9	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について				
	該当する到達目標	予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2) 罪の意識		
	該当する到達目標	予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1 時間
	1	復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3) 浄土思想の展開(1)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4) 浄土思想の展開(2)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の生涯について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」		
	該当する到達目標	予習	これまでの議論について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6) 悪の不可避免性とそれゆえの無力		
	該当する到達目標	予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括—東西の宗教		
	該当する到達目標	予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。シラバスを参考にして、講義中に取り扱う書物や人物についてあらかじめ調べておくことが望ましい。また、配付された資料を読むなど復習は必ず行うこと。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段、どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 参考図書: 関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。 オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名		人間発達論(専門教養科目)			LSE4	講義
担当教員		板津 裕己				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		心身や社会性などの発達過程に興味や関心を持ち、将来保育者や教師を目指す4年間の学習の基盤をつくる。				
到達目標		1.人の発達過程を理解できるようになる。 2.人の発達過程が、自分を取りまく人たちとの共同作業で進められていることが理解できるようになる。 3.自分自身の現在や近未来の発達に関わる諸問題について考える機会を持つ。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		評価は、個人ワーク課題の提出状況(20 点)、小テスト(20 点)、課題レポート(10 点)および期末試験(50 点)を総合して行う。				
課題に対する フィードバック		小テストは、採点後に返却をする。 課題レポートは、コメントを付けた後に返却する。				
使用教材		テキストは使用しない。授業進行に従いプリントや予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 高橋恵子・波多野誼余夫(著) 生涯発達の心理学 岩波新書 1990 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005 上里一郎(監修) 臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典 至文堂 2002				
1	講義内容	オリエンテーション 生涯発達を学ぶ理由				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	心身の発達過程を学ぶ理由について自分なりの考えをまとめておく。			1.5 時間
		復習	生涯発達を学ぶ理由について復習をしておく。			1.5 時間
2	講義内容	発達の原理と発達を規定する要因、発達観の変遷				
	該当する到達目標 1,2	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	発達の原理と発達を規定する要因、発達観の変遷について復習をしておく。			1.5 時間
3	講義内容	人間理解の方法				
	該当する到達目標 1,2	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	人の特徴や人間行動を理解する方法について復習をしておく。			1.5 時間
4	講義内容	発達課題				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	健やかに心身が成長・発達のために「壁」「挫折経験」の有益さを考える。			1.5 時間
5	講義内容	発達危機経験と人間の成長や発達				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	発達危機経験の大切さについて考える。			1.5 時間
6	講義内容	胎児期と乳児期				
	該当する到達目標 1,2	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	本時の学習内容を復習しておく。乳児像をイメージ化する。小テスト準備を行う。			1.5 時間
7	講義内容	幼児期、第 1 回から第 6 回までの学習内容について的小テスト				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	本時の学習内容を復習しておく。幼児像をイメージ化する。	1.5 時間
8	講義内容	児童期		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	本時の学習内容を復習しておく。児童像をイメージ化する。	1.5 時間
9	講義内容	青年期		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容を復習しておく。自分自身について考える。	1.5 時間
10	講義内容	成人期・中年期		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容を復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容	老年期		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	本時の学習内容を復習しておく。小テスト準備を行う。	1.5 時間
12	講義内容	家族や地域社会と発達、第 7 回から第 11 回までの学習内容についての小テスト老年期		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもの育ちを支える人たちについて考える。小テスト準備を行う。	1.5 時間
13	講義内容	知的能力、		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	知的能力の意味、働きやその発達過程について復習をしておく。	1.5 時間
14	講義内容	発達過程と学校教育		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	発達過程と学校教育の関連性について復習をしておく。	1.5 時間
15	講義内容	大人になるということ		
	該当する到達目標	予習	前週に本授業内容の課題プリントを配布し、事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	全 15 回分の学習内容を復習しておく。自分自身の現在と近未来の姿を考える。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 予習課題は授業開始時に提出をする。 予習課題や小テストの他に課題レポートを課す。			

科目名		人間行動学(専門教養)			LSE5	講義
担当教員		富田 純喜				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		人間は社会的な存在であり、日常場面では、様々なモノや情報とかかわりながら生活している。それでは、何が人間の行動を導いたり制約したりするのだろうか。本講義では、心理学、認知科学を中心に、社会調査などとの関連も加え、人間の行動について学ぶ。				
到達目標		1.人間の行動と情報との関係について説明できる。 2.人間の行動と心理について説明できる。 3.人間の行動とモノとの関係について説明できる。 4.現代社会で生じている人間の行動に関する諸問題との関連について考察できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(70%)、課題(20%)、授業参画度(10%)				
課題に対する フィードバック		課題については、その都度、授業時間内に解説をする。 定期試験については、試験終了後、出題意図を掲示によって示す。				
使用教材		必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	人間の行動を導くもの				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	心理学、認知科学、社会調査、それぞれの意味を調べる。			1 時間
		復習	人間の行動を分析対象とする学問分野および方法論について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	世論と統計				
	該当する到達目標 1,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	世論と統計の特徴と人間の行動との関連について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	社会調査				
	該当する到達目標 1,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	社会調査の種類および方法、結果との向き合い方を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	因果と相関				
	該当する到達目標 1,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	因果関係と相関関係の違いについて理解する。			1.5 時間
5	講義内容	情報の妥当性と信頼性				
	該当する到達目標 1,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	妥当であり信頼できる情報を見分ける視点について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	データの誤解釈				
	該当する到達目標 2,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	データを誤って解釈してしまう心理について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	データ解釈の歪み				
	該当する到達目標 2,4	予習	授業で検討する課題をこなす。			1 時間
		復習	データの妥当性とデータがもたらす問題について理解する。			1.5 時間
8	講義内容	伝聞情報				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	2,4	復習	伝聞(情報)の特徴と直面するパラドクスについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	信念と社会的承認		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	2,4	復習	信念の形成過程と人々に共有される際の傾向について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	誤信の実例		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	2,4	復習	実例を通して、信じ込みやすい人間の心理について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	道具のデザイン		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	3,4	復習	道具のデザインが人間の行動に与える影響について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	知識の所在		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	3,4	復習	知識の所在およびその曖昧さについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容	プランと状況的行為		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	3,4	復習	プランが行動に与える影響および状況的行為について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	日常生活におけるエラー		
	該当する到達目標	予習	授業で検討する課題をこなす。	1 時間
	3,4	復習	エラーの型と特徴について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	14 回までの講義内容を振り返る。	2 時間
	1,2,3,4	復習	本講義で学習した内容と日常生活との関連について理解する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 火曜 2 限、水曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス: tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		音楽基礎Ⅰ（幼・保）（専門教養科目）			LSE6	演習
担当教員		岡本 弘子				
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標		保育士、幼稚園教諭および小学校教諭に必要な、音楽に関する基礎知識と実践的な演奏技術を習得する。 具体的には、音楽の基礎理論と技術、読譜力、ソルフェージュ力、及びピアノ等の楽器の基礎的な演奏技術や弾き歌い技術の習得をめざす。				
到達目標		1. 音符、リズムと拍、音階、調号、和声等、音楽に関する基礎知識について理解する。 2. 保育所、幼稚園、および小学校（主として低学年）で学ぶ歌唱教材の伴奏の演奏技法を習得する。 3. 伴奏しながら歌う弾き歌いの演奏技法を習得する。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）			
			自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験において、筆記試験 30％、実技試験 30％、毎回の授業課題 40％を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		毎回小テストを実施し、自己採点時に解説する。 毎回実技発表を行い、個々の課題について説明する。				
使用教材		井戸和秀編「こどものうた 100」チャイルド社 石川良子著「はじめての楽譜の読み方」ケイ・エム・ピー				
1	講義内容	オリエンテーション 音楽基礎知識に関する課題、実技発表				
	該当する到達目標 1, 2	予習	シラバスをよく読み、講義目標、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解しておく。			1 時間
		復習	音楽基礎知識や実技発表に関する自己課題を明確にしておく。			1.5 時間
2	講義内容	楽譜の基本① 高音部譜表、音名				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 1 章「五線譜」、第 2 章「音部記号」を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	歌唱教材の伴奏技法① 「春がきた」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「春がきた」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
4	講義内容	楽譜の基本② 音符と休符				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 3 章「音符と休符」を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
5	講義内容	歌唱教材の伴奏技法② 「かたつむり」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「かたつむり」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
6	講義内容	楽譜の基本③ 拍子とリズム				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 4 章「拍子とリズム」を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
7	講義内容	歌唱教材の伴奏技法③ 「うみ」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「うみ」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
8	講義内容	楽譜の基本④ 音階と調号				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1	予習	教科書第 6 章「音階と調号」を読んでおく。	1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。	1.5 時間
9	講義内容		歌唱教材の伴奏技法④「めだかのがっこう」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「めだかのがっこう」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容		歌唱教材の伴奏技法⑤「ゆうやけこやけ」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「ゆうやけこやけ」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容		歌唱教材の伴奏技法⑥「やまのおんがくか」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「やまのおんがくか」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法①「春がきた」,「かたつむり」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
13	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法②「うみ」,「めだかのがっこう」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法③「ゆうやけこやけ」,「やまのおんがくか」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容		音楽の基礎知識をいかして、歌唱教材の弾き歌いをする。	
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	すべての課題曲を練習しておく。	1 時間
		復習	歌唱教材の弾き歌い、伴奏において基礎知識がどのようにいかされるのか理解を深めておく。	1.5 時間
備考	選択科目ではあるが、音楽の基礎知識に不安のある学生、音楽初学者は履修することが望ましい。 オフィスアワーは火曜 3 限、水曜 3 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は、メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名		音楽基礎 I (小学校)(専門教養)			LSE7	演習
担当教員		吉田 恵子				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		小学校の音楽指導に必要な基礎的知識及び技能を習得する。				
到達目標		1.音楽の基礎的知識について理解できる。 2.合唱の楽しさを味わうことができる。 3.ピアノ初心者はピアノの基礎的な演奏技術を習得し、読譜による演奏ができる。 中級者は弾き歌いの基礎を理解し、演奏ができる。 上級者は、弾き歌いの基礎、及び、伴奏法の理論を理解し、演奏ができる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		実技発表及び検定 50%、筆記試験 20% 毎回の授業課題 30%を総合する。				
課題に対する フィードバック		実技検定、実技発表はコメント・評価をする。筆記試験は、回答を返却する。				
使用教材		① バイエル著 『標準バイエルピアノ教則本』、全音楽譜出版社 ②群馬県音楽教育研究会編 『歌集風の子』、教育芸術社 ③その他、歌唱教材楽譜、楽典等、資料を配布				
1	講義内容	1)オリエンテーション 2)鍵盤楽器の構造、歴史 3)楽譜の知識①高音部譜表、音名、音符と休符 4)奏法の基礎①運指				
	該当する到達目標	予習	音符と休符について予習する。テキスト①p.5			1 時間
	1	復習	音名と鍵盤の位置を覚える。課題曲の練習をする。			3 時間
2	講義内容	ピアノ演奏:電子ピアノの機能と奏法 、 音楽理論: 楽譜の知識②低音部譜表、拍子、音の長さ				
	該当する到達目標	予習	低音部譜表について、事前学習しておく。			1 時間
	1,3	復習	拍子について理解する。課題曲の練習をする。			3 時間
3	講義内容	ピアノ演奏:コード譜の読み方と演奏法 、 音楽理論: 音階 、調号				
	該当する到達目標	予習	コードについて事前学習しておく。			1 時間
	1,3	復習	音階 、調号について理解する。検定課題曲の練習をする。			3 時間
4	講義内容	ピアノ演奏: 音楽理論:長調と短調、マイナーとメジャーコード 第 1 回検定				
	該当する到達目標	予習	マイナーとメジャーコードについて事前学習しておく。			1 時間
	1,3	復習	長調と短調、マイナーとメジャーコーについて理解する。課題曲の練習をする。			3 時間
5	講義内容	ピアノ演奏: 音楽理論:全音と半音 全音音階と半音階				
	該当する到達目標	予習	全音と半音について事前学習しておく。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,3	復習	楽典配布資料を復習する。課題曲の練習をする。	3 時間
6	講義内容	ピアノ演奏:カデンツ 音楽理論:カデンツの機能		
	該当する到達目標	予習	ハ長調のカデンツを弾けるようにしておく。	1 時間
	1,3	復習	ハ長調、ト長調、ヘ長調のカデンツを暗譜で弾けるようにする。課題曲の練習をする。	3 時間
7	講義内容	ピアノ演奏 音楽理論:カデンツからみる子どもの歌		
	該当する到達目標	予習	ハ長調の子どもの歌のコード進行を調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	第 2 回検定に向けて課題曲の練習をする。	3 時間
8	講義内容	弾き歌い①前奏、間奏 第 2 回検定		
	該当する到達目標	予習	どのような前奏のパターンがあるか、歌唱教材から調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	これまでの課題曲に前奏をつけて演奏する。	3 時間
9	講義内容	弾き歌い②ベースとメロディ唱		
	該当する到達目標	予習	課題曲の歌詞を暗譜して歌う。左手でベースが弾けるようにしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ベースの付け方とメロディ唱の復習・練習をする。	3 時間
10	講義内容	弾き歌い③コード伴奏とメロディ唱		
	該当する到達目標	予習	課題曲の歌詞を暗譜して歌う。コードを両手で弾けるようにする。	1 時間
	1,2,3	復習	コード伴奏とメロディ唱の復習をする。	3 時間
11	講義内容	弾き歌い④ベースとメロディ奏、メロディ唱		
	該当する到達目標	予習	課題曲の歌詞を暗譜して歌う。	1 時間
	1,2,3	復習	ベースとメロディ奏、メロディ唱の復習をする。	3 時間
12	講義内容	弾き歌い⑤アルペジオ、第 3 回検定		
	該当する到達目標	予習	コードの基本形をピアノで弾けるようにしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	アルペジオ奏法の復習と練習をする。	3 時間
13	講義内容	いろいろな記譜法（含日本の伝統音楽）		
	該当する到達目標	予習	能楽の記譜法について調べておく。	1 時間
	1	復習	伝統音楽の記譜法について、その特徴をまとめる。	3 時間
14	講義内容	音によるコミュニケーション：アンサンブル		
	該当する到達目標	予習	自分のパート練習。	2 時間
	1,2,3	復習	発表に向けてアンサンブル練習をする。	2 時間
15	講義内容	聴き手に伝える表現:実技発表と相互評価		
	該当する到達目標	予習	実技発表曲の練習をする。	3 時間
	1,2,3	復習	実技発表を振り返り、復習をする。	1 時間
備考	オフィスアワー:月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 503 研究室 履修に関して: 当該科目の未履修者は、2 年後期「音楽」(必修)の履修にあたり、当該科目内容相当の実技・筆記試験を受験し、合格することを条件とします。 課 題 : ピアノは、初級者、中級者、上級者に応じて毎時課題を出します。 楽典はインターネット上の予習復習課題により、一人ひとりのペースに合わせて学習します。			

	ルール : ピアノ課題は、毎回予習復習をして授業に臨んでください。 欠席をした場合は、レッスン補習を受け、次回の課題を把握して、次の授業に臨んでください。 学習に関して: 1)ピアノが初めての人も、楽譜の読めない人も、日々の練習によって弾き歌いが出来るようになります。課題意識をもって積極的に臨んでください。 2)テキストの他に使用する資料は、授業内で配布・紹介します。

科目名		音楽基礎Ⅱ（幼・保）（専門教養科目）			LSE8	演習
担当教員		岡本 弘子				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		音楽基礎Ⅰに引き続き、保育士、幼稚園教諭および小学校教諭に必要な、音楽に関する基礎知識と実践的な演奏技術を習得する。具体的には、音楽の基礎理論と技術、読譜力、ソルフェージュ力、及びピアノ等の楽器の基礎的な演奏技術や弾き歌い技術の習得をめざす。				
到達目標		1. 音程、音階、調号、和声・コード、および音楽記号と用語等、音楽に関する基礎知識について理解する。 2. 保育所、幼稚園、および小学校（主として低学年）で学ぶ歌唱教材の伴奏の演奏技法を習得する。 3. 伴奏しながら歌う弾き歌いの演奏技法を習得する。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		定期試験において、筆記試験 30％、実技試験 30％、毎回の授業課題 40％を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		毎回小テストを実施し、自己採点時に解説する。 毎回実技発表を行い、個々の課題について説明する。				
使用教材		井戸和秀編「こどものうた 100」チャイルド社 石川良子著「はじめての楽譜の読み方」ケイ・エム・ピー				
1	講義内容	オリエンテーション 音楽基礎知識に関する課題、実技発表				
	該当する到達目標 1, 2	予習	シラバスをよく読み、講義目標、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解しておく。			1 時間
		復習	音楽基礎知識や実技発表に関する自己課題を明確にしておく。			1.5 時間
2	講義内容	楽譜の基本① 音階と調号				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 6 章「音階と調号」を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	歌唱教材の伴奏技法①「あさのうた」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「あさのうた」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
4	講義内容	楽譜の基本② 音程				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 5 章「音程」を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
5	講義内容	歌唱教材の伴奏技法②「おべんとう」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「おべんとう」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
6	講義内容	楽譜の基本③ 和声・コード				
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 7 章「和声」および巻末のコード表を読んでおく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
7	講義内容	歌唱教材の伴奏技法③「あめふりくまのこ」を教材として				
	該当する到達目標 2	予習	「あめふりくまのこ」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
8	講義内容	楽譜の基本④ 音楽記号と用語				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1	予習	教科書第 9 章「音楽記号と用語」を読んでおく。	1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。	1.5 時間
9	講義内容		歌唱教材の伴奏技法④「とけいのうた」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「とけいのうた」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容		歌唱教材の伴奏技法⑤「とんぼのめがね」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「とんぼのめがね」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容		歌唱教材の伴奏技法⑥「虫の声」を教材として	
	該当する到達目標 2	予習	「虫の声」の楽譜を読み、右手、左手それぞれ練習しておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法①「あさのうた」、「おべんとう」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
13	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法②「あめふりくまのこ」、「とけいのうた」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容		歌唱教材の弾き歌い技法③「とんぼのめがね」、「虫の声」を教材として	
	該当する到達目標 2, 3	予習	課題を歌いながら弾く練習をしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容		音楽の基礎知識をいかして、歌唱教材の弾き歌いをする。	
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	すべての課題曲を練習しておく。	1 時間
		復習	歌唱教材の弾き歌い、伴奏において基礎知識がどのようにいかされるのか理解を深めておく。	1.5 時間
備考	選択科目ではあるが、音楽の基礎知識に不安のある学生、音楽初学者は履修することが望ましい。 オフィスアワーは火曜 3 限、水曜 3 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は、メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名	音楽基礎Ⅱ(小学校)(専門教養)				LSE9	演習
担当教員	吉田 恵子					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	「音楽基礎Ⅰ(小学校)」に引き続き、さらに小学校の音楽指導に必要な知識及び技能を習得する。合唱、ピアノに加えて、リコーダー並びに鍵盤ハーモニカの演奏・指導技術を習得する。小学校音楽鑑賞教材の理解をする。					
到達目標	1.輪唱・合唱の楽しさを味わうことができる。 2.ピアノ中級者は、習得した伴奏法を小学校教材の伴奏に応用できる。コード進行を理解し、メロディを見て伴奏ができる。 上級者は、子どもの歌いやすい音域に移調して弾ける。様々な伴奏法でアレンジができる。 3.リコーダーや鍵盤ハーモニカの特性を理解し、音の美しさを生かしたアンサンブルができる。 4.小学校鑑賞教材の理解を深めることができる。 5.小学校高学年の楽典指導内容を理解できる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	実技発表及び検定 50%、筆記試験 20% 毎回の授業課題 30%を総合する。					
課題に対するフィードバック	毎時の実技課題はその都度コメントする。					
使用教材	「音楽基礎Ⅰ」のテキストを引き続き使用する。(『バイエル』全音楽譜出版社、群馬県音楽教育研究会編『歌集 風の子』教育技術社) 他、資料を配布する。					
	講義内容	オリエンテーション、低学年の音楽活動 「ラデツキー行進曲」、弾き歌い、				
1	該当する到達目標	予習	低学年の音楽活動について、1 年生の教科書から、その目的を理解する。			1 時間
	1,2,3	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間
	講義内容	低学年の音楽活動「シンコペティドクロック」、弾き歌い、鍵盤ハーモニカの特性と曲				
2	該当する到達目標	予習	鍵盤ハーモニカの特色を調べる。			1 時間
	2,3,4	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間
	講義内容	リコーダーの鑑賞曲 、弾き歌い、				
3	該当する到達目標	予習	リコーダーの鑑賞曲について調べる。			1 時間
	2,3,4	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間
	講義内容	音の色:管楽器の鑑賞曲 第 1 回検定				
4	該当する到達目標	予習	管楽器の鑑賞曲について調べる。			1 時間
	2,4,5	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間
	講義内容	旋律の重なり				
5	該当する到達目標	予習	旋律の重なりの教材について、音楽教科書から調べる			1 時間
	1,2,4	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間
	講義内容	二重唱				
6	該当する到達目標	予習	二重唱について、音楽教科書掲載曲から調べる、			1 時間
	1,2,4	復習	各自の実技課題の復習をする。			3 時間

7	講義内容	弦楽器の響き		
	該当する到達目標 2,4	予習	弦楽器の響きの特色や弦楽器の曲について調べる。	1 時間
		復習	ラテン音楽の課題の練習及び各自の実技課題の復習をする。	3 時間
8	講義内容	ラテン音楽と打楽器 第 2 回検定		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	ラテン音楽の打楽器について奏法を調べる	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
9	講義内容	物語と音楽		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	物語と音楽について、音楽教科書掲載曲から調べる。	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
10	講義内容	オーケストラの響き		
	該当する到達目標 2,4	予習	オーケストラの編成及び曲について調べる。	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
11	講義内容	合唱曲		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書掲載の合唱曲について調べる。	1 時間
		復習	能の課題の練習、及び、各自の実技課題の復習をする。	3 時間
12	講義内容	日本の伝統音楽		
	該当する到達目標 4,5	予習	能の発声について調べる。	1 時間
		復習	第 3 回検定の実技練習をする。	3 時間
13	講義内容	自然と音楽 第 3 回検定		
	該当する到達目標 2,4	予習	サウンドスケープについて調べる。	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
14	講義内容	音を創る		
	該当する到達目標 1,2,5	予習	低学年・中学年・高学年の音づくりの特色を調べる。	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
15	講義内容	実技発表と相互評価		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	実技発表に向けての練習をする。	1 時間
		復習	各自の実技課題の復習をする。	3 時間
備考	オフィスアワー: 月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 503 研究室 履修に関して: 当該科目の未履修者は、2 年後期「音楽」(必修)の履修にあたり、当該科目内容相当の実技・筆記試験を受験し、合格することを条件とします。 課 題 : ピアノは、初級者、中級者、上級者に応じて毎時課題を出します。 楽典はインターネット上の予習復習課題により、一人ひとりのペースに合わせて学習します。 ルール : ピアノ課題は、毎回予習復習をして授業に臨んでください。 欠席をした場合は、レッスン補習を受け、次回の課題を把握して、次の授業に臨んでください。 学習に関して: 1) 日々の練習によって弾き歌いが出来るようになります。課題意識をもって積極的に臨んでください。 2) テキストの他、資料は、授業内で配布・紹介します。 3) ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカを準備してください。			

科目名	現代教育論Ⅰ（幼・保）（専門教養）			LSE10	演習
担当教員	保育・教育コース教員				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幼児教育や保育活動に関連した専門的な知識や技術は、新しい知識や技術が要求されるため保育者は、関連領域の知見を随時取り入れ、幼児教育や保育の専門知識や技術を結び付けた活動をめざす。幼児教育、保育や社会福祉の視点から、今日の保育・教育を取り巻く諸問題解決にむけた知識を習得する。				
到達目標	1. 幼児の発達と教育や保育に関連した専門的知識や技術を習得できる 2. 障害の知識や支援方法と各関連領域の観点を取り入れ、支援することができる 3. 家庭や家族にむけた専門知識や支援方法を理解し活動することができる 4. 幼児教育、保育の視点から、地域社会を含む保育・教育問題解決にむけた知識を習得できる 5. 生活環境と保育・教育の必要性について説明することができる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 豊かな人間性と倫理観			
	✓	2. 専門知識・技術の活用力			
	✓	3. 論理的思考力			
	✓	4. チームへの貢献力			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	各担当教員 5 名で 20 点配分として総合 100 点とする。				
課題に対する フィードバック	感想シートへのコメント 定期試験課題についての意図を提示する				
使用教材	担当教員による講義スライド等プリントして配付する				
1	講義内容	子ども理解と教育活動（富田）			
	該当する到達目標	予習	これまで受講した授業を振り返り、「子ども理解」について予習する。		0.5 時間
	1,5	復習	講義・ディスカッションの内容を踏まえ、自らの考えを整理する。		0.5 時間
2	講義内容	保育・教育活動と安全への配慮(富田)			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。		0.5 時間
	1,5	復習	講義・ディスカッションの内容を踏まえ、自らの考えを整理する。		0.5 時間
3	講義内容	生涯学習社会における教育(富田)			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。		0.5 時間
	1,4,5	復習	講義・ディスカッションの内容を踏まえ、自らの考えを整理する。		0.5 時間
4	講義内容	子どもの権利と教育(千葉)			
	該当する到達目標	予習	子どもの権利と教育の関連性について配布した資料を読み予習する		0.5 時間
	1.3.5.	復習	子どもの権利と教育の関連性で得られた知識を復習する		0.5 時間
5	講義内容	家族と教育(千葉)			
	該当する到達目標	予習	家族と教育の必要性について配布した資料を読み予習する		0.5 時間
	1.3.5.	復習	子どもの育つ環境を含め家族と教育の必要性について得られた知識を復習する		0.5 時間
6	講義内容	子育て支援と養育の問題(千葉)			
	該当する到達目標	予習	子育て支援と養育問題の事例について配布した資料を読み予習する		0.5 時間
	1.3.5.	復習	子育て支援と養育問題を併せて理解し、得られた知識を復習する		0.5 時間
7	講義内容	心身の発達過程と教育制度(板津)			
	該当する到達目標	予習	前週に本授業での学習課題プリントを配布し、事前に予習する。		0.5 時間
	1,5	復習	学習内容を復習しておく。		0.5 時間
8	講義内容	子どもと学び(板津)			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,5	予習	前週に本授業での学習課題プリントを配布し、事前に予習する。	0.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。	0.5 時間
9	講義内容 該当する到達目標 1,5	教育者や保育者の資質の問題(板津)		
		予習	前週に本授業での学習課題プリントを配布し、事前に予習する。	0.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。	0.5 時間
10	講義内容 該当する到達目標 2,3,4	社会的養護を必要とする子どもたちと教育の問題(野田)		
		予習	厚生労働省 HP 社会的養護の課題と将来像の実現に向けて p.1-7, 58 をダウンロードし目を通し予習する。	0.5 時間
		復習	要保護児童の学習上の課題を家庭・地域・学校における内外環境の視点から理解する。	0.5 時間
11	講義内容 該当する到達目標 2,3,4	特別な支援を必要とする子どもたちと教育の問題(野田)		
		予習	文部科学省 HP 特別支援教育＞13.卒業者の進路 統計調査結果について目を通し予習する。	0.5 時間
		復習	特別支援学校卒業者の進路の実態について概要を把握し、職業教育の方法と課題を理解する。	0.5 時間
12	講義内容 該当する到達目標 2,3,4	知的発達に遅れのある子ども達と教育問題(野田)		
		予習	文部科学省 HP 特別支援教育に関する調査結果について目を通し予習する。	0.5 時間
		復習	福祉的就労に向けた特別支援教育上の課題を理解する。	0.5 時間
13	講義内容 該当する到達目標 4.5.	生活環境と教育の問題1ー子どもを取り巻く地域社会の問題ー(今井邦枝)		
		予習	自分が関心をもった地域社会の問題を調べ予習する。	0.5 時間
		復習	地域社会の現状を整理し、問題に対する自分の意見をまとめる。	0.5 時間
14	講義内容 該当する到達目標 3.5.	生活環境と教育の問題2ー子どもを取り巻く家族の問題ー(今井邦枝)		
		予習	配布された資料を事前に読み予習する。	0.5 時間
		復習	家族の役割について理解したこと、また、問題に対する自分の意見をまとめる。	0.5 時間
15	講義内容 該当する到達目標 4.5.	生活環境と教育の問題3ー家庭や地域社会の教育力ー(今井邦枝)		
		予習	配布された資料を事前に読み予習する。	0.5 時間
		復習	家庭や地域社会の教育力について理解したこと、問題に対する自分の意見をまとめる。	0.5 時間
備考	各担当教員のオフィスアワーを事前に確認して相談にいくこと 各担当教員の研究室 8 号館4階 5階			

科目名	現代教育論Ⅰ（小・中）（専門教養）				LSE11	演習
担当教員	教員養成コース教員					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 1 単位 教員養成コース 必修 1 単位			
講義目標	現代教育の動向や諸相を認識し、教育に関わる諸問題を人文・社会・自然などの科学的視点や教育学的視点から理解し、説明できることをめざす。また、現代教育に関する一般的な知識と幅広い視野をもつことで、教育に関する諸問題を解決する力を習得する。さらに、学校教育に携わる者としての自覚をもち、現代の教育に関する情報を、興味をもって収集し分析することをおして、教育活動に生かせる力を身に付ける。					
到達目標	1.現代教育の動向や諸相を認識することができる。 2.現代教育の諸問題を、人文・社会・自然などの科学的視点や教育学的視点から理解し説明できる。 3.現代教育に関する一般的な知識と幅広い視野をもち、諸問題の解決に生かすことができる。 4.学校教育に携わる者としての自覚をもち、教育に関する情報を収集し教育活動に生かすことができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
	✓	自律的・意欲的に学修する力				
評価方法	毎回提出するレポート70%、授業への貢献度等30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。					
課題に対する フィードバック	レポートにはコメントをつけて返却する。 授業中の貢献度についてはその都度評価する。					
使用教材	各教員による自作のプリント等					
1	講義内容	現代教育と文字（武井英昭）				
	該当する到達目標 2,3,4	予習	学習指導要領「国語」の「文字」に関する部分に目を通す。			0.5 時間
		復習	講義で扱ったトピックスについて自分なりに調べ直して、理解を確かなものにする。			0.5 時間
2	講義内容	現代教育と文学（武井英昭）				
	該当する到達目標 2,3,4	予習	学習指導要領「国語」の文学教材に関する部分に目を通す。			0.5 時間
		復習	講義で扱ったトピックスについて自分なりに調べ直して、理解を確かなものにする			0.5 時間
3	講義内容	現代教育と読解・鑑賞（武井英昭）				
	該当する到達目標 2,3,4	予習	学習指導要領「国語」の「読解」「鑑賞」に関する部分に目を通す。			0.5 時間
		復習	講義で扱ったトピックスについて自分なりに調べ直して、理解を確かなものにする。			0.5 時間
4	講義内容	現代教育と倫理（角野善司）				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	小学校学習指導要領第3章「特別の教科 道徳」を精読する。			0.5 時間
		復習	学習指導要領および授業資料を再読する。			0.5 時間
5	講義内容	現代教育と英語表現（英文）（嶋田和成）				
	該当する到達目標 2,3,4	予習	教育の現場に関する英文資料に目を通す。			0.5 時間
		復習	講義で扱った英文中の具体的な表現を理解する。			0.5 時間
6	講義内容	現代教育と英語表現（会話）（嶋田和成）				
	該当する到達目標	予習	教育の現場で話される会話に関する資料に目を通す。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2,3,4	復習	講義で扱った会話文を覚えて、実際に発話できるようにする。	0.5 時間
7	講義内容	現代教育と英語表現(文字) (嶋田和成)		
	該当する到達目標	予習	英語教育の現場でどのように文字を導入、指導するかを各自考えておく。	0.5 時間
	2,3,4	復習	講義で扱った文字の導入、指導の方法を理解する。	0.5 時間
8	講義内容	現代教育と音楽 (吉田恵子)		
	該当する到達目標	予習	日本の現代の音楽教育の特色と課題を挙げる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	授業で扱った資料から、現代の音楽教育について理解し、まとめる。	0.5 時間
9	講義内容	現代教育と美術 (増田金吾)		
	該当する到達目標	予習	日本における現代美術教育の特色と課題を、書籍、雑誌、インターネット等で調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業の内容を整理して、指定された課題についてレポートにまとめる。	0.5 時間
10	講義内容	現代教育と体育 (山西加織)		
	該当する到達目標	予習	「体育」に関して、興味関心のあるトピックスを新聞、雑誌、インターネット等で調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で取り扱ったテーマに関して考察し、教師として児童の体育活動にどのように関わっていききたいのか、レポートにまとめる。	0.5 時間
11	講義内容	現代教育と歴史・地理 (栗原幸正)		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した歴史と地理に関して整理し、歴史と地理に関する現代の教育的な課題についてインターネット等で調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業の内容を整理して、指定された課題についてレポートにまとめる。	0.5 時間
12	講義内容	現代教育と政治・経済 (栗原幸正)		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した政治と経済に関して整理し、政治と経済に関する現代の教育的な課題についてインターネット等で調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業の内容を整理して、指定された課題についてレポートにまとめる。	0.5 時間
13	講義内容	現代教育と数学 (小泉健輔)		
	該当する到達目標	予習	算数・数学教育に関わる今日的な話題について、新聞やインターネット等で調べてみる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で取り扱った内容をもとにして、今日における算数・数学教育の現状や課題について考察した上で、教師としてどのように向き合っていくのかについてレポートにまとめる。	0.5 時間
14	講義内容	現代教育と生物・化学・物理・地学 (片山 豪)		
	該当する到達目標	予習	理科教育及び科学に関する今日的な話題について、新聞やインターネット等で調べておく。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業の内容を整理して、指定された課題についてレポートにまとめる。	0.5 時間
15	講義内容	現代教育と情報リテラシー (片山 豪)		
	該当する到達目標	予習	情報教育及びICTに関する今日的な話題について、新聞やインターネット等で調べておく。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業の内容を整理して、指定された課題についてレポートにまとめる。	0.5 時間
備考	担当の先生のオフィスアワーとメールアドレスは、他の科目で確認してください。			

科目名	現代教育論Ⅱ（幼・保）（専門教養）				LSE12	演習
担当教員	保育・教育コース教員					
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	幼児教育や保育活動に関連した専門的知識や技術は、子どもの成長や発達や豊かな感性に育ちに影響を与える。本講義では、「子どもの遊び」「心身の発達」「造形的表現」「音楽的表現」「地域との関わり」の各専門領域から幼児期の教育に関する課題や教育活動のありかたについて総合的に学ぶ					
到達目標	1. 幼児教育や保育活動等の専門知識や技術を、子どもの成長発達や豊かな感性を育ちと関連づけて理解することができる 2. 子どもの心身の発達や健康づくりと幼児教育における教育活動を関連づけて理解することができる。 3. 子どもの造形的表現や音楽的表現と幼児教育における教育活動を関連付けて理解することができる。 4. 幼児教育における地域社会との関わりについて理解することができる					
学位授与方針との対応	✓	1. 豊かな人間性と倫理観				
	✓	2. 専門知識・技術の活用力				
	✓	3. 論理的思考力				
	✓	4. チームへの貢献力				
	✓	5. 生涯学習力				
評価方法	各担当教員 5 名で 20 点配分として総合 100 点とする。					
課題に対するフィードバック	感想シートにはコメントをする。また定期試験後出題の意図について提示をする。					
使用教材	授業担当者による必要な資料や使用するスライドをプリントし配布する。					
1	講義内容	子どもの遊びと教育活動1ー保育の場における遊びー（内田）				
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領解説 P.23～38 を読んでくこと			0.5 時間
	1,3,4	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する			0.5 時間
2	講義内容	子どもの遊びと教育活動 2ー遊びと指導計画ー（内田）				
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領解説 P.39～43 を読み予習する			0.5 時間
	1,3,4	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する			0.5 時間
3	講義内容	子どもの遊びと教育活動3ー保育者の役割ー（内田）				
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領解説 P.44～48 を読み予習する			0.5 時間
	1,3,4	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する			0.5 時間
4	講義内容	子どもの健康をめぐる現代的課題（山西）				
	該当する到達目標	予習	乳幼児期の子どもの健康に関して、興味関心のあるトピックスを新聞、雑誌、インターネット等で調べ予習する。			0.5 時間
	1,2	復習	授業で学習した内容をノートにまとめ復習する。			0.5 時間
5	講義内容	子どもの心身の発達と健康づくり（山西）				
	該当する到達目標	予習	乳幼児期の発達過程について、これまでの授業で学習してきたことを振り返る。			0.5 時間
	1,2	復習	授業で学習した内容をノートにまとめ復習する。			0.5 時間
6	講義内容	子どもの運動遊びと身体表現活動（山西）				
	該当する到達目標	予習	これまでの実習やボランティアで見てきた子どもの運動遊びや身体表現活動を振り返る。			0.5 時間
	1,2	復習	授業で学習した内容をノートにまとめ復習する。			0.5 時間
7	講義内容	音楽表現活動と教育1ー子どもの音楽表現活動の実際ー（岡本）				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を事前に読み予習する			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する	0.5 時間
8	講義内容	音楽表現活動と教育2－音楽表現活動の指導－（岡本）		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を事前に読み予習する	0.5 時間
	1,2,3	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する	0.5 時間
9	講義内容	音楽表現活動と教育3－領域「表現」から見る音楽表現活動－（岡本）		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を事前に読み予習する	0.5 時間
	1,2,3	復習	授業で学んだことをレポートにして提出し復習する	0.5 時間
10	講義内容	造形表現活動と教育1－子どもの教育に必要な日本美術史概説－（石原）		
	該当する到達目標	予習	配布する日本美術史のプリントに沿って、時代区分や作品と作者を予習する	0.5 時間
	1,2,3	復習	プリントの内容で小テストを実施し復習する	0.5 時間
11	講義内容	造形表現活動と教育2－子どもの教育に必要な西洋美術史概説－（石原）		
	該当する到達目標	予習	配布する西洋美術史のプリントに沿って、時代区分や作品と作者を予習する	0.5 時間
	1,2,3	復習	プリントの内容で小テストを実施し復習する	0.5 時間
12	講義内容	造形表現活動と教育3－子どもの教育に必要な美術用語解説－（石原）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布した保育士に必要な課題や問題内容プリントを読み予習する	0.5 時間
	1,2,3	復習	プリントの内容で小テストを実施し復習する	0.5 時間
13	講義内容	幼児教育活動と地域社会1－ 子どもが育つ地域社会とは－（今井麻美）		
	該当する到達目標	予習	自分が地域社会とどのように関わりながら育ってきたのかについて考えてくる。	0.5 時間
	1,4	復習	次回、授業内容の振り返りを行うので復習をしておく。	0.5 時間
14	講義内容	幼児教育活動と地域社会2－地域社会に支えられる保育内容－（今井麻美）		
	該当する到達目標	予習	地域社会と保育内容の関わりについて、自分の経験を踏まえて考えてくる。	0.5 時間
	1,4	復習	次回、授業内容の振り返りを行うので復習をしておく。	0.5 時間
15	講義内容	幼児教育活動と地域社会3－文化的な行事と保育内容－（今井麻美）		
	該当する到達目標	予習	文化的な行事と保育内容の関わりについて、自分の経験を踏まえて考えてくる。	0.5 時間
	1,4	復習	授業内容の復習をする。	0.5 時間
備考	各担当教員のオフィスアワーを確認して相談にいくこと 研究室8号館4階、5階			

科目名	現代教育論Ⅱ(小・中)(専門教養)				LSE13	演習
担当教員	教員養成コース教員					
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 1 単位 教員養成コース 必修 1 単位			
講義目標	現代教育の現状を認識し、教育に関わる諸問題を教育学的視点から理解し、説明できることをめざす。また、教育学に内包される諸科学の一般的な知識と幅広い視野をもつことで、教育に関する諸問題を解決する力を習得する。さらに、学校教育に携わる者としての自覚をもち、教育現場の現象に目を向け、関係する科学の理論を駆使して現実的な問題の解決と、積極的な教育現場への参加に意欲をもつことができる。					
到達目標	1.現代教育の現状を認識することができる。 2.現代教育の諸問題を、教育学的視点から理解し説明することができる。 3.教育学的見地からの一般的な知識と幅広い視野をもち、諸問題の解決に生かすことができる。 4.学校教育に携わる者としての自覚をもち、理論的背景をもって現実的な問題の解決を図る力を身につけ、教育現場への参加に意欲を示すことができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学修する力				
評価方法	毎回提出するレポート70%、授業への貢献度等30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントをつけて返却する。 授業中の貢献度についてはその都度評価する。					
使用教材	各教員による自作のプリント等					
1	講義内容	教育の意義・目的 (吉田恵子)				
	該当する到達目標 1	予習	教育の現状を踏まえ、教育の意義・目的を述べることができる。			0.5 時間
		復習	現代教育の意義・目的を理解し、課題をまとめる。			0.5 時間
2	講義内容	学校教育制度と生涯教育制度 (吉田恵子)				
	該当する到達目標 1,2	予習	学校教育制度と生涯教育制度の特徴を述べることができる。			0.5 時間
		復習	学校教育制度と生涯教育制度の基礎資料を理解し、課題をまとめる。			0.5 時間
3	講義内容	学習指導要領 (栗原幸正)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	学習指導要領について調べ、現代の教育と関連する課題を洗い出す。			0.5 時間
		復習	講義内容を踏まえて、学習指導要領に関する課題をレポートにまとめる。			0.5 時間
4	講義内容	障害児の理解 (松田 直)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	障害児の心理・生理・病理などの授業で学んだことを振り返る。			0.5 時間
		復習	講義内容を振り返り、障害児の理解について知識・視点を整理する。			0.5 時間
5	講義内容	特別支援教育 (松田 直)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	特別支援教育のシステムとその実際について授業で学んだことを振り返る。			0.5 時間
		復習	講義内容を振り返り、特別支援教育の全体像を整理する。			0.5 時間
6	講義内容	近世・近代西洋教育史 (小西尚之)				
	該当する到達目標 3,4	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。			0.5 時間
		復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			0.5 時間
7	講義内容	近現代西洋教育史 (小西尚之)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。	0.5 時間
	3,4	復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	0.5 時間
8	講義内容	近世・近代日本教育史（小西尚之）		
	該当する到達目標	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。	0.5 時間
	3,4	復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	0.5 時間
9	講義内容	近現代日本教育史（小西尚之）		
	該当する到達目標	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。	0.5 時間
	3,4	復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	0.5 時間
10	講義内容	教育心理（角野善司）		
	該当する到達目標	予習	既修の関連諸科目のノート等を読み直す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を再読する。	0.5 時間
11	講義内容	発達と学習（角野善司）		
	該当する到達目標	予習	既修の関連諸科目のノート等を読み直す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を再読する。	0.5 時間
12	講義内容	憲法・教育基本法・学校教育法（小西尚之）		
	該当する到達目標	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。	0.5 時間
	3,4	復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	0.5 時間
13	講義内容	教育行政・教職員等に関する法令（小西尚之）		
	該当する到達目標	予習	資料を読んで、講義内容を理解する。	0.5 時間
	3,4	復習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	0.5 時間
14	講義内容	道徳教育・特別活動・生徒指導（吉田恵子）		
	該当する到達目標	予習	道徳教育・特別活動・生徒指導の関連性について調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	日本の児童・生徒の育ち・まなびについて、課題をまとめる。	0.5 時間
15	講義内容	現代教育と教育時事（栗原幸正）		
	該当する到達目標	予習	現代の教育に関するニュースやその背景的知識を調べる。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を踏まえて、現代の教育に関する課題をレポートにまとめる。	0.5 時間
備考	担当の先生のオフィスアワーとメールアドレスは、他の科目で確認してください。			

科目名	世界と子ども(専門教養)				LSE14	講義
担当教員	松田直・武井・片山・小泉・中村・岡本・石原・山西・田島・栗原・千葉・板津・小西・富田					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位			
講義目標	学部の専任教員が輪番で、それぞれの専門分野に基づいて子どもと子どもを取り巻く世界について話題を提供し、学生の問題意識と興味を喚起するような授業を行う。毎回、課題文を書いて提出させる。					
到達目標	1.子どもと子どもを取り巻く世界について、保育・教育の各専門分野の視点から考えることができる。 2.子ども・保育・教育に対する関心を高める。 3.各自の今後の学修の方向性を明確にする。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学修する力				
評価方法	毎回提出する課題文及び授業への貢献度を総合して評価する。					
課題に対する フィードバック	毎回課される課題文は、担当者がコメントを記入し、次週に学生に返却する。					
使用教材	テキストはないが、必要に応じて資料を担当教員が配布する。					
1	講義内容	オリエンテーション(松田直)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスを読んで、子どもの保育・教育に関する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	子どもと科学(片山豪)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	文学の中の子どもたち(武井英昭)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
4	講義内容	子どもと数(小泉健輔)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
5	講義内容	子どもと英語(中村博生)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
6	講義内容	子どもと音楽(岡本拓子)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
7	講義内容	子どもと美術(石原綱成)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間
8	講義内容	子どもと生命(松田直)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	子どもと健康(田島貞子)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	子どもと生活(栗原幸正)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	「しつけ」に関して新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	子どもと家族(千葉千恵美)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	子どもと家族に関連する社会の動向を知るため新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	配布資料を見直し講義内容の理解を深め、関連書籍等に目を通し整理をする。	1.5 時間
12	講義内容	子どものこころ(板津裕己)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	子どもと人権(小西尚之)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	子どもと保育(富田純喜)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
15	講義内容	子どもと運動(山西加織)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義内容に関連する新聞記事や書籍に触れる。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容の理解を深めるとともに、関連書籍等に目を通す。	1.5 時間
備考	この授業を契機として、子どもと子どもを取り巻く世界・環境について、関心を深め、問題意識を整理してほしい。 担当の先生のオフィスアワーとメールアドレスは、他の科目で確認してください。			

科目名		特別支援教育入門(専門教養)			LSE15	講義
担当教員		松田 直 五十嵐 一徳 村田 美和				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		学生が特別支援教育の概念・システム・専門職に求められること等の骨格について理解すること。				
到達目標		1.特別支援教育に関する基礎的事項について説明できる。 2.就学前の保育における特別支援教育について説明できる。 3.就学後の教育における特別支援教育について説明できる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		定期試験 70%と毎回のコメント 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		コメントに対して、随時授業内でフィードバックする。				
使用教材		教科書の他に、「特別支援学校 教育要領・学習指導要領」および「特別支援学校学習指導要領解説」を使用する。				
1	講義内容	授業の目標、進め方、評価の仕方について				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	特別支援教育の基礎知識(特別支援教育とは)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	特別支援教育の概要について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	特別支援教育の基礎知識(特別支援教育の枠組みやそれを進める上でのシステムなど)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	特別支援教育の枠組みやそれを進める上でのシステムなどを理解する			1.5 時間
4	講義内容	特別な支援が必要な子ども(自閉症スペクトラム障害・知的障害)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	自閉症スペクトラム障害・知的障害について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	特別な支援が必要な子ども(言語障害・情緒障害)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	言語障害・情緒障害について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	特別な支援が必要な子ども(LD・ADHD)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	LD・ADHD について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	特別な支援が必要な子ども(肢体不自由・病弱)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間
		1 復習	肢体不自由・病弱について理解する。			1.5 時間
8	講義内容	特別支援が必要な子ども(視覚障害・聴覚障害)				
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	視覚障害・聴覚障害について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	特別支援教育に関わる法令(発達障害者支援法・障害者総合支援法など)		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	1	復習	特別支援教育に関わる法令について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	特別支援学校の役割について		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	特別支援学校の役割について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	就学前の特別支援教育と保護者との連携について		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	2	復習	就学前の特別支援教育と保護者との連携について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	就学後の特別支援教育と卒後の進路について		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	3	復習	就学後の特別支援教育と卒後の進路について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	支援に必要なツールについて		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	支援に必要なツールについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	これからの特別支援教育(共生社会に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育など)		
	該当する到達目標	予習	参考書に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	これからの特別支援教育(共生社会に向けたインクルーシブ教育システムなど)について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	14 回までの講義内容を復習する。	0.5 時間
	1,2,3	復習	14 回までの講義内容を復習する。	2 時間
備考	・松田直(オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 301) ・五十嵐(オフィスアワー:木曜日 2 限目、金曜日 2 限目 メールアドレス:igarashi-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 5 階 506) ・村田 (オフィスアワー:火曜 2 限、金曜 2 限 メールアドレス:murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 502 号室) ・参考書については授業内で紹介する。 ・予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		保育原理(保育・教育の原理)			CEP141	講義
担当教員		岡本 拓子 ・ 内田 祥子				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		保育という営みの背後にある歴史や原理を理解する。				
到達目標		1.保育の意義を理解する。 2. 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 3. 保育の内容と方法の基本について理解する。 4. 保育の思想と歴史的変遷について理解する。 5. 保育の現状と課題について理解する。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業内での課題 30%・期末試験 70%				
課題に対する フィードバック		課題にコメントし返却する				
使用教材		保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説・認定こども園教育・保育要領解説				
1	講義内容		オリエンテーション 保育について学ぶ意義・保育の理念とは			
	該当する到達目標		予習	シラバスを読んでくる		1.5 時間
	1		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
2	講義内容		児童の最善の利益を考慮した保育			
	該当する到達目標		予習	児童の最善の利益とは何かについて考え、自分なりの考えを書いてくる		1.5 時間
	1		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
3	講義内容		保育の社会的意義			
	該当する到達目標		予習	保育の社会的意義とは何かについて考え、自分なりの考えを書いてくる		1.5 時間
	1		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
4	講義内容		保育所保育と家庭的保育			
	該当する到達目標		予習	保育所保育の特徴とは何かを考え、自分なりの考えを書いてくる		1.5 時間
	1		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
5	講義内容		保育所保育指針の制度的位置づけ			
	該当する到達目標		予習	保育所保育指針第 1 章を読んでくる		1.5 時間
	1		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
6	講義内容		保育の基本①養護と教育の一体性			
	該当する到達目標		予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる		1.5 時間
	2		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
7	講義内容		保育の基本②環境を通しておこなう保育			
	該当する到達目標		予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる		1.5 時間
	2		復習	授業の内容にかんする小レポート		1.5 時間
8	講義内容		保育の基本③発達過程に応じた保育			
	該当する到達目標		予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
9	講義内容	保育の基本④保護者との緊密な連携		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んてくる	1.5 時間
	2	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
10	講義内容	保育の方法①生活と遊びを通して総合的にこなう保育		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んてくる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
11	講義内容	保育の方法②保育における個と集団への配慮		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んてくる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
12	講義内容	保育の方法③計画・実践・記録・評価・改善の循環過程		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んてくる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
13	講義内容	保育の思想①諸外国の保育思想		
	該当する到達目標	予習	諸外国の保育思想について調べてくる	1.5 時間
	4	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
14	講義内容	保育の基本②日本の保育思想		
	該当する到達目標	予習	日本の保育思想について調べてくる	1.5 時間
	4	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
15	講義内容	まとめ: 保育における現代的課題		
	該当する到達目標	予習	保育における現代的課題について自分なりの考えを書いてくる	1.5 時間
	5	復習	授業の内容にかんする小レポート	1.5 時間
備考	内田のオフィスアワーは月曜 2・3 限です。(研究室 410) uchida-s@takasaki-u.ac.jp 岡本のオフィスアワーは火曜 3 限、水曜 4 限です(研究室 404) okamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名		教育基礎論A(保育・教育の原理)			CEP1A1	講義
担当教員		浦崎 源次 小西 尚之 富田 純喜				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		本講義は、教育学の基礎的な知識となる、教育の原理、歴史、思想、教育制度、様々な現代的問題や様々な教育実践について学び、教職に携わる者に求められる基礎的な資質の獲得を目指す。特に、近・現代の公教育の歴史を学ぶことや、教育の原点と言われる障害児教育の実践から学ぶこと、さらには教育に関わる様々な事象を社会問題として認識する方法を学ぶことを通して、教育の現代的問題について、歴史や社会構造の観点を含んで考察できる力の獲得を目指す。				
到達目標		1.教職に携わる者に求められる教育学に関する基礎的な知識を身につけている。 2.教育実践を行うに必要な基礎的な資質を身につけている。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中に行う小テスト(約 70%)、授業への参加・貢献度など平常点(約 30%)を総合して評価する。				
課題に対する フィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		授業担当者の作成資料による。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	1,2	予習	シラバスを読んで、毎回の授業内容を確認し、自分との関連などを考えておく。		1.5 時間
		1,2	復習	資料を読み直し、授業の概要を確認し、教師論を学ぶ意味を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	教育とは何か				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	人間形成と教育				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	子ども観の変遷				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	就学前の教育と保育(1) 教育と保育の違い				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	就学前の教育と保育(2) 実践における基本的な考え方				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
7	講義内容	西洋の教育の歴史				
	該当する到達目標	1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
		1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	日本の教育の歴史 (1) 古代～近代(明治)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容		日本の教育の歴史(2) 近代(大正)～現代(平成)	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容		授業と評価(カリキュラムを含む)	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容		青年期と教育	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容		現代日本の障害児教育	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、ビデオの内容についても振り返り、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容		教育の公共性と教師の問題	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、ビデオの内容についても振り返り、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容		「能力」の問題	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、ビデオの内容についても振り返り、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容		障害児の教育実践から見た教育のあり方	
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
		復習	15回分の資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	(浦崎)オフィスアワー: 金曜 2 限 メールアドレス: g-urasaki@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 407 研究室 (小西)オフィスアワー: 火曜日の 5 限、金曜日の 2 限 メールアドレス: konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 409 号室 (富田)オフィスアワー: 水曜日の 2 限、木曜日の 2 限 メールアドレス: tomita-t@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 406 研究室			

科目名		教育制度論A(保育・教育の原理)			CEP1F1	講義
担当教員		小西 尚之				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	選択必修 2 単位		
講義目標		教師を目指す者にとって、我が国の教育制度を正しく理解しておくことは重要なことである。本授業では、「子ども」や「教育」に関わる制度について、主に「社会」との関係から考察していく。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。さらに、関連するテーマについて調査し発表することによって、発展的な学習を行う。				
到達目標		1.我が国の教育制度の概要について理解している。 2.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。 3.各自のテーマについて意欲的に調べ発表をすることができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		小テストに約 30%、レポート・発表に約 40%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック		試験後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		教科書：『教師のための教育学シリーズ 11 子どもと教育と社会』腰越滋編著、学文社、2016 年、2,100 円(税別)				
1	講義内容		オリエンテーション			
	該当する到達目標 1		予習	シラバスや教科書のまえがきを読んでおく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、教育制度を学ぶ意味を理解する。		1.5 時間
2	講義内容		学校の制度			
	該当する到達目標 1,2		予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容		教員の制度			
	該当する到達目標 1,2		予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容		社会教育の制度			
	該当する到達目標 1,2		予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5 時間
5	講義内容		教育の機会均等			
	該当する到達目標 1,2		予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5 時間
6	講義内容		日本国憲法と教育基本法			
	該当する到達目標 1,2		予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
			復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5 時間
7	講義内容		世界の子育て事情			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章(1～18 ページ)を読んでおく。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	社会化と子ども観・青年期		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章(19～38 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	教育とジェンダー		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章(39～52 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と受験体制		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章(53～80 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	学習する意義		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章(81～99 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	大学教育の変容		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章(100～126 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	教師と学校組織		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章(127～147 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	生涯学習社会		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章(148～169 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	日本社会における子ども		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章(170～185 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 409 研究室 履修上の注意： 少人数や全体での話し合い活動に加え、全員が各自の興味があるテーマをグループで調査・発表してもらう予定です。他者と協力しながら、主体的・積極的に学ぶ意欲が無い人には不向きです。			

科目名	地域教育社会論(保育・教育の原理)			CEP1F2	講義
担当教員	吉田 恵子				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択必修 2 単位		
講義目標	幼稚園・小学校・中学校は、子どもの教育を受ける権利を保障する学校であり、地域住民や保護者との社会的な連携協力なしには円滑に教育活動ができない。この点に鑑み、その具体的な連携協力のあり方を、幼稚園・小学校・中学校と地域・保護者との望ましい関係、また、地域住民・保護者から寄せられるさまざまなクレーム、さらにはトラブルにまで発展してしまったケースなどを提示して、その対応と解決を考え、相互のあるべき連携協力関係を実践的に構想できるようにする。				
到達目標	1.地域住民や保護者たちとどのように連携協力していくか、教育にあたる上での基本的事項が理解できる。 2.幼稚園・小学校・中学校が地域社会の中でどのような制度的位置を占めているかを理解できる。 3.地域住民・保護者と幼稚園・小学校・中学校で生じるトラブル事例などを素材に、問題の処理・解決について具体的に考えられる。 4.ロールプレイを通じて、問題の処理・解決について実践力をつけることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	授業中に行う 3 回の小テストに 70%、授業貢献度に 30%を配分して総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	授業中の貢献度やロールプレイはその都度評価する。				
使用教材	資料を配布する。				
1	講義内容	子どもの教育を受ける権利と学校制度			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、授業概要を理解する	1.5 時間	
	1,2	復習	講義の方針を理解し、子どもの教育を受ける権利をめぐる諸問題を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	学校教育・教師と地域社会			
	該当する到達目標	予習	地域社会における学校の位置づけを調べる。	1.5 時間	
	1,2	復習	学校に寄せられる地域社会のクレーム・トラブルの概要を理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	学校教育・教師と保護者			
	該当する到達目標	予習	保護者とのトラブルについて調べる。	1.5 時間	
	3	復習	保護者の求めているものを理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	障害のある子どもの教育を受ける権利			
	該当する到達目標	予習	障害のある子どもの入園・入学について調べる。	1.5 時間	
	2,3	復習	特別支援教育におけるクレーム・トラブルの概要を理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	学校・地域・保護者の連携協力関係 第 1 回小テスト			
	該当する到達目標	予習	学校・地域・保護者の連携について、実践事例を調べる。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	資料に基づき、連携の課題を理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	学校・教師に対する地域住民・保護者のクレーム			
	該当する到達目標	予習	学校・教師にどのようなクレームがあるか、調べる。	1.5 時間	
	3,4	復習	ロールプレイの復習をし、クレームの処理・対応力をつける。	1.5 時間	
7	講義内容	学校・教師と地域住民・保護者との間のトラブル			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	学校・教師と地域住民・保護者間のトラブルについて調べる。	1.5 時間
	3,4	復習	ロールプレイの復習をし、クレームの処理・対応力をつける。	1.5 時間
8	講義内容	教育内容・方法をめぐる苦情とその対応		
	該当する到達目標	予習	教育内容・方法をめぐる苦情を調べる。	1.5 時間
	3,4	復習	ロールプレイの復習をし、苦情の処理・対応力をつける。	1.5 時間
9	講義内容	教育環境をめぐる問題		
	該当する到達目標	予習	教育環境をめぐる問題を調べる。	1.5 時間
	3,4	復習	ロールプレイの復習をし、問題の処理・対応力をつける。	1.5 時間
10	講義内容	教育評価をめぐる問題 第 2 回小テスト		
	該当する到達目標	予習	教育評価をめぐるトラブルについて調べる。	1.5 時間
	3,4	復習	ロールプレイの復習をし、問題の処理・対応力をつける。	1.5 時間
11	講義内容	入園・入学をめぐる裁判事例		
	該当する到達目標	予習	入園・入学をめぐる裁判事例を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	判例の読み方を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	送迎をめぐる裁判事例		
	該当する到達目標	予習	送迎をめぐるトラブルについて調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	判例の読み方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	教育施設をめぐる裁判事例		
	該当する到達目標	予習	教育施設をめぐるトラブル・裁判について調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	裁判のメリット・デメリットについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	プール事故をめぐる裁判事例		
	該当する到達目標	予習	プール事故をめぐる裁判事例を調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	安全教育と事故防止について、学校・教師の役割を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	保護者・地域の連携協力 第 3 回小テスト		
	該当する到達目標	予習	保護者・地域の連携協力のあり方を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	授業で得た講義の内容を振り返り、学校・地域の連携を理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 503 研究室 履修に関して: 教育・保育の問題やトラブルに関するニュースに目を配り、新聞記事等を収集しておくこと。 交渉術、仲裁のロールプレイがある。意欲的に授業に参加すること。			

科目名		児童家庭福祉Ⅰ（保育・教育の原理）			CEP142	講義
担当教員		千葉 千恵美				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		現代の子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。子どもの人権擁護について理解する。また子ども家庭福祉の現状と課題、制度や実施体系、動向と展望について理解する。				
到達目標		1.児童家庭福祉の現状と課題、動向について理解する事が出来る。 2.児童家庭福祉の歩みと歴史、子どもの人権について理解する事が出来る。 3.児童家庭福祉に関する法制度と実施機関、障害児について理解する事が出来る。 4.保育サービスと社会的養護の必要性や子育て支援保育内容について理解する事が出来る。 5.健全育成、母子保健、ひとり親支援への理解と児童家庭福祉の専門職について理解する事が出来る。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		事前の予習及び積極的な授業参加、授業後の感想シート 20%、定期試験を評価する 80%				
課題に対するフィードバック		授業終了後提感想シートを記述し提出する、その内容についてコメントをおこないフィードバックする。また試験課題についても内容をフィードバックする				
使用教材		保育士をめざす児童家庭福祉（株）みらい				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	児童家庭福祉について事前に第 1 章 p11-p23 を調べ予習する			1.5 時間
	1	復習	児童家庭福祉にむけた内容について振り返り復習をする			1.5 時間
2	講義内容	子どもの権利について				
	該当する到達目標	予習	子どもの権利について事前に第 2 章 p24-p39 を調べ予習する			1.5 時間
	1,2	復習	子どもの権利について必要事項を整理し復習する			1.5 時間
3	講義内容	児童家庭福祉の成り立ちについて				
	該当する到達目標	予習	児童家庭福祉の成り立ちについて事前に第 3 章 p40-p55 を調べ予習する			1.5 時間
	1,2	復習	児童家庭福祉の成り立ちや考え方を整理し復習する			1.5 時間
4	講義内容	児童家庭福祉の法と行政・実施機関について				
	該当する到達目標	予習	児童福祉関連法律と行政について事前に第 4 章 p56-p78 を調べ予習する			1.5 時間
	1,2	復習	これから必要な児童福祉関連法律と行政について内容を整理し復習する			1.5 時間
5	講義内容	児童家庭福祉の施設について				
	該当する到達目標	予習	児童家庭福祉施設の役割と種類・運営等第 5 章 p79-p95 を読み事前に予習する			1.5 時間
	2,3	復習	児童家庭福祉施設の役割と種類・運営について整理し復習する			1.5 時間
6	講義内容	社会的養護とはなにか				
	該当する到達目標	予習	社会的養護について事前に第 6 章 p96-p115 を調べ予習する			1.5 時間
	2,3,4	復習	社会的養護と児童福祉機関機能である保育士の役割に必要な事項を復習する			1.5 時間
7	講義内容	保育サービスと地域子育て支援				
	該当する到達目標	予習	保育サービスの現状や地域子育て支援について事前に第 7 章を調べ予習する			1.5 時間
	1,3,4	復習	多様化する保育ニーズと地域子育て支援の取り組みや課題を理解し復習する			1.5 時間
8	講義内容	障害児福祉サービスについて				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2,3,4	予習	障害児を取り巻く現状を事前に第 8 章 p131-p149 を調べ予習する	1.5 時間
		復習	障害児と家庭福祉サービス現状を整理し復習する	1.5 時間
9	講義内容	子どもを取り巻く諸問題		
	該当する到達目標 1,2,5	予習	児童虐待について第 9 章 150-p158 について事前に調べ予習する	1.5 時間
		復習	児童虐待について現状を整理し対応策の復習をする	1.5 時間
10	講義内容	児童の健全育成とはなにか		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	児童の健全育成について事前に第 10 章 p168-p177 を調べ予習する	1.5 時間
		復習	児童の健全育成や放課後児童、児童厚生施設の役割を復習する	1.5 時間
11	講義内容	少年非行について		
	該当する到達目標 3,5	予習	少年非行の現状と子どもたちの背景を事前に p162-p168 を調べ予習する	1.5 時間
		復習	少年非行への対応と専門機関および専門職の役割の必要性について復習する	1.5 時間
12	講義内容	ひとり親家庭への支援について		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	ひとり親の生活実態、支援について事前に p177-p182 を調べ予習する	1.5 時間
		復習	ひとり親の経済的状況を含めた生活実情や具体的な支援方法を復習する	1.5 時間
13	講義内容	母子保健と子育て支援サービス		
	該当する到達目標 4,5	予習	母子保健のサービスや現状について事前に p182-p187 を調べ予習する	1.5 時間
		復習	妊娠・出産等母子保健サービスとの関連性を含め必要事項について復習する	1.5 時間
14	講義内容	児童家庭福祉の専門職と専門技術について		
	該当する到達目標 4,5	予習	児童家庭福祉に関わる専門職を事前に第 11 章 p188-p205 を読み予習する	1.5 時間
		復習	児童家庭福祉に必要な専門職や支援内容について復習する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 児童家庭福祉で学んだ内容について		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	今後保育現場に必要な児童家庭福祉に関する事項を事前に調べ予習する	1.5 時間
		復習	児童家庭福祉の課題と今後の課題方向性や総合的に学んだ内容を復習する	1.5 時間
備考	児童家庭福祉に興味や関心を持ち、積極的に授業に参加すること 授業終了后感想シートを記述し授業の整理を行う オフィスアワー 火曜日 4, 5 限目 chiba@takasaki-u.ac.jp KEY WORD 児童家庭福祉の現状と課題			

科目名		児童家庭福祉Ⅱ（保育・教育の原理）			CEP151	講義
担当教員		千葉 千恵美				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		児童家庭福祉の現状を理解するとともに、複雑化し多様化する保育現場で対応できる保育に必要な知識や技術を習得し、児童家庭福祉に必要な知識と技術を応用できる実践力の獲得を目指す。				
到達目標		1.児童家庭福祉の現状を知り,様々な課題を見つけ支援する事が出来る。 2.児童福祉現場の課題と法体系と専門職の対応や役割を理解し、家族に添った支援を考える事が出来る。 3.他機関連携や社会的養護を含む里親制度を理解し、社会的養護の支援、応用を考える事が出来る。 4.相談支援方法について様々な家庭や家族を理解し子育て支援にむけた対応する事が出来る。 5.教育を含め地域や学校 家庭で対応する支援について考える事が出来る。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		事前の予習や授業の積極的な参加、授業後の感想シート 20%、定期試験判断する 80%				
課題に対するフィードバック		子どもや家庭福祉への具体的な支援方法について、授業で示した事例や支援方法を感想シート等授業中フィードバックする。試験課題内容についてはコメントをする				
使用教材		知識を生かし実践力をつける子ども家庭福祉 流石智子監修 浦田雅夫編著 2014				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	1	予習	児童家庭福祉で示される課題を事前に第 1 章 p13-p26 を読み予習する		1.5 時間
		1	復習	児童家庭福祉に必要な支援課題と支援内容を整理し復習する		1.5 時間
2	講義内容	児童家庭福祉について必要な対応と子どもへの理解				
	該当する到達目標	1,2	予習	児童家庭福祉の考え方や子どもの権利に必要な事項を事前に第 2 章 p29-p33 で調べ予習する		1.5 時間
		1,2	復習	児童家庭福祉の考え方について、必要事項を整理し復習する		1.5 時間
3	講義内容	児童家庭福祉のこれからの課題について				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	児童家庭福祉に必要な課題について事前に第 3 章 p36-p48 を調べ予習する		1.5 時間
		1,2,3	復習	児童家庭福祉の課題について整理した内容を復習する		1.5 時間
4	講義内容	児童家庭福祉に関連する法と支援内容 専門職の役割について				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	児童福祉六法について事前に第 4 章 p49-p52 で調べ予習する		1.5 時間
		1,2,3	復習	児童家庭福祉の法律と支援内容、専門職の役割について結び付けて復習する		1.5 時間
5	講義内容	保育サービスと地域子育て支援の状況				
	該当する到達目標	2,3,4	予習	保育サービスの現状と地域子育て支援を取り巻く課題について事前に第 5 章 p62-p74 を予習する		1.5 時間
		2,3,4	復習	保育サービスと地域子育て支援を結びつけ必要な専門職の役割復習する		1.5 時間
6	講義内容	母子の健康と子育て支援サービス				
	該当する到達目標	1,4	予習	結婚、妊娠出産など家庭と育児不安を事前に第 6 章 p76-p87 を読み予習する		1.5 時間
		1,4	復習	母子の健康と子育て支援サービスを理解し子育て支援の役割を復習する		1.5 時間
7	講義内容	障害児福祉 の家庭支援、具体的支援、サービスについて				
	該当する到達目標		予習	障害児と家庭への福祉サービスについて第 7 章 p89-p98 を予習する		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,4	復習	障害児と家庭に向けた支援内容について復習する	1.5 時間
8	講義内容	子どもの健全育成について―健やかに育つ環境とは何かを考える―		
	該当する到達目標	予習	健全育成と地域の子どもを支える児童厚生施設の役割機能について第 8 章 p99-p112 を読み予習する	1.5 時間
	1,4,5	復習	健全育成について具体的に必要な関わり実践方法を復習する	1.5 時間
9	講義内容	社会的養護の実践について 1―社会的養護の実情―		
	該当する到達目標	予習	社会で子育てをする実情について事前に第 9 章で調べ予習する	1.5 時間
	1,3,4	復習	児童養護と社会的養護、背景や対応や保育士の役割について整理し復習する	1.5 時間
10	講義内容	社会的養護の実践について 2―里親による養育について―		
	該当する到達目標	予習	里親による養育についての現状を事前に第 9 章 p119-p121 を読み予習する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	里親についての必要申請事項などを含め支援内容を整理し復習する	1.5 時間
11	講義内容	非行とその支援について事例検討から ―ロールプレイによる対応―		
	該当する到達目標	予習	少年非行にむけた支援について事前に第 10 章 p130-p137 を読み予習する	1.5 時間
	1,3,4,5	復習	少年非行の支援にむけた事例検討や必要事項を整理し復習する	1.5 時間
12	講義内容	ひとり親家庭への支援方法 事例検討から ―ロールプレイによる対応―		
	該当する到達目標	予習	ひとり親家庭についての支援方法を事前に第 11 章で調べ予習する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	事例検討によるロールプレイから得られた実践的支援方法を整理し復習する	1.5 時間
13	講義内容	外国籍の子どもへの支援 事例検討		
	該当する到達目標	予習	日本に住む外国籍の子ども達の実情について第 12 章で事前に調べ予習する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	具体的な支援方法など保育現場の課題を整理し復習する	1.5 時間
14	講義内容	学校での子ども達に向けた支援について		
	該当する到達目標	予習	学校で何が問題になっているのか事前に第 13 章を読み予習する	1.5 時間
	1,3,4,5	復習	教育現場の実情といじめ、不登校の支援方法の事項を整理し復習する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 保育現場における子ども家庭福祉相談活動の実践		
	該当する到達目標	予習	児童家庭福祉の相談援助支援について事前に第 14 章を調べ学習する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	児童家庭福祉に必要な支援方法を総合的に必要事項について整理し復習する	1.5 時間
備考	積極的な授業参加と授業終了後感想シートに記入し各自のまとめを行う。オフィスアワー火曜日 4, 5 限目 chiba@takasaki-u.ac.jp KEY WORD 児童家庭福祉の課題と解決方法 相談援助支援 事例検討			

科目名	障害者福祉論(保育・教育の原理)			CEP152	講義
担当教員	野田 敦史				
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代は障害児者の施設や特別支援学校・学級に限らず、小中学校・幼稚園・保育所にも障害をもった子どもが多く在籍しており、障害児者の福祉に関する基礎知識は保育者・教育者には必要かつ重要である。障害者福祉の理念や国内外の歴史、障害の概念や障害者の実態、障害者に関する法律や制度・サービス内容について理解し、必要な体系的知識習得をめざす。特に身体・知的・精神の3障害と発達障害に関する知識及び障害者自立支援法に基づく知識理解を必須とする。				
到達目標	1.障害の意味と障害を持つ人々の立場について説明することができる。 2.障害者福祉の歴史について説明することができる。 3.わが国の障害者の実態を社会的統計資料から理解することができる。 4.障害者福祉現場にかかわりのある各種の専門職の役割について説明することができる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 50%、平常点 25%、小テストおよびレポート点 25%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	レジュメは授業回1～2ごとに配布し、毎回、回収し評価点(A～C)を付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書:小澤 温 編「よくわかる障害者福祉」ミネルヴァ書房。 その他、適宜レジュメを配布。DVD ビデオも視聴する。				
	講義内容	ガイダンス ―障害者福祉論を学ぶ意義―			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標など理解する		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法など確認する。		1.5 時間
	講義内容	障害の定義・障害者の生活実態(1)(全体)			
2	該当する到達目標	予習	教科書 II-1 を読んでおく。		1 時間
	1,3	復習	「障害構造論」について理解する。		1.5 時間
	講義内容	障害者の生活実態(2)(知的障害)			
3	該当する到達目標	予習	教科書 II-4 を読んでおく。		1 時間
	3	復習	AAMD、文部科学省、厚生労働省の定義の違いを理解する。		1.5 時間
	講義内容	障害者の生活実態(3)(身体障害)			
4	該当する到達目標	予習	教科書 II-3 を読んでおく。		1 時間
	3	復習	身体障害の種類と構成割合が理解できる。		1.5 時間
	講義内容	障害者の生活実態(4)(精神障害)			
5	該当する到達目標	予習	教科書 II-5 を読んでおく。		1 時間
	3	復習	精神障害の特性、構造、福祉的アプローチなどを理解する。		1.5 時間
	講義内容	障害の概念・分類(ICIDH と ICF)			
6	該当する到達目標	予習	教科書 II-2 を読んでおく。		1 時間
	1	復習	ICIDH と ICF の相違などについて理解する。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	障害者福祉思想と支援の歴史		
	該当する到達目標	予習	教科書 I-7,8,9,10,11 を読んでおく。	1 時間
	2	復習	ノーマライゼーション、リハビリテーション、自己決定などの用語を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	障害者福祉制度と支援体系		
	該当する到達目標	予習	教科書 VIII-1,2,3 を読んでおく。	1 時間
	2,3,4	復習	社会福祉基礎構造改革以降の障害者福祉関連法の内容と目的を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	障害者支援サービスの内容		
	該当する到達目標	予習	教科書 VIII-4 を読んでおく。	1 時間
	3,4	復習	障害者総合支援法に規定する支援サービス内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	障害児に対する支援と教育		
	該当する到達目標	予習	教科書 IV-12,13 を読んでおく。	1 時間
	3,4	復習	分離教育と統合教育の利点と課題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	就労支援と所得保障		
	該当する到達目標	予習	教科書 V-11 を読んでおく。	1 時間
	3,4	復習	一般就労と福祉的就労の内容と方法について理解する	1.5 時間
12	講義内容	専門職の役割と関係機関との連携		
	該当する到達目標	予習	教科書 IV-6,7,8 を読んでおく。	1 時間
	3,4	復習	各相談所・センターの機能および専門職について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	発達障害者支援法		
	該当する到達目標	予習	教科書 II-4 を読んでおく。	1 時間
	3,4	復習	発達障害者支援法の目的と内容について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	障害者差別解消法と人権		
	該当する到達目標	予習	内閣府 HP「障害者差別解消法」概要に目を通しておく。	1 時間
	3,4	復習	障害者差別解消法の目的と取り組みについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	バリアフリーとユニバーサルデザイン		
	該当する到達目標	予習	教科書 VII-3 を読んでおく。	1 時間
	1,4	復習	バリアフリーとユニバーサルデザインの違いについて理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：noda@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	社会福祉(保育・教育の原理)			CEP143	講義
担当教員	野田 敦史				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代社会における社会福祉の意義と国内外の歴史的変遷について理解し、社会福祉と児童家庭福祉および児童の人権や家庭支援との関連について学ぶ。また、社会福祉の制度や実施体系、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解し、今後の社会的動向と福祉的課題について考える。そのために身近な事例やビデオ教材などを用いて基礎を理解してから諸問題をについて考えていくようにする。				
到達目標	1.社会福祉の歴史について説明することができる。 2.わが国の社会福祉の制度および実施機関について体系的理解と説明ができる。 3.社会的統計資料から、わが国の社会福祉的課題について説明できる。 4.社会福祉現場にかかわりのある各種の専門職の役割について説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 50%、平常点 25%、小テストおよびレポート点 25%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レジュメは授業回1～2ごとに配布し、毎回、回収し評価点(A～C)を付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書:基本保育シリーズ「社会福祉」監修 児童育成協会 中央法規出版 その他、適宜レジュメを配布。DVD ビデオも視聴する。				
	講義内容	ガイダンス ―社会福祉を学ぶ意義―			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標など理解する		1 時間
	2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法など確認する。		1.5 時間
	講義内容	社会福祉の概念と理念			
2	該当する到達目標	予習	教科書 第 1 講 Step1 を読んでおく。		1 時間
	1	復習	ノーマライゼーション、エンパワメント、自立の概念などを理解する。		1.5 時間
	講義内容	社会福祉の歴史的変遷			
3	該当する到達目標	予習	教科書 第 1 講 Step2 を読んでおく。		1 時間
	1	復習	エリザベス救貧法、恤救規則、福祉 6 法の内容・成立時期などを理解する。		1.5 時間
	講義内容	社会福祉の一分野としての児童家庭福祉			
4	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 講 全て を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	児童家庭福祉の対象・理念、児童福祉法の意義・概要・改正点などを理解する。		1.5 時間
	講義内容	児童の人権擁護と社会福祉			
5	該当する到達目標	予習	教科書 第 3 講 全て を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	児童の権利に関する条約の内容などを理解する。		1.5 時間
	講義内容	家庭支援と社会福祉			
6	該当する到達目標	予習	教科書 第 4 講 全て を読んでおく。		1 時間
	1,2,3	復習	子どもの最善の利益を尊重する家庭支援の内容などを理解する。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	社会福祉の制度と法体系		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 5 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	社会福祉 8 法それぞれの目的などを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	社会福祉行政と実施機関		
	該当する到達目標 2,4	予習	教科書 第 6 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	福祉事務所、各種相談所・センター等の役割などを理解する。	1.5 時間
9	講義内容	社会福祉施設等		
	該当する到達目標 2,4	予習	教科書 第 7 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	福祉サービス費用負担の方法、各社会福祉施設の役割などを理解する。	1.5 時間
10	講義内容	社会福祉の専門職・実施者		
	該当する到達目標 4	予習	教科書 第 8 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	保育士、社会福祉士、介護福祉士、児童福祉司等の役割などを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	相談援助の意義と原則		
	該当する到達目標 4	予習	教科書 第 10 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	社会福祉援助技術の体系などを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ		
	該当する到達目標 3,4	予習	教科書 第 12 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	権利擁護制度などを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	少子高齢社会への対応		
	該当する到達目標 3,4	予習	教科書 第 13 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	人口動態と少子化・高齢化の統計的理解をする。	1.5 時間
14	講義内容	地域福祉の推進とネットワーク		
	該当する到達目標 3,4	予習	教科書 第 14 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	地域福祉の概念、市町村地域福祉計画などを理解する	1.5 時間
15	講義内容	社会福祉の諸外国の動向		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 第 15 講 全て を読んでおく。	1 時間
		復習	福祉レジーム 3 類型、ネウボラなどを理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：noda@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名		社会的養護(保育・教育の原理)			CEP144	講義
担当教員		野田 敦史				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		社会福祉の授業内容を踏まえて、現代社会における社会的養護の意義や国内外の歴史的変遷について理解をめざす。合わせて社会的養護の制度や仕組み、実践体系について理解する。また、施設養護の実際について、その原理や社会的養護との関連、施設養護の実際について、テキストのほかに施設の様子わかるビデオを視聴し、理解する。さらに児童家庭福祉との関連性や児童の権利擁護について考える。				
到達目標		1.社会的養護の歴史について説明することができる。 2.わが国の社会的養護の制度および実施機関について体系的理解と説明ができる。 3.社会的統計資料から、わが国の社会的養護の課題について説明できる。 4.要保護児童の支援について児童家庭福祉や権利擁護の視点から説明することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験 50%、平常点 25%、小テストおよびレポート点 25%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		レジュメは授業回1～2ごとに配布し、毎回、回収し評価点(A～C)を付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材		教科書:大竹智 山田利子編「保育と社会的養護原理」みらい。 その他、適宜レジュメを配布。DVDビデオも視聴する。				
1	講義内容	ガイダンス —社会的養護を学ぶ意義—				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標など理解する			1 時間
	2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法など確認する。			1.5 時間
2	講義内容	社会的養護の定義・理念・基本原理				
	該当する到達目標	予習	教科書 第 1 章を読んでおく。			1 時間
	2	復習	社会的養護の定義・理念・基本原理などを理解する。			1.5 時間
3	講義内容	社会的養護の体系				
	該当する到達目標	予習	教科書 第 6 章を読んでおく。			1 時間
	2	復習	施設養護と家庭養護、家庭的養護の体系的理解をする。			1.5 時間
4	講義内容	施設養護の特質と基本原則				
	該当する到達目標	予習	教科書 第 7 章を読んでおく。			1 時間
	2	復習	施設養護の特質、基本原則、各施設運営指針などを理解する。			1.5 時間
5	講義内容	施設養護の実際(1)乳児院				
	該当する到達目標	予習	教科書 第 8 章-1 を読んでおく。			1 時間
	1,2,3,4	復習	乳児院の目的、支援内容、課題などを理解する。			1.5 時間
6	講義内容	施設養護の実際(2)母子生活支援施設				
	該当する到達目標	予習	教科書 第 8 章-2 を読んでおく。			1 時間
	1,2,3,4	復習	母子生活支援施設の目的、支援内容、課題などを理解する。			1.5 時間
7	講義内容	施設養護の実際(3)児童養護施設 自立援助ホーム				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書 第 8 章-3 を読んでおく。	1 時間
		復習	児童養護施設, 自立援助ホームの目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 施設養護の実際(4)障害児入所施設		
		予習	教科書 第 9 章-1,2 を読んでおく。	1 時間
		復習	障害児入所施設の目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 施設養護の実際(5)児童発達支援センター		
		予習	教科書 第 9 章-3 を読んでおく。	1 時間
		復習	児童発達支援センターの目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 施設養護の実際(6)情緒障害児短期治療施設, 児童自立支援施設		
		予習	教科書 第 10 章-1,2,3 を読んでおく。	1 時間
		復習	情緒障害児短期治療施設, 児童自立支援施設の目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 施設養護の実際(7)障害者支援施設		
		予習	前週で配布した障害者支援施設に関する資料を読んでおく。	1 時間
		復習	障害者支援施設の目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 家庭養護の実際(1)里親制度 養子縁組制度		
		予習	教科書 第 11 章-1,2 を読んでおく。	1 時間
		復習	里親の定義, 種類と要件, 支援などを理解する。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 家庭養護の実際(2)ファミリーホーム		
		予習	教科書 第 11 章-3 を読んでおく。	1 時間
		復習	ファミリーホームの目的、支援内容、課題などを理解する。	1.5 時間
14	該当する到達目標 2,4	講義内容 社会的養護にかかわる専門職・専門機関		
		予習	教科書 第 12 章を読んでおく。	1 時間
		復習	児童相談所, 児童家庭支援センター、FSW などの専門機関・専門職を理解する。	1.5 時間
15	該当する到達目標 2,4	講義内容 社会的養護とソーシャルワーク		
		予習	教科書 第 13 章を読んでおく。	1 時間
		復習	個別支援計画の目的・意義、作成過程などを理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: noda@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	子どもの保健Ⅰ（保育・教育の原理）				CEP145	講義
担当教員	田島 貞子					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	子どもを保育する上で健康と安全は欠かせない。子ども達が健康で安全な生活をおくるための知識を身につけ、実践できるようにしていく。					
到達目標	1.月齢・年齢に応じた子ども(胎児を含む)の成長・発達について関心を高める。 2.子どもたちに多い疾患のうち、特に感染症について、感染経路・潜伏期間・症状・出席停止の基準・予防方法等について理解し説明できる。 3.子どもの健康観察の重要性について関心を高める。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験 80%、毎回授業終了時に提出する講義のまとめ及び質問・感想(小レポート)及び授業参加度・学習態度 20%					
課題に対する フィードバック	授業終了時に提出された小レポートについて、次の授業開始時に質問については回答し、理解不十分な点については、再度講義する。 期末試験については、2 年前期の「子どもの保健Ⅱ」の第 1 回目に解説する。					
使用教材	・保育保健 2016 監修・遠藤郁夫 編集・一般社団法人日本保育保健協議会 日本小児医事出版社 2,000 円+税 ・ビデオ「赤ちゃんの 1 年」姿勢と運動の発達 医学映像教育センター ・ビデオ「自分と相手を大切にすると？」日本家族計画協会					
	講義内容	オリエンテーション				
1	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスを読んで、子どもの健康に関するニュース、書籍に触れる。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認する。			1.5 時間
	講義内容	子どもの保健の意義、子どもの健康観察の重要性				
2	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の「発行によせて」「はじめに」に目を通す。			1.5 時間
		復習	子どもの健康観察の重要性について、教科書を再度読み直し、理解を深める。			1.5 時間
	講義内容	子どもに多い感染症とその対応(1)感染症が成立するための要因				
3	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.87～94、102～103 に目を通す。			1.5 時間
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、講義内容の理解を深める。			1.5 時間
	講義内容	子どもに多い感染症とその対応(2)学校感染症について				
4	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.102～103、158～160 に目を通す。			1.5 時間
		復習	配布資料及び教科書を読み直し、講義内容の理解を深める。			1.5 時間
	講義内容	子どもに多い感染症とその対応(3)主として飛沫感染する疾患				
5	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.161～165 に目を通す。			1.5 時間
		復習	配布資料及び教科書を読み直し、講義内容の理解を深める。			1.5 時間
	講義内容	子どもに多い感染症とその対応(4)主として経口感染する疾患				
6	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.161～165 に目を通す。			1.5 時間
		復習	配布資料及び教科書を読み直し、講義内容の理解を深める。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	子どもに多い感染症とその対応(5)主として接触感染する疾患		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.161～165 に目を通す。	1.5 時間
		復習	配布資料及び教科書を読み直し、講義内容の理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	予防接種について		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P.114～120 に目を通す。	1.5 時間
		復習	教科書を読み直し、予防接種の意義、種類、スケジュール等について理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの成長と発達(1)主な機能の発達		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 P.8～13 に目を通す。	1.5 時間
		復習	教科書を読み直し、子どもの成長と発達について理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	子どもの成長と発達(2)成長と発達		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 P.14～20、144～148 に目を通す。	1.5 時間
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、子どもの成長と発達について理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	ビデオで学ぶ健康な乳幼児の発育 ビデオ「赤ちゃんの一年」		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 P.8～20 に目を通し、赤ちゃんの成長・発達を確認しておく。	1.5 時間
		復習	ビデオによる健康な赤ちゃんの成長・発達を教科書で再確認する。	1.5 時間
12	講義内容	ビデオ「自分と相手を大切にすると？」により、妊娠・性感染症等について学ぶ。		
	該当する到達目標 1,2	予習	中・高生で学んできた内容を振り返り、性感染症・受精・胎児等について考える。	1.5 時間
		復習	ビデオで学んだことを自分自身の問題として考え、理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	生活と保健 1. 母乳の重要性と特殊ミルクについて		
	該当する到達目標 1	予習	教科書 P.21～23、24～25 に目を通す。	1.5 時間
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、講義内容の理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	生活と保健 2. 排泄と睡眠(SIDSを含む)		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 P.48～52 に目を通す。	1.5 時間
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、講義内容の理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.8～25、48～52、102～103、115～120、158～165、及び配布資料に目を通す。	1.5 時間
		復習	子どもの健康に関する新聞記事や関連する書籍に触れ、子どもの保健の重要性について理解を深める。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 金曜日 12:15～12:50、14:45～16:30 8号館 4階 408 研究室 メールアドレス: tajima@takasaki-u.ac.jp			

科目名	子どもの保健Ⅱ（保育・教育の原理）			CEP146	講義
担当教員	田島 貞子				
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	子どもに多い疾患について、その症状と予防方法及び対処方法や簡単な処置の方法について知識を身につけ、乳幼児の保育・教育の現場で活用できるようにする。				
到達目標	1.子どもに多い疾患について、理解し現場で対応できるようになる。 2.保育中の子ども達の体調の変化に気付けるようになる。 3.子どもの保健に関する様々な情報に対する関心を高める。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 60%、子どもの保健に関するレポート 20%、授業終了時に提出する講義のまとめ・感想等小レポート及び授業参加度・学習態度 20%				
課題に対するフィードバック	授業終了時の小レポートについて、次の授業開始時に質問については回答し、理解不十分の点については、再度説明する。又、子どもの保健に関するレポートについては、誤字・脱字、記事に対する理解不足等指摘の上返却し、グループ発表で各自発表する。				
使用教材	・保育保健 2016 監修・遠藤郁夫 編集・一般社団法人日本保育保健協議会 日本小児医事出版社 2,000 円+税				
1	講義内容	オリエンテーション、最近の子どもの保健に関する情報の収集とレポート作成について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスを読んで、子どもの健康に関するニュース、書籍に触れる。	1.5 時間	
		復習	教科書 P.87～92 に目を通し、今後の学習への理解を深める。	1.5 時間	
2	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 1. アレルギー疾患及び皮膚疾患について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.104～109、167～168 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、アレルギー及び皮膚疾患についての理解を深める。	1.5 時間	
3	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 2. 小児がんについて			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.168 に目を通すと共に、小児がんに関するニュース、書籍等に触れる。	1.5 時間	
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、小児がんについての理解を深める。	1.5 時間	
4	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 3. 先天性心疾患及び川崎病について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.169 に目を通すと共に、先天性心疾患に関するニュース、書籍等に触れる。	1.5 時間	
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患についての理解を深める。	1.5 時間	
5	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 4. 呼吸器疾患について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.87～90、170 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、呼吸器疾患についての理解を深める。	1.5 時間	
6	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 5. 消化器疾患及び腎臓・泌尿器の疾患について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P.88～89、170～171 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患についての理解を深める。	1.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 6. 発育(低身長等)・内分泌・代謝異常の疾患について		
	該当する到達目標	予習	教科書 P.166～167 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患についての理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 7. 低出生体重児及び脳・神経系疾患について		
	該当する到達目標	予習	教科書 P.168～169 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患についての理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 8. 運動器の疾患及び目・耳・鼻・口・のどの疾患について		
	該当する到達目標	予習	教科書 P.169、171～172 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患についての理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 9. 先天異常、染色体異常、遺伝性疾患について		
	該当する到達目標	予習	教科書 P.167 に目を通す他、関連する書籍に触れる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書及び配布資料を読み直し、各疾患について理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	子どもの疾患の基礎知識 10. 子どもと生活習慣病について		
	該当する到達目標	予習	最近の子どものめぐるニュース(肥満・やせ等)等に関心を持つ。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料を読み直すとともに、これからも子どもの生活習慣に関心を持つ。	1.5 時間
12	講義内容	最近の子どもの保健に関する情報の収集について 1. グループ学習		
	該当する到達目標	予習	各自、資料を確認する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループ内での発表を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	最近の子どもの保健に関する情報の収集について 2. グループ発表		
	該当する到達目標	予習	自分たちのグループ発表内容について確認する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	他グループの発表を思い出し、子どもの保健に関する情報を再確認する。	1.5 時間
14	講義内容	保育中の子どもの健康状態、体調の変化について		
	該当する到達目標	予習	教科書 P.2～7 及び配布資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料及び教科書を読み直し、子どもの健康状態の変化に気付くための手法を考える。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書及び配布された資料を読み直す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもを保育する上で重要な点を再度確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 金曜日 12:15～12:50、14:45～16:30 8 号館 4 階 408 研究室 メールアドレス: tajima@takasaki-u.ac.jp			

科目名	子どもの保健Ⅲ(保育・教育の原理)			CEP147	演習
担当教員	細谷 京子				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	子どもの保健及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。子どもにとっての健康増進、生活習慣と心身の健康との関係について理解する。また、体調不良や傷害が発生した場合の適切な対処方法について理解し、実践できるようにする。				
到達目標	1.子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 2.乳幼児の身体計測の方法、沐浴等を修得する。 3.救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的な方法を修得する。 4.地域における各種の保健活動について学び、保護者に伝えられるようにする。 5.保育者の健康管理の重要性を学び、実践できるようにする。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 60%、保健活動に関するレポートの作成(各月のおたより、健康おたより)30%、授業終了時に提出する小レポート及び授業参加度・学習態度 10%				
課題に対する フィードバック	授業終了時に提出するリフレクションレポートについて、次の授業の際、質問に対する回答、理解不十分の点については再度解説する。 事故予防グッズを展示する。				
使用教材	・子どもの保健演習ブック 松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 2,200 円+税 ・ビデオ				
1	講義内容	オリエンテーション、子どもの発育・健康①;子どもの保健Ⅲを学ぶ目的、子どもの発育の特徴			
	該当する到達目標 1	予習	子どもの保健演習ブック P.10～12、p58～64 に目を通す。		0.5 時間
		復習	子どもの発育の特徴について理解を深める。		0.5 時間
2	講義内容	子どもの発育・健康②;子どもの健康観察の意義およびその方法			
	該当する到達目標 1	予習	子どもの保健演習ブック P.24～29 に目を通す。		0.5 時間
		復習	子どもの健康状態を正しく評価するために必要な既習の知識を再確認する。		0.5 時間
3	講義内容	子どもの発育・健康③;身体計測の種類と方法・評価			
	該当する到達目標 1,2	予習	子どもの保健演習ブック P.13～22 に目を通す。		0.5 時間
		復習	演習で計測した乳児モデルの測定値をアセスメントする。		0.5 時間
4	講義内容	子どもの発育・健康④;体温・呼吸・心拍の観察と評価			
	該当する到達目標 1,2	予習	子どもの保健演習ブック P.26～28 に目を通す。		0.5 時間
		復習	教科書を読み直し、保育者が子どもの生理機能を観察することの意義を再確認する。		0.5 時間
5	講義内容	子どもの生活行動①;抱っこ、おんぶ、衣服の着脱、おむつ交換			
	該当する到達目標 1,2	予習	子どもの保健演習ブック P.40～45、p47 に目を通す。		0.5 時間
		復習	教科書を読み直し、実習についてふり返る。		0.5 時間
6	講義内容	子どもの生活行動②;子どもの身体の清潔(手洗い・沐浴・歯磨き)			
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.41～47 に目を通す。		0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	教科書を読み直し、実習をふり返り、安全に実施する方法を再確認する。	0.5 時間
7	講義内容	子どもの生活行動③;授乳、食事の援助、与薬		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック p34～35、p84～85 に目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	教科書及び配布資料を読み直し、実習についてふり返る。	0.5 時間
8	講義内容	子どもの安全①;環境衛生と安全管理		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.48～54 に目を通す。	0.5 時間
	1,3	復習	教科書、配布資料を読み直し、保育環境の重要性を確認する。	0.5 時間
9	講義内容	子どもの安全②;子どもの事故と事故防止、応急処置、ヒヤリハットの意義		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.128～152 に目を通す。	0.5 時間
	1,3,4	復習	教科書、配布資料を読み直し子どもの事故防止に努める意義を確認する。	0.5 時間
10	講義内容	子どもの安全③;感染予防		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.86～103 に目を通す。	0.5 時間
	1,3,4	復習	教科書、配布資料を読み直し、自己の有効な感染予防行動に結びつける。	0.5 時間
11	講義内容	子どもの安全④;子どもによくみられる症状への対応		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.80～84 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	教科書、配布資料を読み直し、子どもの変化に適切に対処できる能力を高める。	0.5 時間
12	講義内容	子どもの安全⑤;慢性疾患や障害のある子どもの保育		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.104～124 に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書、配布資料を読み直し、適切に対処できる能力を高める。	0.5 時間
13	講義内容	保健活動と保育①;地域における母子保健サービス、子育て支援システム		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.154～160 に目を通す。	0.5 時間
	1,4	復習	教科書、配布資料を読み直し、地域保健活動と保育との関係について理解を深める。	0.5 時間
14	講義内容	保健活動と保育②;保育所における保健活動		
	該当する到達目標	予習	子どもの保健演習ブック P.164～170 に目を通す。	0.5 時間
	5	復習	教科書、配布資料を読み直し、作成したい保健だよりの内容を考える。	0.5 時間
15	講義内容	保健活動と保育③;保健だよりの作成、15 回のまとめ		
	該当する到達目標	予習	保健だより作成に必要な資料・情報を収集する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	作成した保健だよりを評価・修正するとともに、子どもの健康増進・安全を守るための自己の役割を再確認する。	0.5 時間
備考				

科目名	教育心理学A(保育・教育の原理)				CEP1E1	講義
担当教員	板津 裕己					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位			
講義目標	人が社会生活を営んでいくためには、学ぶよろこびや知る楽しみの経験を通して、自分自身で問題解決できる能力が求められる。このような能力を育てていくために、そして、人間関係能力の育成を促進するために教育心理学領域などで見いだされた研究成果を学ぶ。					
到達目標	1.幼児、児童や生徒にとって経験することが大切な学習の機会であることを理解できるようになる。 2.「学習」は楽しい経験であることを、学生自身が理解できる。また、子どもたちに伝えられるようになる。 3.教育場面で、「意欲」や「健康な自己観」が大切であることに気づく。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	評価は、個人ワーク課題の提出状況(20 点)、小テスト(20 点)、課題レポート(10 点)および期末試験(50 点)を総合して行う。					
課題に対するフィードバック	小テストは、採点後に返却をする。 課題レポートは、コメントを付けた後に返却をする。					
使用教材	テキストは使用しない。授業進行に従いプリント や予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 桜井茂男 学習意欲の心理学 –自ら学ぶ子供を育てる– 誠信書房 1997 坂原明(編著) 保育のための教育心理学 –学ぶよろこび知る楽しさを育てる– おうふう 2009 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005					
1	講義内容	心理学と教育心理学、発達課題と学習・学び				
	該当する到達目標	予習	「学習」や「意欲・やる気」について自分なりの考えをまとめておく。			1.5 時間
	1	復習	発達課題と学習・学びの意味について復習をしておく。			1.5 時間
2	講義内容	人間のこころの働き –記憶、思考、問題解決–				
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。			1.5 時間
	1	復習	記憶、思考、問題解決といったこころの働きについて復習をしておく。			1.5 時間
3	講義内容	心理学で考える学習				
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。			1.5 時間
	1,2	復習	「学習」の意味について考える。			1.5 時間
4	講義内容	学びのさまざま、教授学習の理論				
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。			1.5 時間
	1,2	復習	学習方法について復習をしておく。小テストへの準備。			1.5 時間
5	講義内容	意欲、欲求と動機づけ、学習意欲、第 1 回から第 4 回までの学習内容についての小テスト				
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。			1.5 時間
	1,2,3	復習	意欲、欲求と動機づけ、学習意欲について復習をしておく。			1.5 時間
6	講義内容	学習意欲と原因帰属、学習と個性				
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。			1.5 時間
	1,2,3	復習	学習と個性の関係について考える。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	学習意欲と対人関係、学習意欲と外部報酬や罰		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	学習意欲を左右する要因について考える。	1.5 時間
8	講義内容	学習意欲と学校教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	学習意欲促進する方法について考える。	1.5 時間
9	講義内容	学習意欲を育てる方法		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	学習意欲促進する方法について考える。	1.5 時間
10	講義内容	健康な自己観を育てる		
	該当する到達目標 3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	健康な自己観の大切さについて考える。	1.5 時間
11	講義内容	自己肯定感を育てる教育活動 -自己受容性の視点から-		
	該当する到達目標 3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	自己肯定感を育てる具体的な教育活動を自分で考える。小テストへの準備。	1.5 時間
12	講義内容	共感性、道徳観と思いやりの心、第 5 回から第 11 回までの学習内容についての小テスト		
	該当する到達目標 3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	集団生活を過ごす中で、道徳・倫理や思いやりの心の大切さについて考える。	1.5 時間
13	講義内容	特別な支援を必要とする子どもへの対応		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	特別な支援を必要とする子どもへの対応法を考える。	1.5 時間
14	講義内容	学校教育での評価		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	公平・平等な評価のあり方について考える。	1.5 時間
15	講義内容	個性と個性を理解する方法		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容の key-word プリントを用いて、用語の確認を行う。	1.5 時間
		復習	全 15 回の学習内容を復習しておく。定期試験の準備を行う。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 ・予習課題は、授業開始時に提出する。 ・予習課題や小テストの他に課題レポートを課す。			

科目名	乳幼児心理学(保育・教育の原理)				CEP153	講義
担当教員	富田 純喜					
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	本講義では、乳幼児期の各年齢における一般的な発達の特徴について学ぶ。そのうえで、保育実践と関連づけながら現状と課題について考察する。					
到達目標	1.0 歳から 6 歳までの一般的な発達について説明できる。 2.一般的な発達の特徴と保育実践との関連を説明できる。 3.発達を基盤とした保育実践を構想できる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、授業参画度(20%)					
課題に対する フィードバック	小テストについては、その都度、授業時間内に解説をする。 定期試験については、提出後、出題意図を掲示によって示す。					
使用教材	必要に応じて資料を配布する。					
1	講義内容	子どもの発達と保育実践				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	発達理論と保育実践の関係について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	個人差や発達過程に応じた保育				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	発達の個人差を規定する要因および個人差が生じる要因について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	経験と環境との相互作用				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもにとっての経験と認知発達について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	保育者と子どもの発達				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもの発達における保育者の役割について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	子ども同士の関わりと関係づくり / 小テスト(対象範囲:1~4 回)				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	仲間関係と社会性の発達について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	自己主張と自己統制				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	自我の発達と自己主張、自己統制について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	子ども集団と保育				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	個と集団の特性を活かした保育実践について理解する。			1.5 時間
8	講義内容	子どもの生活と学び / 小テスト(対象範囲:5~7 回)				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。			1.5 時間
	1,2,3	復習	学習理論と保育実践の関係について理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	子どもの遊びと学び		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	遊びの分類と遊びをととした学びについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	生きる力の基礎と保育		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	生きる力の基礎となる要素と 5 領域との関連について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	基本的生活習慣の獲得と発達援助 / 小テスト(対象範囲:8~10 回)		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	基本的生活習慣とその獲得過程、援助について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	主体性の形成と発達援助		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもの主体性とその援助について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	発達の課題に応じた援助		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	気になる子どもと援助について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	地域との連携、就学への支援		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、課題をこなす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもの発達の連続性と保育、就学支援について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	14 回までの講義内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本講義で学習した内容をもとに、発達を基盤とした保育実践を構想する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 オフィスアワー:火曜 2 限、水曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス:tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		発達心理学(保育・教育の原理)			CEP148	演習
担当教員		板津 裕己				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標		保育者は、子どもたちがその可能性を発揮し、安心して自分を活かしていく環境を構成できるように、子どもたちの発達の過程をしっかりと学んでいく必要がある。本演習では、乳幼児期の発達過程に関するテーマについてグループワークを行うことで、乳幼児の心身の発達と保育実践との結びつきを考えられるようにする。				
到達目標		1.乳幼児期の発達過程や主要な発達理論の概要について理解できるようになる。 2.乳幼児の発達過程理解が保育実践にどのように生かされているのかについて問題意識をもって学ぶ。 3.保育活動を取り巻く現状について、特に心理学的な視点から当該問題について考えられるようになる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		評価は、課題提出状況(30点)、小テスト(10点)、レポート課題(10点)と期末試験(筆記試験)(50 点)を総合して行う。				
課題に対するフィードバック		グループワーク学習で出た意見は、2 クラス分をまとめて次回の授業時にフィードバックをする。 小テストは、採点後に返却をする。				
使用教材		テキストは使用しない。授業進行に従いプリントや予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 加藤紀子(編著) 保育の心理学 Ⅰ 大学図書出版 2014 蓮見元子(編著) 保育の心理学Ⅱ 大学図書出版 2014 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005				
1	講義内容	オリエンテーション 子どもを知ること、子どもの権利				
	該当する到達目標 1	予習	「子どもが健やかに育つために必要な要件」について考えておく。			1.5 時間
		復習	子どもの権利について考える。			1 時間
2	講義内容	心理学から見る子ども				
	該当する到達目標 1	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	自分の子ども観や保育観についてまとめる。			1 時間
3	講義内容	身体と感情の発達				
	該当する到達目標 1	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	乳幼児の身体と感情の健やかな成長・発達支援を考える。			1 時間
4	講義内容	言葉とコミュニケーションの発達				
	該当する到達目標 1	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	乳幼児の言葉やコミュニケーションの健やかな発達支援を考える。			1 時間
5	講義内容	自分自身のとらえ方の発達				
	該当する到達目標 1	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。			1.5 時間
		復習	乳幼児の健やかな自己観発達支援を考える。			1 時間
6	講義内容	社会性の発達				
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	乳幼児の健やかな社会性の発達支援を考える。	1 時間
7	講義内容	乳幼児と養育者との関係		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	乳幼児において養育者の役割や意味について復習しておく。	1 時間
8	講義内容	特別の支援を必要とする乳幼児への係わり		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	特別の支援を必要とする乳幼児への係わり方を考える。小テストへの準備。	1 時間
9	講義内容	個人差や発達過程に応じた保育、第 1 回から第 8 回までの学習内容についての小テスト		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	個性を育てる保育方法について考える。	1 時間
10	講義内容	子どもの発達と保育環境		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	乳幼児において保育環境の役割や意味について復習しておく。	1 時間
11	講義内容	保護者の保育者観や期待		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	保護者の保育者に抱くイメージなどについて復習しておく。	1 時間
12	講義内容	乳幼児発達に関わる今日的な問題を考える		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学習内容を復習しておく。関連問題に自発的にあたってみる。	1 時間
13	講義内容	乳幼児と周囲の人との関係に関わる今日的な問題を考える		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学習内容を復習しておく。関連問題に自発的にあたってみる。	1 時間
14	講義内容	発達の連続性と就学への支援		
	該当する到達目標	予習	本時のグループワーク課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	保育者、教師や保護者の視点から本時の学習内容を復習しておく。	1 時間
15	講義内容	発達援助における連携と協働、まとめ		
	該当する到達目標	予習	本時の予習課題について事前学習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	全 15 回の学習内容を復習しておく。定期試験準備を行う。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 あらかじめ準備したワーク課題を基に、グループワークと発表、関連事項の講義でもって授業を進めていく。課題プリントは、授業時間終了時に提出する。			

科目名		臨床心理学(保育・教育の原理)			CEP154	講義
担当教員		角野 善司				
学年・開講期		4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		この科目においては、諸個人の心の理解とその援助について学ぶ。まず、「心の理解」であるが、「心」を取り出して直接に観察することはできない。そこで、人間の種々の行動から解釈することによって理解せざるを得ないために、人間の心に迫る、この種の方法を学ぶ必要がある。これらに基づき、種々の心の状態を推測していきながら、心理的な諸問題を抱えて生きる他者への援助についても学ぶ。この科目で学んだことを保育・教育場面に応用できるようになることが、目標である。				
到達目標		1.臨床心理学および臨床心理学的援助の基本について説明できる。 2.心理アセスメントについて説明できる。 3.心理療法について説明できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の小レポート 80%、学期末レポート 20%				
課題に対する フィードバック		小レポートは毎回授業時に、学期末レポートは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材		川瀬正裕ほか「心とかかわる臨床心理[第 3 版]」ナカニシヤ出版 2015 年 2,200 円＋税				
1	講義内容		臨床心理学とは何か			
	該当する到達目標 1		予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。		1.5 時間
2	講義内容		適応と不適応、治癒と寛解			
	該当する到達目標 1		予習	教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。		1.5 時間
3	講義内容		臨床心理学の領域			
	該当する到達目標 1		予習	教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。		1.5 時間
4	講義内容		臨床心理学的援助の対象			
	該当する到達目標 1		予習	教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。		1.5 時間
5	講義内容		臨床心理学的援助のプロセス：心理アセスメントと心理療法			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。		1.5 時間
6	講義内容		心理アセスメントの概要と実際(1): 面接法、観察法			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
7	講義内容	心理アセスメントの概要と実際(2): 心理検査		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
8	講義内容	心理療法の概要と実際(1): 精神分析		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
9	講義内容	心理療法の概要と実際(2): 来談者中心療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
10	講義内容	心理療法の概要と実際(3): 行動療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
11	講義内容	心理療法の概要と実際(4): 認知行動療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
12	講義内容	心理療法の概要と実際(5): 家族療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
13	講義内容	心理療法の概要と実際(6): 集団心理療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	心理療法の概要と実際(7): 日本生まれの心理療法		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
備考	・オフィスアワー(後期): 月曜 3 限、月曜 4 限 研究室: 8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp			

科目名	保育者論(保育・教育の原理)				CEP102	講義
担当教員	富田 純喜					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位			
講義目標	本講義では、保育者の職務や専門性について学んでいく。保育者は、子どもの傍に寄り添い、一緒に生活するだけの存在ではない。より高度な専門性が求められている。本講義をとおして、客観的な視点から保育者像を捉え直し、現代社会に求められる保育者の資質や知識、技能などを検討していく。					
到達目標	1.保育者の社会的位置づけについて説明できる。 2.保育者にまつわる法制度について説明できる。 3.保育者に求められる役割、専門性について考察できる。 4.現代社会における課題の理解をとおして、求められる保育者像について説明できる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	レポート(70%)、授業内課題・小テスト(20%)、授業参画度(10%)					
課題に対するフィードバック	小テストについては、その都度、授業時間内に解説をする。 レポートについては、提出後、出題意図を掲示によって示す。					
使用教材	必要に応じて資料を配布する。					
1	講義内容	保育者の仕事				
	該当する到達目標	予習	保育者の仕事について現時点での自身の考えを整理する。			1.5 時間
	1,4	復習	保育者の仕事と本講義で扱う内容について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	資料にみる保育者の姿				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	1,3,4	復習	保育者が置かれている現状を資料から読み取る。			1.5 時間
3	講義内容	保育者の倫理・服務				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	1,2,4	復習	保育者の職業倫理や服務について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	幼稚園教諭・保育教諭・保育士(1)誕生と変遷				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	1,2	復習	保育者の誕生と変遷を制度面から理解する。			1.5 時間
5	講義内容	幼稚園教諭・保育教諭・保育士(2)養成の仕組み				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	1,2	復習	保育者養成の仕組みと養成カリキュラムについて理解する。			1.5 時間
6	講義内容	保育者の役割(1)子ども理解				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	3,4	復習	子ども理解の基本を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	保育者の役割(2)指導と援助				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
	3,4	復習	指導と援助の違いから保育者の役割を理解する。			1.5 時間
8	講義内容	保育者の役割(3)子どもの個性・主体性の尊重				
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3,4	復習	子どもの個性・主体性を尊重するための保育者の役割を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	保育者の専門性(1)専門職としての知識・技術		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	保育者に求められる知識や技能について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	保育者の専門性(2)保育の省察		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	省察の意義と方法から保育者の専門性について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	保育者の専門性(3)学び続ける保育者と研修		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	学び続ける保育者像と研修の意義について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	保育者の専門性(4)保育者のキャリア形成		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	保育者のキャリア形成について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	現代社会の課題と保育者(1)保育ニーズの多様化		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	多様化する保育ニーズへの対応について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	現代社会の課題と保育者(2)子育て支援と保育者の役割		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	子育て支援の意義と保育者の役割について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	現代社会の課題と保育者(3)保護者および地域社会との連携		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
	3,4	復習	これまでの講義を振り返り、保育者に求められる知識や技能について検討する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 オフィスアワー:火曜 2 限、水曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス:tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		遊びの指導(保育・教育の原理)			CEP121	講義
担当教員		内田 祥子				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		幼児教育の原理を踏まえ、遊びによる総合的な指導と教師の役割について理解できるようにする。				
到達目標		1.遊びによる総合的な指導について理解し説明ができる 2.遊びにおける教師の役割について理解し説明ができる 3.遊びごとの特徴を踏まえた指導計画の立案や保育の実施ができる 4.幼児の発達特性を踏まえ指導のポイントについて説明できる 5. 海外における保育アプローチを知り、説明することができる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業内での課題 30%・期末試験 70%				
課題に対するフィードバック		課題にコメントし返却する				
使用教材		テキスト「幼稚園教育要領解説」				
1	講義内容	オリエンテーション:遊びとは何か				
	該当する到達目標	1	予習	シラバスを読んでくる		1.5 時間
		1	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
2	講義内容	遊びの指導とは何か				
	該当する到達目標	1	予習	遊びの「指導」について調べてくる		1.5 時間
		1	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
3	講義内容	遊びをめぐる現代の課題①遊び環境の変化				
	該当する到達目標	2	予習	子どもの遊びの時代的な変化を調べてくる		1.5 時間
		2	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
4	講義内容	遊びをめぐる現代の課題②学びをめぐる議論				
	該当する到達目標	2	予習	子どもの遊びにおける学びとはどのようなものかを考える		1.5 時間
		2	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
5	講義内容	遊びの発達と指導:ごっこ遊びの発生				
	該当する到達目標	3	予習	ごっこ遊びはどのように生まれるのかを考える		1.5 時間
		3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
6	講義内容	遊びの発達と指導:ごっこ遊びの発達				
	該当する到達目標	3	予習	幼少期にどのようなごっこ遊びを好んでいたかを思い起こす		1.5 時間
		3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
7	講義内容	遊びの発達と指導:ごっこ遊びの指導				
	該当する到達目標	3	予習	実習時の保育者によるごっこ遊びへの指導について思い起こす		1.5 時間
		3	復習	指導案作成		1.5 時間
8	講義内容	遊びの発達と指導:ルール遊びの発達と指導				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	実習時のルール遊びをめぐるトラブルについて思い起こす	1.5 時間
	3	復習	指導案作成	1.5 時間
9	講義内容	遊びの発達と指導: 自然の中での遊び		
	該当する到達目標	予習	自然の中での遊びの楽しさについて考える	1.5 時間
	3	復習	指導案作成	1.5 時間
10	講義内容	遊びの発達と指導: 描画などの表現		
	該当する到達目標	予習	乳幼児期の描画の特徴について考える	1.5 時間
	3	復習	指導案作成	1.5 時間
11	講義内容	海外の保育アプローチ①レッジョエミリア		
	該当する到達目標	予習	レッジョエミリアについて調べる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
12	講義内容	海外の保育アプローチ②ラーニングストーリー		
	該当する到達目標	予習	ラーニングストーリーについて調べる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
13	講義内容	遊びの指導における情報機器の利用		
	該当する到達目標	予習	保育における情報機器の活用方法を調べる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
14	講義内容	遊びの指導における安全管理		
	該当する到達目標	予習	保育における安全管理の現状を調べる	1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
15	講義内容	まとめ: 遊びの指導における保育者の役割		
	該当する到達目標	予習	現代の保育者にどのような役割が求められているかを考える	1.5 時間
	4	復習	授業の内容を踏まえ、遊びの指導に求められる保育者の役割についてレポートを作成する	1.5 時間
備考	オフィスアワーは月曜の 2・3 限です(研究室 410) uchida-s@takasaki-u.ac.jp			

科目名		保育者論(保育・教育の原理)			CEP102	講義
担当教員		富田 純喜				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		本講義では、保育者の職務や専門性について学んでいく。保育者は、子どもの傍に寄り添い、一緒に生活するだけの存在ではない。より高度な専門性が求められている。本講義をとおして、客観的な視点から保育者像を捉え直し、現代社会に求められる保育者の資質や知識、技能などを検討していく。				
到達目標		1.保育者の社会的位置づけについて説明できる。 2.保育者にまつわる法制度について説明できる。 3.保育者に求められる役割、専門性について考察できる。 4.現代社会における課題の理解をとおして、求められる保育者像について説明できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		レポート(70%)、授業内課題・小テスト(20%)、授業参画度(10%)				
課題に対する フィードバック		小テストについては、その都度、授業時間内に解説をする。 レポートについては、提出後、出題意図を掲示によって示す。				
使用教材		必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	保育者の仕事				
	該当する到達目標 1,4	予習	保育者の仕事について現時点での自身の考えを整理する。			1.5 時間
		復習	保育者の仕事と本講義で扱う内容について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	資料にみる保育者の姿				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育者が置かれている現状を資料から読み取る。			1.5 時間
3	講義内容	保育者の倫理・服務				
	該当する到達目標 1,2,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育者の職業倫理や服務について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	幼稚園教諭・保育教諭・保育士(1)誕生と変遷				
	該当する到達目標 1,2	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育者の誕生と変遷を制度面から理解する。			1.5 時間
5	講義内容	幼稚園教諭・保育教諭・保育士(2)養成の仕組み				
	該当する到達目標 1,2	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育者養成の仕組みと養成カリキュラムについて理解する。			1.5 時間
6	講義内容	保育者の役割(1)子ども理解				
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	子ども理解の基本を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	保育者の役割(2)指導と援助				
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	指導と援助の違いから保育者の役割を理解する。			1.5 時間
8	講義内容	保育者の役割(3)子どもの個性・主体性の尊重				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	子どもの個性・主体性を尊重するための保育者の役割を理解する。	1.5 時間
9	講義内容		保育者の専門性(1)専門職としての知識・技術	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保育者に求められる知識や技能について理解する。	1.5 時間
10	講義内容		保育者の専門性(2)保育の省察	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	省察の意義と方法から保育者の専門性について理解する。	1.5 時間
11	講義内容		保育者の専門性(3)学び続ける保育者と研修	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	学び続ける保育者像と研修の意義について理解する。	1.5 時間
12	講義内容		保育者の専門性(4)保育者のキャリア形成	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保育者のキャリア形成について理解する。	1.5 時間
13	講義内容		現代社会の課題と保育者(1)保育ニーズの多様化	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	多様化する保育ニーズへの対応について理解する。	1.5 時間
14	講義内容		現代社会の課題と保育者(2)子育て支援と保育者の役割	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	子育て支援の意義と保育者の役割について理解する。	1.5 時間
15	講義内容		現代社会の課題と保育者(3)保護者および地域社会との連携	
	該当する到達目標 3,4	予習	配布資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	これまでの講義を振り返り、保育者に求められる知識や技能について検討する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 オフィスアワー:水曜 2 限、木曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス:tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		教師論A(保育・教育の原理)			CEP1A2	講義
担当教員		吉田 恵子 小西 尚之				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		小学校・中学校及び特別支援学校における教職の意義と役割を学ぶ。さらに、さまざまな課題が山積しうる教育現場の現状に鑑み、学校教育における教師のあり方や求められる教師像について、歴史的及び実践的に考察する。さらに、学生が授業を通して自らの適性を考え、将来に対する展望を持つべく、進路選択の機会を提供する。				
到達目標		1.教師の社会的責任や教師の任務・職務及び教師としての生き方について理解している。 2.いかにして教師の力量及び人間性を高めて子どもたちに接していくべきかを理解している。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業中に行う小テストに 70%、授業貢献度に 30%を配分して総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		資料を配布				
1	講義内容		オリエンテーション			
	該当する到達目標 1,2	予習	本学科のカリキュラムについて調べ、シラバスを読んでおく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、教師論を学ぶ意味を理解する。			1.5 時間
2	講義内容		西洋における教師の歴史			
	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
3	講義内容		日本における教員養成の歴史 ①戦前			
	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
4	講義内容		日本における教員養成の歴史 ②戦後			
	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
5	講義内容		日本における教員養成の歴史 ③現在			
	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
6	講義内容		教員の任用と服務			
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
7	講義内容		教師の研修			
	該当する到達目標 1,2	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読んで、講義内容を理解する。			1.5 時間
8	講義内容		教師の役割と仕事			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	教員免許と資格		
	該当する到達目標	予習	小学校教師になるために必要な履修科目と単位数を調べる。	1.5 時間
	1	復習	教員免許をめぐる新たな課題をまとめる。	1.5 時間
10	講義内容	専門職としての教師		
	該当する到達目標	予習	専門職とは何かを調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	専門職をめぐる論争を理解し、まとめる。	1.5 時間
11	講義内容	学校運営:校務分掌・生徒指導		
	該当する到達目標	予習	校務分掌について調べる。	1.5 時間
	1	復習	関係条文から、校長の校務分掌権限等についてまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	学校運営:特別支援教育・安全教育・健康指導など		
	該当する到達目標	予習	学校事故について調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	学校事故防止のための学校・教員の義務についてまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	教員の資質・適格性		
	該当する到達目標	予習	教員にふさわしい資質・適格性について調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	教員は社会から何を求められているか、資料からまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	教師をめぐるトラブル		
	該当する到達目標	予習	学校に寄せられるクレーム・トラブルを調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	クレーム・トラブルの処理・解決に向け、何が重要であるか資料からまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	教職への展望		
	該当する到達目標	予習	理想とする教師像をまとめる。	1.5 時間
	1,2	復習	講義を振り返り、教職への意欲を高める。	1.5 時間
備考	(吉田)オフィシアワー: 月曜 1 限, 火曜 1 限 メールアドレス:yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 503 研究室 (小西)オフィシアワー:火曜 5 限, 金曜 2 限 メールアドレス:konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 409 号室			

科目名		青年心理学(保育・教育の原理)			CEP201	講義
担当教員		板津 裕己				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		昨今の青少年たちに生じる諸問題などを通して、こころが「大人・おとな」になることとはどのようなことかを、参加学生とともに考えていく。さらに、上記の問題について考えていくことで、履修学生が真の意味での「大人・おとな」になる総仕上げをすることを目標とする。				
到達目標		1.生涯発達の視点から青年期の位置づけを理解できるようになる。 2.青年期に生じやすい心理身体的諸問題に対して問題意識を持てるようになる。 3.青年期の発達課題を自分自身の問題として考えられるようになる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		評価は、個人ワーク課題(30点))の提出状況および期末試験(レポート課題)(70点)を総合して行う。				
課題に対するフィードバック		期末試験レポートは、コメントを付けた後に返却する。				
使用教材		テキストは使用しない。授業進行に従いプリント や予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 上里一郎(監修) 臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典 至文堂 2002 ダニエル・ピンク デキるやつに生まれかわる6つのレッスン 講談社 2009 板津裕己 こころの健康の基礎理解 教育新聞社 2007 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005 日本こども家庭総合研究所(編) 日本子ども資料年鑑 新聞や雑誌の記事など				
1	講義内容	オリエンテーション、生涯発達過程の復習				
	該当する到達目標 1	予習	生涯発達過程における青年期の心身の発達特徴について復習をしておく。			1.5 時間
		復習	生涯発達過程の復習。			1.5 時間
2	講義内容	児童期				
	該当する到達目標 1	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	児童期の発達特徴について復習をしておく。			1.5 時間
3	講義内容	青年期の課題、思春期・青年期と自己、アイデンティティの問題				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	青年期の発達特徴について復習をしておく。			1.5 時間
4	講義内容	人間関係の拡大 ―注意したい人との係わり―				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	人間関係の社会問題に意識を向ける。			1.5 時間
5	講義内容	青年期の心理身体的問題の概観				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	青年期の心理身体的問題について復習をしておく。			1.5 時間
6	講義内容	いじめの問題				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。いじめの問題に意識を高める。	1.5 時間
7	該当する到達目標 1,2,3	不登校・学校不適応やスチューデント・アパシー		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,2,3	非行・反社会的行動		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,3	引きこもりや家庭内暴力		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3	情報化社会やメディアが青少年におよぼす影響		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3	青年期と身体意識		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3	青年期といのちの問題		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3	学校不適応、社会不適応傾向にある人や社会的養護を必要とする人たちの自立支援		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。発表の準備。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。本時に扱った問題や関連問題について意識を高める。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2,3	20 代頃までに考えておきたいこと、実践しておきたいこと		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	学習内容を復習しておく。自分自身の生活を振り返る。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,2,3	青年期以降の身体・こころ・社会性の発達		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	全 15 回の学習内容を復習しておく。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス: itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 403 第 6 回から第 13 回は、学生各自が資料を持ち寄りグループ学習や発表とする。 予習課題は、授業終了時に提出をする。			

科目名	こころの健康(保育・教育の原理)			CEP202	講義
担当教員	板津 裕己				
学年・開講期	4 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会では、多くの人が支えあい協力し合って生活している。本講義では、将来、責任ある社会人として活動していくために、自分自身を見つめなおし、自分の周囲にいる人の気持ちを察知して、適切な対応が取れるような自己学習やグループ学習をおこなう。				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

到達目標	1.こころの健康の大切さを自覚できるようになる。 2.セルフ・マネージメント能力を向上させる。 3.健康な自己を育てる。			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)		
	✓	自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	評価は、個人ワークやグループワーク課題の提出状況(30点)および期末試験(レポート課題)(70点)などを総合して行う。			
課題に対する フィードバック	確認作業シートは、内容確認の後に返却をする。 期末試験レポートは、コメントを付けた後に返却をする。			
使用教材	板津裕己　こころの健康の基礎理解　教育新聞社　2007 授業進行に従いプリントを配布する。 参考書・補助教材 高垣忠一郎　自己肯定感って、なんやろう　かもがわ出版　2008 中島・箱田・繁樹(編)　新・心理学の基礎知識　有斐閣　2005 上里一郎(監修)　臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典　至文堂　2002			
1	講義内容	オリエンテーション　―こころの健康とは―		
	該当する到達目標	予習	「何故、こころの健康が重要なのか」について自分なりの考えをまとめておく。	1.5 時間
	1,2	復習	「何故、こころの健康が重要なのか」について自分なりの考えを振り返る。	1.5 時間
2	講義内容	こころの健康の要件		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	「こころの健康」を学ぶ必要性について考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
3	講義内容	人間らしいこころの働き　―適応、自己実現の欲求、適応に関わるこころの働き―		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	「人間らしさとは」について考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
4	講義内容	人間関係とこころの健康		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	人間関係と「こころの健康」の関係について復習をしておく。自己啓発ワークの見直し。確認作業への準備。	1.5 時間
5	講義内容	ライフタスクと共同体感覚、勇気づけと勇気くじき、第1回から第5回までの学習内容についての確認作業		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	「積極的に生きること」について考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
6	講義内容	ストレスと人間行動、ワーカホリック		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	ストレスが人間に及ぼす影響について復習をしておく。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
7	講義内容	ストレス・マネージメント、「こころが強い人」と「気が強い人」		
	該当する到達目標	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2、3	復習	セルフ・マネージメントの大切さを考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	より良い人間関係をつくっていく方法		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	「より良い人間関係をつくっていく方法」について具体策を考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
9	講義内容	健康なパーソナリティ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	健康なパーソナリティ像について復習をしておく。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
10	講義内容	自己受容の心理学1 -自己受容の発達過程-		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	自己受容性の働きや発達過程について復習をしておく。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
11	講義内容	自己受容の心理学2 -自己受容している人の行動特徴-		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	自己受容している人の行動特徴を「こころの健康」と照らし合わせて復習する。確認作業への準備。	1.5 時間
12	講義内容	学校や施設での生活とこころの健康、第6回から第 11 回までの学習内容についての確認作業		
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	学校や施設での生活と「こころの健康」について復習をしておく。	1.5 時間
13	講義内容	教育者や保育者のこころの健康		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	教育者や保育者の「こころの健康」の大切さを考える。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
14	講義内容	大人の発達障害		
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	大人の発達障害の特徴について復習しておく。自己啓発ワークの見直し。	1.5 時間
15	講義内容	「生きること」と「死」についての教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	全15回の学習内容を復習しておく。自己啓発ワークの全体的な見直し。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 授業は、講義のほかに、各時間に自己啓発を目的とした個人ワークやグループワークを実施する。 予習課題は、授業終了時に提出をする。			

科目名		保育内容総論(保育・教育の内容)				CES101	演習
担当教員		今井 麻美					
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標		本授業は、保育内容について学ぶ最初の授業である。前期に学んだ教育原理や保育原理を踏まえ、保育内容 5 領域について保育実践に即して理解を深める。本授業で学んだ内容が、次年度以降の保育内容各論において、さらに深められることが望まれる。					
到達目標		1.子ども理解を土台とした保育内容の必要性について理解する 2.保育内容におけるねらいが子どもの心情、意欲、態度であることの意味について理解する 3.領域とは何かについて理解する 4.子どもの生活全体を通して、養護と教育が一体となって展開される保育内容について理解する					
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養				
		✓	専門的知識				
		✓	問題発見・解決力				
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度 20%, 授業時に書く振り返りレポート 20%, 期末試験 60%。					
課題に対するフィードバック		毎回、授業の後半に授業内容を一人一人が振り返り、レポートとしてまとめる。そのレポートにコメントをつけて返却する。期末試験後に、問題出題の意図を説明する。					
使用教材		適宜プリントを配布する					
1	講義内容	ガイダンス					
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する				0.5 時間
	1,4	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する				0.5 時間
2	講義内容	保育内容とは何か					
	該当する到達目標	予習	前期で学んだ保育原理、教育原理について復習する				0.5 時間
	1,4	復習	保育内容とは子どもの生活全体であることを理解する				0.5 時間
3	講義内容	子ども理解から始まる保育内容 ①遊びを通した子どもの心情の理解					
	該当する到達目標	予習	遊びに関する前期の学びを復習する				0.5 時間
	1,2,4	復習	授業時に見た遊び場面から見た子どもの心情を整理する				0.5 時間
4	講義内容	子ども理解から始まる保育内容 ②グループディスカッション					
	該当する到達目標	予習	前回授業時に見た遊び場면을振り返る				0.5 時間
	1,2,4	復習	グループディスカッションの内容を振り返る				0.5 時間
5	講義内容	子ども理解から始まる保育内容 ③子どもの心情に即した保育内容の展開					
	該当する到達目標	予習	子どもの頃自分自身がどのような気持ちで遊んでいたのかなど、自分自身の経験と保育内容を結びつけて考える。				0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容を振り返りながら、自分なりに子ども理解を出発点にした保育内容の展開の必要性について考える				0.5 時間
6	講義内容	保育内容のねらいと内容 ①心情・意欲・態度とは					
	該当する到達目標	予習	子ども理解から始まる保育内容①②③の内容を振り返る				0.5 時間
	1,2,4	復習	保育内容におけるねらいが子どもの心情、意欲、態度であることの意味について理解を深める				0.5 時間
7	講義内容	保育内容のねらいと内容 ②心情・意欲・態度を育む保育内容					

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,4	予習	保育内容 5 領域のねらいと内容を読む	0.5 時間
		復習	保育内容 5 領域のねらいと内容についての理解を深める	0.5 時間
8	講義内容 保育実践からみる保育内容 5 領域 ①領域とは			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育内容 5 領域のねらいと内容を読み、理解を深める	0.5 時間
		復習	領域とは何か、説明できるように理解を深める。	0.5 時間
9	講義内容 保育実践からみる保育内容 5 領域 ②遊び場面における 5 領域			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育内容 5 領域のねらいと内容を読み、理解を深める	0.5 時間
		復習	具体的な子どもの姿や保育実践と保育内容 5 領域を結びつけて考える	0.5 時間
10	講義内容 保育実践からみる保育内容 5 領域 ③グループディスカッション(遊び場面)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	具体的な子どもの姿や保育実践を頭に思い浮かべながら、保育内容 5 領域のねらいと内容に対する理解を深める	0.5 時間
		復習	具体的な子どもの姿や保育実践と保育内容 5 領域を結びつけて理解を深める	0.5 時間
11	講義内容 保育実践からみる保育内容 5 領域 ④遊び以外の場面における 5 領域			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育内容 5 領域のねらいと内容を読み、理解を深める	0.5 時間
		復習	具体的な子どもの姿や保育実践と保育内容 5 領域を結びつけて考える	0.5 時間
12	講義内容 保育実践からみる保育内容 5 領域 ⑤グループディスカッション(遊び以外の場面)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	具体的な子どもの姿や保育実践を頭に思い浮かべながら、保育内容 5 領域のねらいと内容に対する理解を深める	0.5 時間
		復習	具体的な子どもの姿や保育実践と保育内容 5 領域を結びつけて理解を深める	0.5 時間
13	講義内容 保育内容と保育者の専門性			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	子どもの心情・意欲・態度を育むための保育内容について、これまでの授業内容をもとに振り返る	0.5 時間
		復習	子どもの心情・意欲・態度を育むための保育内容を展開するために、保育者には丁寧な省察が求められることを理解する	0.5 時間
14	講義内容 保育内容の歴史的変遷			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育内容 5 領域のねらいと内容を読み、理解を深める	0.5 時間
		復習	保育内容の歴史的変遷について理解を深める	0.5 時間
15	講義内容 まとめ			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	授業内容を振り返り、授業を通して得た自分の気づきを振り返ってくる	0.5 時間
		復習	今後学びたい内容を整理する	0.5 時間
備考	既習の内容と本授業内容とを結びつけながら、自分なりに理解を深める姿勢を求める。 演習課題への積極的な参加を求める。 オフィスアワー:水曜 3 限、金曜 2 限 メールアドレス:imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 5 階 504			

科目名		保育内容健康(保育・教育の内容)			CES102	演習
担当教員		山西 加織				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース必修 教員養成コース選択 1 単位		
講義目標		乳幼児期の心身の健康および発育発達について理解を深め、子どもに必要な体験とは何かを学ぶ。また、園生活をとおして子どもたちが心と体の健康を培っていくために、保育者として、子どもの運動遊びや基本的な生活習慣の形成、安全等をどのように援助し、役割を果たしていけばよいのかを考えていく。				
到達目標		1.領域「健康」のねらい及び内容を理解し、説明することができる。 2.乳幼児期の発達に関する知識を身につけ、保育者の具体的な援助と関連付けることができる。 3.子どもの健康をめぐる現代的課題に関心をもち、その背景と改善策を説明することができる。 4.子どもの発達段階に応じた運動遊びを考え、指導計画を作成することができる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度(20%)、グループワークや発表への貢献度(10%)、課題(10%)、筆記試験(60%)を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		提出された課題は適宜返却するので、復習しておくこと。期末試験後に、問題出題の意図を説明する。				
使用教材		教科書「新版保育内容健康」宮下恭子編著(大学図書出版) その他、適宜資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション 子どもの健康とは				
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章を読み、子どもの健康について興味関心を高める。			0.5 時間
	1,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			0.5 時間
2	講義内容	領域「健康」のねらいと内容				
	該当する到達目標	予習	領域「健康」のねらいと内容を確認する。			0.5 時間
	1	復習	領域「健康」を踏まえ、保育現場で観察した事柄と照らし合わせ、必要な援助を考察する。			0.5 時間
3	講義内容	乳幼児期の身体の発達				
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章(17～21 頁)をよく読む。			0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			0.5 時間
4	講義内容	乳幼児期の運動発達				
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章(21～31 頁)をよく読む。			0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			0.5 時間
5	講義内容	子どもの運動能力				
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章、第 4 章をよく読む。			0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			0.5 時間
6	講義内容	健康な生活習慣の形成				
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章をよく読む。			0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			0.5 時間
7	講義内容	子どもの安全への配慮				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章をよく読む。	0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。	0.5 時間
8	講義内容	子どもの健康をめぐる現代的課題		
	該当する到達目標	予習	子どもの健康や運動経験で課題となっていることを新聞、雑誌、インターネット等で調べる。	0.5 時間
	2,3	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。	0.5 時間
9	講義内容	領域「健康」と保育の実践 (1)運動遊びの指導のポイント		
	該当する到達目標	予習	これまでの授業内容を踏まえ、運動遊びの指導の留意点を挙げる。	0.5 時間
	4	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。	0.5 時間
10	講義内容	領域「健康」と保育の実践 (2)0～2 歳児の生活・遊び		
	該当する到達目標	予習	0～2 歳児の遊びをいくつか挙げ、援助の留意点を考える。	0.5 時間
	4	復習	0～2 歳児の遊びを一つ取り上げ、指導案を書く。	0.5 時間
11	講義内容	領域「健康」と保育の実践 (3)3 歳児の遊び		
	該当する到達目標	予習	3 歳児の遊びをいくつか挙げ、援助の留意点を考える。	0.5 時間
	4	復習	授業で行った運動遊びを一つ取り上げ、指導案を書く。	0.5 時間
12	講義内容	領域「健康」と保育の実践 (4)4 歳児の遊び		
	該当する到達目標	予習	4 歳児の遊びをいくつか挙げ、援助の留意点を考える。	0.5 時間
	4	復習	授業で行った運動遊びを一つ取り上げ、指導案を書く。	0.5 時間
13	講義内容	領域「健康」と保育の実践 (5)5 歳児の遊び		
	該当する到達目標	予習	5 歳児の遊びをいくつか挙げ、援助の留意点を考える。	0.5 時間
	4	復習	授業で行った運動遊びを一つ取り上げ、指導案を書く。	0.5 時間
14	講義内容	領域「健康」における保育者の役割		
	該当する到達目標	予習	教科書や配布資料を読み返し、全体を復習する。	0.5 時間
	1,2	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書や配布資料を読み返し、全体を復習する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書や配布資料を読み返し、全体を復習する。	0.5 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限, 木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限, 火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 505 研究室			

科目名		保育内容人間関係(保育・教育の内容)			CES103	演習
担当教員		内田 祥子				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	保育・教育コース 必修 1単位 教員養成コース 選択 1単位		
講義目標		乳幼児期におけることばの発達と役割を理解し、保育内容の領域「言葉」について、実践的に学ぶ。				
到達目標		1.乳幼児期の人間関係の発達について理解し、説明することができる。 2.保育内容「人間関係」の位置づけを理解し、説明することができる。 3.「人間関係」の育ちを促す保育者の援助について理解し、説明することができる。 4.保育内容「人間関係」の教材研究・指導計画を実施できる 5.「人間関係」をめぐる現代的課題について理解し説明することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業の取り組み 30% 期末試験 70%				
課題に対する フィードバック		課題にコメントし、返却する				
使用教材		「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「認定こども園保育・教育要領」				
1	講義内容		授業概要・評価方法の確認			
	該当する到達目標		予習	シラバスを読んでくる		1.5 時間
	2		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
2	講義内容		領域人間関係のねらいと内容			
	該当する到達目標		予習	幼稚園教育要領等の「人間関係」のねらいと内容を読んでくる		1.5 時間
	2		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
3	講義内容		ロールプレイング事例: 入園初期の不安が強い幼児			
	該当する到達目標		予習	入園児の幼児の心理について考えてみよう		1.5 時間
	1		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
4	講義内容		援助方法を話し合ってみよう: 入園初期の不安が強い幼児			
	該当する到達目標		予習	援助方法を考えてみよう		1.5 時間
	1		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
5	講義内容		ロールプレイング事例: 幼児同士のいざこざ			
	該当する到達目標		予習	幼児のいざこざの特徴を考えてみよう		1.5 時間
	3		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
6	講義内容		援助方法を話しあってみよう: 幼児同士のいざこざ			
	該当する到達目標		予習	援助方法を考えてみよう		1.5 時間
	3		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
7	講義内容		ロールプレイング事例: きまりを守らない幼児			
	該当する到達目標		予習	幼児の規範意識の特徴を考えてみよう		1.5 時間
	3		復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題		1.5 時間
8	講義内容		援助方法を話し合ってみよう			
	該当する到達目標		予習	援助方法を考えてみよう		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
9	講義内容	協同性をはぐくむ活動		
	該当する到達目標	予習	幼児の協同性の発達について考えてみよう	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
10	講義内容	指導計画立案: 協同性をはぐくむ活動		
	該当する到達目標	予習	協同性をはぐくむ保育活動について考える	1.5 時間
	3	復習	模擬保育の準備	1.5 時間
11	講義内容	模擬保育: 協同性をはぐくむ活動		
	該当する到達目標	予習	模擬保育の準備	1.5 時間
	3	復習	模擬保育の振り返り	1.5 時間
12	講義内容	小学校以降の人間関係の育ち		
	該当する到達目標	予習	児童期の人間関係について考える	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
13	講義内容	行事と人間関係の育ち		
	該当する到達目標	予習	年間を通してどのような行事があるかをまとめてくる	1.5 時間
	4	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
14	講義内容	幼小の交流活動と人間関係の育ち		
	該当する到達目標	予習	幼小の交流活動にどのようなものがあるかをまとめてくる	1.5 時間
	4	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
15	講義内容	地域の人々との関わりと人間関係の育ち		
	該当する到達目標	予習	地域にどのような人がいるかをまとめてくる	1.5 時間
	2	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
備考	オフィスアワーは月曜の 2・3 限です。(研究室 410) uchida-s@takasaki-u.ac.jp			

科目名	保育内容環境(保育・教育の内容)			CES104	演習
担当教員	望月 文代				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位		
講義目標	本授業では、領域「環境」について理解を深めるとともに、実際の保育現場における様々な「環境」について学んでいく。さらに乳幼児の発達に即した、主体的・対話的で深い学びが出来る様な領域「環境」に関わる保育の構想や指導方法、実践力を身に付けることを目標とする。				
到達目標	1.領域「環境」のねらい及び内容、内容の取扱いを理解する。 2.領域「環境」に関わる様々な環境について理解する。 3.領域「環境」を踏まえ、乳幼児が経験し、身に付けていく内容と指導方法を理解する。 4.指導案の構造を理解し、具体的な保育場면을想定した指導案を作成することが出来る。 5.模擬保育の振り返りを通して、保育を省察・評価・改善を行うことが出来る。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	指導案作成・模擬保育(教材研究含む)の実践(50%)、筆記試験(50%)				
課題に対する フィードバック	提出物等は適宜返却するので、各自見直しを行うこと。				
使用教材	教科書①「幼稚園教育要領」＜平成29年告示＞ 文部科学省、フレーベル館、2017年、160円 教科書②「保育所保育指針」＜平成29年告示＞厚生労働省、フレーベル館、2017年、160円 教科書③「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」＜平成29年告示＞内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2017年、160円 教科書④「保育内容 環境」小田豊・湯川秀樹、北大路書房、2009 年、1836 円 教科書⑤「指導計画の作成と保育の展開」文部科学省、フレーベル館、2013 年、270 円				
1	講義内容	領域「環境」の意義、ねらい、内容、内容の取扱いについて			
	該当する到達目標 1	予習	シラバス及び教科書①第 2 章を読んでおく。	0.5 時間	
		復習	教科書①第 2 章を理解する。	0.5 時間	
2	講義内容	「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」、領域「環境」に関連の深い項目と評価について			
	該当する到達目標 1.2	予習	教科書①第 1 章を読んでおく。	0.5 時間	
		復習	「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の 10 項目を理解する。	0.5 時間	
3	講義内容	物的環境としての園具・遊具・素材について			
	該当する到達目標 2.3	予習	教科書④の第 6 章を読んでおく。	0.5 時間	
		復習	物的環境について理解し、具体的な保育場면을想定する。	0.5 時間	
4	講義内容	人的環境としての友だち・保育者との関わりについて			
	該当する到達目標 2.3	予習	教科書④の第 5 章を読んでおく。	0.5 時間	
		復習	人的環境について理解を深め、友だち・保育者の重要性を理解する。	0.5 時間	
5	講義内容	自然環境としての動植物について ー生物・自然(虫や植物) についてー			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書④の第 7 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	自然環境の重要性を理解し、虫や植物の名前を覚える。	0.5 時間
6	講義内容	日常生活の中での興味・関心① ー数量・図形(新聞・広告紙・空き箱・空き容器等)についてー		
	該当する到達目標	予習	教科書④の第 8 章及び教科書①の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	数量・図形を保育現場でどのように活用するのか理解する。	0.5 時間
7	講義内容	日常生活の中での興味・関心② ー標識・文字(身近な標識や文字を通して)についてー		
	該当する到達目標	予習	教科書④の第 8 章及び教科書①の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	身近な標識や文字を乳幼児にどのように伝えていくのか理解する。	0.5 時間
8	講義内容	日常生活の中での興味・関心③ ー情報・施設(園生活や遊びを通して)についてー		
	該当する到達目標	予習	教科書④の第 8 章及び教科書①の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	幼稚園・保育所・認定こども園以外の子どもを取り巻く施設を理解する。	0.5 時間
9	講義内容	地域や行事との関わり (視聴覚教材含む)		
	該当する到達目標	予習	教科書④の第 9 章及び教科書①の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	地域との交流や園行事を理解する。	0.5 時間
10	講義内容	乳幼児期の安全環境 ー安全教育・防災教育について (視聴覚教材含む)		
	該当する到達目標	予習	教科書④の第 11 章を読んでおく。	0.5 時間
	2.3	復習	様々な災害を想定し、安全な環境構成を行なうことが出来る。	0.5 時間
11	講義内容	模擬保育で活用する素材の収集、自然物を用いた教材研究		
	該当する到達目標	予習	教科書⑤の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	3.4	復習	領域「環境」に関する教材研究を行う。	0.5 時間
12	講義内容	保育内容「環境」に関連する指導計画の立案		
	該当する到達目標	予習	教科書⑤の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	3.4	復習	領域「環境」に関する指導計画の立案を行う。	0.5 時間
13	講義内容	身近な素材や自然物を用いた保育実践		
	該当する到達目標	予習	教科書⑤の第 2 章を読んでおく。	0.5 時間
	3.4	復習	保育実践の振り返りを行なう。	0.5 時間
14	講義内容	模擬保育の振り返り ー省察・評価・改善ー		
	該当する到達目標	予習	教科書⑤の第 4 章を読んでおく。	0.5 時間
	3.4.5	復習	模擬保育の省察・評価・改善をまとめる。	0.5 時間
15	講義内容	領域「環境」から見た実践的課題 ー小学校の教科等とのつながりー		
	該当する到達目標	予習	教科書⑤の第 3 章を読んでおく。	0.5 時間
	1.2.3	復習	領域「環境」と通した幼稚園教育と小学校教育の接続について理解する。	0.5 時間
備考	意欲的に授業に取り組むこと。			

科目名	保育内容言葉(保育・教育の内容)				CES105	演習
担当教員	今井 邦枝					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標	乳幼児期におけることばの発達と役割を理解し、保育内容の領域「言葉」について、実践的に学ぶ。					
到達目標	1.乳幼児期の言葉の発達について理解し、説明することができる。 2.幼児教育における保育内容「ことば」の位置づけを理解し、説明することができる。 3.「ことば」の育ちを促す保育者の援助について理解し、説明することができる。 4.保育内容「ことば」教材研究・指導計画 5.「ことば」をめぐる現代的課題について理解し説明することができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業の取り組み 30% 提出物 70% (授業に関する実技ノート・幼児の姿の記録・本の感想文の提出を求める)					
課題に対する フィードバック	課題にコメントし、返却する					
使用教材	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」					
1	講義内容	授業概要・評価方法の確認				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでくる			1.5 時間
	2	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
2	講義内容	言葉とは何か 幼児教育の基本と保育者の役割				
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領解説の「ことば」のねらいと内容を読んでくる			1.5 時間
	2	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
3	講義内容	乳児期における言葉の発達				
	該当する到達目標	予習	初めてあなたが話した言葉が何だったか、調べてみよう			1.5 時間
	1	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
4	講義内容	幼児期における言葉の発達				
	該当する到達目標	予習	幼児の書いた詩を読み、感想を書く			1.5 時間
	1	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
5	講義内容	生活体験と言葉・信頼関係から生み出される言葉				
	該当する到達目標	予習	事例を読んで、感想を書く			1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
6	講義内容	遊びと言葉 ごっこ遊びと言葉				
	該当する到達目標	予習	事例を読んで、感想を書く			1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
7	講義内容	感動体験と言葉				
	該当する到達目標	予習	好きな絵本を一冊えらび、なぜ好きなのか考えてくる			1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
8	講義内容	児童文化と言葉				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	子どものころに夢中になった絵本を思い出し、なぜそれが好きだったのか考える	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
9	講義内容	子どもの「ことば」としての「描画」		
	該当する到達目標	予習	子どもの描画の特徴をかきだす	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
10	講義内容	文字との出会い 自分の思いや考えを伝える		
	該当する到達目標	予習	子どもは文字をどのように習得するのかを考える	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
11	講義内容	子どもの育ちをささえる保育者の言葉		
	該当する到達目標	予習	実習において、印象にのこった保育者の「言葉」を思い起こす	1.5 時間
	3	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
12	講義内容	ことばの育ちを促す教材づくり: 絵本		
	該当する到達目標	予習	どのような絵本にしたいか考える	1.5 時間
	4	復習	絵本を作成してみたの感想	1.5 時間
13	講義内容	ことばの育ちを促す教材づくり: ゲーム		
	該当する到達目標	予習	どのようなゲームにしたいか考える	1.5 時間
	4	復習	ゲームを作成してみたの感想	1.5 時間
14	講義内容	保育内容「ことば」指導計画		
	該当する到達目標	予習	指導計画のねらいと題材を考える	1.5 時間
	4	復習	指導案作成	1.5 時間
15	講義内容	保育園・幼稚園・小学校との連携と言葉 幼児教育の現代的課題		
	該当する到達目標	予習	ことばに関する幼児教育の課題について考える	1.5 時間
	2	復習	授業内の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 4 限、火曜 4 限 メールアドレス: kimai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 507			

科目名	保育内容表現(保育・教育の内容科目)				CES106	演習
担当教員	岡本 拓子					
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするという保育内容「表現」の本質、および保育におけるさまざまな活動の場での子どもの表現についての基礎知識を深めながら、その理解と援助の方法について具体的・実践的に学ぶ。					
到達目標	1.領域「表現」のねらい及び内容について理解する。 2.実践事例を通して、子どもの表現過程について読み取りができるようにする。 3 子どもの表現を育むための環境構成や援助について具体的に学ぶ。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	課題への取り組み 30%, 期末レポート 70%を総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック	毎回授業終了時に振り返りを行い、個々の課題を明確化し共有する。 期末レポートについては個々の課題を明確に示したコメントを付して返却する。					
使用教材	適宜プリント等を配布する。					
1	講義内容	保育の基本と領域「表現」				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスをよく読み、授業内容を理解しておく。			1 時間
		復習	領域「表現」についての理解を深めておく。			1.5 時間
2	講義内容	他の領域と領域「表現」の関わり				
	該当する到達目標 1	予習	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の各解説を読んでおく。			1 時間
		復習	他の領域と領域「表現」の関連性についての理解をふかめておく。			1.5 時間
3	講義内容	保育内容「表現」の歴史的変遷				
	該当する到達目標 1	予習	領域「表現」の内容について熟読しておく。			1 時間
		復習	歴史的変遷についての理解を深めておく。			1.5 時間
4	講義内容	豊かな感性と表現を育むための環境				
	該当する到達目標 1,3	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。			1 時間
		復習	子どもの豊かな感性と表現を育むための環境構成について理解を深める。			1.5 時間
5	講義内容	諸感覚を通しての感性と表現				
	該当する到達目標 1,3	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。			1 時間
		復習	視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚などの諸感覚が子どもの感性と表現に及ぼす影響について理解を深めておく。			1.5 時間
6	講義内容	生命に対する感性と表現				
	該当する到達目標 1,3	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。			1 時間
		復習	生命や自然などへの関心が子どもの感性と表現にどのように影響を及ぼすのか理解を深めておく。			1.5 時間
7	講義内容	事例を通して考える① 音・音楽に対する感性と表現				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	事例から読み取れる音や音楽に対する感性と表現についての理解を深めておく。	1.5 時間
8	講義内容	事例を通して考える② 造形に対する感性と表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。	1 時間
	1,2	復習	例から読み取れる造形に対する感性と表現についての理解を深めておく。	1.5 時間
9	講義内容	事例を通して考える③ 身体と表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。	1 時間
	1,2	復習	例から読み取れる身体に対する感性と表現についての理解を深めておく。	1.5 時間
10	講義内容	事例を通して考える④ ことばと表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。	1 時間
	1,2	復習	例から読み取れることばに対する感性と表現についての理解を深めておく。	1.5 時間
11	講義内容	園環境が育む感性と表現① 時間・空間		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	時間的空間的環境が子どもの感性と表現に及ぼす影響について理解を深めておく。	1.5 時間
12	講義内容	園環境が育む感性と表現② 人・モノ		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を熟読しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	人的・物的環境が子どもの感性と表現に及ぼす影響について理解を深めておく。	1.5 時間
13	講義内容	指導案の作成と模擬保育① ねらいと内容		
	該当する到達目標	予習	模擬保育でとりあげる表現活動のねらいと内容について予め調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ねらいと内容の立て方の理解を深め、模擬保育での課題を解決する。	1.5 時間
14	講義内容	指導案の作成と模擬保育② 環境構成		
	該当する到達目標	予習	環境構成の考え方について調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	環境構成についての理解を深め、模擬保育での課題を解決する。	1.5 時間
15	講義内容	保育内容表現の課題		
	該当する到達目標	予習	これまで行った学習内容について、すべて理解をした上で授業に臨む。	1 時間
	1,2,3	復習	自分自身の保育実践を行う上で、保育内容表現の意義や課題がどのように影響するか理解を深めておく。	1.5 時間
備考	授業は演習形式で行うので、積極的な授業参加を求める。 オフィスアワーは水曜 3 限、水曜 4 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は、メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名	子どもの食と栄養Ⅰ（保育・教育の内容）			CES141	演習
担当教員	高梨 美穂				
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	保育士が接する乳幼児期の子どもたちにおける「食」は、生命の維持・心身の健やかな発育・発達に必要不可欠なものであり、且つ将来の食習慣にも大きな影響を与えるため、保育の現場における食育は非常に重要と言える。本科目では、講義やグループ学習等を通して栄養の基本や子供たちの発育に関する基礎知識を習得し、食育活動へ展開できる力の習得を目指す。				
到達目標	1.子どもたちをとりまく食生活上の問題点を見出し、解決策を考察する。 2.栄養に関する基礎知識を習得する。 3.発達段階に応じた食や栄養の特徴、体の機能を知る。 4.個人または他者とともに、食育媒体・課題を仕上げる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	授業への取り組み姿勢(10%)、授業中の課題(20%)、定期試験(70%)で総合的に評価する。5 回以上の欠席で受験資格なし。				
課題に対するフィードバック	授業中の課題は適宜返却し、説明する。グループ発表の際は、良い点、改善が見込める点等を説明し、履修者同士で評価し合う時間も設ける。定期試験は実施後解答・解説を提示する。				
使用教材	教科書「基本保育シリーズ 子どもの食と栄養」 堤ちはる・藤澤由美子 編著(中央法規)2,000 円+税				
1	講義内容	オリエンテーション、子どもの健康と食生活			
	該当する到達目標 1	予習	教科書第 1 講に目を通す。	0.2 時間	
		復習	講義内容、評価方法、今後の方針を確認する。	0.5 時間	
2	講義内容	子どもの食生活の現状と課題			
	該当する到達目標 1	予習	第 1 回講義時配布資料に目を通す。	0.5 時間	
		復習	子どもの食生活の現状と課題を理解する。	0.5 時間	
3	講義内容	栄養に関する基礎知識①・・・ヒトの体と食べ物のゆくえ			
	該当する到達目標 2	予習	教科書第 2 講に目を通す。	0.5 時間	
		復習	ヒトの体と食べ物の関係を理解する。	0.5 時間	
4	講義内容	栄養に関する基礎知識②・・・栄養素の種類とはたらき			
	該当する到達目標 2	予習	教科書第 3 講に目を通す。	0.5 時間	
		復習	主要栄養素を理解する。	0.5 時間	
5	講義内容	栄養に関する基礎知識③・・・食事摂取基準・食事バランスガイド・食生活指針			
	該当する到達目標 2	予習	教科書第 4 講に目を通す。	0.5 時間	
		復習	食事摂取基準・食事バランスガイド・食生活指針を理解する	0.5 時間	
6	講義内容	献立作成・調理の基本			
	該当する到達目標 2	予習	教科書第 5 講に目を通す。	0.5 時間	
		復習	献立作成・調理の基本を理解する。	0.5 時間	
7	講義内容	子どもの発育・発達と食生活			
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	0.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	子どもの発育・発達および栄養評価について理解する。	0.5 時間
8	講義内容	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6・7 講に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	乳児期の授乳・離乳と食生活について理解する。	0.5 時間
9	講義内容	幼児期の心身の発達と食生活		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 講に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	幼児期の心身の発達と食生活について理解する。	0.5 時間
10	講義内容	学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 講に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	学童期・思春期の心身の発達と食生活について理解する。	0.5 時間
11	講義内容	食育の基本		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10・11 講に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	食育の基本を理解し、テーマを考案する。	0.5 時間
12	講義内容	食育の計画①～保育所における食育年間計画作の成		
	該当する到達目標	予習	計画作成のための情報収集。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	グループ発表準備。	0.5 時間
13	講義内容	食育の計画②～保育所における食育実施計画		
	該当する到達目標	予習	グループ発表準備。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	グループ発表準備。	0.5 時間
14	講義内容	食育の実践～グループ発表・評価		
	該当する到達目標	予習	グループ発表準備。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	グループ発表考察。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの内容を整理する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	前期全体を復習し、試験に向けて整理する。	1 時間
備考	授業中の配布資料は各自ファイリングし、教科書とともに毎時間持ってくること。			

科目名	子どもの食と栄養Ⅱ（保育・教育の内容）			CES142	演習
担当教員	高梨 美穂				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	保育士が接する乳幼児期の子どもたちにおける「食」は、生命の維持・心身の健やかな発育・発達に必要不可欠なものであり、且つ将来の食習慣に大きな影響を与えるため、保育の現場における食育は非常に重要と言える。本科目では、講義やグループ演習・実習を通して、乳幼児期を中心とした食生活の特徴について学び、保育士として乳幼児およびその保護者への食に関する支援について対応できる力の習得を目指す。				
到達目標	1.ライフスタイル別の食事の特徴・方法、支援方法を習得する。 2.食物アレルギーおよび子どもの疾病・体調不良時における栄養について説明できる。 3.保育中の食事における危険な場面を想定し、回避・対処方法を説明できる。 4.乳幼児期の食事・おやつの特徴を説明でき、作ることができる。 5.人の命を預かる責任能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	授業への取り組み姿勢(20%)、授業中の課題(20%)、レポート(60%)で総合的に評価する。5 回以上の欠席、レポートの未提出は単位取得できない。				
課題に対するフィードバック	授業中の課題は適宜返却し、説明する。レポートはコメントをつけて返却する。				
使用教材	教科書「基本保育シリーズ 子どもの食と栄養」 堤ちはる・藤澤由美子 編著(中央法規) 2,000 円+税				
1	講義内容	成人期・妊娠期・授乳期の食生活			
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 講に目を通す。	0.5 時間	
	1	復習	成人期、妊娠期、授乳期の食生活について理解する。	0.5 時間	
2	講義内容	乳児期の食生活①～母乳栄養と人工栄養			
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 講に目を通す。	0.5 時間	
	1,3,4	復習	母乳栄養、人工栄養の特徴と注意点について理解する。	0.5 時間	
3	講義内容	乳児期の食生活②～離乳食とベビーフード			
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 講に目を通す。	0.5 時間	
	1,3,4	復習	離乳の基本とベビーフードの特徴について理解する。	0.5 時間	
4	講義内容	乳児期の食生活③～まとめ			
	該当する到達目標	予習	グループワークのための情報収集。	0.5 時間	
	13,4	復習	グループワークのまとめ、レポート作成	0.5 時間	
5	講義内容	特別な配慮を要する子どもの食と栄養①～子どもの疾病・体調不良と栄養			
	該当する到達目標	予習	教科書第 14 講に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	子どもの疾病と体調不良の特徴と栄養について理解する。	0.5 時間	
6	講義内容	特別な配慮を要する子どもの食と栄養②～食物アレルギー			
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 講に目を通す。	0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	食物アレルギーについて理解する。	0.5 時間	
7	講義内容	家庭や児童福祉施設における食事と栄養			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書第 13 講に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	家庭および施設における食生活上の特徴や問題点について理解する。	0.5 時間
8	講義内容	施設における衛生管理・食中毒		
	該当する到達目標	予習	教科書第 13 講に目を通す。	0.5 時間
	3,5	復習	衛生管理および食中毒の基本を理解する	0.5 時間
9	講義内容	幼児期の心身の発育		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 講に目を通す。	0.5 時間
	1,4	復習	幼児期の心身の発育を理解し、保育士としての支援方法について考察する。	0.5 時間
10	講義内容	幼児期の食生活①～保育所における食事、行事食		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 講に目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	幼児期における食事・おやつを考案する。	0.5 時間
11	講義内容	幼児期の食生活②～食事・おやつ計画		
	該当する到達目標	予習	幼児期における食事・おやつを考案する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	調理実習準備。	0.5 時間
12	講義内容	幼児期の食生活③～食事・おやつの実践		
	該当する到達目標	予習	調理実習準備。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習のまとめ。	0.5 時間
13	講義内容	幼児期の食生活④～まとめ		
	該当する到達目標	予習	実習のまとめ。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	レポート作成。	0.5 時間
14	講義内容	食を通した保護者への支援		
	該当する到達目標	予習	グループワークに向けた情報収集。	0.5 時間
	1,2,4	復習	グループワークのまとめ。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの内容を整理する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	全体の復習、レポート作成。	0.5 時間
備考	授業中の配布資料は各自ファイリングし、教科書とともに毎時間持ってくること。 調理室に入る回は、指示のあったものを必ず持参し、身支度を整え、入室すること。			

科目名	乳児保育Ⅰ（保育・教育の内容）				CES143	演習
担当教員	今井 麻美					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	乳児の発達を知り，発達に即した保育環境や保育内容について理解を深める。					
到達目標	1.乳児の発達を理解する 2.乳児の発達に応じたかかわりの必要性について理解する 3.乳児の発達に応じた生活や遊びについて考えることができる 4.乳児保育において，一人一人に応じるための保育方法の必要性について理解する					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業への参加度 20%，授業内で取り組む課題 20%，最終試験 60%					
課題に対するフィードバック	提出された課題にはコメントを付けて返却する。 期末試験後に、問題出題の意図を説明する。					
使用教材	保育所保育指針 解説書					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで，講義の目標等を理解する			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容，講義目標，到達目標，評価方法等を確認する			0.5 時間
2	講義内容	乳児保育の基本と実践 ①乳児保育の実践を知る・グループディスカッション				
	該当する到達目標	予習	これまで学んできた授業内容を乳児保育という視点から振り返える			0.5 時間
	2,3,4	復習	実践場面を見て気づいた内容を自分なりに整理する			0.5 時間
3	講義内容	乳児保育の基本と実践 ②まとめ				
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションを通して，考えたことをグループメンバーと整理する			0.5 時間
	2,3,4	復習	授業を通して得た気づきや考えを，保育所保育指針に照らし合わせながら理解を深める			0.5 時間
4	講義内容	乳児保育の必要性和意義				
	該当する到達目標	予習	乳児保育の必要性について，自分なりに考えてくる			0.5 時間
	2,3,4	復習	乳児保育の歴史的変遷と現在の乳児保育の意義について理解を深める			0.5 時間
5	講義内容	0 歳児の発達と保育 ①身体・運動能力の発達				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み，予習する			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し，復習する			0.5 時間
6	講義内容	0 歳児の発達と保育 ②対人関係の発達				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み，予習する			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し，復習する			0.5 時間
7	講義内容	0 歳児の発達と保育 ③発達に即した保育環境				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書 p108～112 を読み，予習する			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し，復習する			0.5 時間
8	講義内容	1 歳児の発達と保育 ①身体・運動能力の発達				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み，予習する			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
9	講義内容	1 歳児の発達と保育 ②対人関係・言葉の発達		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
10	講義内容	1 歳児の発達と保育 ③発達に即した保育環境		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書 p112～115 を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
11	講義内容	2 歳児の発達と保育 ①自我の育ち		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
12	講義内容	2 歳児の発達と保育 ②遊び		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
13	講義内容	2 歳児の発達と保育 ③発達に即した保育環境		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書 p112～115 を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
14	講義内容	基本的生活習慣		
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針解説書第 2 章を読み、予習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業内容を振り返りノートに整理し、復習する	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	乳児の発達過程とその理解の必要性について整理する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	乳児の発達過程に即した保育環境や援助方法について整理する	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限, 金曜 2 限。質問は、メールでも受け付けます。 メールアドレス: imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 504			

科目名	乳児保育Ⅱ(保育・教育の内容)				CES144	演習
担当教員	佐々木 由美子					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	乳児保育Ⅰで学習したことを基礎とし、保育施設における乳児にかかわる保育内容について、より実践的な視点から具体的・総合的に理解する。					
到達目標	1.低年齢児との望ましいかかわり方について考える。 2.低年齢児における保育について、実践方法を知る。 3.低年齢児における仲間との関わりをつなぐ援助について理解を深めることができる。 4.低年齢児における保育施設と家庭の連携のあり方について、方法を知る。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験60%、グループ課題・発表20%、提出物20%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	提出物にはコメントをつけて返却する。 グループ課題・発表には総評を行う。 期末試験後に、問題出題の意図を説明する。					
使用教材	なし					
	講義内容	ガイダンス				
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標等を理解する。			1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容、講義目標、到達目標、評価方法等を確認する。			1 時間
	講義内容	子ども同士のかかわり①0歳児の発達と保育				
2	該当する到達目標	予習	0歳児の発達と保育について調べる。			1 時間
	1,2	復習	子ども同士のかかわりから、0歳児の特徴を理解する。			1 時間
	講義内容	子ども同士のかかわり②1歳児の発達と保育				
3	該当する到達目標	予習	1歳児の発達と保育について調べる。			1 時間
	1,2	復習	子ども同士のかかわりから、1歳児の特徴を理解する。			1 時間
	講義内容	子ども同士のかかわり③2歳児の発達と保育				
4	該当する到達目標	予習	2歳児の発達と保育について調べる。			1 時間
	1,2	復習	子ども同士のかかわりから、2歳児の特徴を理解する。			1 時間
	講義内容	保育の記録				
5	該当する到達目標	予習	保育記録の記述方法について調べる。			1 時間
	1,2,3	復習	保育記録の内容について理解する。			1 時間
	講義内容	教材研究① 乳児と遊ぶ身近な素材を見つける				
6	該当する到達目標	予習	新聞紙や道具等を準備する。			1 時間
	2	復習	乳児期の遊びについて理解する。			1 時間
	講義内容	教材研究② 乳児と遊ぶ身近な素材から遊びを考える				
7	該当する到達目標	予習	乳児遊びに適した素材を見つけ準備する。			1 時間
	2	復習	素材から考えた遊び道具を作ってみる。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	教材研究③ 発表		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をする。	1 時間
	2	復習	他のグループの考えた遊びについても理解を深める。	1 時間
9	講義内容	保育実践①小麦粉粘土を作る		
	該当する到達目標	予習	小麦粉粘土の材料を用意する。	1 時間
	3	復習	自分の体験から、乳児が遊びについて理解する。	1 時間
10	講義内容	保育実践②保育者の援助を考える		
	該当する到達目標	予習	小麦粉粘土の材料を用意する。	1 時間
	3	復習	人とのかかわりをつなぐ保育者の援助について理解する。	1 時間
11	講義内容	保育実践③指導計画をたてる		
	該当する到達目標	予習	保育実践から、指導計画を考える。	1 時間
	1,2,3	復習	指導計画と実践のつながりについて理解する。	1 時間
12	講義内容	保育実技		
	該当する到達目標	予習	おもむつ交換の手順を調べる。	1 時間
	1	復習	おもむつ交換の手順と配慮について理解する。	1 時間
13	講義内容	保護者対応①保護者理解		
	該当する到達目標	予習	現代の保護者の状況について調べる。	1 時間
	4	復習	低年齢児における保育施設と家庭の連携のあり方について、方法を知る。	1 時間
14	講義内容	保護者対応②連絡帳を通した保護者支援		
	該当する到達目標	予習	連絡帳を読んでみる。	1 時間
	4	復習	連絡帳の書き方とその役割について理解する。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	乳児保育における援助方法をこれまでの授業を踏まえて、自分なりに整理してみる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	一人ひとりに応じる乳児保育を行う上で必要とされる配慮や工夫についての理解を深める。	1 時間
備考	オフィスアワー: 火曜3限, 木曜2限。質問は, メールでも受け付けます。 メールアドレス: imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 504			

科目名	障害児保育Ⅰ(保育・教育の内容)			CES145	演習
担当教員	野田 敦史				
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	現代は、幼稚園・保育所にも必ずと言ってよいほど障害を持った乳幼児が在籍している。その子どもに対して保育者は個別的にもクラス集団の中でも十分な保育の対応ができなければならない。まず、障害児保育を支える理念や歴史的変遷を理解し、障害児保育の実際について原理・原則を踏まえた実践方法の習得をめざす。次に、身体障害、知的障害、発達障害など様々な障害について知り、その特性を理解する。そして一人ひとりに合った援助の方法や環境構成について分析・提示する思考力の獲得をめざす。さらに障害のある子どもの保護者への支援や関係機関との連携について理解する。				
到達目標	1.障害児保育を支える理念・理論に基づく実践が示せる。 2.障害児保育の実践形態と効果・留意点を踏まえた保育者の実践が示せる。 3.身体障害、知的障害、発達障害等の障害特性に基づく対応方法が示せる。 4.障害児保育に必要な保護者や関係機関との連携の在り方について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 50%、演習貢献度 25%、小テスト 25%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レジュメは授業回1～2ごとに配布し、毎回、回収し評価点(A～C)を付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書:野田敦史・林恵編著「保育と障害のある子ども」みらい その他、適宜レジュメを配布。DVD ビデオも視聴する。				
1	講義内容	ガイダンス ―障害児保育を学ぶ意義―			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標など理解する。		0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法など確認する。		0.5 時間
2	講義内容	障害とは			
	該当する到達目標	予習	教科書 第1章, 第2章の演習課題に目を通しておく		0.5 時間
	1	復習	医学モデル, 社会モデル、ICFなどを理解する。		0.5 時間
3	講義内容	発達と障害			
	該当する到達目標	予習	教科書 第3章の演習課題に目を通しておく		0.5 時間
	1	復習	就学前までの発達における阻害要因などを理解する。		0.5 時間
4	講義内容	障害児保育とその歴史			
	該当する到達目標	予習	教科書 第4章の演習課題に目を通しておく		0.5 時間
	1	復習	日本の障害児・者観、障害児教育と保育のあゆみなどを理解する。		0.5 時間
5	講義内容	肢体不自由児の理解と援助			
	該当する到達目標	予習	教科書 第5章の演習課題に目を通しておく		0.5 時間
	2,3,4	復習	肢体不自由の定義, 程度, 支援方法などを理解する。		0.5 時間
6	講義内容	視覚障害の理解と援助			
	該当する到達目標	予習	教科書 第6章の演習課題に目を通しておく		0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2,3,4	復習	視覚障害の定義, 程度, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
7	講義内容	聴覚障害の理解と援助		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 7 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,3,4	復習	聴覚障害の定義, 程度, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
8	講義内容	知的障害の理解と援助		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 8 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,3,4	復習	知的障害の定義, 程度, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
9	講義内容	発達障害の理解と援助(1)AD/HD LD		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 9 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,3,4	復習	AD/HD LD の定義, 程度, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
10	講義内容	発達障害の理解と援助(2)自閉症スペクトラム		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 10 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,3,4	復習	自閉症スペクトラムの定義, 程度, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
11	講義内容	配慮を必要とする子どもの理解と援助		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 11 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,3,4	復習	愛着障害の定義, 原因, 支援方法などを理解する。	0.5 時間
12	講義内容	障害児保育の方法と形態		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 12 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2	復習	分離保育と統合保育の違いについて理解する。	0.5 時間
13	講義内容	個別の指導計画と個別の(教育)支援計画		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 13 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,4	復習	個別の指導計画と個別の(教育)支援計画の違いについて理解する	0.5 時間
14	講義内容	障害児保育の記録と評価		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 15 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2,4	復習	障害児現場における評価・記録の在り方などを理解する	0.5 時間
15	講義内容	基本的な生活習慣獲得の援助		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 16 章の演習課題に目を通しておく	0.5 時間
	2.4	復習	障害を持つ子どもに対する基本的な生活習慣獲得の援助方法について理解する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: noda@takasaki-u.ac.jp 予習については、演習課題を熟読しておくこと。授業では簡単な説明のみで即、演習に入る場合がある。 復習については、演習をおこなった内容と合致する専門的な理論・方法等のキーワードを教科書で確認しておくこと。小テストおよび定期試験はキーワードを中心に出题するので理解が必要となる。			

科目名		障害児保育Ⅱ（保育・教育の内容）			CES146	演習
担当教員		野田 敦史				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標		障害児保育Ⅰでの学びに基づき、分離・統合保育実践現場それぞれを想定した事例検討、テーマ別研究、支援技術体験を通じ、高度な分析力と応用的な実践技術習得をめざす。				
到達目標		1.分離・統合保育現場における課題を抽出することができる。 2.専門的テーマに基づく情報集・分析・考察・解決方法の立案ができる。 3.障害児保育の実践現場を想定した他職種・他機関の連携の必要性・具体的協働方法の提示ができる。 4.障害種別に特化した効果的な方法提示と実践ができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		演習貢献度 50%、演習成果物 50%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		演習終了後に回収するレジュメ、リアクションペーパーは、コメントもしくは評価(A～C)を付けて返却する。 演習成果物の評価結果は授業回 3～5 回を目安に開示する。				
使用教材		教科書:野田敦史・林恵編著「保育と障害のある子ども」みらい その他、適宜レジュメを配布。DVD ビデオも視聴する。				
1	講義内容	集団生活と遊びの援助				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第 17 章の演習課題に目を通しておく			0.5 時間
		復習	基本的日常生活動作と遊びの意義、保育者の配慮などを理解する			0.5 時間
2	講義内容	保護者や家庭への支援				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第 18 章の演習課題に目を通しておく			0.5 時間
		復習	保護者支援の方法・実際などを理解する。			0.5 時間
3	講義内容	小学校・特別支援学校との連携				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第 19 章の演習課題に目を通しておく			0.5 時間
		復習	就学前審査・相談の内容などを理解する			0.5 時間
4	講義内容	事例検討(1)AD/HD				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第 22 章の事例課題に目を通しておく			0.5 時間
		復習	討議した内容を思い出しながら教科書 第 9 章を確認する。			0.5 時間
5	講義内容	事例検討(2)自閉症スペクトラム				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第 23 章の事例課題に目を通しておく			0.5 時間
		復習	討議した内容を思い出しながら教科書 第 10 章を確認する。			0.5 時間
6	講義内容	手話ダンス(1)技術習得方法と発表に向けて				
	該当する到達目標 4	予習	インターネット等で手話ダンス動画作品を数点、視聴しておく			0.5 時間
		復習	自グループメンバーで役割等の確認・練習			0.5 時間
7	講義内容	手話ダンス(2)技術習得				
	該当する到達目標 4	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。			0.5 時間
		復習	自グループメンバーで役割等の確認・練習			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	手話ダンス(3)発表		
	該当する到達目標	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。	0.5 時間
	4	復習	授業時に配布した資料の内容を理解する。	0.5 時間
9	講義内容	点字翻訳と名刺製作(1)		
	該当する到達目標	予習	前回授業時に配布した「点字表」に目を通しておく。	0.5 時間
	4	復習	点字器で課題に基づく製作物を作成する。	0.5 時間
10	講義内容	点字翻訳と名刺製作(2)		
	該当する到達目標	予習	点字器で課題に基づく製作物を作成する。	0.5 時間
	4	復習	授業時に配布した資料の内容を理解する。	0.5 時間
11	講義内容	テーマ別研究(1)研究と発表の方法		
	該当する到達目標	予習	前回授業時に配布した「研究計画書」を作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	自グループメンバーで役割等の確認・「研究計画書」を作成する。	0.5 時間
12	講義内容	テーマ別研究(2)フィールドワーク		
	該当する到達目標	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	自グループメンバーで役割等の確認・「研究計画書」を作成する。	0.5 時間
13	講義内容	テーマ別研究(3)フィールドワーク		
	該当する到達目標	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	自グループメンバーで役割等の確認・「研究計画書」を作成する。	0.5 時間
14	講義内容	テーマ別研究(4)発表		
	該当する到達目標	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	他グループの発表を振り返り自グループの発表に活かせるよう検討する。	0.5 時間
15	講義内容	テーマ別研究(5)発表		
	該当する到達目標	予習	自グループメンバーで申し合わせた内容を各自おこなう。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	リフレクションカードの記入と提出。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: noda@takasaki-u.ac.jp 予習については、演習課題を熟読しておくこと。授業では簡単な説明のみで即、演習に入る場合がある。また、グループワーク実施期間中はメンバー相互の連絡調整に十分留意し準備をおこなうこと。 復習については、演習をおこなった内容と合致する専門的な理論・方法等のキーワードを教科書で確認しておくこと。グループワーク実施期間中は予習同様、メンバー相互の連絡調整に十分留意し準備をおこなうこと。			

科目名	社会的養護内容(保育・教育の内容)				CES147	演習
担当教員	野田 敦史					
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	社会的養護で学んだ原理・原則等をもとに、多様な社会的養護現場での実践的事象を把握・分析し、具体的な支援方法および関係機関・関連職種との連携・方策を学生個々が提示できることを目指す。					
到達目標	1.社会的養護現場での実践的事象に対して社会的養護の原理・原則に基づき、課題を抽出できる。 2.抽出した課題に対して子どもの最善の利益に基づいた目標設定と具体的な実践方法を立案することができる。 3.家庭支援、アフターケア等、我が国の社会的養護の課題全般に対して地域・他機関連携等を図りながら解決するソーシャルワークに立脚した支援方法の提示ができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	演習貢献度 50%、演習成果物 50%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	演習終了後に回収するレジュメ、リアクションペーパーは、コメントもしくは評価(A~C)を付けて返却する。 演習成果物の評価結果は授業回 3~5 回を目安に開示する。					
使用教材	教科書: 吉田眞理編著「～演習～社会的養護」萌文書林 その他、適宜レジュメを配布。DVD ビデオも視聴する。					
1	講義内容	ガイダンス ―社会的養護内容を学ぶ意義―				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標など理解する。			0.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法など確認する。			0.5 時間
2	講義内容	事例検討(1)児童の権利擁護				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第1章- I を読んでおく。			0.5 時間
		復習	子どもの最善の利益, 生存と発達の保障, 子どもの権利擁護を理解する。			0.5 時間
3	講義内容	事例検討(2)保育士等の倫理および責務				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第1章- II を読んでおく。			0.5 時間
		復習	支援者の子ども観, バーンアウトと共依存の予防を理解する。			0.5 時間
4	講義内容	事例検討(3)施設養護の特性および実際①児童養護施設の暮らし				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第2章- II -§1 を読んでおく。			0.5 時間
		復習	集団生活場面における個別対応の実践について理解する。			0.5 時間
5	講義内容	事例検討(4)施設養護の特性および実際②乳児院の暮らし				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第2章- II -§2 を読んでおく。			0.5 時間
		復習	面会時の保護者支援の方法、措置変更に向けた援助内容などを理解する。			0.5 時間
6	講義内容	事例検討(5)施設養護の特性および実際③医療型・医療型障害児入所施設の暮らし				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 第2章- II -§3 を読んでおく。			0.5 時間
		復習	重症心身障害児、脳性まひ児のケアの方法を理解する。			0.5 時間
7	講義内容	事例検討(6)施設養護の特性および実際④児童自立支援施設・情緒短期治療施設の暮らし				
	該当する到達目標	予習	教科書 第2章- II -§4 を読んでおく。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	夫婦小舎制の利点・欠点, 家庭裁判所の決定による入所などを理解する。	0.5 時間
8	講義内容	事例検討(7)施設養護の特性および実際①障害者支援施設の暮らし		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 章・II・§5 を読んでおく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	障害者支援施設における知的障害者の支援内容などを理解する。	0.5 時間
9	講義内容	座談会(1)乳児院現場職員の語りから		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書 第 3 章・I, II, III で確認する。	0.5 時間
10	講義内容	座談会(2)児童養護施設現場職員の語りから		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書 第 3 章・I, II, III で確認する。	0.5 時間
11	講義内容	座談会(3)アフターケア —あの頃を振り返って—		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書で確認する。	0.5 時間
12	講義内容	座談会(4)措置機関の職務と課題		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書で確認する。	0.5 時間
13	講義内容	ロールプレイ(1)スーパービジョン		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書 第 3,4 章で確認する。	0.5 時間
14	講義内容	ロールプレイ(2)施設内でのケースカンファレンス		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	3	復習	リフレクションカードに記入した内容を思い出しながら教科書 第 3,4 章で確認する。	0.5 時間
15	講義内容	ダイアログ形式による情報共有とまとめ		
	該当する到達目標	予習	事前配布の資料に目を通しておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	リフレクションカードの記入と提出。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限と水曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: noda@takasaki-u.ac.jp 予習については、教科書および事前配布資料を熟読しておくこと。授業では簡単な説明のみで即、演習に入る場合がある。また、グループワーク実施期間中はメンバー相互の連絡調整に十分留意し準備をおこなうこと。 復習については、演習をおこなった内容と合致する専門的な理論・方法等のキーワードを教科書で確認しておくこと。グループワーク実施期間中は予習同様、メンバー相互の連絡調整に十分留意し準備をおこなうこと。			

科目名	国語(保育・教育の内容)				CES181	講義
担当教員	武井 英昭					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	国語の基礎並びに小学校の国語の指導内容を理解し、教員として国語力を高め、指導力の基礎を培う。					
到達目標	1.国語の基礎を理解する。 2.国語の理解を踏まえ、国語を通して「教師が教える・子どもが学ぶ」ということの意義を理解する。 3.子どもが小学校で学ぶ「国語」の内容の概略について小学校学習指導要領により理解する。 4.国語科の3領域1事項について、教科書教材を通して知識・理解を深める。 5.小学校教員(保育者)としての国語の力を高めるとともに指導力の基礎を培う。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	15回の授業の取り組みと毎回の課題(52%【4×13】)及び2回のレポート(48%【24×2】)で総合して評価する。					
課題に対するフィードバック	毎時間課題を提示する。その際に出題意図と採点基準を示す。提出物には必要に応じ加筆訂正を行う。また全体に必要な解説を行う。レポートについても同様である。					
使用教材	小学校学習指導要領解説「国語」編、毎回配布する教材プリント					
1	講義内容	ガイダンス(自己紹介と学習上の留意点) 国語(日本語)とは何か その1 国語の種々相				
	該当する到達目標	予習	言語とは何か、国語とは何かについて考えをまとめる。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
2	講義内容	国語(日本語)とは何か その2 国語のコミュニケーション				
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションの成立とはどういうことかについて考えまとめる。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
3	講義内容	国語(日本語)とは何か その3 国語の語順				
	該当する到達目標	予習	国語の語順の自由度と制約について考えをまとめる。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
4	講義内容	国語(日本語)とは何か その4 語の意味				
	該当する到達目標	予習	語の意味について考えをまとめる。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
5	講義内容	国語(日本語)とは何か その5 国語の語彙及び和語・漢語・外来語				
	該当する到達目標	予習	語彙とはどういうことか、また自分の言語生活でどのような語が多用されているかを考える。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
6	講義内容	国語(日本語)とは何か その6 国語の表記・仮名遣い				
	該当する到達目標	予習	国語の表記法や仮名遣いについてその基本をまとめる。			1.5 時間
	1	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。			1.5 時間
7	講義内容	小学校学習指導要領解説「国語」編の概観。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力など」の理解。及び「話すこと・聞くこと」				
	該当する到達目標	予習	講義 1-6 を踏まえ、小学校学習指導要領解説「国語」編の指定された部分を読む			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4,5		むについて読んで考える。	
		復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
8	講義内容	学級・学習におけるグランドルールについて		
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションや学習におけるグランドルールがなぜ必要かを考える。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
9	講義内容	「書くこと」		
	該当する到達目標	予習	講義 1-6 を踏まえ、小学校学習指導要領解説「国語」編の「書くこと」について読み、大事な点を押さえる。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
10	講義内容	「事実」と「意見」		
	該当する到達目標	予習	事実の表現、意見の表現とはどういうものか、その違いを説明する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	「事実」と「意見」を読み分けるとともに書き分ける。講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
11	講義内容	「読むこと」 説明的な文章について		
	該当する到達目標	予習	講義 1-6 を踏まえ、小学校学習指導要領解説「国語」編の「読むこと」について読み、大事な点を押さえる。どの事項が説明・文学的な文章にかかわるかも考える	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
12	講義内容	「読むこと」 文学的な文章について		
	該当する到達目標	予習	講義 1-6 を踏まえ、小学校学習指導要領解説「国語」編の「読むこと」について読み、大事な点を押さえる。11に同じ	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
13	講義内容	「言語事項・古典等」及び書写		
	該当する到達目標	予習	講義 1-6 を踏まえ、小学校学習指導要領解説「国語」編の「知識・技能」を低中高学年の関係を考えながら読み、大事な点を押さえる。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解を確かなものとする。	1.5 時間
14	講義内容	教育課程における国語科と他教科		
	該当する到達目標	予習	他教科の学習における国語について考えをまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてさらに調べたりして理解や意欲を確かなものとする。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	15回の講義全体を整理する	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	15回の講義を振り返り、学修上の自己課題を明らかにし、その課題解決に向けて意欲を確かなものとする。	2 時間
備考	オフィスアワー：月曜 3 時限 研究室：8 号館 407 研究室 メールアドレス：h-takei@takasaki-u.ac.jp 準備 小学校学習指導要領解説「国語」編、教育出版4年の国語教科書上下			

科目名	算数(保育・教育の内容)				CES183	講義
担当教員	小泉 健輔					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	小学校算数科の指導を行うための基盤として、歴史文化的な背景や数学的な考えについて理解を深められるようにするとともに、算数科の授業をつくるための視点を得られるようにする。					
到達目標	1.小学校算数科の内容の背景に関わる知識や数学的な考えを深めることができる。 2.小学校算数科の指導内容について、歴史的な観点や文化的な観点などを踏まえて、対比的に理解することができる。 3.数学的活動の意義・必要性について、活動を通して具体的に考え、理解することができる。 4.数学的な問題を協同的に解決することのよさを感じ得る。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業での取り組み(活動及び授業内課題 40%・発表会 20%)、提出物の充実度(期末レポート 40%)により総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	授業での活動と課題については、毎時間評価をする。 発表会においては、受講者同士の他者評価も取り入れる。					
使用教材	必要に応じて資料を配布する。					
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義の概略について知る。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、評価方法などについて確認する。			1.5 時間
2	講義内容	数の概念と表記の成立 ①「数を数える」行為について考える				
	該当する到達目標	予習	日常生活場面と数との関わりについて考える。			0.5 時間
	1,2	復習	専門用語の意味を理解し、算数科の指導内容との関連について考える。			2 時間
3	講義内容	数の概念と表記の成立 ②記数法と命数法				
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。			0.5 時間
	1,2	復習	専門用語の意味を理解し、算数科の指導内容との関連について考える。			2 時間
4	講義内容	数の概念と表記の成立 ③十進位取り記数法の特徴				
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。			0.5 時間
	1,2	復習	専門用語の意味を理解し、算数科の指導内容との関連について考える。			2 時間
5	講義内容	世界的に見た歴史的計算方法 ①記数法と計算方法				
	該当する到達目標	予習	現在用いられている計算様式について、学習指導要領や教科書等で調べる。			1 時間
	1,2	復習	講義の内容を受けて、我が国の現在の指導内容と対比して考える。			1.5 時間
6	講義内容	世界的に見た歴史的計算方法 ②いろいろな筆算				
	該当する到達目標	予習	現在用いられている筆算について、学習指導要領や教科書等で調べる。			1 時間
	1,2	復習	講義の内容を受けて、我が国の現在の指導内容と対比して考える。			1.5 時間
7	講義内容	作業的・体験的活動を取り入れた数学的活動 ①折り紙を折って考える				
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,3	復習	講義の内容を受けて、算数科の指導内容との関連について考える。	2 時間
8	講義内容	作業的・体験的活動を取り入れた数学的活動 ②ジオボード		
	該当する到達目標	予習	各自でジオボードを作成する。	1 時間
	1,3	復習	講義の内容を受けて、算数科の指導内容との関連について考える。	1.5 時間
9	講義内容	作業的・体験的活動を取り入れた数学的活動 ③タングラム		
	該当する到達目標	予習	各自でタングラムを作成する。	1 時間
	1,3	復習	講義の内容を受けて、算数科の指導内容との関連について考える。	1.5 時間
10	講義内容	身の回りにある算数・数学 ①日常生活に生かされる数学		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	講義の内容を受けて、算数科の指導内容との関連について考える。	2 時間
11	講義内容	身の回りにある算数・数学 ②社会に生かされる数学		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	講義の内容を受けて、算数科の指導内容との関連について考える。	2 時間
12	講義内容	グループごとの課題選択・解決		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,3,4	復習	割り振られた課題の解決に向けて考える。	2 時間
13	講義内容	グループごとの課題解決・発表準備		
	該当する到達目標	予習	割り振られた課題を解決する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	課題解決の過程をふり返り、表現の仕方について考える。	1 時間
14	講義内容	課題解決発表会		
	該当する到達目標	予習	発表の準備を行う。	1.5 時間
	1,3,4	復習	他のグループの発表内容について振り返り、まとめる。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	この講義での学習内容を網羅的に振り返る。	1 時間
	1,2,3,4	復習	指定された期末レポートを作成する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 2 時限、4 時限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: koizumi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 302 予習・復習については、適宜発表会前の学習や期末レポートの作成で補完すること。			

科目名	社会(保育・教育の内容)			CES182	講義
担当教員	栗原 幸正				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース選択、教員養成コース必修 2 単位		
講義目標	社会認識に係る社会科の意義と内容について、具体的事例を通して、理論や歴史的背景等を元に考察し、理解する。また、社会科の授業づくりににおいて必要な方法を習得する。				
到達目標	1.主に小学校社会科の学習内容について、具体的な事例を通して理解し、指導の見通しを持つことができる。 2.社会科における現代的課題について討議し、自分の考えを説明することができる。 3.社会科の授業づくりに必要な知識や方法並びにその意義を習得することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%)				
課題に対する フィードバック	紙媒体(授業感想・成果物等)については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材	小学校学習指導要領解説社会編(115 円)				
1	講義内容	オリエンテーション(北海道に係る地域学習の導入示範授業)・群馬の農業に係る協議			
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編に目を通しておく。		2 時間
	1.3	復習	示範授業からの気づきをカードに記述しておくと共に、講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。		1 時間
2	講義内容	社会科の目標と内容の概略説明・社会科個人調査活動の提示			
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p10～p17 に目を通しておく。		1 時間
	1	復習	社会科の目標と内容について理解すると共に社会科個人調査活動の目的・方法を理解する。		1 時間
3	講義内容	第 3・4 学年の内容(地域学習の解説)			
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p18～p47 に目を通しておく。		2 時間
	1	復習	第 3・4 学年の学習内容の特色と留意点について理解する。社会科個人調査活動に取り組む。		1 時間
4	講義内容	第 3・4 学年の内容(社会に開かれた教育課程の創造の理解)			
	該当する到達目標	予習	平成29年3月告示新学習指導要領に目を通しておく。		0,5 時間
	2.3	復習	社会科における「社会に開かれた教育課程」創造のあり方をチームで再検討する。		1 時間
5	講義内容	第 3・4 学年の内容(社会科における「社会に開かれた教育課程」の検討)と社会科個人調査発表①			
	該当する到達目標	予習	前時の協議を元に発表内容をチームで検討しておく。		1 時間
	2.3	復習	社会科における「社会に開かれた教育課程」について理解する。		1 時間
6	講義内容	第 3・4 学年の実践から学ぶ①(佐々木実践:地域の介護施設＝命の授業)・社会科個人調査発表②			
	該当する到達目標	予習	事前配布の実践資料に目を通しておく。		1 時間
	1.3	復習	佐々木実践を理解し、概要をノートにまとめておく。		1 時間
7	講義内容	第 3・4 学年の実践から学ぶ②(佐々木実践の授業研究)・社会科個人調査発表③			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	佐々木実践の意義について検討しておく。	1,5 時間
	2.3	復習	チームで協議した事項をまとめ、発表に向けての計画を立てる。	1 時間
8	講義内容	第 3・4 学年の実践から学ぶ③(佐々木実践の授業研究の検討)・社会科個人調査発表④		
	該当する到達目標	予習	発表に係る準備及び練習をチームで行う。	1 時間
	1.3	復習	実践を通して体験学習の重要性や保護者参加型授業の必要性について理解する。	1 時間
9	講義内容	第 5 学年の内容(国土学習)・社会科個人調査発表⑤		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p70～p99 に目を通しておく。	2 時間
	1	復習	第 5 学年の国土学習の特色と留意点について整理しノートにまとめる。	1 時間
10	講義内容	第 5 学年の内容(産業学習)・社会科個人調査発表⑥		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p70～p99 に目を通しておく。	1 時間
	1	復習	第 5 学年の産業学習の特色と留意点について整理しノートにまとめる。	1,5 時間
11	講義内容	第 5 学年の実践から学ぶ(栗原実践:野菜づくり)・社会科個人調査発表⑦		
	該当する到達目標	予習	事前配布の実践資料に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	実践の意義について話し合った内容を元に整理しまとめる。	1 時間
12	講義内容	社会科と新聞(社会科と NIE 教育)・社会科個人調査発表⑧		
	該当する到達目標	予習	小中高の社会科関連の授業を想起し、新聞が使われた授業を記述しておく。	1 時間
	2.3	復習	社会科において、新聞を資料として用いることの効果と課題についてまとめる。	1 時間
13	講義内容	第 6 学年の内容(歴史学習・政治学習)・社会科個人調査発表⑩		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p84～p117 に目を通しておく。	1 時間
	1	復習	歴史学習・政治学習における指導上重要なポイントをノートに整理し、必要な知識を中学校の歴史・公民の教科書を通して習得する。	1 時間
14	講義内容	社会科とシティズンシップ教育(環境教育を通して)・社会科個人調査発表⑪		
	該当する到達目標	予習	日本の現代的な環境問題について、情報を集めておく。	1 時間
	2.3	復習	社会科における態度化とシティズンシップ形成について、小論文として記述する。	1 時間
15	講義内容	平成 29 年 3 月告示の学習指導要領における社会科		
	該当する到達目標	予習	平成29年3月告示新学習指導要領に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	平成29年3月告示新学習指導要領における社会科の改訂内容について理解する。	1 時間
備考	オフオフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名		理科(保育・教育の内容)			CES184	講義
担当教員		片山 豪				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		小学校理科に関連した物質, エネルギー, 生命, 地球に関わる発展的な内容を学び, 観察・実験を通じて科学的リテラシーを身につける。また, 小学校理科の実験を計画することで, 科学的な見方や考え方を身につけ, 小学校理科実験の指導に関する汎用的な能力を養う。				
到達目標		1.理科を総合的に学習することで科学的な見方や考え方を身に付ける。 2.小学校で理科を教えるにあたっての基本的な知識, 観察及び実験の技能を習得する。 3.自ら調べ, 教材を開発する能力を養う。 4.小学校理科以降に, どのように小学校理科が発展するのか, サイエンスとしてどのような背景があるのか知る。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回提出するレポート 80%, パフォーマンステスト及び考査 10%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		レポートにおける修正すべき点を示し, 再レポートを促す。 パフォーマンステストにおける修正すべき点を説明する。				
使用教材		小学校学習指導要領解説理科編, 評価規準の作成・評価方法等の工夫改善のための参考資料, 小学校理科教科書, 自作プリント等				
1	講義内容	オリエンテーション, 学習指導案について				
	該当する到達目標	1,2	予習	学習指導要領解説理科編の総説, 小学校理科の目標を読んでおく。		1.5 時間
			復習	講義の方針を確認するとともに, 学習指導案の内容を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	実験の計画と実践, 実験レポートの書き方				
	該当する到達目標	1,2,3,4	予習	コンピュータ入門で学習した Word や Excel の使い方を復習しておく。		1 時間
			復習	実験のレポートを書く。		2 時間
3	講義内容	化学(小学校で扱う主な薬品とその調整)				
	該当する到達目標	1,2,3,4	予習	濃度計算に関する課題を行う。		1 時間
			復習	実験のレポートを書く。		2 時間
4	講義内容	小学校理科実験(3 年生:エネルギー・粒子)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		1.5 時間
			復習	実験のワークシートをまとめる。		1.5 時間
5	講義内容	現場教師による指導の実際(魚の誕生)				
	該当する到達目標	1,2,3,4	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		1 時間
			復習	レポート(メダカの発生の観察記録)を書く。		2 時間
6	講義内容	小学校理科実験(3 年生:生命・地球, 4 年生:エネルギー)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		1.5 時間
			復習	実験のワークシートをまとめる。		1.5 時間
7	講義内容	生物(生命倫理, 体のつくりとはたらき)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	生命倫理に関する課題をまとめておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	実験のレポートを書く。	2 時間
8	講義内容	小学校理科実験(4 年生:粒子・生命・地球)		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実験のワークシートをまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	地学(地質, 天文)		
	該当する到達目標	予習	方位磁針, 星座早見, 実態顕微鏡の使い方を調べておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	実験のレポートを書く。	2 時間
10	講義内容	小学校理科実験(5 年生:エネルギー・粒子)		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実験のワークシートをまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	生物(水の中の小さな生き物)		
	該当する到達目標	予習	顕微鏡の使い方を調べておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	実験のレポートを書く。	2 時間
12	講義内容	小学校理科実験(5 年生:生命・地球, 6 年生:エネルギー)		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実験のワークシートをまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	物理(速度, エネルギー)		
	該当する到達目標	予習	速度やエネルギーの計算に関する課題を行う。	1 時間
	1,2,3,4	復習	実験のレポートを書く。	2 時間
14	講義内容	小学校理科実験(6 年生:粒子・生命・地球)		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実験のワークシートをまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	パフォーマンステスト(薬品の調整, 顕微鏡の使い方)		
	該当する到達目標	予習	教師として薬品の準備や顕微鏡の指導ができるように練習しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	指摘事項を確認し, 再度練習する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3 限, 金曜 1 限 メールアドレス:katayama@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 4 階 411 研究室			

科目名		生活(保育・教育の内容)			CES161	講義
担当教員		栗原 幸正				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース必修、教員養成コース必修 2 単位		
講義目標		小学校教育における生活科の意義と内容について、具体的事例を通して、方法や内容について理解する。また、生活科においては、近年幼児教育との関連性が重視されてきていることから、その方向性について検討する。				
到達目標		1.小学校生活科の学習内容について、具体的な事例を通して理解し、指導の見通しを持つことができる。 2.生活科の成立過程を知ることを通して、生活科の意義を理解し説明することができる。 3.生活科の授業づくりについての具体的知識や方法を習得することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%)				
課題に対する フィードバック		紙媒体(授業感想・成果物等)については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		小学校学習指導要領解説生活編(101 円) 生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—(学術図書出版 2000 円+税)				
1	講義内容		生活科の意義と目標・生活科個人調査活動			
	該当する到達目標		予習	小学校学習指導要領解説生活編に目を通しておく。		2 時間
	1.2		復習	目標と意義について、事例をもとにノートにまとめる。個人調査課題の調査、まとめを実施する。		1 時間
2	講義内容		生活科の変遷・生活科単元のグループ調査活動			
	該当する到達目標		予習	生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の p9～p20 に目を通しておく。		1 時間
	2		復習	生活科導入の経緯と、学校における定着の推移についてノートにまとめる。グループで担当発表単元を検討する。		1 時間
3	講義内容		生活科の内容構成			
	該当する到達目標		予習	小学校学習指導要領解説生活編 p19～p23 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の p9～p20 に目を通しておく。		1 時間
	1		復習	生活科の内容構成について理解し、ノートにまとめる。		1 時間
4	講義内容		生活科と教育課程①(教育課程における位置づけ)・生活科単元のグループ調査発表①			
	該当する到達目標		予習	小学校学習指導要領解説生活編 p68～p81 に目を通しておく。		0,5 時間
	1.2		復習	講義全体をふり返り、教育課程における生活科の位置づけを理解する。		1 時間
5	講義内容		生活科と教育課程②(生活科の課題)・生活科単元のグループ調査発表②			
	該当する到達目標		予習	前時の復習を元に、生活科の問題点について整理しておく。		1 時間
	1.2		復習	生活科が、「社会に開かれた教育課程」にとって重要である事を理解する。		1 時間
6	講義内容		生活科の指導計画①(年間指導計画の理解)・生活科単元のグループ調査発表③			
	該当する到達目標		予習	小学校学習指導要領解説生活編 p41～p59 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の第 5 章に目を通しておく。		1 時間
	1.2.3					

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		復習	生活科の年間指導計画について理解し、年間指導計画のモデルを作成する。	1 時間
7	講義内容	生活科の指導計画②(年間指導計画の作成)・生活科単元のグループ調査発表④		
	該当する到達目標	予習	年間指導計画のモデル作成の構想を立案する。	1 時間
	1.2.3	復習	学習指導要領に基づいた年間指導計画モデルを作成する。	1 時間
8	講義内容	生活科の内容①(自然・動植物に係る領域)・生活科単元のグループ調査発表⑤・生活科の単元構成①(単元構想の立案方法)		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説生活編 p60～p63 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の第 6 章に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	単元を構成する基本的要素を知り、自らの単元をつくり構想をまとめる。	1 時間
9	講義内容	生活科の単元構成②(単元構想シート作成)・生活科単元のグループ調査発表⑥		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領と自身の年間指導計画表をもとに、単元構想を検討する。	1 時間
	1.3	復習	単元構想シートに、単元構想を記述し提出する。	1 時間
10	講義内容	生活科の内容②(遊び・季節に係る領域)・生活科単元のグループ調査発表⑦		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導案生活編・生活科教育改訂新版・生活科教科書の講義内容に係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	遊び・季節に係る領域を対象とした生活科の取り組み内容を理解する。	1 時間
11	講義内容	生活科の内容③(社会生活に係る領域)・生活科単元のグループ調査発表⑧		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導案生活編・生活科教育改訂新版・生活科教科書の講義内容に係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	自分に係る領域を対象とした生活科の取り組み内容を理解する。	1 時間
12	講義内容	生活科の内容④(自分・家族に係る領域)・生活科単元のグループ調査発表⑨		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導案生活編・生活科教育改訂新版・生活科教科書の講義内容に係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	自分・家族に係る領域を対象とした生活科の取り組み内容を理解する。	1 時間
13	講義内容	保幼小連携・生活科の単元構成③(学習指導案作成)		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説生活編 p54～p59 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の p54～p57 に目を通しておく。自分の年間指導計画及び単元構成シートを元に学習指導案の構成を検討しておく。	1 時間
	2.3	復習	幼児教育との連携の必要性について理解し、自分の考えをまとめる。学習指導案を年間指導計画、単元構想と整合性をもって学習評価も考慮して作成する。	1 時間
14	講義内容	生活科の内容⑤(人々・学校・地域に係る領域)・生活科単元のグループ調査発表⑩		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導案生活編・生活科教育改訂新版・生活科教科書の講義内容に係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	人々・学校・地域に係る領域を対象とした生活科の取り組み内容を理解する。	1 時間
15	講義内容	生活科と評価		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説生活編 p62～p63 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の第 7 章に目を通しておく。	1 時間
	2.3	復習	生活科における評価の方法と、学校現場における実際について理解する。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名		家庭(保育・教育の内容)			CES185	講義
担当教員		内田 幸子				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		家庭科教育が生きる力を育て、よりよい生活者を育てる教科であることを理解する。小学校5・6年生の家庭科で学ぶ学習内容について理解し、小学校家庭科の指導に必要な基礎的知識と技術を得ることができる。				
到達目標		1.小学校家庭科で学ぶ学習内容について関心を深めることができる 2.衣生活、食生活、家庭生活、消費生活の基礎的な知識・技術を身につける 3.各分野の課題に意欲的に取り組むことができる				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験 70%、レポート 30%で評価する 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対する フィードバック		レポートは評価して返却する 定期試験後に掲示で正解を示す				
使用教材		教科書「わたしたちの家庭科」(開隆堂)ISBN978-4-304-08064-7 プリント				
1	講義内容	ガイダンス、小学校家庭科の目標及び内容				
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する			1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	衣生活:衣服の働きと快適な着方				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 4, 9 に目を通す			1 時間
		復習	暑い季節と寒い季節を快適にする工夫を理解する			1.5 時間
3	講義内容	衣生活:衣服の手入れ				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 4 に目を通す			1 時間
		復習	手洗いによる洗濯をしてレポートを作成する			1.5 時間
4	講義内容	衣生活:実習(手縫いのしかた)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 3 に目を通す			1 時間
		復習	手縫い、ボタンつけ、フェルトの小物を完成させレポートを作成する			1.5 時間
5	講義内容	衣生活:実習(ミシン縫い・小物作成)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 6 に目を通す			1 時間
		復習	ミシンの安全な使い方を理解して作品を完成する			1.5 時間
6	講義内容	住生活:快適な住まい				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 4, 9 に目を通す			1 時間
		復習	あたたかく住まう工夫、涼しく住まう工夫を理解する			1.5 時間
7	講義内容	住生活:掃除のしかた				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 3 に目を通す			1 時間
		復習	掃除のしかたを理解する			1.5 時間
8	講義内容	家庭生活:子どもと家庭生活				
	該当する到達目標	予習	教科書 8 に目を通す			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	生活時間を調査し、家庭でできる仕事を理解する	1.5 時間
9	講義内容	家庭生活: お金の管理と消費生活		
	該当する到達目標	予習	教科書 8 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	生活とお金、金銭の管理と消費生活について理解する	1.5 時間
10	講義内容	家庭生活: 地域での暮らし		
	該当する到達目標	予習	教科書 7 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	地域での生活を理解する	1.5 時間
11	講義内容	食生活: 食事の意義		
	該当する到達目標	予習	教科書 7 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	なぜ食べるのか理解する	1.5 時間
12	講義内容	食生活: 栄養素の種類と働き		
	該当する到達目標	予習	教科書 7 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	栄養素の種類と働きを理解する	1.5 時間
13	講義内容	食生活: 献立作成と調理のしかた		
	該当する到達目標	予習	教科書 2 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	調理実習 I、II の手順を確認する	1.5 時間
14	講義内容	食生活: 調理実習 I		
	該当する到達目標	予習	調理実習プリントに目を通す	1 時間
	1,2,3	復習	各グループで安全に調理、試食、片付け、レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	食生活: 調理実習 II		
	該当する到達目標	予習	調理実習プリントに目を通す	1 時間
	1,2,3	復習	各グループで安全に調理、試食、片付け、レポートを作成する	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日と水曜日の 3 限 メールアドレス「uchida@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 5 階 512 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名		音楽(保育・教育の内容)			CES186	講義
担当教員		吉田 恵子				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		小学校における児童の音楽活動を豊かに展開する為の、音楽表現の知識や技術を習得することを目的とする。				
到達目標		1.生活や遊びの中での音楽表現の実際を理解する 2.楽器遊びや楽器作り、器楽を中心とした表現活動とその展開の方法を理解できる。 3.音楽的な環境の構成を理解できる。 4.子どもたちの自発的な表現を促すための打楽器・鍵盤楽器等楽器の演奏・指導技術を身につけることができる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		レポート 30%、発表 30%、毎回の授業課題・授業の貢献度 40%を総合する				
課題に対する フィードバック		レポートはコメントを付けて返却する。 授業課題, 発表はその都度コメントする。				
使用教材		資料を配布する				
	講義内容	オリエンテーション				
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、授業概要を理解する。			1.5 時間
	1,3	復習	授業内容を確認し、実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	生活や遊びの中での音楽表現				
2	該当する到達目標	予習	生活や遊びの中の音楽表現を見つける。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	各自の実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	音遊びと自然 レポート課題提示				
3	該当する到達目標	予習	自然物を使った音あそびについて調べる。			1.5 時間
	1,3,4	復習	音遊びと自然について講義内容を理解する。実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	楽器作りと音遊び① 叩いたりこすったりして音を出す楽器 第 1 回検定				
4	該当する到達目標	予習	身近な物から作れる打楽器について調べる。			1.5 時間
	1,2,4	復習	打楽器や弦楽器の構造を理解する。実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	楽器作りと音遊び② 吹いたり吸ったりして音を出す楽器				
5	該当する到達目標	予習	身近な物から作れる管楽器について調べる。			1.5 時間
	2,4	復習	管楽器の構造を理解する。実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	楽器遊びを中心とした表現活動				
6	該当する到達目標	予習	楽器を用いた音楽あそびについて調べる。			1.5 時間
	1,2	復習	楽器遊びを中心とした表現活動の発展を考える。実技課題を練習する。			1.5 時間
	講義内容	手作り楽器を用いたアンサンブル				
7	該当する到達目標	予習	手作り楽器を準備する。			1.5 時間
	1,2	復習	手作り楽器のアンサンブルから、音楽活動の発展を考える。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	鍵盤楽器とその奏法、レポート提出 第 2 回検定		
	該当する到達目標 2,4	予習	鍵盤楽器の奏法について調べる。	1.5 時間
		復習	実技課題を練習する。	1.5 時間
9	講義内容	打楽器とその奏法① 太鼓、他		
	該当する到達目標 2,4	予習	ラテン音楽の打楽器の奏法を調べる。	1.5 時間
		復習	実技課題を練習する。	1.5 時間
10	講義内容	打楽器とその奏法② シロフォン、他		
	該当する到達目標 2,4	予習	シロフォン等、打楽器の奏法を調べる。	1.5 時間
		復習	実技課題を練習する。	1.5 時間
11	講義内容	打楽器による即興表現		
	該当する到達目標 2,4	予習	オルフの音楽教育について調べる。	1.5 時間
		復習	実技課題を練習する。	1.5 時間
12	講義内容	日本の伝統音楽の表現 第 3 回検定		
	該当する到達目標 2,4	予習	日本の伝統音楽について、事前配布資料を読む。	1.5 時間
		復習	講義で得た知識をもとに、実技課題を復習する。	1.5 時間
13	講義内容	マーチングの指導 ①楽器の構成、フォーメーション		
	該当する到達目標 2,3	予習	楽器の構成を調べる。	1.5 時間
		復習	自作のフォーメーションを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	マーチングの指導 ②マーチング発表		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	発表に向けて個別練習する。	1.5 時間
		復習	発表を振り返り、フォーメーションを再構成する。	1.5 時間
15	講義内容	器楽発表会		
	該当する到達目標 4	予習	発表に向けてグループ練習する。	1.5 時間
		復習	発表を振り返り、スキルアップに向けて、自己課題を設定する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 503 研究室 履修に関して: 当該「音楽」を履修するにあたり、「音楽基礎Ⅰ」「音楽基礎Ⅱ」「初等音楽演習Ⅰ」が履修済であることが条件です。未履修者は、未履修科目内容に相当する実技・筆記音楽試験を受けてください。 ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカを準備してください。 実技課題(含第二楽器)は、毎日練習して授業に臨んでください。			

科目名		図画工作(保育・教育の内容)			CES162	演習
担当教員		増田 金吾				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標		図画工作科を指導する際、子ども理解とその教科内容の把握が重要である。 「小学校学習指導要領 図画工作」が示す造形遊びをする活動、絵や立体に表す活動、工作に表す活動、鑑賞の活動など各学年の内容を、美術教育の意義や諸領域の教育的意義・目標を踏まえた上で演習し習得する。				
到達目標		(1) 小学校図画工作科の目標と内容、及びその意義を理解できる。 (2) 教材や資料等について触れ、演習を通して実践的な指導力を身に付ける。 (3) 題材研究について、演習を通して理解し習得する。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		課題作品(80%)、「造形遊び」の活動に関わる自己の記録(20%)により総合的に判断する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		課題作品は、必要に応じてコメントを付して返却する。「造形遊び」の活動に関わる自己の記録は、コメントを付して返却し、結果を全体的に解説する。				
使用教材		教科書は使用しない。その代わりに、プリントを配付するのでファイルにとじるなどしておき、とじたものを毎回持参すること(このシラバスもとじておくこと)。				
1	講義内容	ガイダンス。美術教育映画「トントンゴギコ」の鑑賞 (DVD 使用)(この回のみ、207 教室で行う)				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで、本講義の目標などを理解しておくこと。			1.5 時間
	1	復習	演習の到達目標、内容、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	絵に表す:「物語の絵」(1) 製作(題材)の意義説明、製作(鉛筆、水彩絵の具など)				
	該当する到達目標	予習	どんな物語を扱うかを考える。充実した作品となるよう、構想を練る。			2.0 時間
	1,2,3	復習	「物語の絵」の題材としての意義を考える。			1.0 時間
3	講義内容	絵に表す:「物語の絵」(2) 製作(続き)(鉛筆、水彩絵の具など)				
	該当する到達目標	予習	創造的な技能を考え、より充実した作品となるよう、構想を練る。			1.5 時間
	1,2,3	復習	「物語の絵」の題材としての意義を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	立体に表す:「ぎゅっとしたい私の友だち」(1) 製作(題材)の意義説明、製作(アイデアを生かす)				
	該当する到達目標	予習	動物や魚など、どんな「友だち」にするか考える。			2.0 時間
	1,2,3	復習	アイデアとは何かを考える。			1.0 時間
5	講義内容	立体に表す:「ぎゅっとしたい私の友だち」(2) 製作(クラフト紙で袋を作り、中に紙を詰め込んで製作)				
	該当する到達目標	予習	製作の過程を考える。			1.5 時間
	1,2,3	復習	アイデアと製作活動との結びつきを理解する。			1.5 時間
6	講義内容	立体に表す:「ぎゅっとしたい私の友だち」(3) 製作(作品完成)				
	該当する到達目標	予習	製作の表現としての意味を考える。今まで受けた授業の理論面について整理する。			2.0 時間
	1,2,3	復習	「立体に表す」の題材としての意義を理解する。			1.0 時間
7	講義内容	工作に表す:小物入れ (1) 製作(題材)の意義説明、製作(アイデアを生かす)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	どのような小物入れを作るか考える。	2.0 時間
	1,2,3	復習	「工作に表す」の題材としての意味を考える。	1.0 時間
8	講義内容	工作に表す:小物入れ (2) 製作(紙粘土など)		
	該当する到達目標	予習	どのような小物入れとして仕上げるか考え、同時に創造的な技能を考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	製作と指導の関係性を考える。	1.5 時間
9	講義内容	工作に表す:小物入れ (3) 製作(紙粘土、ニスなど)		
	該当する到達目標	予習	創造的な技能を考え、より充実した作品となるよう、構想を練る。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「工作に表す」の題材としての意義を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	造形遊び:「新聞紙で何ができるかな」(1) 活動(題材)の意義説明、活動(アイデアを生かす、新聞紙など)		
	該当する到達目標	予習	新聞紙で何ができるか、加えて自分が使いたい材料を考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「造形遊び」の題材としての意味を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	造形遊び:「新聞紙で何ができるかな」(2) 活動(新聞紙など)、「造形遊び」の活動を記録		
	該当する到達目標	予習	どんな活動になるか構想してみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「造形遊び」の題材としての意義を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	絵に表す(版に表す):紙版画 (1) 製作(題材)の意義説明、アイデアと下絵作成		
	該当する到達目標	予習	紙版画に用いる主題を考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「絵に表す」のうち、「版に表す」題材としての意義を考える。	1.5 時間
13	講義内容	絵に表す(版に表す):紙版画 (2) 製作(刷り、版画用の紙、インクなど)		
	該当する到達目標	予習	紙版画の創造的技法について考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	紙版画における主題と技法との関係性を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	絵に表す(版に表す):紙版画 (3) 製作(作品完成)		
	該当する到達目標	予習	紙版画等、図画工作の題材についてその意義を考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	紙版画等、図画工作の題材についての意義を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	題材研究:合評会(鑑賞)		
	該当する到達目標	予習	鑑賞の活動としての題材研究にふさわしく、最も他の人に見てもらいたい自分の作品1点を準備する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	自己評価を行うと共に、表現と鑑賞の意味について理解し、題材研究の意義を理解する。	2.0 時間
備考	授業は、通常は実習室で行うが、DVD を使用する 1 回目の授業は 207 教室で実施する。 授業担当教員のメールアドレス:kingo@spn1.speednet.ne.jp 予習・復習の際に生じた不明な点があれば、当日の授業中のことも含め質問を授業中にすること。クラス全員で共有することが大切であるため。しかし、その後別の質問等が生じたら、メールで連絡してください。 参考文献「教科教育学シリーズ⑧図工・美術科教育」橋本美保・田中智志監修、増田金吾編著、一藝社、平成 27 年 4 月発行、2,200 円＋税。			

科目名		体育(保育・教育の内容)			CES163	講義
担当教員		山西 加織				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		幼稚園や小学校における運動遊びや体育科学学習領域の内容について、さまざまな運動や遊びの実践をとおして理解を深めていく。それぞれの運動や遊びの特性を理解するとともに、子どもの発達段階に応じた教材の工夫や援助・指導の方法について学習する。				
到達目標		1.幼児期から児童期までの運動発達の特徴を説明することができる。 2.各運動の基本的技術を身につけることができる。 3.発達に適した教材を選択し、活動内容を工夫することができる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度(60%)、グループワークへの貢献度(10%)、レポート課題(30%)を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		提出された課題は適宜返却するので、復習しておくこと。				
使用教材		教科書「小学校学習指導要領解説体育編」文部科学省(東洋館出版社)、「幼児期運動指針ガイドブック」文部科学省(サンライフ企画)。その他、適宜資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション 幼少期の運動遊び・体育				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスと教科書に目を通し、授業でどのようなことを学んでいくのかを確認する。			1.5 時間
		復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			1.5 時間
2	講義内容	多様な動きをつくる運動遊び・運動				
	該当する到達目標 2	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。			1.5 時間
		復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。			1.5 時間
3	講義内容	走の運動遊び・運動				
	該当する到達目標 2	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。			1.5 時間
		復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。			1.5 時間
4	講義内容	跳の運動遊び・運動				
	該当する到達目標 2	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。			1.5 時間
		復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。			1.5 時間
5	講義内容	器械・器具を使つての運動遊び・器械運動				
	該当する到達目標 2	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。			1.5 時間
		復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。			1.5 時間
6	講義内容	ボール運動(ゴール型)				
	該当する到達目標	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2		動かし準備体操を行っておく。	
		復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。	1.5 時間
7	講義内容	ボール運動(ネット型)		
	該当する到達目標	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	1.5 時間
	2	復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。	1.5 時間
8	講義内容	ボール運動(ベースボール型)		
	該当する到達目標	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	1.5 時間
	2	復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。	1.5 時間
9	講義内容	表現リズム遊び・表現運動		
	該当する到達目標	予習	基本的な運動技能を身につけられるよう運動に取り組む。授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	1.5 時間
	2	復習	授業で学習した運動内容を記録し、教材研究を行う。	1.5 時間
10	講義内容	教材研究 (1) 幼児の運動遊び		
	該当する到達目標	予習	幼児期の運動発達を踏まえ、どのような遊び経験が必要とされているのか、教科書をよく読む。	1.0 時間
	3	復習	グループで教材研究を進める。	2.0 時間
11	講義内容	教材研究 (2) 児童の運動・運動遊び		
	該当する到達目標	予習	児童期の運動発達を踏まえ、どのような運動・運動遊び経験が必要とされているのか、教科書をよく読む。	1.0 時間
	3	復習	グループで教材研究を進める。	2.0 時間
12	講義内容	教材の紹介(1) 幼児の運動遊び		
	該当する到達目標	予習	授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	0.5 時間
	3	復習	紹介した教材について、グループで振り返り、指導する上での留意点や工夫を話し合う。	2.5 時間
13	講義内容	教材の紹介(2) 低・中学年児童の運動・運動遊び		
	該当する到達目標	予習	授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	0.5 時間
	3	復習	紹介した教材について、グループで振り返り、指導する上での留意点や工夫を話し合う。	2.5 時間
14	講義内容	教材の紹介(3) 高学年児童の運動・運動遊び		
	該当する到達目標	予習	授業開始前には体を動かし準備体操を行っておく。	0.5 時間
	3	復習	紹介した教材について、グループで振り返り、指導する上での留意点や工夫を話し合う。	2.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	授業全体を振り返り、要点を復習する。	1.0 時間
	1,3	復習	運動・運動遊びの教材研究におけるポイントと、子どもの運動経験をどのように支えていきたいのかを考え、レポートにまとめる。	2.0 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限, 木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限, 火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp			

科目名	外国語活動（保育・教育の内容）			CES201	講義
担当教員	中村 博生 嶋田 和成 松田 幸子				
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	小学校の外国語教育の現状を理解し、児童の指導に対応できる資質や能力、教育的愛情や社会性とともに対人関係能力を備えることで、外国語教育に携わる意欲を高めることをめざす。特に、英語教育に関する知識や技術を身に付けることを目標とする。よって、本授業では、教材の作成・提示方法やデジタル教科書、絵本を活用した指導の方法、効果的な教育機器や情報機器の活用を学び、身に付けることができる。				
到達目標	1.外国語活動の現状を理解し、児童に対応できる資質や能力、教育的愛情や社会性とともに対人関係能力を備えることをめざす。 2.外国語活動に関する基本的な知識と指導技術を身に付けることができる。 3.小学校での外国語活動の多様性を理解し、教材や教具、教育機器や情報機器などを活用して柔軟に対応することができる。 4.自ら進んで小学校の外国語教育に携わる意欲を高めることができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学修する力			
評価方法	レポート 60%、授業内の貢献度 40%で評価する。 総合的 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメントをつけて返却する。 授業中の貢献度についてはその都度評価する。				
使用教材	樋口忠彦他.(2017).『新編 小学校英語教育法入門』. 東京:研究社. 2,100 円 文部科学省.(2017).『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』.(プリント配布) 文部科学省.(2018). <i>We Can! 1</i> . (価格未定) 文部科学省.(2018). <i>We Can! 2</i> . (価格未定)				
1	講義内容	ガイダンス・外国語活動としての英語教育について			
	該当する到達目標 1,4	予習	『小学校学習指導要領解説』を読み、外国語活動の目的と目標を確認する。		1.5 時間
		復習	義務教育段階の英語教育における外国語活動の役割を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	関連分野から見る外国語活動の意義と方向性			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 2 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	母語習得と第二言語習得の違いについて復習し、児童の発達段階にあわせた外国語活動のあり方を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	教材・テキストの構成と内容 (1): <i>We Can! 1</i> について			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 4 章の <i>We Can! 1</i> に関する記述に目を通す。		1.5 時間
		復習	<i>We Can! 1</i> の教科書、デジタル教科書がどのような内容で構成されているかを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	教材・テキストの構成と内容 (2): <i>We Can! 2</i> について			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 4 章の <i>We Can! 2</i> に関する記述に目を通す。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		復習	<i>We Can! 2</i> の教科書、デジタル教科書がどのような内容で構成されているかを理解する。	1.5 時間
5	講義内容	評価のあり方、進め方		
	該当する到達目標	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 11 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,4	復習	外国語活動における観点別評価の方法について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	教材研究 (1): うた・チャンツ		
	該当する到達目標	予習	<i>We Can! 1・2</i> で用いられているうた・チャンツを確認・和訳する。	1.5 時間
	2,3	復習	<i>We Can! 1・2</i> の該当するうた・チャンツを暗唱できるようにする。	1.5 時間
7	講義内容	教材研究 (2): クイズ、ゲーム		
	該当する到達目標	予習	<i>Hi, friends! 1 Lesson 3</i> を読み、どのようなクイズ・ゲームが可能か考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	<i>Hi, friends! 1 Lesson 3</i> をもとに、実際に英語のクイズ・ゲームを作成する。	1.5 時間
8	講義内容	教材研究 (3): 絵本		
	該当する到達目標	予習	課題の絵本 2 冊を比較し、どちらが小学校英語に有効か考える。	1.5 時間
	2,3	復習	絵本 <i>Do you want to be my friend?</i> を教材として読み聴かせる練習を行う。	1.5 時間
9	講義内容	コミュニケーション活動のためのアイデア		
	該当する到達目標	予習	<i>Hi, friends! 1 Lesson 6</i> を読み、授業プランを考える。	1.5 時間
	2,4	復習	授業をふまえて“ <i>Do you want ...?</i> ”を用いたコミュニケーション活動を考える。	1.5 時間
10	講義内容	グループ・ワーク／ペア・ワークのためのアイデア		
	該当する到達目標	予習	<i>Hi, friends! 2 Lesson 5</i> を読みグループ・ワークとペア・ワークの案を作成する。	1.5 時間
	2,4	復習	<i>Lesson 5</i> のグループワークを用いた授業プランを考える。	1.5 時間
11	講義内容	授業課程と学習指導案の作り方		
	該当する到達目標	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 12 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	外国語活動における学習指導案の書き方を、実践を想定しながら理解する。	1.5 時間
12	講義内容	外国語活動の授業づくりで配慮する内容について		
	該当する到達目標	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 13 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業づくりで準備、授業中、振り返りまでの留意事項を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	コミュニケーション能力の素地を養うための指導案作成		
	該当する到達目標	予習	教科書『新編 小学校英語教育法入門』の第 14 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	外国語活動の成果と課題から目的に沿った授業の実践の在り方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	授業演習 (1): 日本人教師による単独授業		
	該当する到達目標	予習	作成した外国語活動の指導案に従って、単独で授業を行う準備をする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	単独で行った授業を振り返り、今後の授業実践に生かすことができる。	1.5 時間
15	講義内容	授業演習 (2): チーム・ティーチングの授業		
	該当する到達目標	予習	外国語活動の授業にチーム・ティーチングを取り入れた計画を立てる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チーム・ティーチングの授業を振り返り、今後の授業に生かすことができる。	1.5 時間
備考	・嶋田(オフィスアワー: 木曜 3 限、金曜 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 303) ・松田(幸)(オフィスアワー: 木曜 3 限、金曜 2 限 メールアドレス: matsuda-y@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 304) ・中村(オフィスアワー: 火曜 4 限、木曜 5 限 メールアドレス: nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 301) ・英和辞典必携(電子辞書可)			

科目名	英語学概論(保育・教育の内容)				CES1C1	講義
担当教員	嶋田 和成					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	英語学分野における主なテーマや問題について、異文化コミュニケーションの視点から考察し、国際共通語である英語に対する理解を深める。そのため授業では、様々な英語の用例を検討しながら、コミュニケーションでどのような役割を果たすのかを議論することに重点を置く。					
到達目標	1. 英語の構造と機能を分析しながら、英語という言葉の特徴を理解する。 2. 異文化コミュニケーションという場で、英語の果たす役割を理解する。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業への参加度、発表(50%)、期末レポート課題(50%)で総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	課題はコメントをつけて返却する。					
使用教材	平賀正子. (2016). 『ベーシック新しい英語学概論』. 東京:ひつじ書房. 1,700 円					
1	講義内容	ガイダンス・英語学とは何か				
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.5 時間
	1, 2	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	英語の歴史とさまざまな英語(母語、第二言語、外国語としての英語)				
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 2 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	母語英語の特徴(イギリス英語、オーストラリア英語の音声、語彙、文法の特徴)				
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 3 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	母語英語の特徴(アメリカ英語、カナダ英語の音声、語彙、文法の特徴)				
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 4 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	英語と社会的属性(社会言語学の観点から)				
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 5 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	語用論と対人コミュニケーション				
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 6 章前半の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	英語の発話行為				
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 6 章後半の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
8	講義内容	英語のポライテネスと談話分析				
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 7 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	英語文化とコミュニケーション・スタイル		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 8 章・9 章を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 8 章・9 章の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	語彙から見る英語らしさ(形態論の観点から)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 10 章を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 10 章の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	文法から見る英語らしさ(統語論の観点から)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 11 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 11 章前半の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	語彙や文の意味から見る英語らしさ(意味論の観点から)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 11 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 11 章後半の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	音声から見る英語らしさ(音声学の観点から)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 12 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 12 章前半の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	音韻から見る英語らしさ(音韻論の観点から)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書第 12 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書第 12 章後半の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ・国際共通語としての英語コミュニケーション		
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書各章末の演習課題に取り組む。	1.5 時間
		復習	教科書各章末の演習課題の内容を復習する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス： shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室： 9 号館 303 研究室			

科目名	学校英文法論（保育・教育の内容）			CES1C2	講義
担当教員	中村 博生				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	英語教師をめざすために、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることを目標とする。特に、英語の文法に関する知識を習得し、学習者に分かりやすく英語の基本的な文法の現象を説明できることをめざす。				
到達目標	1.幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることができる。 2.英語の文法に関する知識を理解し身に付けることができる。 3.文法の知識を応用して、学習者に分かりやすく英語の基本的な文法の現象を説明することができる。 4.自ら進んで英語の文、品詞、準動詞、関係詞、構文、修飾語句などについて、発表したり議論したりして、文法の知識を広めかつ深めて学習者の疑問に答えることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）			
	✓	自律的・意欲的に学修する力			
評価方法	小テスト 30%、レポート 60%、授業内の発表など 10%で評価する。				
課題に対するフィードバック	小テストにはコメントを付けて返却する。 レポートには、評価及びコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書 『改訂版 英文法総覧』、安井稔、開拓社、2015、2,476 円				
1	講義内容	ガイダンス（国際共通語としての英語の使用と日本の英語教育）			
	該当する到達目標	予習	教科書の目次を読み、英文法の学修内容を概観する。	1.5 時間	
	1	復習	講義内容、到達目標、学位受与方針、成績評価方法などを確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	文に関する文法とその現象の説明			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章～第 7 章に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習	文に関する文法を理解し、文法の現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間	
3	講義内容	品詞 (1) 名詞、代名詞、形容詞に関する文法とその現象の説明			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章～第 10 章に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習	名詞、代名詞、形容詞の文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間	
4	講義内容	品詞 (2) 冠詞、副詞、動詞に関する文法とその現象の説明			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章～第 13 章に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習	冠詞、副詞、動詞の文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間	
5	講義内容	品詞 (3) 助動詞、接続詞、前置詞に関する文法とその現象の説明			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章～第 16 章に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習	助動詞、接続詞、前置詞の文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間	
6	講義内容	準動詞に関する文法とその現象の説明			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 17 章～第 19 章に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習	準動詞の文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	関係詞に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 20 章～第 21 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	関係詞の文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
8	講義内容	構文 (1) 時制に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 22 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	時制に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
9	講義内容	構文 (2) 態に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 23 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	態に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
10	講義内容	構文 (3) 仮定法、話法に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 24 章～第 25 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	仮定法、話法に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
11	講義内容	構文 (4) 比較、否定に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 26 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	比較と否定に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
12	講義内容	構文 (5) 動詞、名詞、形容詞に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 28 章～第 30 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	動詞、名詞、形容詞を中心とする構文に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
13	講義内容	構文 (6) 一致、形式語 it、there を中心とする構文に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 31 章～第 32 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	一致、形式語 it、there を中心とする構文に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
14	講義内容	修飾語句(1) 形容詞的修飾語句、副詞的修飾語句に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 33 章～第 34 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	形容詞的修飾語句、副詞的修飾語句に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
15	講義内容	修飾語句(2) 副詞節と副詞句に関する文法とその現象の説明		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 35 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	副詞節と副詞句に関する文法を理解し、その現象を学習者に説明することができる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日の 4 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「nakamura-h@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名		現代英語学の理論と応用 I (保育・教育の内容)			CES1C3	講義
担当教員		嶋田 和成				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		英語学分野における主なテーマや問題について、関連する文献を英語で読み、実際の教育現場でどのように英語学の知識が活かせるのかを検討する。この授業を通して、英語の読解力を高める訓練を行いながら、英語の構造と機能を分析する力をつけることを目的とする。				
到達目標		1. 英語の構造と機能を分析できるようになる。 2. 現代の英語学の知識を教育現場、特に中学校の現場でどのように活かせるのかを検討できる。 3. 比較的平易に書かれた英語学に関する文献を英語で読めるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材		影山太郎他. (2004). <i>First Steps in English Linguistics</i> (2nd ed.). 東京:くろしお出版. 1,600 円				
1	講義内容		ガイダンス・Why Study English Linguistics (1): What is English Linguistics?			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.5 時間
		復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容		Why Study English Linguistics (2): How English Has Been Studied			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 1 章を読む。			1.5 時間
		復習	教科書第 1 章の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
3	講義内容		How English Has Changed over the Centuries (1): The Old and Middle English Period			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 2 章前半を読む。			1.5 時間
		復習	教科書第 2 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
4	講義内容		How English Has Changed over the Centuries (2): The Modern English Period			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 2 章後半を読む。			1.5 時間
		復習	教科書第 2 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
5	講義内容		How Words Are Made (1): Morphology			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 3 章前半を読む。			1.5 時間
		復習	教科書第 3 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
6	講義内容		How Words Are Made (2): Derivation, Conversion, and Inflection			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 3 章後半を読む。			1.5 時間
		復習	教科書第 3 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
7	講義内容		形態論(Morphology)のまとめ			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 3 章の演習問題に取り組む。			1.5 時間
		復習	教科書第 3 章で学んだ形態論に関する知識をどのように中学校英語の授業に活かすのかを検討する。			1.5 時間
8	講義内容		How English Phrases Are Formed (1): What Is Syntax?			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
9	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	How English Phrases Are Formed (2): Complements and Adjuncts		
		予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
10	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	How English Phrases Are Formed (3): Labeled Bracketing and Tree Diagrams		
		予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
11	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	How English Sentences Are Formed (1): VP-deletion		
		予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
12	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	How English Sentences Are Formed (2): T-to-C movement		
		予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
13	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	How English Sentences Are Formed (3): <i>wh</i> movement		
		予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
		復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
14	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	統語論 (Syntax) のまとめ		
		予習	教科書第 5 章、第 6 章の演習問題に取り組む。	1.5 時間
		復習	教科書第 5 章、第 6 章で学んだ統語論に関する知識をどのように中学校英語の授業に活かすのかを検討する。	1.5 時間
15	講義内容 該当する到達目標 1, 2, 3	本学期のまとめ、復習		
		予習	本学期で学んだ専門用語の意味をもう一度整理する。	1.5 時間
		復習	本学期で学んだ英語の構造と機能について、中学校英語のレベルの例文で説明できるようにする。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス：shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 303 研究室			

科目名		現代英語学の理論と応用Ⅱ（保育・教育の内容）			CES1C4	講義
担当教員		嶋田 和成				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		「現代英語学の理論と応用Ⅰ」に引き続き、英語学分野における主なテーマや問題について、関連する文献を英語で読み、実際の教育現場でどのように英語学の知識が活かせるのかを検討する。この授業を通して、英語の読解力を高める訓練を行いながら、英語の構造と機能を分析する力をつけることを目的とする。				
到達目標		1. 英語の構造と機能を分析できるようになる。 2. 現代の英語学の知識を教育現場、特に中学校の現場でどのように活かせるのかを検討できる。 3. 比較的平易に書かれた英語学に関する文献を英語で読めるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材		影山太郎他. (2004). <i>First Steps in English Linguistics</i> (2nd ed.). 東京:くろしお出版. 1,600 円				
1	講義内容	ガイダンス・形態論と統語論の復習				
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	How to Communicate with Other People (1): What is Pragmatics?				
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章前半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 8 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
3	講義内容	How to Communicate with Other People (2): Conversational Implicature				
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章後半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 8 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
4	講義内容	The Sound of English (1): Phonetics				
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章前半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 9 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
5	講義内容	The Sound of English (2): Phonology				
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章後半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 9 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
6	講義内容	Regional Varieties of English (1): Intranational Variation				
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章前半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 10 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
7	講義内容	Regional Varieties of English (2): International Variation				
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章後半を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 10 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。			1.5 時間
8	講義内容	第 2 回～第 7 回のまとめ				
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章、第 9 章、第 10 章の演習問題に取り組む。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1, 2, 3	復習	教科書第 8 章、第 9 章、第 10 章で学んだ語用論、音声学、音韻論、社会言語学に関する知識をどのように中学校英語の授業に活かすのかを検討する。	1.5 時間
9	講義内容	English in Society (1): Grammatical Variation		
	該当する到達目標	予習	教科書第 11 章前半を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 11 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
10	講義内容	English in Society (2): Phonological Variation		
	該当する到達目標	予習	教科書第 11 章後半を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 11 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
11	講義内容	How Words Mean (1): Kinds of Meaning		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章前半を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 4 章前半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
12	講義内容	How Words Mean (2): Semantic Networks		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章後半を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 4 章後半の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
13	講義内容	How English as a Second/Foreign Language Is Acquired (1): Theories of Language Acquisition		
	該当する到達目標	予習	教科書第 12 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
14	講義内容	How English as a Second/Foreign Language Is Acquired (2): Applied Linguistics		
	該当する到達目標	予習	教科書第 13 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の指定された箇所の専門用語の意味を確認しながら、再度、英文を読む。	1.5 時間
15	講義内容	第 9 回～第 14 回のまとめ、復習		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章、第 11 章、第 12 章、第 13 章の演習問題に取り組む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書第 4 章、第 11 章、第 12 章、第 13 章で学んだ意味論、社会言語学、応用言語学に関する知識をどのように中学校英語の授業に活かすのかを検討する。また、本学期で学んだ英語の構造と機能について、中学校英語のレベルの例文で説明できるようにする。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス：shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 303 研究室			

科目名		英語文学入門(保育・教育の内容)			CES1C5	講義
担当教員		松田 幸子				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		英米文学が、いかに構築されてきたのかについて、社会的・歴史的なコンテキストを踏まえながら概観する。とりわけ、各時代における代表的なテキストを原文で確認し、その特徴をとらえながら、イギリス・アメリカにおいて、どのように文学が文化的・社会的な意味をもってきたのかについて考える。				
到達目標		1.社会的・歴史的なコンテキストにしたがって英米文学史について理解する。 2.英米文学を原文で読む。 3.英語圏で文学テキストが担ってきた文化的・社会的な意味をとらえる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度(10%)、リアクション・ペーパー(40%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		期末試験については添削・コメントを付したのち返却する。				
使用教材		清宮倫子、清宮協子『よくわかるイギリスの文学:The Poetry and Prose of British Literature』(南雲堂、2012 年)				
1	講義内容	イントロダクション: 英米文学とは何か				
	該当する到達目標 1,3	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	ハンドアウトの内容にしたがって講義をまとめる			1.5 時間
2	講義内容	中英語チョーサー『カンタベリー物語』				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳			1.5 時間
3	講義内容	ルネサンスの詩と演劇: 宮廷・民衆・劇場				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「ルネサンスの詩」を読んでくる			1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳			1.5 時間
4	講義内容	シェイクスピア作品の概観				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「シェイクスピア」を読んで切る			1.5 時間
		復習	ハンドアウトの内容にしたがって講義をまとめる			1.5 時間
5	講義内容	シェイクスピアを読む:『ハムレット』				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳			1.5 時間
6	講義内容	王政復古期の演劇と詩: 内乱・政治・社会の変容				
	該当する到達目標 1,2	予習	配布資料(王政復古期)を読んでくる			1.5 時間
		復習	ハンドアウトの内容にしたがって講義をまとめる			1.5 時間
7	講義内容	18 世紀における小説の登場: デフォー『ロビンソン・クルーソー』				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる			1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳			1.5 時間
8	講義内容	Sentimental の時代: リチャードソン『パメラ』				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
9	講義内容	18 世紀における小説の成熟:オースティン『高慢と偏見』		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
10	講義内容	ゴシック小説と恐怖		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
11	講義内容	ロマン主義の到来とロマン派詩人(ブレイク、ワーズワス、シェリー)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
12	講義内容	ヴィクトリア朝の社会と文学:ダーウィニズム・都市化・帝国主義		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布資料(ヴィクトリア朝の社会)を読んでくる。	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの内容にしたがって講義をまとめる	1.5 時間
13	講義内容	ヴィクトリア朝の小説:ディケンズ、トマス・ハーディ、キプリング		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
14	講義内容	20 世紀の小説:ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト該当部の単語を調べてくる	1.5 時間
		復習	テキスト該当部の日本語訳	1.5 時間
15	講義内容	現代まで		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布した現代詩を読んでくる。	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの内容にしたがって講義をまとめる	1.5 時間
備考	オフィスアワー:木曜 4 限 研究室:9 号館 304 号室			

科目名		英語文学批評(保育・教育の内容)			CES1C6	講義
担当教員		松田 幸子				
学年・開講期		3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		文学を論じる際に必要となる、文学理論について学ぶ。理解力・思考力・プレゼン能力を高めるため、担当者には、指定テキスト担当箇所についてのまとめと発表を課す。担当者は必ずハンドアウトを用意すること。また、テキスト終了後は、それらの文学理論を用いて、主に 19 世紀に書かれた英米の小説を毎時間読み、それについてディスカッションを行う。英米文学を出来るだけ多く読み、また実践的に英文学を論じる能力を得ることがこの授業の目的である。				
到達目標		1.文学を批評的に論じるための文学理論について理解を深める。 2.英語圏の文学作品についてプレゼンテーションとディスカッションを行う。 3.英語圏の文学テキストを原語で読み、自らの考えを述べるができるようになる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		出席点(10%)、授業での発表(40%)、期末課題(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		期末課題については、添削しコメントを付したのち返却する。				
使用教材		ピーター・バリー『文学理論講義』高橋和久訳(ミネルヴァ書房、2014 年)				
1	講義内容	オリエンテーション、担当の決定				
	該当する到達目標	予習	テキストの序章を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	講義をふまえ、「考えてみよう」に解答する			1.5 時間
2	講義内容	英文学はどこから来たか				
	該当する到達目標	予習	テキスト第 1 章を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間
3	講義内容	批評的態度とは何か				
	該当する到達目標	予習	配布資料(批評的態度)を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間
4	講義内容	精神分析批評				
	該当する到達目標	予習	テキスト「精神分析批評」を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間
5	講義内容	ジェンダー批評				
	該当する到達目標	予習	テキスト「ジェンダー批評」を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間
6	講義内容	新歴史主義				
	該当する到達目標	予習	テキスト「新歴史主義批評」を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間
7	講義内容	ポスト・コロニアリズム				
	該当する到達目標	予習	テキスト「ポスト・コロニアリズム批評」を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトの設問に解答する			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	Conrad, “The Disturber of Traffic”を読む①		
	該当する到達目標 2,3	予習	Conrad, “The Disturber of Traffic”を読んてくる	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの設問に解答する	1.5 時間
9	講義内容	Conrad, “The Disturber of Traffic”を読む②		
	該当する到達目標 2,3	予習	Conrad, “The Disturber of Traffic”を読んてくる	1.5 時間
		復習	ディスカッションをまとめる	1.5 時間
10	講義内容	Stevenson, “The Bottle Imp”を読む ①		
	該当する到達目標 2,3	予習	Stevenson, “The Bottle Imp”を読んてくる	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの設問に解答する	1.5 時間
11	講義内容	Stevenson, “The Bottle Imp”を読む ②		
	該当する到達目標 2,3	予習	Stevenson, “The Bottle Imp”を読んてくる	1.5 時間
		復習	ディスカッションをまとめる	1.5 時間
12	講義内容	Hardy, “Barbara of the House of Grebe”を読む ①		
	該当する到達目標 2,3	予習	Hardy, “Barbara of the House of Grebe”	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの設問に解答する	1.5 時間
13	講義内容	Hardy, “Barbara of the House of Grebe”を読む ②		
	該当する到達目標 2,3	予習	Hardy, “Barbara of the House of Grebe”	1.5 時間
		復習	ディスカッションをまとめる	1.5 時間
14	講義内容	Dickens, “A Madman's Manuscript”を読む①		
	該当する到達目標 2,3	予習	Dickens, “A Madman's Manuscript”を読んてくる	1.5 時間
		復習	ハンドアウトの設問に解答する	1.5 時間
15	講義内容	Dickens, “A Madman's Manuscript”を読む②		
	該当する到達目標 2,3	予習	Dickens, “A Madman's Manuscript” を読んてくる	1.5 時間
		復習	ディスカッションをまとめる	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 木曜 4 限 研究室: 9 号館 304 号室			

科目名		英語文学論(保育・教育の内容)			CES1D1	講義
担当教員		松田幸子				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		英語文学を論じる際の、さまざまなトピックについて理解しつつ、原文で作品を読めるようになる。とりわけ、ナショナル・アイデンティティの形成、ゴシック・カルチャー、階級、植民地主義等、英語圏の文化についての理解を深めつつ、文学作品の面白さを理解し、どのような文化的・社会的コンテキストの下、文学作品が描かれているのかを読解するのが、この授業の目的である。				
到達目標		1.文学作品を英語で読解できるようになる。 2.英語圏の文化について理解する。 3.英語によるテキストを批評的に読解できるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		出席点(10%)、授業への貢献度(30%)、期末課題(60%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートについては、改善点・コメントを付し返却する。 期末試験については、採点后返却する。				
使用教材		石塚久郎編『イギリス文学入門』(三修社、2014 年)				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトにしたがって本時の講義をまとめる。			1.5 時間
2	講義内容	イギリス・ルネサンス演劇と国家				
	該当する到達目標	予習	テキスト「演劇」を読んでくる			1.5 時間
	1,2	復習	ハンドアウトにしたがって本時の講義をまとめる。			1.5 時間
3	講義内容	シェイクスピア『マクベス』における継承				
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。			1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。			1.5 時間
4	講義内容	シェイクスピア『ハムレット』における継承				
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。			1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。			1.5 時間
5	講義内容	イギリスにおける「ゴシック」の発展				
	該当する到達目標	予習	テキスト「ゴシック・ファンタジー」を読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。			1.5 時間
6	講義内容	ウォルポール『オトランド城』とゴシックの城				
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。			1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。			1.5 時間
7	講義内容	メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』と怪物				
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。			1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。			1.5 時間
8	講義内容	イギリス文学における女性と結婚				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	テキスト「恋愛と結婚」を読んでくる	1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ジェイン・オースティン『高慢と偏見』における結婚と階級		
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。	1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』における女性と結婚		
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。	1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。	1.5 時間
11	講義内容	イギリス文学における植民地主義		
	該当する到達目標	予習	テキスト「植民地とポストコロニアリズム」を読んでくる	1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。	1.5 時間
12	講義内容	シェイクスピア『テンペスト』と植民地主義		
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる。	1.5 時間
	2,3	復習	ハンドアウト空欄部を埋めて内容理解する。	1.5 時間
13	講義内容	デフォー『ロビンソン・クルーソー』と植民地主義		
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる	1.5 時間
	1,3	復習	ハンドアウトにしたがって本時の講義をまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	スティーヴンソン『宝島』と植民地主義		
	該当する到達目標	予習	該当箇所を日本語に訳してくる	1.5 時間
	1,3	復習	ハンドアウトにしたがって本時の講義をまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ・レポートの書き方		
	該当する到達目標	予習	配布したレポートの書き方について学んでくる。	1.5 時間
	2,3	復習	レポートの題材を決定する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 木曜 4 限 研究室: 9 号館 304 号室			

科目名		英語児童文学論(保育・教育の内容)			CES1D2	講義
担当教員		松田 幸子				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		英米児童文学の誕生と発展を、トピックに沿って理解する。適宜テキストを参照しつつ、描かれた子供の表象を確認することで、近代社会の中で理想とされる子供像がいかに形成されてきたのかを確認する。最終的に、何らかの児童文学作品について論じることができるようになることが、本授業の目的である。また、後半は作品の解説を学生自身が行う。				
到達目標		1.英米児童文学を原文で読めるようになる。 2.子どものありようが、英米児童文学のなかでどのように変化してきたのかを学ぶ。 3.多様な社会・文化における子ども像を理解し、教育と文学のかかわりについて考える。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		出席点(10%)、授業への貢献度(30%)、期末課題(60%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートは、添削・コメントを付したのち返却する。				
使用教材		特に定めない。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	今まで読んだことのある英米児童文学の作品名を挙げる			1.5 時間
	1,2,3	復習	ハンドアウトにしたがって講義の内容をまとめる			1.5 時間
2	講義内容	〈子ども〉の発見と児童文学の誕生				
	該当する到達目標	予習	テキスト「子どもの発見」を読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	「子どもの発見」とはなにかまとめる			1.5 時間
3	講義内容	教育と児童文学:乳母・学校・教師				
	該当する到達目標	予習	「教育と児童文学」を読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	児童文学と教育のかかわりについてまとめる			1.5 時間
4	講義内容	『トム・ブラウン』(1857)と『チョコレート戦争』(1974)				
	該当する到達目標	予習	『チョコレート戦争』指定箇所を訳文で読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	『チョコレート戦争』指定箇所を和訳する			1.5 時間
5	講義内容	家族と児童文学				
	該当する到達目標	予習	「家族と児童文学」を読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	家族と児童文学にかかわりについてまとめる			1.5 時間
6	講義内容	『小公子』(1886)、『小公女』(1888)、『若草物語』(1868)				
	該当する到達目標	予習	『小公子』指定箇所を訳文で読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	『小公子』指定箇所を和訳する			1.5 時間
7	講義内容	社会問題と児童文学:孤児・労働・貧困				
	該当する到達目標	予習	「社会問題と児童文学」を読んでくる			1.5 時間
	2,3	復習	児童文学の中で社会問題がどのように描かれてきたかまとめる			1.5 時間
8	講義内容	『水の子』(1863)と『赤毛のアン』(1908)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2,3	予習	『水の子』指定箇所を訳文で読んでくる	1.5 時間
		復習	『水の子』指定箇所を和訳する	1.5 時間
9	講義内容		ファンタジーと児童文学	
	該当する到達目標 2,3	予習	「ファンタジーと児童文学」を読んでくる	1.5 時間
		復習	「ファンタジー」とはどのようなジャンルかまとめる	1.5 時間
	講義内容		『柳に吹く風』(1911)と『ホビット』(1937)	
10	該当する到達目標 2,3	予習	『柳に吹く風』指定箇所を訳文で読んでくる	1.5 時間
		復習	『柳に吹く風』指定箇所を和訳する	1.5 時間
11	講義内容		メアリー・ノートン『床下の小人たち』①	
	該当する到達目標 2,3	予習	『床下の小人たち』指定箇所を訳文で読んでくる	1.5 時間
		復習	『床下の小人たち』指定箇所を和訳する	1.5 時間
	講義内容		メアリー・ノートン『床下の小人たち』②	
12	該当する到達目標 2,3	予習	『床下の小人たち』指定箇所を訳文で読んでくる	1.5 時間
		復習	『床下の小人たち』指定箇所を和訳する	1.5 時間
13	講義内容		『借り暮らしのアリエッティ』をみる	
	該当する到達目標 2,3	予習	『床下の小人たち』あらすじをまとめる	1.5 時間
		復習	『借り暮らしのアリエッティ』の注目点をまとめる	1.5 時間
	講義内容		『床下の小人たち』まとめ	
14	該当する到達目標 2,3	予習	『床下の小人たち』と『アリエッティ』の相違点をまとめる	1.5 時間
		復習	講義内容にしたがって、相違点の意味について考察する	1.5 時間
15	講義内容		まとめ：現代の児童文学	
	該当する到達目標 2,3	予習	「現代の児童文学」を読んでくる	1.5 時間
		復習	これまでの講義内容にしたがって、現代の児童文学の変化を考察する	1.5 時間
	講義内容		まとめ：現代の児童文学	
備考	オフィスアワー：木曜 4 限			
	研究室：9 号館 304 号室			

科目名		英語教育学Ⅰ（保育・教育の内容）				CES1C7	講義
担当教員		嶋田 和成					
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標		英語教育学分野における主なテーマや問題について、これまでの英語教育・教授法の流れを概観しながら、俯瞰的に捉える力を養う。その上で、授業では、第二言語習得研究の知見に基づいた、新しい英語教育のアプローチである「フォーカス・オン・フォーム（FonF）」の理解を深めることを目標とする。また授業では、講義だけでなく、受講生による発表や討論も行う。					
到達目標		1. 伝統的教授法、コミュニケーション言語教授法、フォーカス・オン・フォームの特徴を理解する。 2. 日本の英語教育の現場で、複数の教授法をどのように取舍選択、活用すればよいのかを検討できる力を身につける。					
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養				
		✓	専門的知識				
		✓	問題発見・解決力				
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度、発表(50%)、期末レポート課題(50%)で総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック		課題はコメントをつけて返却する。					
使用教材		和泉伸一. (2009). 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』. 東京:大修館書店. 2,200 円					
1	講義内容		ガイダンス・英語教育観と第二言語習得研究				
	該当する到達目標		予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 1 章を参考にして、自分がこれまで受けてきた英語教育を振り返りながら、その長所・短所をまとめる。			1.5 時間
2	講義内容		伝統的教授法 (1): 教え方				
	該当する到達目標		予習	教科書第 2 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 2 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
3	講義内容		伝統的教授法 (2): 限界と問題点				
	該当する到達目標		予習	教科書第 2 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 2 章を参考にして、伝統的教授法の長所・短所をまとめる。			1.5 時間
4	講義内容		コミュニケーション言語教授法 (1): 内容中心教授法の特徴				
	該当する到達目標		予習	教科書第 3 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 3 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
5	講義内容		コミュニケーション言語教授法 (2): 内容中心教授法の課題				
	該当する到達目標		予習	教科書第 3 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 3 章を参考にして、内容中心教授法の長所・短所をまとめる。			1.5 時間
6	講義内容		コミュニケーション言語教授法 (3): タスク中心教授法の特徴				
	該当する到達目標		予習	教科書第 4 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2		復習	教科書第 4 章の専門用語の意味等を理解する。			1.5 時間
7	講義内容		コミュニケーション言語教授法 (4): タスク中心教授法の課題				
	該当する到達目標		予習	教科書第 4 章の指定された箇所を読む。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1, 2	復習	教科書第 4 章を参考にして、タスク中心教授法の長所・短所をまとめる。	1.5 時間
8	講義内容	第 1 回～第 7 回のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章～4 章までをもう一度読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	日本の英語教育が伝統的教授法からコミュニカティブ言語教授法になぜシフトしていったのか、その理由をまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	フォーカス・オン・フォーム (1): FonF の特徴		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 5 章の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	フォーカス・オン・フォーム (2): 内容中心教授法と FonF		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	内容中心教授法と FonF の違いをまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	フォーカス・オン・フォーム (3): タスク中心教授法と FonF		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	タスク中心教授法と FonF の違いをまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	フォーカス・オン・フォーム (4): FonF の課題		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 6 章を参考にして、FonF の長所・短所をまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	これからの日本の英語教育 (1): 理解可能なインプットからアウトプットへどう結び付けるか		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 7 章の専門用語の意味等を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	これからの日本の英語教育 (2): 学習者、学習環境、カリキュラムと教授法の関係を考える		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章の指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	教科書第 7 章を参考にして、学習者、学習環境、カリキュラムと教授法の関係について、理解したことをまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	第 9 回～第 14 回のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章～7 章までをもう一度読む。	1.5 時間
	1, 2	復習	FonF を日本の英語教育でどのように取り入れていけばよいか、その具体的な実践例を検討する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303 研究室			

科目名		英語教育学Ⅱ(保育・教育の内容)			CES1C8	講義
担当教員		中村 博生				
学年・開講期		3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		英語教師をめざすために、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることを目標とする。特に、英語教育学に基づいて、英語教育の基盤となる歴史的、理論的背景や教授理論を学び、自立して英語を学び続ける力を育み、時代のニーズに応えられる英語教師をめざす。				
到達目標		1.幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることができる。 2.中学校英語教育で必要とされる英語教育の歴史的背景や現代の教授理論に関する知識を身に付けることができる。 3.英語教育に関する学校現場での問題点を整理して、解決策を講じ実践的に応用することができる。 4.学習者や教育現場のニーズに応えられる英語教育の理論を、自ら進んで追求することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学修する力			
評価方法		小テスト 20%、レポート 60%、授業での発表 20%で評価する。				
課題に対する フィードバック		小テストは、コメントを付けて返却する。 レポートは、総合的なコメントを付けて返却する。 授業での発表は、その都度コメントする。				
使用教材		教科書『新・英語教育学概論』高梨康雄、高橋正夫、金星堂、2016、2,850 円				
1	講義内容		ガイダンス、外国語としての英語教育の目的			
	該当する到達目標 1,2,3,4		予習	教科書のはじめにと第1章に目を通し、講義の目標と英語教育の目的を理解する。		1.5 時間
			復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価などを確認する。また、日本の外国語学習の目的を理解できる。		1.5 時間
2	講義内容		小学校の英語教育(早期英語教育)と中・高等学校の英語教育			
	該当する到達目標 1,2,3,4		予習	教科書の第2章と第10章に目を通す。		1.5 時間
			復習	小学校の英語教育(早期英語教育)と中・高等学校の英語教育について理解を深めることができる。		1.5 時間
3	講義内容		現代の英語指導法			
	該当する到達目標 1,2,3,4		予習	教科書の第3章に目を通す。		1.5 時間
			復習	指導法の変遷を学び、現代の主な指導法を理解できるようになる。		1.5 時間
4	講義内容		評価論			
	該当する到達目標 1,2,3,4		予習	教科書の第4章に目を通す。		1.5 時間
			復習	評価に関する基本的な概念を理解し、観点別評価など5領域の実践的な評価を展開できるよう知識を得ることができる。		1.5 時間
5	講義内容		聞くことの指導原理			
	該当する到達目標 1,2,3,4		予習	教科書の第5章第1節に目を通す。		1.5 時間
			復習	リスニングの指導原理を理解し、指導方法や技術を身に付けることができる。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

6	講義内容	話すことの指導原理		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 5 章第 2 節に目を通す。	1.5 時間
		復習	スピーキングの指導原理を理解し、指導方法や技術を身に付けることができる。	1.5 時間
7	講義内容	読むことの指導原理		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 5 章第 3 節に目を通す。	1.5 時間
		復習	リーディングの指導原理を理解し、指導方法や技術を身に付けることができる。	1.5 時間
8	講義内容	書くことの指導原理		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 5 章第 4 節に目を通す。	1.5 時間
		復習	ライティングの指導原理を理解し、指導方法や技術を身に付けることができる。	1.5 時間
9	講義内容	コミュニケーション能力の基礎を養う指導原理		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 5 章第 5 節に目を通す。	1.5 時間
		復習	コミュニケーション・スキルの指導原理を理解し、指導方法や技術を身に付けることができる。	1.5 時間
10	講義内容	英語教育と情報技能		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	現代の様々な情報技能を英語教育に応用することの重要性を理解することができる。	1.5 時間
11	講義内容	授業論		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	学習指導案に基づく授業展開と授業に関する研究について理解を深め、授業指導に応用できる知識をもつことができる。	1.5 時間
12	講義内容	国際理解教育		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 9 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	国際理解教育と異文化理解の教育について理解することができる。	1.5 時間
13	講義内容	教師論、教育実習		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 11 章と 12 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	求められる教師像と実習生として必要な能力について理解することができる。	1.5 時間
14	講義内容	教材開発と教育機器(含 ICT)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 13 章と第 14 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	教材作成とその活用、また教育機器(含 ICT)の活用方法を学び、事業指導に活かすことができる。	1.5 時間
15	講義内容	英語教育研究法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 15 章に目を通す。	1.5 時間
		復習	英語教育関係の卒業研究について、研究方法や論文の書き方について理解することができる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日の 4 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「nakamura-h@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名	Communicative Classroom English I (保育・教育の内容)	CES1C9	演習

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

担当教員	ステイシー・クローズ				
学年・開講期	2 年 後期		必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	The goal of this course is to provide a foundation in using English in a Japanese classroom environment. This course will emphasize the practical application of teaching in English.				
到達目標	1. Understand the cultural and linguistic differences when using classroom English 2. Be able to conduct class in English 3. Be able to design, plan, teach and evaluate lessons				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.				
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。				
使用教材	Provided by instructor				
1	講義内容	Introduction to the course			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義内容を把握する。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
2	講義内容	Voice intonation			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
3	講義内容	Pronunciation basics			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
4	講義内容	Making requests to students			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
5	講義内容	Explaining the lesson			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
6	講義内容	Delegating tasks			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
7	講義内容	Giving instructions			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間
8	講義内容	Making the class inclusive			
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	Midterm review		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
10	講義内容	Skits and demonstrations		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
11	講義内容	Giving praise		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
12	講義内容	Explaining how to use materials		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
13	講義内容	Describing a task		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
14	講義内容	Student lesson presentations		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
15	講義内容	Final review		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 2 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名	Communicative Classroom English II (保育・教育の内容)				CES1CA	演習
担当教員	ステイシー・クローズ					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	The goal of this course is to provide an advanced foundation for using English in a Japanese classroom environment. This course will emphasize the practical application of teaching in English.					
到達目標	1. Understand the cultural and linguistic differences when using classroom English 2. Be able to conduct class in English with improved fluency and understanding 3. Be able to design, plan, teach and evaluate lessons in collaboration with an ALT					
学位 授与方	✓	豊かな人間性と教養				
針との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%で評価する。					
課題に対する フィードバック	課題はコメントをつけて返却する。					
使用教材	Provided by instructor					
1	講義内容	Introduction to the course				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.0 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
2	講義内容	Reviewing classroom instruction words and phrases				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
3	講義内容	Small talk with the ALT				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
4	講義内容	Discussing new ideas with the ALT				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
5	講義内容	Negotiating, refusing and accepting ideas				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
6	講義内容	Asking and making requests of the ALT				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
7	講義内容	Planning with the ALT				
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
8	講義内容	Midterm review				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
9	講義内容	Model lessons and skits for Elementary school students		
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
	講義内容	Model lessons and skits for Junior high school students		
10	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
11	講義内容	Model lessons and skits with an ALT		
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
	講義内容	Research presentations: Interviews with ALTs and JTEs		
12	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
13	講義内容	Activities for English in the classroom		
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
	講義内容	Teacher resources and ideas for English in the classroom		
14	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
15	講義内容	Final review		
	該当する到達目標 1, 2	予習	Preparation for the activity	2.0 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
	備考	オフィスアワー: 火曜 3 限、水曜 3 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室		

科目名	Writing for English Teaching(保育・教育の内容)				CES1CB	講義
担当教員	ステイシー・クローズ					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	The goal of this course is to understand and practice basic writing skills across a wide variety of applications. Students will be able to analyze writing for effectiveness.					
到達目標	1. To understand the writing process 2. To improve and develop their writing skills for effective communication 3. To be able to analyze reading passages and write in the 7 different genres of writing					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.					
課題に対するフィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点後返却する。					
使用教材	Provided by instructor					
1	講義内容	Introduction: Understanding writing genres				
	該当する到達目標	予習	Writing journal (every week)			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
2	講義内容	Mentor texts and descriptive writing				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
3	講義内容	Descriptive writing				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
4	講義内容	Narrative writing: Character and setting				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
5	講義内容	Narrative writing story forms				
	該当する到達目標	予習	Assignment 2			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
6	講義内容	Expository writing : General				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
7	講義内容	Expository descriptive writing elements				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases			1.0 時間
8	講義内容	Midterm review				
	該当する到達目標	予習	Writing journal			1.0 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
9	講義内容	Compare and Contrast writing		
	該当する到達目標	予習	Writing journal	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
10	講義内容	Cause and effect writing		
	該当する到達目標	予習	Assignment 5	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
11	講義内容	Problem and solution writing		
	該当する到達目標	予習	Assignment 6	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Sequence writing		
	該当する到達目標	予習	Assignment 7	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Persuasive writing		
	該当する到達目標	予習	Writing journal	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Group presentations		
	該当する到達目標	予習	Writing journal	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Final review		
	該当する到達目標	予習	Writing journal	2.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 2 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名	Speech Workshop(保育・教育の内容)				CES1CC	講義
担当教員	ステイシー・クローズ					
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	This course will teach students to plan, prepare, develop and evaluate effective presentations.					
到達目標	1. Learn the principles of a well-designed presentation 2. Improve self confidence in English speaking presentations 3. Develop skills for giving presentations					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.					
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。					
使用教材	Materials provided					
1	講義内容	Introduction to the course				
	該当する到達目標	予習	Understanding the goals of the course			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
2	講義内容	Preparing different kinds of presentations: Your purpose				
	該当する到達目標	予習	Presentation 1 impromptu			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
3	講義内容	Thinking about your audience				
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
4	講義内容	Involving your audience				
	該当する到達目標	予習	Presentation 2			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
5	講義内容	Great introduction techniques				
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
6	講義内容	Organizing the body of the speech				
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
7	講義内容	Demonstration speeches				
	該当する到達目標	予習	Presentation 3			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間
8	講義内容	Conclusions: How to end the speech				
	該当する到達目標	予習	Preparation for the activity			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Review the new words and phrases			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	Midterm review		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
10	講義内容	Delivery: Gestures and body movement		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
11	講義内容	Research for Informational speeches		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
12	講義内容	Information speeches		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
13	講義内容	Persuasive speeches techniques		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
14	講義内容	Persuasive speeches grammar		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
15	講義内容	Final student presentations and portfolios		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Preparation for the activity	1.5 時間
		復習	Review the new words and phrases	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 3 限、水曜 3 限 メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 307 研究室			

科目名		異文化コミュニケーション論(保育・教育の内容)			CES1CD	講義
担当教員		松田 幸子				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		異文化について理解するための英文エッセイを参照しつつ、「文化とは何か」、「見える文化」と「見えない文化」、ステレオタイプ、集団主義と個人主義、外国語の学習、交渉力など、異文化間コミュニケーションにおける基本的な事項について学ぶ。国際化しつつある現代の教育現場において必要とされる異文化についての理解、コミュニケーション・スキルを得ることが、この講義の目的である。				
到達目標		1.グローバル化社会における多様性と異文化理解の必要性を学ぶ。 2.グローバル化しつつある現代の教育現場において必要とされるコミュニケーション・スキルを身につける。 3.多文化主義を教育現場においてどのように実践するかについて学ぶ。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業への参加度(10%)、リアクション・ペーパー(50%)、期末課題(60%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		レポートについては、添削・コメントを付したのち返却する。				
使用教材		八代京子ほか『異文化トレーニング ポーダレス社会を生きる』(三修社、2009 年)				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト第 1 章「異文化コミュニケーションとは」を読んてくる		1.5 時間	
		復習	ハンドアウトにしたがって講義内容の理解		1.5 時間	
2	講義内容	ステレオタイプ・異文化理解への態度				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「ステレオタイプ」を読んてくる		1.5 時間	
		復習	「ステレオタイプ」とはなにかまとめる		1.5 時間	
3	講義内容	文化とコミュニケーション				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「文化とコミュニケーション」を読んてくる		1.5 時間	
		復習	ハンドアウトにしたがって講義内容の理解		1.5 時間	
4	講義内容	コンテキスト・双方向コミュニケーション				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「コンテキスト」について読んてくる		1.5 時間	
		復習	「双方向コミュニケーション」とはなにかまとめる		1.5 時間	
5	講義内容	自己開示				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「自己開示」を読んてくる		1.5 時間	
		復習	「自己開示」とはなにかまとめる		1.5 時間	
6	講義内容	パラ言語				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「パラ言語」について読んてくる		1.5 時間	
		復習	「パラ言語」とはなにかまとめる		1.5 時間	
7	講義内容	言語コミュニケーション				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「言語コミュニケーション」を読んてくる		1.5 時間	
		復習	講義内容にしたがって自己紹介文を作成する		1.5 時間	
8	講義内容	非言語コミュニケーション				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「非言語コミュニケーション」を読んてくる	1.5 時間
		復習	「非言語コミュニケーション」とはなにかまとめる	1.5 時間
9	講義内容		空間と対人距離	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「空間と対人距離」を読んてくる	1.5 時間
		復習	「空間と対人距離」について自分の意見をまとめる	1.5 時間
10	講義内容		価値観:ことわざ	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「価値観」を読んてくる	1.5 時間
		復習	文化とことわざについてまとめる	1.5 時間
11	講義内容		異文化ケース・スタディー・基本価値志向	
	該当する到達目標 1,2	予習	「異文化ケース・スタディー」を読んてくる	1.5 時間
		復習	自分の異文化ケース・スタディーをハンドアウトにしたがって行う	1.5 時間
12	講義内容		対立管理スタイル	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「対立管理スタイル」を読んてくる	1.5 時間
		復習	自分の「対立管理スタイル」について書き出す	1.5 時間
13	講義内容		共感(エンパシー)	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「共感(エンパシー)」について読んてくる	1.5 時間
		復習	「共感(エンパシー)」とはなにかまとめる	1.5 時間
14	講義内容		D.I.E.メソッド	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「D.I.E.メソッド」を読んてくる	1.5 時間
		復習	「D.I.E.メソッド」とはなにかまとめる	1.5 時間
15	講義内容		アサーティヴ・コミュニケーションとエポケー	
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「アサーティヴ・コミュニケーション」を読んてくる	1.5 時間
		復習	「エポケー」とはなにかまとめる	1.5 時間
備考	オフィスアワー:木曜 4 限 研究室:9 号館 304 号室			

科目名	ヨーロッパ思想と多文化理解(保育・教育の内容)			CEC005	講義
担当教員	石原綱成				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	よき教育者・保育者になるためには生徒や幼児の心をより深く理解することが必要である。生徒や幼児は教師、保育者にとって他者、すなわち各々異なった心を持った「異文化」でもある。自己をより相対化し、相手に接することはとても重要である。この講義を通して、様々な文化を学び、より豊かな知識と人間性を養うことができる。また、平和、人権についても深く考察する。				
到達目標	1.保育者・教育者に必要な教養を身に着けることができる。 2.子どもへのより深い洞察力を養うことができる。 3.差別を無くし、平和・平等の重要性を学ぶことができる。 4.多文化を理解することで相手を理解する心を養うことができる。 5. 保育者・教育者として重要な人間性を豊かにすることができる。				
学位授与方針 との対応	✓	1.豊かな人間性と教養			
	✓	2.専門的知識			
		3.問題発見・解決力			
	✓	4.多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	5.自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	授業ごとに小試験(10 点×5 回、50 満点)を実施する。さらにレポート(50 点)を期限内に提出する。				
課題に対する フィードバック	講義ごとに、小テスト、討論会を実施する。質問は積極的に対応する。				
使用教材	講義ごとにプリントを配布する。参考文献は逐次紹介する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。		1.5 時間
	1,2,	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	子どもの発見ーアリエスの学説ー			
	該当する到達目標	予習	アリエスの『子供の発見』の指定されたページを読む。		1.5 時間
	1,2,4	復習	現代の子ども観を再考する。		1.5 時間
3	講義内容	ペーテル・ブリューゲルの「子どもの遊戯」を巡って①			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにブリューゲルの芸術作品を理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	「子どもの遊戯」の図像のテーマを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	ペーテル・ブリューゲルの「子どもの遊戯」を巡って②			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに「子どもの遊戯」の図像の寓意の学説を理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	「子どもの遊戯」の図像の寓意から考える子ども像を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	絵で読む子供の社会史①			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに子どもの図像から子どもの姿を理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	中世の子ども像を概観する。		1.5 時間
6	講義内容	絵で読む子供の社会史②			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに子どもの図像から子どもの姿を理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	近世の子ども像を概観する。		1.5 時間
7	講義内容	歴史の中の女性①ージェンダーの起源ー			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに図像に現れた女性の姿を理解する。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,4	復習	中世における女性像を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	歴史の中の女性②ー聖書の中の女性ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに図像に現れた女性の姿を理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	近世における女性像を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	世界の宗教を理解する。ーキリスト教ー		
	該当する到達目標	予習	キリスト教の教義を理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した聖書を読む。	1.5 時間
10	講義内容	世界の宗教を理解する。ーイスラム教ー		
	該当する到達目標	予習	イスラム教の教義を理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	イスラム世界の特徴を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	世界の宗教を理解する。ー仏教ー		
	該当する到達目標	予習	仏教の教えを理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	多神教と一神教の特色を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	教育史のなかの「よい子」を考えるー戦中の教育ー		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに戦争中現れた子どもの姿を理解する。	1.5 時間
	1,2,4,5	復習	軍事教育とは何かを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	戦争の本質ー多文化理解欠如の悲惨ー		
	該当する到達目標	予習	戦争の歴史を理解する。	1.5 時間
	1,2,4,5	復習	戦争の原因を理解する。帝国主義の末路を考える。	1.5 時間
14	講義内容	原子爆弾投下の背景		
	該当する到達目標	予習	原子爆弾の構造と破壊力への理解。	1.5 時間
	1,2,4,5	復習	ヒロシマ・ナガサキで起こったことを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	多文化理解と教育		
	該当する到達目標	予習	今までの授業を総合的に振り返る。	1.5 時間
	1,2,4,5	復習	教育者・保育者が心がけるべき「平和」を考える。	1.5 時間
備考	後半の授業のテキストとして、新井満、自由訳『般若心経』、朝日文庫を使用する。 オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス: ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501			

科目名	表現演習(保育・教育の内容科目)				CES203	演習
担当教員	岡本 弘子					
学年・開講期	4 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	子どもを対象とした人形劇やミュージカル等の舞台制作について、企画、台本制作、演出、舞台装置や衣装制作等を行い、さらにそれらを演じる技術を習得し発表する。また、保育・教育現場において子どもが発表会等で行う表現活動の指導方法についても実践を通して学ぶ。					
到達目標	1. 子どもを対象とした表現発表の舞台制作を企画立案し、制作・発表を行う。 2. 保育・教育現場における子どもの表現活動の指導方法の実際を学ぶ。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	課題への取り組み 40%、期末のレポート課題 60%を総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック	毎授業ごとに振り返りの時間を設け、次週までの課題を明確にして共有をはかる。					
使用教材	なし					
1	講義内容	オリエンテーション。授業の概要説明とグループ分け。演目検討。				
	該当する到達目標	予習	シラバスをよく読み、講義目標、到達目標を理解する。			1 時間
	1	復習	講義内容、評価方法を確認する。			1.5 時間
2	講義内容	台本制作、演出、舞台装置、衣装制作、出演者等の役割ごとの作業確認と準備。				
	該当する到達目標	予習	どのような表現媒体を用いるか、検討しておく。			1 時間
	1	復習	授業時間内でまとまらなかった意見について検討しておく。			1.5 時間
3	講義内容	各グループの演目について発表し、意見交換を行い内容についての再検討。				
	該当する到達目標	予習	演目について発表準備を行う。			1 時間
	1	復習	表現媒体の準備を進める。			1.5 時間
4	講義内容	音楽練習。使用楽曲の選曲、パート練習				
	該当する到達目標	予習	予め使用楽曲について調べておく。			1 時間
	1	復習	音楽練習を進めておく。			1.5 時間
5	講義内容	立ち稽古① 実際に演じながら練習および演技指導。				
	該当する到達目標	予習	台本制作等準備を行う。			1 時間
	1	復習	修正点をグループ内で共有し練習する。			1.5 時間
6	講義内容	中間発表。各グループの演目を発表し、意見交換、演技指導。				
	該当する到達目標	予習	中間発表に向けてグループ内で課題について検討しておく。			1 時間
	1	復習	課題を明確化し、翌週の準備を行う。			1.5 時間
7	講義内容	立ち稽古② 中間発表を踏まえて、修正、演技指導。				
	該当する到達目標	予習	修正点をグループ内で共有し、発表準備を行う。			1 時間
	1	復習	課題を明確化し、翌週の準備を行う。			1.5 時間
8	講義内容	通しリハーサル① 照明、衣装、舞台装置等確認				
	該当する到達目標	予習	修正点をグループ内で共有し、発表準備を行う。			1 時間
	1	復習	課題を明確化し、翌週の準備を行う。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	通しリハーサル② 最終リハーサル		
	該当する到達目標	予習	修正点をグループ内で共有し、発表準備を行う。	1 時間
	1	復習	課題を明確化し、翌週の準備を行う。	1.5 時間
10	講義内容	舞台発表		
	該当する到達目標	予習	準備不足のないようグループ内で意見交換を行っておく。	1 時間
	1	復習	発表の反省と評価を行う。	1.5 時間
11	講義内容	発表後の振り返り 反省と評価		
	該当する到達目標	予習	課題を明確にしておく。	1 時間
	1, 2	復習	他者の意見を受けて、グループあるいは個々の課題を明確化する。	1.5 時間
12	講義内容	子どもの発表会における表現活動の指導方法について。模擬保育の内容検討		
	該当する到達目標	予習	模擬保育に実施する内容について検討しておく。	1 時間
	2	復習	授業内でまとまらなかった課題についてさらに検討しておく。	1.5 時間
13	講義内容	表現活動の指導について。指導案の作成		
	該当する到達目標	予習	指導案作成に向けての教材研究を事前に行っておく。	1 時間
	2	復習	授業内でまとまらなかった指導案の作成を終わらせておく。	1.5 時間
14	講義内容	模擬保育 グループごとに発表し相互に評価し合う。		
	該当する到達目標	予習	模擬保育に向けて必要な準備を各自で進める。	1 時間
	2	復習	反省点の振り返りを行う。	1.5 時間
15	講義内容	指導案再検討 模擬保育後の反省と評価。指導案の再検討を行う。		
	該当する到達目標	予習	指導案再検討に向けて課題を明確にしておく。	1 時間
	2	復習	個々の課題を明確にし、実践にいかす。	1.5 時間
備考	グループワークを中心に行うので、積極的な授業参加が求められる。 オフィスアワーは火曜 3 限、水曜 3 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は、メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名	絵本論(保育・教育の内容)				CES204	演習
担当教員	今井 邦枝					
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	保育の現場において絵本は、多く使われている児童文化材の一つであり、子どもたちが楽しむことができる媒体である。この講義では多くの絵本に触れ、絵本の特性や種類などについて理解を深める。また、子どもに読み聞かせをする際の絵本の選択の仕方、絵本の読み聞かせに関する方法を習得する。					
到達目標	1.児童文化材の一つである絵本についての種類や特性を理解する。 2.保育教材として絵本を捉え、保育現場での活用法などを学び、実践力を養う。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	絵本分析シート(15 回提出)90%、授業の参加度 10%					
課題に対する フィードバック	提出された絵本分析シートは、適宜返却するので、各自見直しておくこと。					
使用教材	各時間に必要な絵本を指定するので、図書館などで用意をすること。					
1	講義内容	児童文化材としての絵本				
	該当する到達目標	予習	自分の好きな絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	2	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
2	講義内容	保育教材としての絵本				
	該当する到達目標	予習	子どもに読んであげたい絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	2	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
3	講義内容	絵本の種類①:赤ちゃん絵本				
	該当する到達目標	予習	赤ちゃん絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
4	講義内容	絵本の種類②:創作・物語絵本				
	該当する到達目標	予習	創作・物語絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
5	講義内容	絵本の種類③:昔話・民話絵本				
	該当する到達目標	予習	昔話・民話絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
6	講義内容	絵本の種類④:知識絵本(科学絵本、図鑑絵本、数の絵本)				
	該当する到達目標	予習	知識絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
1	講義内容	絵本の種類⑤:言葉の絵本、文字のない絵本、写真絵本				
	該当する到達目標	予習	ことば絵本、文字なし絵本、写真絵本などを準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間
8	講義内容	絵本の種類⑥:しかけ絵本				
	該当する到達目標	予習	しかけ絵本を準備し、読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本分析シートを作成する。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	絵本の歴史		
	該当する到達目標 1	予習	出版年を確認し、古い絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
10	講義内容	絵本分析方法論		
	該当する到達目標 1	予習	比較する 2 冊の絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
11	講義内容	絵本分析①(構造分析)		
	該当する到達目標 1	予習	構造的に面白い絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
12	講義内容	絵本分析②(ストーリー分析)		
	該当する到達目標 1	予習	ストーリー展開が面白い絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
13	講義内容	絵本分析③(教材分析)		
	該当する到達目標 1,2	予習	保育に良く用いられる絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
14	講義内容	保育現場での絵本の展開		
	該当する到達目標 2	予習	実習で読んだことのある絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
15	講義内容	読み聞かせの実践方法、まとめ		
	該当する到達目標 2	予習	読み聞かせをしたい絵本を準備し、読む。	0.5 時間
		復習	絵本分析シートを作成する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 3 限、火曜 3 限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: kimai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 507			

科目名	家庭教育と幼児教育(保育・教育の内容)				CES205	講義
担当教員	今井 麻美					
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	これまでの授業の中で、家庭教育と幼児教育それぞれについての理解は深められてきたと考える。それらを踏まえ、本授業では、家庭教育と幼児教育、それぞれの役割や機能に関する議論を歴史的に学ぶ。さらに、現在、家庭教育と幼児教育との関係は、どのように位置づけられているのかについて検討を行う。					
到達目標	1. 家庭教育と幼児教育、それぞれの役割や機能に関する議論を歴史的に理解する。 2. 家庭教育と幼児教育、それぞれ独自の役割や機能について自分なりに考えを深めることができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	議論への参加意欲, 貢献 40%, 最終レポート 60%					
課題に対するフィードバック	課題の意義について説明する。 提出された課題にはコメントを付けて返却する。					
使用教材	適宜資料を配布する					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する			1.5 時間
	1,2	復習	講義内容, 到達目標, 学位授与方針, 成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	家庭教育と幼児教育の関係のあり方に関する議論 ①幼児教育の誕生				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
3	講義内容	家庭教育と幼児教育の関係のあり方に関する議論 ②両者の対等性				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
4	講義内容	家庭教育と幼児教育の関係のあり方に関する議論 ③現在の問題と課題				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
5	講義内容	近代家族と「学校」				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
6	講義内容	近年の家庭教育関係施策				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
7	講義内容	行政文書から捉える「家庭教育」				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間
8	講義内容	メディアから捉える「家庭教育」				
	該当する到達目標	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	家庭教育と幼児教育に対する自分たちのものの見方		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する	1.5 時間
10	講義内容	家庭教育言説から捉える子ども像, 親像 ①文献検討		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する	1.5 時間
11	講義内容	家庭教育言説から捉える子ども像, 親像 ②ディスカッション		
	該当する到達目標 1,2	予習	他者と共有したい内容を整理する	1.5 時間
		復習	ディスカッションを通して, 気づいたことを整理する	1.5 時間
12	講義内容	家庭教育から幼児教育への移行 ①親にとっての変化		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する	1.5 時間
13	講義内容	家庭教育から幼児教育への移行 ②親子が保育者と関わることの意味		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	授業内容を振り返り, 自分の意見や考えを整理する	1.5 時間
14	講義内容	家庭教育と幼児教育のそれぞれの役割と意義 ①グループディスカッション		
	該当する到達目標 1,2	予習	これまでの授業内容を振り返り, 自分なりの考えを整理する	1.5 時間
		復習	ディスカッションを通して, 気づいたことを整理する	1.5 時間
15	講義内容	家庭教育と幼児教育のそれぞれの役割と意義 ②レポート作成		
	該当する到達目標 1,2	予習	これまでの授業内容を振り返り, 自分なりの考えを整理する	1.5 時間
		復習	レポートを読み返し, 自分自身のものの見方がどのように変化したのかについて考えたり, 気づいたりする	1.5 時間
備考	授業で扱う資料を必ず読んだ上で, 授業に参加することを求める。また, 授業内容を自分なりに噛み砕いて, 自分なりの意見を持つとする姿勢を求める。 オフィスアワー: 水曜3限、金曜2限 メールアドレス: imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 504			

科目名		パーソナリティの心理学(保育・教育の内容)			CES206	講義
担当教員		板津 裕己				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		主なパーソナリティ理論の概念について学ぶことで、人間行動などに見いだされる「個性」の考え方や「個性理解」「人間理解」の大切さを修得する。				
到達目標		1.将来、教育者や保育者として、向き合う人の個性を尊重することの大切さが自覚できるようになる。 2.「心理学検査法」やその他の心理臨床関連科目の基礎学習として、心理学的なパーソナリティ理論の基礎を理解できるようになる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		評価は、個人ワーク課題の提出状況(20点)、確認作業(30点)および期末試験(レポート課題)(50点)などを総合して行う。				
課題に対する フィードバック		課題レポートおよび期末試験レポートは、コメントを付けた後に返却をする。				
使用教材		テキストは使用しない。授業進行に従いプリントや予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 D.シュルツ (著), 上田 吉一 (監訳) 健康な人格・人間の可能性と七つのモデル 川島書店 1982 上里一郎 (監修) 臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典 至文堂 2002 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005				
1	講義内容	オリエンテーション ―パーソナリティとは―				
	該当する到達目標 1	予習	「個性」や「個性の形成要因」について自分なりの考えをまとめておく。			1.5 時間
		復習	「個性」について日常生活を踏まえつつ復習をしておく。			1.5 時間
2	講義内容	心理学における個性への関心 ―個性研究の歴史―				
	該当する到達目標 1	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	「個性」について日常生活を踏まえつつ復習をしておく。			1.5 時間
3	講義内容	適応の問題				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	自分を活かし、周囲を活かしていくことについて考える。			1.5 時間
4	講義内容	コンフリクト、フラストレーション、防衛機制				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	人間行動の不思議さについて考える。確認作業への準備。			1.5 時間
5	講義内容	類型論や特性論からの個性理解、第 1 回から第 4 回までの学習内容の確認作業				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	人間理解の方法について考える。			1.5 時間
6	講義内容	精神分析学の立場からのパーソナリティ理解 1 ―概観、フロイト―				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	無意識行動の長所と問題点について考える。			1.5 時間
7	講義内容	精神分析学の立場からのパーソナリティ理解2 ―ユングとアドラー―				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	社会生活を心地よく過ごしていく方法について考える。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,2	講義内容 精神分析学の立場からのパーソナリティ理解3 ―フロムとエリック・バーン―		
		予習	前本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	環境が個性形成に与える影響について考える。確認作業への準備。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2	講義内容 ヒューマニスティック心理学からの立場からのパーソナリティ理解1 ―オルポートとロジャース―、第5回から第8回までの学習内容の確認作業		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	こころの働きの中で「意識」の大切さについて考える。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2	講義内容 ヒューマニスティック心理学からの立場からのパーソナリティ理解2 ―マスローの考え方―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	「人間らしさとは」について考える。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2	講義内容 実存心理学からのアプローチ ― فرانクルのパーソナリティ観―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	「生きる意味」について考える。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2	講義内容 内向性と外向性		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	向性の特徴について復習しておく。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2	講義内容 双生児		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	双生児の不思議さについて考える。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2	講義内容 「嘘」と行動		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	「嘘」の意味について考える。確認作業への準備。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,2	講義内容 健康なパーソナリティ、第 9 回から第 14 回までの学習内容の確認作業		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	全 15 回の学習内容を復習しておく。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 予習課題は授業終了後に提出をする。 授業進行に際して、学習内容に関する個人・グループ作業や自己啓発作業を取り入れていく。			

科目名		音楽と表現 I (保育・教育の方法技術科目)			CEW1E1	演習
担当教員		岡本 弘子				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		主として歌唱表現を中心に、保育内容・小学校音楽科の授業内容を理解し、子どもの遊びや音楽活動を豊かに展開するために必要な保育者・教師の歌唱表現の知識と演奏技法を習得する。				
到達目標		1. 子どもの発達と音楽表現の基本について理解する。 2. 保育内容における音楽表現、小学校音楽科における授業内容について理解する。 3. 基本的な発声法を習得する。 4. 様々な歌唱表現について理解し、豊かな歌唱表現力を習得する。 5. 音楽表現に必要な音楽の基礎的知識に関する理解を深める。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		課題への取り組み 20%, 実技試験 40%, 筆記試験 40%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		毎時、授業についての振り返りの時間を設け、課題を明確にし、改善点について助言を行う。				
使用教材		こどものうた 100(チャイルド社), 続こどものうた 200(チャイルド社), はじめての楽譜の読み方(kmp)				
1	講義内容	子どもの発達と音楽表現の基本について理解する。				
	該当する到達目標	予習	シラバスをよく読み、授業内容について理解を深めておく。			1 時間
	1	復習	子どもの発達と音楽表現の基本について理解を深めておく。			1.5 時間
2	講義内容	幼児、児童の声帯と発声および歌唱表現の発達について理解する。				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。			1 時間
	1	復習	幼児、児童の歌唱表現の発達について理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	保育内容における音楽表現と小学校音楽科における授業内容について理解する。				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。			1 時間
	2	復習	保育内容における音楽表現と小学校音楽科における授業内容について理解を深めておく。			1.5 時間
4	講義内容	基本的な発声法の習得 発声のメカニズム, 姿勢, 呼吸法				
	該当する到達目標	予習	自身の歌唱表現についての課題を明確にしておく。			1 時間
	3	復習	授業で学んだ発声法について繰り返し復習する。			1.5 時間
5	講義内容	ソルフェージュ① リズム練習				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。			1 時間
	1, 2, 3	復習	授業で学んだリズム練習を繰り返しかえし復習する。			1.5 時間
6	講義内容	ソルフェージュ② コーリューブンゲン, コンコーネから抜粋し発声練習を行う。				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。			1 時間
	1, 2, 3	復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。			1.5 時間
7	講義内容	歌唱教材① 手遊び歌に関する知識と演奏技法を習得する。				
	該当する到達目標	予習	手遊びについて予め下調べをしておく。			1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	授業で学んだ手遊び歌を繰り返しかえし練習する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	歌唱教材② 乳幼児の歌唱曲に関する知識と演奏技法を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
9	講義内容	歌唱教材③ 小学校低学年の歌唱曲に関する知識と演奏技法を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
10	講義内容	歌唱教材④ 小学校高学年の歌唱曲に関する知識と演奏技法を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
11	講義内容	歌唱教材⑤ 独唱曲に関する知識と演奏技法を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
12	講義内容	歌唱教材⑥ 輪唱, 合唱曲に関する知識と演奏技法を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
13	講義内容	歌唱教材⑦ 子どもの歌唱曲の伴奏法に関する知識と演奏技法を習得し, 弾き歌いを行う。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
14	講義内容	歌唱教材⑧ 歌唱教材の楽曲分析を行い, 歌唱曲を構造的に理解し, 豊かな表現力を習得する。		
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	授業で学んだ曲を繰り返しかえし練習する。	1.5 時間
15	講義内容	音楽表現に必要な音楽の基礎的知識に関する理解を深める。		
	該当する到達目標 5	予習	テキストの該当箇所を読み, 事前に理解しておく。	1 時間
		復習	音楽の基礎的知識について理解を深めておく。	1.5 時間
備考	授業は演習形式で行うので, 積極的な授業参加を求める。 オフィスアワーは火曜 3 限, 水曜 3 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は, メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名		音楽と表現Ⅱ（保育・教育の方法技術科目）			CEW1E2	演習
担当教員		岡本 弘子				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		「音楽と表現Ⅰ」に引き続き、子どもの遊びや音楽活動を豊かに展開するための音楽表現の知識や演奏技法を習得する。また、器楽演奏を中心に、楽器の演奏法やアンサンブルの演奏技法を習得する。				
到達目標		1. 生活や遊びの中での音楽表現の実際について学ぶ。 2. 楽器遊びや楽器作り、器楽演奏を中心とした音楽表現活動とその展開の方法を学ぶ。 3. 器楽演奏の演奏法およびアンサンブルの演奏技法を習得する。 4. 子どもの音楽表現を引き出すための音楽的な環境構成について学ぶ。 5. 音楽表現に必要な音楽の基礎的知識に関する理解を深める。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		課題への取り組み 20%, 実技試験 40%, 筆記試験 40%を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		毎時、授業についての振り返りの時間を設け、課題を明確にし、改善点について助言を行う。				
使用教材		こどものうた 100(チャイルド社), 続こどものうた 200(チャイルド社), はじめての楽譜の読み方(kmp)				
1	講義内容	生活や遊びの中での音楽表現				
	該当する到達目標	1	予習	シラバスをよく読み、授業内容について理解しておく。		1 時間
		1	復習	生活や遊びの中でどのような音楽表現を用いているか理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	音遊びと自然				
	該当する到達目標	1	予習	遊びの中で用いる音楽、自然の中にある音楽的なものについて考えておく。		1 時間
		1	復習	授業で学んだことをいかし、日常生活の中での音や自然音を書きだす。		1.5 時間
3	講義内容	楽器作りと音遊び① 叩いたりこすったりして音を出す楽器				
	該当する到達目標	1	予習	楽器作りにいかせる身近な材料を探しておく。		1 時間
		2	復習	製作した楽器を用いた音楽表現を行う。		1.5 時間
4	講義内容	楽器作りと音遊び② 吹いたり吸ったりして音を出す楽器				
	該当する到達目標	1	予習	楽器作りにいかせる身近な材料を探しておく。		1 時間
		2	復習	製作した楽器を用いた音楽表現を行う。		1.5 時間
5	講義内容	手作り楽器のアンサンブル				
	該当する到達目標	1	予習	手作り楽器を用いたアンサンブルの練習をしておく。		1 時間
		2	復習	課題を明確にし、解決しておく。		1.5 時間
6	講義内容	打楽器とその奏法① 太鼓ほか				
	該当する到達目標	1	予習	打楽器の奏法について予め調べておく。		1 時間
		3	復習	課題曲の練習を行う。		1.5 時間
7	講義内容	打楽器とその奏法② シロフォンほか				
	該当する到達目標	1	予習	打楽器の奏法について予め調べておく。		1 時間
		3	復習	課題曲の練習を行う。		1.5 時間
8	講義内容	打楽器を用いたアンサンブル				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 3	予習	各グループで練習しておく。	1 時間
		復習	課題を明確にし、解決しておく。	1.5 時間
9	講義内容 該当する到達目標 3	鍵盤ハーモニカの奏法① 基本的な奏法		
		予習	鍵盤ハーモニカの奏法について予めしらべておく。	1 時間
		復習	課題曲の練習を行う。	1.5 時間
10	講義内容 該当する到達目標 3	鍵盤ハーモニカの奏法② 「赤い屋根の家」を教材として		
		予習	課題曲の運指について練習しておく。	1 時間
		復習	課題を明確にし、解決しておく。	1.5 時間
11	講義内容 該当する到達目標 3	リコーダーの奏法① 基本的な奏法		
		予習	リコーダーの奏法について予めしらべておく。	1 時間
		復習	タンギングや運指について復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容 該当する到達目標 3	リコーダーの奏法② 「やまのおんがくか」を教材として		
		予習	課題曲の運指、タンギングについて練習しておく。	1 時間
		復習	課題を明確にし、解決しておく。	1.5 時間
13	講義内容 該当する到達目標 3	器楽合奏 様々な楽器を組み合わせたアンサンブルの演奏技法		
		予習	各グループで課題曲の練習に取り組む。	1 時間
		復習	課題を明確にし、解決しておく。	1.5 時間
14	講義内容 該当する到達目標 4	子どもの音楽表現を引き出すための音楽的な環境構成		
		予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。	1 時間
		復習	音楽的な環境構成について理解を深めておく。	1.5 時間
15	講義内容 該当する到達目標 5	音楽表現に必要な音楽の基礎的知識に関する理解を深める。		
		予習	テキストの該当箇所を読み、事前に理解しておく。	1 時間
		復習	音楽の基礎的知識について理解を深めておく。	1.5 時間
備考	授業は演習形式で行うので、積極的な授業参加を求める。 オフィスアワーは火曜 3 限、水曜 3 限である。それ以外の時間に課題をみてほしい場合は、メールにて事前予約すること。 okamoto@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 404 研究室 予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名	造形と表現Ⅰ（保育・教育の方法技術）				CEW101	演習
担当教員	石原綱成					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位			
講義目標	造形表現は教育者・保育者には必須の専門的知識である。幼児の造形原理をより深くまなぶことで、幼児と豊かなコミュニケーション能力を身に着けることができる。造形と表現Ⅰではまず、「楽しむ」ことを学ぶ。保育者が自ら楽しんで幼児と接しなければ造形活動は円滑にいかない。この授業では造形表現に関して、教育者・保育者に必要な専門的知識を身につけ、豊かな人間性を育むことを目標とする。					
到達目標	1.造形表現に関して、教育者・保育者に必要な専門的知識を身につけることができる。 2.造形表現を通して豊かな人間性を涵養することができる。 3.造形表現を通して子供たちと豊かなコミュニケーション能力を身につけることができる。 4.造形表現を通して子どものみならず保護者と円滑な人間関係を構築できる。 5.造形表現を中心にあらゆる専門科目とリンクさせ、学習がより意欲的になる。					
学位授与方針 との対応	✓	1.豊かな人間性と教養				
	✓	2.専門的知識				
	✓	3.問題発見・解決力				
	✓	4.多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	5.自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	期限内に課題を提出することにより評価する(100 点満点)。					
課題に対する フィードバック	課題は授業中に完成させることを目標とする。完成しなかった場合は自宅学習にて完成させる。					
使用教材	授業担当者があらかじめ指定した画材セットを各自購入する。					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。			0.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。			0.5 時間
2	講義内容	幼児絵画の造形原理				
	該当する到達目標 1,2	予習	幼児絵画の造形原理について各自意見をまとめておく。			0.5 時間
		復習	幼児絵画の発達段階の学説を理解する。			0.5 時間
3	講義内容	クレヨンと幼児の絵画指導				
	該当する到達目標 1	予習	画材としてのクレヨンの特徴を理解する。			0.5 時間
		復習	クレヨンという画材を理解し、指導方法を深く理解する。			0.5 時間
4	講義内容	絵の具と幼児の絵画指導				
	該当する到達目標 2	予習	画材としての絵の具の特徴を理解する。			0.5 時間
		復習	絵の具という画材を理解し、指導方法を深く理解する。			0.5 時間
5	講義内容	スクラッチ作成①				
	該当する到達目標 1,2,5	予習	スクラッチボードとは何か作成方法を理解する。			0.5 時間
		復習	アクリルグワッシュの特徴を理解する。			0.5 時間
6	講義内容	スクラッチ作成②				
	該当する到達目標 1,2,5	予習	スクラッチボードを完成させる。			0.5 時間
		復習	スクラッチボード実践のための言葉がけの考察。			0.5 時間
7	講義内容	糸引き版画作成				
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い画材を準備する。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,5	復習	糸引き版画実践のための言葉がけの考察。	0.5 時間
8	講義内容	デカルコマニー作成		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い画材を準備する。	0.5 時間
	1,2,5	復習	デカルコマニー実践のための言葉がけの考察。	0.5 時間
9	講義内容	マーブリング作成		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い画材を準備する。	0.5 時間
	1,2,5	復習	マーブリング実践のための言葉がけと画材の安全性の指導を理解する。	0.5 時間
10	講義内容	幼児絵画とキャラクター		
	該当する到達目標	予習	保育の現場で親しまれているキャラクターをあげる。	0.5 時間
	3,4,5	復習	キャラクターをうまく描くための技術を習得。	0.5 時間
11	講義内容	オリジナルキャラクターを作る。		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い画材を準備する。	0.5 時間
	3,4,5	復習	キャラクターはオリジナルのデッサンが不可欠であることを理解する。	0.5 時間
12	講義内容	牛乳パック工作①		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い教材を準備する。	0.5 時間
	1,2	復習	牛乳パック工作作成	0.5 時間
13	講義内容	牛乳パック工作②		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い教材を準備する。	0.5 時間
	1,2	復習	牛乳パック工作完成	0.5 時間
14	講義内容	提出課題の作成①		
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い提出課題の形式を理解する。	0.5 時間
	2,3,5	復習	今まで作成した課題を完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	造形表現の実践とはなにか、豊かな人間性を育むために		
	該当する到達目標	予習	今までの課題が保育現場でいかに活用されるか考える。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	豊かな人間性と造形表現の関連を総合的に考える。	0.5 時間
備考	画材は自費の負担となることを、あらかじめ了承しておいてください。教材は2回目の授業内で配布する。 オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス: ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501			

科目名		身体と表現Ⅰ（保育・教育の方法技術）			CEW102	演習
担当教員		山西 加織				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位		
講義目標		様々な身体活動や運動遊びをとおして、身体を動かすことや表現することの楽しさを体験するとともに、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を学ぶ。また、様々な遊具や用具、素材等の特性を理解し、遊びに活用する方法を学習する。				
到達目標		1. 幼児期における運動遊びの重要性を理解することができる。 2. 様々な運動遊びを実践し、それぞれの遊びの特性や魅力を説明することができる。 3. 幼児が楽しく安全に遊びに取り組めるような環境構成や援助の工夫を行うことができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		実技への参加度・貢献度（60％）、グループワークへの貢献度（10％）、レポート課題（30％）を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		授業で行った運動遊びについて毎回レポート課題を作成すること。提出された課題は適宜返却するので、復習しておくこと。				
使用教材		特別なテキストはなく、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容		オリエンテーション			
	該当する到達目標		予習	幼児期における運動遊びの意義を自分なりに考え、ノートにまとめる。		0.5 時間
	1		復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。		0.5 時間
2	講義内容		表現遊び（創作組体操）			
	該当する到達目標		予習			0 時間
	2,3		復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。		1 時間
3	講義内容		伝承遊び（鬼遊び）			
	該当する到達目標		予習			0 時間
	2,3		復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。		1 時間
4	講義内容		マットを用いた運動遊び			
	該当する到達目標		予習			0 時間
	2,3		復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。		1 時間
5	講義内容		巧技台を用いた運動遊び			
	該当する到達目標		予習			0 時間
	2,3		復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。		1 時間
6	講義内容		ボールを用いた運動遊び			
	該当する到達目標		予習			0 時間
	2,3		復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想		1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	
7	講義内容	フープを用いた運動遊び		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	1 時間
8	講義内容	縄を用いた運動遊び (1)長縄		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	1 時間
9	講義内容	縄を用いた運動遊び (2)短縄		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	1 時間
10	講義内容	サイバーホイール・バルーン・オーボールを用いた運動遊び		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	1 時間
11	講義内容	ゴムを用いた運動遊び		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	授業で体験した運動遊びについて、実際に保育現場で遊びを援助することを想定して、遊びのねらいや内容、指導上の留意点等をレポートにまとめる。	1 時間
12	講義内容	身近な素材を用いた運動遊びの作成		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	2,3	復習	グループで身近な素材を用いた運動遊びを考える。	1 時間
13	講義内容	遊びの模擬指導		
	該当する到達目標	予習	グループで身近な素材を用いた運動遊びを考える。	1 時間
	2,3	復習		0 時間
14	講義内容	遊びの展開の工夫と指導上の留意点		
	該当する到達目標	予習	グループで身近な素材を用いた運動遊びを考える。	1 時間
	2,3	復習		0 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	1,2,3	復習	授業全体を振り返り、幼児期の運動遊びにおける援助や環境構成のポイントをレポートにまとめる。	1 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限, 木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限, 火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 505 研究室			

科目名		ことばと表現 I (保育・教育の方法技術)			CEW103	演習
担当教員		今井 邦枝				
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位		
講義目標		幼稚園や保育園での言語教育において、絵本などの児童文化財は、保育教材として重要な役割を果たしている。本講義では、乳幼児期の言語教育の基本的な考え方、言葉の発達について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を通して理解を深める。その上で具体的な児童文化財を検討し、保育教材としての児童文化財について理解を深める。				
到達目標		1.乳幼児期の言語教育の基本的な考え方と言語発達について理解する 2.乳幼児期の言葉の発達を踏まえた適切な言語教材について理解する。 3.絵本やパネルシアターなどの児童文化財について、特性や種類などを学ぶ。 4.実際の作品の制作、発表を通して、子どもにとって適切な保育教材について理解する。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		課題作品・発表 40%、教材研究レポート(5 回提出)50%、授業の参加度 10%				
課題に対する フィードバック		提出された教材研究レポートは、適宜返却するので、各自見直しておくこと。 課題作品とその発表については、改善点を示すので、修正すること。				
使用教材		教科書①小川清美編「児童文化 保育内容としての実践と展開」萌文書林 2010 教科書②幼稚園教育要領解説(文部科学省) 教科書③保育所保育指針解説書(厚生労働省)				
1	講義内容	子どもにとって言葉とは何か				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスと教科書②2 章 4 を読む。			0.5 時間
		復習	保育における言語教育の基本的な考え方について理解する。			0.5 時間
2	講義内容	言葉が果たす役割・機能				
	該当する到達目標 1	予習	教科書①第 2 章 1, 2, 3 を読む			0.5 時間
		復習	子どもの生活や遊びの中で言葉が果たす役割・機能について理解する。			0.5 時間
3	講義内容	乳幼児期の言葉の特性				
	該当する到達目標 1	予習	教科書③第 2 章 1 を読む。			0.5 時間
		復習	乳幼児期の言葉の特性について理解する。			0.5 時間
4	講義内容	乳幼児期の言葉の発達				
	該当する到達目標 1	予習	教科書③第 2 章 2 を読む。			0.5 時間
		復習	乳幼児期の言葉の発達について理解する。自分の言葉の発達を振り返る。			0.5 時間
5	講義内容	領域「言葉」のねらいと内容				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書②第 2 章 4、教科書③第 3 章 1 を読む。			0.5 時間
		復習	領域「言葉」のねらいと内容について理解する。			0.5 時間
6	講義内容	子どもの言葉を育てる児童文化財				
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 4 章 1, 2 を読む			0.5 時間
		復習	保育における児童文化財の役割について理解する。			0.5 時間
7	講義内容	絵本の特性とは				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 絵本を読む。	0.5 時間
		復習	絵本の特性について理解する。	0.5 時間
8	講義内容		絵本作品にみる子どもの言葉の育ち	
	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 絵本を読む。	0.5 時間
		復習	言葉の発達における絵本の役割について理解する。	0.5 時間
9	講義内容		パネルシアターの特性とは	
	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 パネルシアターを読む。	0.5 時間
		復習	パネルシアターの特性について理解する。	0.5 時間
10	講義内容		パネルシアター作品にみる子どもの言葉の育ち	
	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 パネルシアターを読む。	0.5 時間
		復習	言葉の発達におけるパネルシアターの役割について理解する。	0.5 時間
11	講義内容		パネルシアター作品制作	
	該当する到達目標 4	予習	作品制作について構想し、準備をする。	0.5 時間
		復習	作品を完成する。	0.5 時間
12	講義内容		パネルシアター作品発表と検討①(ストーリーと展開)	
	該当する到達目標 4	予習	作品発表の練習・準備をする。	0.5 時間
		復習	発表の展開について振り返り、修正する。	0.5 時間
13	講義内容		パネルシアター作品発表と検討②(表現方法)	
	該当する到達目標 4	予習	作品発表の練習・準備をする。	0.5 時間
		復習	発表の表現方法について振り返り、修正する。	0.5 時間
14	講義内容		エプロンシアターの特性とは	
	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 エプロンシアターを読む。	0.5 時間
		復習	エプロンシアターの特性について理解する。	0.5 時間
15	講義内容		エプロンシアター作品にみる子どもの言葉の育ち、まとめ	
	該当する到達目標 3	予習	教科書①Part2 エプロンシアターを読む。	0.5 時間
		復習	言葉の発達におけるエプロンシアターの役割について理解する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 3 限、火曜 3 限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: kimai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 507 作品は実習のためのものである。エプロンシアター制作は夏休みの課題となる。			

科目名		幼児音楽演習Ⅰ（保育・教育の方法技術科目）			CEW201	演習
担当教員		坂田 恭子				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		保育士、幼稚園教諭および小学校教諭に必要な、音楽に関する知識と実践的な演奏技法を習得する。 具体的には、読譜に必要な音楽に関する知識をさらに深めるとともに、弾き歌いや伴奏法の習得をとおして、保育者・教師に必要な音楽的表現力を身につける。				
到達目標		1. 音階、調号、和声、コード等、音楽に関する知識についての理解を深める。 2. 音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏の演奏技法を習得する。 3. 伴奏しながら歌う弾き歌いの際の音楽的表現力を身につける。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		定期試験において、筆記試験 30％、実技試験 30％、毎回の授業課題 40％を総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		毎回小テストを実施し、自己採点時に解説する。 毎回実技発表を行い、個々の課題について説明する。				
使用教材		井戸和秀編「こどものうた 100」チャイルド社 石川良子著「はじめての楽譜の読み方」ケイ・エム・ピー				
1	講義内容	オリエンテーション 音楽に関する知識についての課題、および実技発表				
	該当する到達目標 1, 2	予習	シラバスをよく読み、講義目標、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解しておく。			1 時間
		復習	音楽に関する知識や実技発表に関する自己課題を明確にしておく。			1.5 時間
2	講義内容	音楽の知識に関する理解① 音階と調号 ハ長調、ト長調、ニ長調				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を読み、音階の練習をしておく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法①「おかえりのうた」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	「おかえりのうた」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
4	講義内容	音楽の知識に関する理解② 音階と調号 ヘ長調、変ロ長調、イ短調				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を読み、音階の練習をしておく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
5	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法②「まっかな秋」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	「まっかな秋」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
6	講義内容	音楽の知識に関する理解③ ハ長調、ト長調、ニ長調の主要三和音、属七和音とコード奏				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を読み、カデンツの練習をしておく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
7	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法③「もみじ」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	「もみじ」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間
8	講義内容	音楽の知識に関する理解④ ヘ長調、変ロ長調、イ短調の主要三和音、属七和音とコード奏				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、カデンツの練習をしておく。	1 時間
	1	復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。	1.5 時間
9	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法④「ふしぎなポケット」を教材として		
	該当する到達目標	予習	「ふしぎなポケット」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法⑤「ゆき」を教材として		
	該当する到達目標	予習	「ゆき」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容	音楽に関する知識をいかした歌唱教材の伴奏技法⑥「さんぽ」を教材として		
	該当する到達目標	予習	「さんぽ」の楽譜を読み、歌唱表現の留意点について考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	弾き歌いにおける音楽的表現力①「おかえりのうた」、「まっかな秋」を教材として		
	該当する到達目標	予習	課題を歌いながら弾く際の音楽的表現力について考えておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
13	講義内容	弾き歌いにおける音楽的表現力②「もみじ」、「ふしぎなポケット」を教材として		
	該当する到達目標	予習	課題を歌いながら弾く際の音楽的表現力について考えておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容	弾き歌いにおける音楽的表現力③「ゆき」、「さんぽ」を教材として		
	該当する到達目標	予習	課題を歌いながら弾く際の音楽的表現力について考えておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容	音楽に関する知識をいかした、歌唱教材の弾き歌いにおける音楽的表現力		
	該当する到達目標	予習	すべての課題曲について、音楽的表現を考えながら弾き歌いができるようにしておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	保育者・教師に必要な音楽的表現力とは何かについて理解を深めておく。	1.5 時間
備考	予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名		初等音楽演習Ⅰ（保育・教育の方法技術）			CEW202	演習
担当教員		吉田 恵子				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		小学校の教員に必要な、様々な楽器の演奏技術及び音楽を通して、実践的技能の習得を目指す。				
到達目標		1.ピアノを中心とした鍵盤楽器の演奏技能および伴奏法を理解し、習得する。 2.小学校で用いるさまざまな楽器のアンサンブルを習得する。 3.児童の活動に応じた移調奏、リズム伴奏、即興演奏等を理解し、習得する。 4.各自が選んだ第二楽器の基礎的知識を理解し、演奏技術を習得する。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		実技発表及び検定 50%、筆記試験 20% 毎回の授業課題 30%を総合する。				
課題に対するフィードバック		実技課題及び実技検定はその都度コメントをする。 実技課題は、必要に応じて、適宜補習を行う。				
使用教材		「音楽基礎Ⅰ、Ⅱ」で用いたテキストは引き続き使用する。その他資料を配布する。 第二楽器については、個別にテキストを指定、または資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読み、講義の目標や内容を理解する。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
2	講義内容	リズム伴奏:いろいろな奏法				
	該当する到達目標 1,3	予習	伴奏のリズムパターンを調べる。第二楽器の用意をする。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
3	講義内容	コード進行 長調				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	長調のコード進行について調べる。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
4	講義内容	コード進行 短調 第1回検定				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	短調のコード進行について調べる。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
5	講義内容	輪唱の作り方				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	輪唱曲を調べる。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
6	講義内容	旋法を使った創作				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	日本の旋法について調べる。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
7	講義内容	子どもの動きと即興①				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	子どもの動きについて調べる。			0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。			3 時間
8	講義内容	第2回検定				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,3,4	予習	検定の準備をする。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
9	講義内容 子どもの動きと即興②			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	子どもの歩き, 走りについて調べる。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
10	講義内容 子どもの動きと即興③			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	子どもの動きの特徴について調べる。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
11	講義内容 イメージを音にする:効果音を使った展開			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	雪の降る音、太陽の音、赤い音、寒い音、等々を考える。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
12	講義内容 イメージを楽譜にする:効果音を使った展開 第3回検定			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	図形譜について調べる。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
13	講義内容 いろいろな楽器:日本の伝統音楽			
	該当する到達目標 1,3,4	予習	日本の伝統音楽の楽器について調べる。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
14	講義内容 まとめと発表準備			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	実技発表の準備をする。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
15	講義内容 児童の音楽活動を支える: 実技発表と相互評価			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	実技発表(含第二楽器)の準備をする。	0.5 時間
		復習	実技課題を復習する。	3 時間
備考	オフィスアワー:月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室:8号館 503 研究室 受講のルール: 当該科目の未履修者は、2 年後期「音楽」の履修にあたり、当該科目内容相当の実技・筆記試験を受験し、合格することを条件とします。 ピアノ及び第二楽器の実技課題は、毎回予習復習をして授業に臨んでください。 欠席をした場合はレッスン補習を受け、次回の課題を把握してください。			

科目名		幼児音楽演習Ⅱ(保育・教育の方法技術科目)			CEW203	演習
担当教員		坂田 恭子				
学年・開講期		3 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		幼児音楽演習Ⅰに引き続き、保育士、幼稚園教諭および小学校教諭に必要な、音楽に関する知識と実践的な演奏技法を習得する。 音楽に関する知識をさらに深め、弾き歌いにおける初見伴奏、移調奏、コード奏、およびリズム遊びなどで用いる即興演奏の技法などを習得する。				
到達目標		1. 音階と調号に関する理解を深め、移調奏についての知識を深める。 2. 子どもの歌の弾き歌いにおける初見伴奏、移調奏、コード奏等の演奏技法を習得する。 3. 即興演奏の技法を習得する。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験において、筆記試験 30%, 実技試験 30%, 毎回の授業課題 40%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		毎回小テストを実施し、自己採点時に解説する。 毎回実技発表を行い、個々の課題について説明する。				
使用教材		井戸和秀編「こどものうた 100」チャイルド社 石川良子著「はじめての楽譜の読み方」ケイ・エム・ピー				
1	講義内容	オリエンテーション 音楽に関する知識についての課題、および実技発表				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	シラバスをよく読み、講義目標、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解しておく。			1 時間
		復習	音楽に関する知識や実技発表に関する自己課題を明確にしておく。			1.5 時間
2	講義内容	音楽の知識に関する理解① 各調の関係について				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を読み、音階の練習をしておく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	音楽の知識に関する理解② 移調について				
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書の該当箇所を読み、音階の練習をしておく。			1 時間
		復習	小テストの自己採点結果を確認しながら、理解を深めておく。			1.5 時間
4	講義内容	子どもの歌の伴奏法① 移調奏「雪のこぼろず」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を練習しておく。			1 時間
		復習	授業内で習得しきれなかった箇所を練習しておく。			1.5 時間
5	講義内容	子どもの歌の伴奏法② 移調奏「とけいのうた」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を練習しておく。			1 時間
		復習	授業内で習得しきれなかった箇所を練習しておく。			1.5 時間
6	講義内容	子どもの歌の伴奏法③ 移調奏「かたつむり」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を練習しておく。			1 時間
		復習	授業内で習得しきれなかった箇所を練習しておく。			1.5 時間
7	講義内容	子どもの歌の伴奏法④ 初見伴奏「もりのくまさん」を教材として				
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲の旋律を弾けるようにしておく。			1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	子どもの歌の伴奏法⑤ 初見伴奏「おもちゃのチャチャチャ」を教材として		
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲の旋律を弾けるようにしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの歌の伴奏法⑥ コード伴奏「せかいじゅうのこどもたちが」を教材として		
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を歌えるようにしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
10	講義内容	子どもの歌の伴奏法⑦ コード伴奏「カレンダーマーチ」を教材として		
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を歌えるようにしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
11	講義内容	子どもの歌の伴奏法⑧ コード伴奏「ふるさと」を教材として		
	該当する到達目標 1, 2	予習	課題曲を歌えるようにしておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	即興演奏① 歩く, 走る		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	歩いたり走ったりすることのできる音楽について調べておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
13	講義内容	即興演奏② スキップ		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	スキップすることのできる音楽について調べておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容	即興演奏③ 様々な動き		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	様々な動きのできる音楽について調べておく。	1 時間
		復習	授業時間内で習得できなかった技法を復習しておく。	1.5 時間
15	講義内容	音楽に関する知識をいかした, 歌唱教材の弾き歌いにおける音楽的表現力		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	すべての課題曲について, 音楽的表現を考えながら弾き歌いができるようにしておく。	1 時間
		復習	保育者・教師に必要な音楽的表現力とは何かについて理解を深めておく。	1.5 時間
備考	予習・復習は欠かさず行うこと。			

科目名		初等音楽演習Ⅱ(保育・教育の方法技術)			CEW204	演習
担当教員		吉田恵子				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	選択1単位		
講義目標		本授業では、「初等音楽演習Ⅰ」に引き続き、小学校の教員に必要な様々な楽器の演奏技術、および音楽を通しての指導に関する実践的技能の習得をめざす。また、習熟度に応じて弾き歌いを初めとするさまざまな楽器の演奏技法を習得する。				
到達目標		1. 小学校音楽教材から、範唱・範奏、模擬指導ができる。 2. 移調奏、即興演奏、コード伴奏等の演奏技法を習得し、演奏できる。 3. 「初等音楽演習Ⅰ」に引き続き、第二楽器の技術を習得し、演奏できる。 4. 楽器演奏に伴う、音楽の理論・歴史を理解できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		実技発表及び検定 50%、模擬指導 20% 毎回の授業課題 30%を総合する。				
課題に対する フィードバック		実技課題はその都度コメントをする。				
使用教材		「初等音楽演習Ⅰ」で用いたテキストは引き続き使用する。その他資料を配布する。『小学校学習指導要領』(平成 29 年度告示)解説音楽編』文部科学省				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標や内容を理解する。			0.5 時間
	1	復習	実技課題を復習する。学習指導要領音楽の目標を読む。			3 時間
2	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲1(バロック) 初見奏1				
	該当する到達目標	予習	バロックの作曲家について調べる。			0.5 時間
	1,2,3	復習	実技課題を復習する。学習指導要領音楽の低学年を読む。			3 時間
3	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲2(古典派1), 初見奏2				
	該当する到達目標	予習	古典派の作曲家について調べる。			0.5 時間
	1,3, 4	復習	実技課題を復習する。学習指導要領音楽の中学年を読む。			3 時間
4	講義内容	第 1 回検定, 教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲3(古典派2)				
	該当する到達目標	予習	クラシック音楽:古典派の音楽について調べる。			0.5 時間
	1,3,4	復習	実技課題を復習する。学習指導要領音楽の高学年を読む。			3 時間
5	講義内容	行事と伴奏音楽, 教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲4(ロマン派)				
	該当する到達目標	予習	クラシック音楽:ロマン派の音楽・作曲家について調べる。			0.5 時間
	1,3,4	復習	実技課題を復習する。新学習指導要領音楽の目標を現行と比較する。			3 時間
6	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲5(印象派)				
	該当する到達目標	予習	印象派の音楽について調べる。			0.5 時間
	1,3,4	復習	実技課題を復習する。新学習指導要領音楽の内容を現行と比較する。			3 時間
7	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲6(ラテン音楽)				
	該当する到達目標	予習	ラテンのリズムについて調べる。			0.5 時間
	1,3,4	復習	実技課題を復習する。			3 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	第 2 回検定, メロディ譜の伴奏づけの方法		
	該当する到達目標	予習	和音進行について調べる。	0.5 時間
	2,3	復習	実技課題を復習する。	3 時間
9	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲7(ジャズ・ポップス)		
	該当する到達目標	予習	カデンツを理解する。ジャズ, ポピュラー音楽を調べる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	実技課題を復習する。ジャズ, ポピュラー音楽史を読む。	3 時間
10	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲8(民謡), メロディ譜の初見伴奏 ①		
	該当する到達目標	予習	移調の方法を調べる。日本の民謡を調べる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	実技課題を復習する。日本の民謡と文化について資料を読む。	3 時間
11	講義内容	教育の活動に生かすさまざまなジャンルの曲9(現代), メロディ譜の初見伴奏 ②		
	該当する到達目標	予習	転調の曲を調べる。現代日本の音楽を調べる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	実技課題を復習する。日本の大衆音楽の資料を読む。	3 時間
12	講義内容	第 3 回検定, 音楽における西洋の美		
	該当する到達目標	予習	西洋の音の美について調べる。	0.5 時間
	4	復習	実技課題を復習する。	3 時間
13	講義内容	音楽における日本の美: 日本の伝統音楽		
	該当する到達目標	予習	日本の音の美について調べる。	0.5 時間
	4	復習	実技課題を復習する。	3 時間
14	講義内容	まとめ: 学校教育における音楽的環境の構成		
	該当する到達目標	予習	学校の音環境について調べる。	0.5 時間
	4	復習	実技課題を復習する。	3 時間
15	講義内容	表現を深める: 実技発表と相互評価		
	該当する到達目標	予習	発表準備をする	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実技課題を復習する。	3 時間
備考	オフィスアワー: 月曜1限, 水曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 503 研究室 受講のルール: 実技課題は、毎回予習復習をして授業に臨んでください。 欠席をした場合はレッスン補習を受け、次回の課題を把握して授業に臨んでください。			

科目名	造形と表現Ⅱ（保育・教育の方法技術）				CEW104	演習
担当教員	石原綱成					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	造形と表現Ⅱでは造形と表現Ⅰで学んだ知識や技術をより高度にすることを目的とする。そのために現代芸術の理論を学び、教育者・保育者としてより専門的な知識を身に着ける。また、保育の現場において壁面構成は保育室の環境を豊かにするために、必要不可欠な技術である。この授業では壁面構成をより深く学んでいき、保育者としてより高い実践力を身に着ける。					
到達目標	1.造形表現に関して、教育者・保育者に必要な専門的知識を身に着けることができる。 2.造形表現を通して豊かな人間性を涵養することができる。 3.造形表現を通して子供たちと豊かなコミュニケーション能力を身に着けることができる。 4.造形表現を通して子どものみならず保護者と円滑な人間関係を構築できる。 5.造形表現を中心にあらゆる専門科目とリンクさせ、学習がより実践的になる。					
学位授与方針 との対応	✓	1.豊かな人間性と教養				
	✓	2.専門的知識				
	✓	3.問題発見・解決力				
	✓	4.多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	5.自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	期限内に課題を提出することにより評価する(100 点満点)。					
課題に対する フィードバック	授業中に制作ノルマを課す。各自の進行状況を詳細にチェックする。授業内に課題が完成した場合は評価する。保育者としての技術の向上を目的としている。					
使用教材	授業担当者があらかじめ指定した教材を準備する。					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。			0.5 時間
	1,2	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。			0.5 時間
2	講義内容	幼児絵画の造形原理と現代絵画				
	該当する到達目標	予習	幼児絵画の造形原理が現代絵画との関連を理解する。			0.5 時間
	2,5	復習	現代絵画とは何かを理解する			0.5 時間
3	講義内容	抽象絵画と幼児絵画―パウル・クレーの造形思考―				
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い、パウル・クレーの造形思考を理解する。			0.5 時間
	2,5	復習	対象の抽象化のプロセスを理解する。			0.5 時間
4	講義内容	色彩論概説―アンリ・マティスの色彩と幼児絵画―				
	該当する到達目標	予習	プリントの指示に従い、アンリ・マティスの色彩論を理解する。			0.5 時間
	2,5	復習	色彩と形の意味を理解する。			0.5 時間
5	講義内容	壁面構成とは何か				
	該当する到達目標	予習	壁面構成を現代絵画として理解する。			0.5 時間
	2,5	復習	壁面構成の形と色彩をより深く理解する。			0.5 時間
6	講義内容	壁面構成作成―保育室内の小物①―				
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。			0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。			0.5 時間
7	講義内容	壁面構成作成―保育室内の小物②―				
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
8	講義内容	壁面構成作成ー春(5、6月)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
9	講義内容	壁面構成作成ー夏(プール)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
10	講義内容	壁面構成作成ー夏(7、8月)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	壁面構成作成ーお誕生日表ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	壁面構成作成ー秋(運動会)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
13	講義内容	壁面構成作成ー冬(クリスマス、お正月)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	壁面構成作成ー春(卒園式、入園式)ー		
	該当する到達目標	予習	作成ガイド(型紙)からパーツの分割を考える。	0.5 時間
	1,2,5	復習	与えられた課題を完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	造形表現の実践とはなにか、豊かな人間性を育むために		
	該当する到達目標	予習	今までの課題が保育現場でいかに活用されるか考える。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	豊かな人間性と造形表現の関連を総合的に考える。	0.5 時間
備考	課題はシラバス通りに進行する。よって欠席者への補講等は原則行わない。 オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス: ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501			

科目名	身体と表現Ⅱ（保育・教育の方法技術）				CEW105	演習
担当教員	坂田 恭子					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標	教育の現場で「リトミック」ということばを多く耳にするようになった。「リトミック」とはどのようなものなのか。「リトミック」を体験し、理解を深める。 身体表現活動を通じて音楽の基礎的能力を高めるとともに、音楽に反応して動くこと、音楽を感じ自分らしく表現することのできる力を身につける。 自ら動き表現する活動を通して、こどもたちの感性を引き出し豊かな表現活動へと導く考え方を学ぶ。					
到達目標	1.リトミックについて理解することができる。 2.音楽に反応して自分らしい豊かな表現ができる。 3.使用楽曲のアナリーゼ（楽曲分析）ができる。 4.身体表現に合わせて演奏できる。（子どもの歌の弾き歌い、即興演奏）					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業内発表（身体表現、ピアノ演奏）80%、作品提出10%、授業、発表への取り組み10%で総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	発表内容についてコメントする。 提出した作品は添削し返却する。					
使用教材	随時プリントして配布する。					
	講義内容	リトミックについて				
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義について理解する。			0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価などを確認する。			0.5 時間
	講義内容	身体の知覚 動きの基礎練習				
2	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	1,2	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	講義内容	歩行 ① 歩行のテクニック				
3	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	1,2,3	復習	四分音符のビートに合わせて音楽を弾く。作る。			1 時間
	講義内容	歩行 ② 作品発表				
4	該当する到達目標	予習	四分音符のビートの曲を演奏できるようにする。			1 時間
	1,3,4	復習	演奏した曲を再検討する。			0.5 時間
	講義内容	様々なステップと即時反応				
5	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	1,2,3	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	講義内容	拍と数とテンポ ① 導入 作品づくり				
6	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。			0.5 時間
	1,2,3	復習	使用楽曲の表現方法を振り返る。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	拍と数とテンポ ② 作品発表		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
8	講義内容	音程 強弱の表現 ① 導入 作品づくり		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
	1,2,3.	復習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
9	講義内容	音程 強弱の表現 ② 作品発表		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
10	講義内容	拍子 指揮とリズムステップ フレーズの表現		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
11	講義内容	様々な音楽的要素の表現 ① 導入 作品づくり		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
	1,2,3	復習	使用楽曲の表現を振り返る	0.5 時間
12	講義内容	様々な音楽的要素の表現 ② 作品発表		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業での活動を振り返りながら使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
13	講義内容	まとめ 発表 ①作品づくり		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲を歌う。弾く。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
14	講義内容	まとめ 発表 ② 作品発表		
	該当する到達目標	予習	使用楽曲の表現を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	身体表現活動を振り返り、リトミックについての考え方をまとめる。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ 発表 ③ 弾き歌い発表		
	該当する到達目標	予習	豊かな表現活動を引き出すような弾き歌いができるようにする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	表現活動に必要な演奏とはどのようなものか考える。	0.5 時間
備考	動きやすい服装で受講すること。 使用楽曲については授業内で随時指示する。			

科目名	ことばと表現Ⅱ（保育・教育の方法技術）				CEW106	演習
担当教員	今井 邦枝					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標	幼稚園や保育園での言語教育において、絵本などの児童文化財は、保育教材として重要な役割を果たしている。さまざまな児童文化財を制作、検討する中で、言葉の成り立ちや子どもの言葉の学びについて理解する。また、言語教材を用いた指導案を作成し、検討することを通して実践力を養う。					
到達目標	1.保育の中で用いられる遊具などの児童文化財について理解し、保育で実践する技術を身に付ける。 2.領域「言葉」のねらい・内容を踏まえ、保育教材(エプロンシアター)を用いた活動の指導案を作成する。 3.指導案に基づき、保育教材(エプロンシアター)を用いた活動を実践する。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	課題作品・発表 40%、教材研究レポート(4 回提出) 40%、指導案 10%、授業の参加度 10%					
課題に対する フィードバック	提出された教材研究レポート、指導案は、適宜返却するので、各自見直しておくこと。 課題作品とその発表については、改善点を示すので、修正すること。					
使用教材	教科書①小川清美編「児童文化 保育内容としての実践と展開」萌文書林 2010 教科書②幼稚園教育要領解説(文部科学省) 教科書③保育所保育指針解説書(厚生労働省)					
	講義内容	領域の考え方と保育内容「言葉」				
1	該当する到達目標	予習	シラバスと教科書②第 2 章 4、教科書③第 3 章 1 を読む。			0.5 時間
	2	復習	領域「言葉」について理解する。			0.5 時間
	講義内容	言葉を育てる環境とは				
2	該当する到達目標	予習	教科書②第 1 章 4 を読む。			0.5 時間
	2	復習	言葉を育てる環境について、基本的な考え方を理解する。			0.5 時間
	講義内容	遊びの中の言葉(保育における遊具)				
3	該当する到達目標	予習	教科書①Part1 の 3、Part2 玩具・遊具を読む。			0.5 時間
	1	復習	保育における遊具の役割について理解し、子どもが楽しむ遊具を構想する。			0.5 時間
	講義内容	遊びの中の言葉(遊具制作)				
4	該当する到達目標	予習	教科書①Part2 玩具・遊具を読む。 制作する遊具を構想し、準備する。			0.5 時間
	1	復習	遊具・レポートを完成させる。			0.5 時間
	講義内容	保育現場における絵本の意味				
5	該当する到達目標	予習	教科書①Part2 絵本を読む。			0.5 時間
	1	復習	絵本を保育で用いる場合の留意点について理解する。			0.5 時間
	講義内容	読み聞かせの実践方法				
6	該当する到達目標	予習	読み聞かせをする絵本を下読みし、レポートを作成する。			0.5 時間
	1	復習	絵本を読み聞かせする方法について振り返る。			0.5 時間
	講義内容	指導案作成(ねらい・内容)				
7	該当する到達目標	予習	教科書②第 2 章 4、教科書③第 3 章 1 を読む。			0.5 時間
	2	復習	ねらい・内容を踏まえて指導案を作成する。			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	指導案作成(活動の展開)		
	該当する到達目標	予習	活動を考え、指導案を作成する。	0.5 時間
	2	復習	活動の導入・展開・まとめに留意して、指導案を作成する。	1 時間
9	講義内容	指導案の実践的検討①(教材研究)		
	該当する到達目標	予習	指導案を基に、活動の流れを確認する。	0.5 時間
	1,3	復習	実践を振り返り、指導案を修正する。実践レポートを作成する。	0.5 時間
10	講義内容	指導案の実践的検討②(ねらい)		
	該当する到達目標	予習	指導案を基に、活動の流れを確認する。	0.5 時間
	1,3	復習	実践を振り返り、指導案を修正する。実践レポートを作成する。	0.5 時間
11	講義内容	指導案の実践的検討③(導入)		
	該当する到達目標	予習	指導案を基に、活動の流れを確認する。	0.5 時間
	1,3	復習	実践を振り返り、指導案を修正する。実践レポートを作成する。	0.5 時間
12	講義内容	指導案の実践的検討④(活動の展開)		
	該当する到達目標	予習	指導案を基に、活動の流れを確認する。	0.5 時間
	1,3	復習	実践を振り返り、指導案を修正する。実践レポートを作成する。	0.5 時間
13	講義内容	言葉を育てる保育者の援助		
	該当する到達目標	予習	教科書②第 1 章 5 を読む。	0.5 時間
	1	復習	言葉を育てる保育者の援助について理解する。	0.5 時間
14	講義内容	文字などへの興味・関心を育てる環境とは		
	該当する到達目標	予習	教科書②4 を読む。	0.5 時間
	1	復習	幼稚園や保育園での文字などへの興味・関心を育てる環境について理解する。	0.5 時間
15	講義内容	小学校「国語科」との連携、まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書②8 を読む。	0.5 時間
	1	復習	乳幼児期の言語教育の基本的な考え方を振り返り、小学校教育との連携について理解する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 3 限、火曜 3 限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: kimai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 507 この授業の履修する場合、原則として「ことばと表現Ⅰ」を履修済みであること。			

科目名		在宅保育論(保育・教育の方法技術)			CEW205	講義
担当教員		富田 純喜				
学年・開講期		4 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		「居宅訪問型保育・家庭訪問保育」とは、保育所などの施設ではなく、乳幼児の生活の基盤である個々の家庭で行う保育のことである。同じ保育の名が付いているものの、それらは施設での保育とは異なる知識や技能が必要となる。本講義では、近年の子育て支援事業の展開を踏まえ、家庭訪問保育者(ベビーシッター)として不可欠な知識や技能を体系的に学んでいく。				
到達目標		1. 居宅訪問型保育・家庭訪問保育の歴史や制度、役割、現状について説明できる。 2. 施設における保育との違いについて説明できる。 3. 居宅訪問型保育・家庭訪問保育で必要とされる知識・技能を習得し、実践できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(70%)、授業参画度(30%)				
課題に対する フィードバック		定期試験については、試験終了後、出題意図を掲示によって示す。				
使用教材		公益社団法人全国保育サービス協会(2017)『家庭訪問保育の理論と実際』中央法規出版。				
1	講義内容	家庭訪問保育の体系と保育マインド				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「序章 1・2」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	わが国の保育政策と家庭訪問保育の体系、保育マインドについて理解する。			1.5 時間
2	講義内容	居宅訪問型保育の概要				
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト「第 1 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	居宅訪問型保育の歴史や実態、有効性と課題について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	乳幼児の生活と遊び・発達と心理				
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 2・3 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	乳幼児期の子どもの発達および子どもにとっての生活、遊びについて理解する。			1.5 時間
4	講義内容	乳幼児の食事と栄養				
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 4 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	授乳・離乳、栄養、アレルギーおよび乳幼児期の食育について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	小児保健(心肺蘇生法を含む)				
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 5・6 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	子どもに多い病気や事故とその対応について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	居宅訪問型保育の保育内容				
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 7 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	居宅訪問型保育の特徴を踏まえ、保育ニーズや配慮事項について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	居宅訪問型保育における環境整備				
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 8 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育における環境とその整備、安全の確保について理解する。			1.5 時間
8	講義内容	居宅訪問型保育の運営				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト「第 9 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	居宅訪問型保育の業務の流れ、マナーについて理解する。	1.5 時間
9	該当する到達目標 2,3	講義内容 安全の確保とリスクマネジメント		
		予習	テキスト「第 10 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	事故の予防や緊急時の対応、リスクマネジメント、賠償責任について理解する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2	講義内容 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項		
		予習	テキスト「第 11 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	職業倫理や自己管理、評価、地域や行政との関係について理解する。	1.5 時間
11	該当する到達目標 2,3	講義内容 居宅訪問型保育における保護者への対応		
		予習	テキスト「第 12 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保護者支援の必要性和保護者への対応について理解する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 2,3	講義内容 子ども虐待		
		予習	テキスト「第 13 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	子ども虐待の定義や実態、対応について理解する。	1.5 時間
13	該当する到達目標 2,3	講義内容 特別に配慮を要する子どもへの対応		
		予習	テキスト「第 14 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	特別に配慮を要する子どもの行動特徴と対応について理解する。	1.5 時間
14	該当する到達目標 2,3	講義内容 保育技術(お世話・遊び)		
		予習	テキスト「第 15・16 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	居宅訪問型保育に必要な保育技術を習得する。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 さまざまな家庭訪問保育と業務の流れ		
		予習	テキスト「第 17・18 章」を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	一般型家庭訪問保育の事業形態や業務について理解する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 オフィスアワー: 火曜 2 限、水曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス: tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		家庭支援論(保育・教育の方法技術)			CEW141	講義
担当教員		千葉 千恵美				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		子育て家庭を取り巻く社会状況の変化や子育て家庭の支援体制、多様なニーズに応じた支援の展開と関連機関との連携について理解し学ぶ				
到達目標		1.家庭の意義と機能や役割や子育て家庭への支援、子育て施策について理解する事が出来る。 2.家族支援の必要性や保育場面で対応する子育て支援方法を考え、応用的に活動する事が出来る。 3.地域社会の変化と様々な課題をもつ家庭支援の事例検討や支援の必要性を理解する事が出来る。 4.具体的な支援方法として他機関連携の必要性や保育現場ができる役割機能を理解する事が出来る。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		授業前の予習、授業の積極的参加、授業後の感想シート 20%、試験を総合的に評価する 80%				
課題に対する フィードバック		授業終了後は、課題整理を行う。感想シートに記述した内容についてコメントは授業を通じて行う。試験について課題をコメントする				
使用教材		白幡久美子編集「保育士をめざす人の家庭支援」(株)みらい 2016				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	家庭支援にむけた内容を事前に序論 p13-p25 を調べ予習する			1.5 時間
	1	復習	家庭支援の必要性について、オリエンテーションから得た事項の復習をする			1.5 時間
2	講義内容	家庭の意義と機能について				
	該当する到達目標	予習	家庭機能意義について内容を事前に第 1 章 p26-p38 を調べ予習する			1.5 時間
	1	復習	家族や家庭機能の役割と社会問題と関連づけて内容を復習する			1.5 時間
3	講義内容	家族が抱える子育ての悩みについて				
	該当する到達目標	予習	家庭が抱える子育ての悩みと関連して事前に p39-p59 を調べ予習する			1.5 時間
	1,2	復習	家庭の悩みと解決にむけた対応を整理し必要事項を復習する			1.5 時間
4	講義内容	子育て家庭と地域の関係について				
	該当する到達目標	予習	家庭や家族社会環境の変化について第 3 章 p57-p70 を事前に調べ予習する			1.5 時間
	2,3	復習	家庭支援や課題を整理し必要事項について復習する			1.5 時間
5	講義内容	保育所と他の専門機関との連携について				
	該当する到達目標	予習	保育所と他機関連携について第 4 章 p71-p86 を事前に調べ予習する			1.5 時間
	2,3	復習	家族背景や状況や事項、また他機関連携について必要性を復習する			1.5 時間
6	講義内容	施設での家庭支援の考え方について				
	該当する到達目標	予習	児童福祉施設について家族支援の視点第 5 章 p87-p100 を調べ予習する			1.5 時間
	3,4	復習	児童福祉施設と家庭支援の取り組みについて必要性を復習する			1.5 時間
7	講義内容	保育所による家庭支援の実際について				
	該当する到達目標	予習	保育所による家庭支援の実際を第 7 章 p120-p126 を事前に調べ予習する			1.5 時間
	2,3,4	復習	保育所の役割や家庭支援の状況について復習する			1.5 時間
8	講義内容	各家庭に対する支援の実際について				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	子育て家庭の姿や状況について第 8 章 p143-p158 を事前に調べ予習する	1.5 時間
		復習	具体的な子育て支援にむけた社会資源の必要内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容 特別な配慮を要する家庭への支援の実際について 1ー現状について知るー			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	児童虐待についての対応 第 9 章を事前に読み予習する	1.5 時間
		復習	児童虐待の現状について実際の状況を整理し復習する	1.5 時間
10	講義内容 特別な配慮を要する家庭への支援の実際について 2ー事例検討するー			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	児童虐待についての事例にむけて事前に p167-p168 を読み予習する	1.5 時間
		復習	児童虐待についてのじれ検討を通じて得られた必要事項を復習する	1.5 時間
11	講義内容 子育て支援サービスとその課題			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	障害をもつ子どもと親支援への対応 p178-p181 を読み予習する	1.5 時間
		復習	障害をもつ子どもと親支援の具体的な対応課題の復習をする	1.5 時間
12	講義内容 地域の子育て家庭にむけた支援の必要性			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	地域子育て支援を必要とする子育て相談 p126-p141 を読み予習する	1.5 時間
		復習	地域子育て支援のニーズと対象家庭にむけた課題内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容 家庭支援の基本としての相談支援ー要保護児童と家庭にむけた支援ー			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	家庭にむけた支援の必要性について第 6 章 p101-p119 を事前に読み予習する	1.5 時間
		復習	要保護児童家庭支援の課題と事例検討を行い、問題整理を復習する	1.5 時間
14	講義内容 子育て支援施策と次世代育成支援の施策にむけた推進			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	子育て支援内容や制度について事前に p143-p154 を読み予習する	1.5 時間
		復習	次世代育成と今後の子ども・子育て支援施策内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容 総合まとめ 家庭支援の内容について総合的なまとめを行う			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	授業を通じて家庭支援について学んだ内容を事前に予習する	1.5 時間
		復習	家庭支援の授業を通じて得られたことを振り返り必要事項を復習する	1.5 時間
備考	事例検討を行うため、積極的な授業参加と授業終了後感想シートに整理する オフィスアワー火曜日 4, 5 限目 chiba@takasaki-u.ac.jp KEY WORD 家庭支援 子育て支援 親支援			

科目名		親子遊び論(保育・教育の方法技術)			CEW121	講義
担当教員		今井 麻美				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	保育教育コース 必修 教員養成コース選択 2 単位		
講義目標		親子関係を多角的な視点から捉えうることを学び、理解を深めることを通して、保育者として親子を援助するための視野を広げる。				
到達目標		1.親子関係や「親」に対する自分自身のものの見方を相対化することができる。 2.親子関係や「親」を多角的に捉えることができる。 3.多角的な視点から捉えた親子関係や「親」と、保育実践とを結びつけて考えることができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		担当発表、討論への参加度 20%, 担当発表時の資料 20%, 毎回の授業課題レポート 20%, 最終レポート 40%				
課題に対する フィードバック		毎回、授業の前半に、提出されたレポートに対するコメントや解説を行う。 課題の意義について説明する。				
使用教材		菅野幸恵（2012）『あたりまえの親子関係に気づくエピソード 65』新曜社. 1900 円. その他の資料については適宜配布する。				
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	親子関係を取り巻く様々な言説				
	該当する到達目標 1,2	予習	「親子」に関する既習の内容を振り返る			1.5 時間
		復習	親子関係に対する自分自身のものの見方を相対化する			1.5 時間
3	講義内容	親子関係を多角的に理解する ①親が「育つ」とは				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
		復習	「育つ」対象として、親が捉えられるようになった背景を理解し、「育つ」対象として捉えることのメリット・デメリットについて理解する			1.5 時間
4	講義内容	親子関係を多角的に理解する ②「育児不安」が生まれた歴史				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
		復習	「育児不安」という概念が生まれた背景について理解する			1.5 時間
5	講義内容	親子関係を多角的に理解する ③子育て中の母親が当たり前持つ気持ち				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
		復習	母親が子育て中に抱く不快感情の積極的意義について学ぶ			1.5 時間
6	講義内容	親子関係を多角的に理解する ④親子関係における親和的な側面と反発的な側面				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む			1.5 時間
		復習	親子関係を親和的・反発的両側面から捉え、理解を深める			1.5 時間
7	講義内容	父親と子育て ①「父親」意識や自覚				
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む。			1.5 時間
		復習	「父親」としての意識や自覚をどのように形成していくのかについて理解を深める			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	父親と子育て ②子育てを通した父親の思い		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	乳幼児期の子どもを育てる子育てを通した父親の思いを理解する	1.5 時間
9	講義内容	父親と子育て ③父親の子育てを阻む環境的な要因		
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料の指定箇所を読む	1.5 時間
		復習	父親の子育てを阻む環境的な要因について自分なりに考える	1.5 時間
10	講義内容	保育者という立場からみた親子関係 ①既習の内容を振り返る		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	他授業で学んできた内容について自分なりに振り返る	1.5 時間
		復習	既習の学びを本授業の内容と合わせて整理し直す	1.5 時間
11	講義内容	保育者という立場からみた親子関係 ②保育ニーズと子どもの権利		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む。	1.5 時間
		復習	大人側の保育ニーズと子どもの権利の狭間にある「保育」の機能について自分なりに考える。	1.5 時間
12	講義内容	保育者という立場からみた親子関係 ③親が保育者に求めることとその援助		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料の指定箇所を読む。	1.5 時間
		復習	親が保育者に求めることを理解し、それに応じた援助方法に対する理解を深める	1.5 時間
13	講義内容	保育者という立場からみた親子関係 ④「親」と「保育者」 共通する点と異なる点		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	親と保育者の共通する点と異なる点を自分なりに考える	1.5 時間
		復習	親と保育者、それぞれの立場からのものの見方について理解を深める	1.5 時間
14	講義内容	親子での遊びに対する援助		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	保育者として親子での遊びに対して、どのように援助できるのか考える	1.5 時間
		復習	保育者として親子での遊びに対する援助方法を自分なりに深める。	1.5 時間
15	講義内容	最終レポートの作成		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	これまでの授業内容と自分自身の気づきを振り返る	1.5 時間
		復習	親子関係を多角的な視点から捉えうることが保育実践にどのように活きるのか自分なりに考える	1.5 時間
備考	授業で扱う資料を必ず読んだ上で、授業に参加することを求める。また、授業内容を自分なりに噛み砕いて、自分なりの意見を持つとする姿勢を求める。 オフィスアワー:水曜 3 限、金曜 2 限 メールアドレス:imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 5 階 504			

科目名	教育課程論A(保育・教育の方法技術)				CEW181	講義
担当教員	栗原 幸正					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース選択・教員養成コース必修 2 単位			
講義目標	小・中学校教育における教育課程の意義を、学習指導要領総則編の読解や教育課程(教育内容)の変遷を知ることを通して理解すると共に、教育課程実施に係る現代的な教育的課題について深く考えながら、その重要性について理解する。特に平成 29 年 3 月告示学習指導要領についての認識を深める。					
到達目標	1.教育課程とは何かについて具体的に理解し、設問等に解答し、記述することができる。 2.教育課程が不易な教育的内容の定着を図るためにあるのと同時に、社会からのニーズによって編成されていることを知り、変遷の過程を説明する事ができる。 3.教育課程編成の主体である学校組織について理解を深め、教育実習に向けての視点を明確にできる。 4.平成 29 年 3 月告示学習指導要領についての認識を深め、説明することができる。 5.教育課程編成に重要な意味を持つ、道徳教育を理解することができる。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%)					
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。					
使用教材	文部科学省小・中学校学習指導要領解説総則編・文部科学省小学校学習指導要領解説道徳編(購入のこと各 130 円程度) 生徒指導提要(文部科学省) 学校要覧(プリントして配付) その他講義に必要なプリントを随時配付する。					
	講義内容	ガイダンス(教育課程論概略)				
1	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説総則編(小・中)に目を通す。シラバスから講義目標をつかむ。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。			1 時間
	講義内容	教育課程の意義とその変遷(戦後～現在)				
2	該当する到達目標	予習	学習指導要領の資料「学習指導要領の改訂の経過」に目を通す。			1 時間
	1.2	復習	社会的ニーズと教育課程の関連について、自分の考えを説明できる。			1.5 時間
	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅰ(学校教育目標・学校経営案)				
3	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。			1 時間
	1.3	復習	教育課程を規定する関係法規や社会的ニーズと学校経営について理解する。			1.5 時間
	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅱ(授業時数・日課表)				
4	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。			1 時間
	1.3	復習	教育課程を具現化するために機能する学校体制を理解する。			1.5 時間
	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅲ(校務分掌)				
5	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。			1 時間
	1.3	復習	教育課程を具現化するために機能する学校組織を理解する。			1.5 時間
	講義内容	学校長の業務Ⅰ(対外的校長業務)				
6	該当する到達目標	予習	事前配資料に目を通しておく。			1 時間
	1.2.3	復習	校外における校長業務の把握を通して、学校の対外的な活動について理解す			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			る。	
7	講義内容	学校長の業務Ⅱ(校内校長業務)		
	該当する到達目標	予習	事前配資料に目を通しておく。	1 時間
	1.2.3	復習	校内における校長業務の把握を通して、学校組織の活動について理解する。	2 時間
8	講義内容	学校長の業務Ⅲ(保護者対応)		
	該当する到達目標	予習	事前配資料に目を通しておくとともに、自身のこれまでの経験での校長との対応について想起し、ノートにまとめておく。	1 時間
	1.2.3	復習	保護者対応に係る協議を通して、学校が重視していることについて検討する。	1.5 時間
9	講義内容	学習評価Ⅰ(評価・指導要録・通知表)		
	該当する到達目標	予習	学習評価について、学習指導要領総則の対応箇所を読み、事前に基礎的事項を把握する。	0.5 時間
	1.2	復習	学習評価と指導要録・通知表の関係について理解し、ノートにまとめる。	1.5 時間
10	講義内容	学習評価Ⅱ(学習評価の方法)		
	該当する到達目標	予習	目標準拠評価について、HP 等で検索し、事前に基礎的事項を把握する。	1 時間
	1.2	復習	学習評価に係る具体的な演習から得られたメリット・デメリットをノートにまとめておく。	1.5 時間
11	講義内容	道徳教育		
	該当する到達目標	予習	文部科学省小・中学校学習指導要領解説道徳編及び平成 29 年 3 月告示小・中学校学習指導要領の道徳編に目を通す。	1 時間
	5	復習	道徳教育の歴史的経緯を踏まえ、道徳教育の目的と課題について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	特別支援教育と生徒指導(アセスメントからプランニングへ)		
	該当する到達目標	予習	小・中学校学習指導要領解説総則編並びに道徳編の障がいがある児童生徒の指導に係る章及び生徒指導提要に目を通す。	1 時間
	1.2.3.4	復習	特別支援教育実施に必要なカリキュラムマネジメントについて理解する。	1 時間
13	講義内容	生活科・総合的な学習の時間とキャリア教育		
	該当する到達目標	予習	自分の小中学校時代の総合的な学習の時間の経験を想起し、ノートにまとめる。	1 時間
	1.2	復習	生活・総合的な学習の時間の意義と、授業づくりの方法について理解する。	1 時間
14	講義内容	現代的課題に対応する教育(福祉教育・防災教育・命の教育 等)		
	該当する到達目標	予習	文部科学省ホームページの福祉・防災・命の教育等に係る項目に目を通す。	1 時間
	4.5	復習	現代的課題に対応する教育の意義について理解する。	1 時間
15	講義内容	平成 29 年 3 月告示学習指導要領と授業研究		
	該当する到達目標	予習	平成 29 年 3 月告示学習指導要領論点整理に目を通す。	1 時間
	4.5	復習	ノートをまとめ、「社会に開かれた教育課程」やアクティブラーニング・道徳教育・外国語活動等について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名		カリキュラム論(保育・教育の方法技術)			CEW107	講義
担当教員		富田 純喜				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		保育は意図的に実践を展開すべきものであり、教育課程や保育課程、計画や評価なしには成立しない。また、それらは所与のものではなく、長い歴史のなかで構想、構築されてきた。本講義では、保育の基本的な考え方を踏まえたカリキュラムの編成や計画、評価に関して理解を深める。				
到達目標		1.保育におけるカリキュラムの意義を説明できる。 2.カリキュラムの変遷を説明できる。 3.計画・評価のために必要な視点について説明できる。 4.上記の学習を基盤に、計画の作成および評価ができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業参画度(10%)				
課題に対する フィードバック		小テストについては、その都度、授業時間内に解説をする。 定期試験については、実施後、出題意図を掲示によって示す。				
使用教材		必要に応じて資料を配布する。 〔参考書〕幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説				
1	講義内容	カリキュラムとはなにか				
	該当する到達目標 1	予習	カリキュラムの意味を調べ整理する。			1.5 時間
		復習	カリキュラムの意味と機能について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	制度としてのカリキュラム				
	該当する到達目標 1,2	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	カリキュラムを制度的側面から理解する。			1.5 時間
3	講義内容	カリキュラムの諸要素				
	該当する到達目標 1,3	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	カリキュラムの要素と作用について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	カリキュラムの変遷① 保育制度と保育計画				
	該当する到達目標 1,2	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	制度と計画の歴史からカリキュラムの変遷を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	カリキュラムの変遷② 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
	該当する到達目標 1,2	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	幼稚園教育要領などからカリキュラムの変遷を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	教育課程・保育課程の意味とその必要性				
	該当する到達目標 1,3	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	保育実践との関連から教育課程・保育課程の意味と必要性を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	教育課程・保育課程の編成				
	該当する到達目標 1,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。			1.5 時間
		復習	教育課程・保育課程編成の手順および留意点について理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	カリキュラムのデザイン / 小テスト(対象範囲:1~7 回)		
	該当する到達目標 1,3	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保育実践における計画の意味と機能について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	教育課程・保育課程から指導計画へ① 長期指導計画		
	該当する到達目標 3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	長期指導計画の意味と作成手順および留意点について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	教育課程・保育課程から指導計画へ② 短期指導計画		
	該当する到達目標 3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	短期指導計画の意味と作成手順および留意点について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	カリキュラム・マネジメントのあり方① 意義とカリキュラム評価の方法		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保育実践における評価の種類や意義、計画との関連について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	カリキュラム・マネジメントのあり方② 省察と記録		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	保育実践における省察と記録の意義、方法について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	要録の構成と記載内容		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	要録の意味と構成、記載内容について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	子どもの評価とその方法		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	ポートフォリオ評価、パフォーマンス評価など評価の種類と方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	現代社会と保育カリキュラム / 小テスト(対象範囲:9~14 回)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で配布した資料を読み、わからない言葉を調べるなどして予習する。	1.5 時間
		復習	現代社会における保育カリキュラムのあり方について整理する。	1.5 時間
備考	授業内で扱える内容は限られているため、授業で紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 オフィスアワー:火曜 2 限、水曜 2 限(8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス:tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	幼児教育指導論(保育・教育の方法技術)			CEW122	講義
担当教員	内田 祥子				
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標	幼児教育の基本を理解し、実際の指導に生かすための専門性を高める				
到達目標	1.幼児教育の基本を理解し説明することができる。 2.教材研究の重要性を理解し実践することができる。 3.こどもの実態に即して適切な指導計画をたてることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	授業内での課題 30%・期末試験 70%				
課題に対する	課題にコメントし返却する				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

フィードバック				
使用教材		「幼稚園教育要領解説」「指導計画の作成と保育の展開」		
1	講義内容	オリエンテーション 授業の概要説明・幼児教育の基本		
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領の該当ページを読んでくる	1.5 時間
	1	復習	幼稚園教育要領の該当ページを読んでくる	1.5 時間
2	講義内容	子どもの実態に即した指導計画		
	該当する到達目標	予習	幼稚園教育要領の該当ページを読んでくる	1.5 時間
	3	復習	幼稚園教育要領の該当ページを読んでくる	1.5 時間
3	講義内容	子どもの実態をとらえる①5 領域		
	該当する到達目標	予習	実習時の日誌を読み返してくる	1.5 時間
	3	復習	日誌における課題を書いてくる	1.5 時間
4	講義内容	子どもの実態をとらえる②学びのプロセス		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
	3	復習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
5	講義内容	子どもの実態をとらえる③ねらいをたてる		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
	3	復習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
6	講義内容	教材研究とは:学びの可能性をさぐる・子どもの視点にたつ		
	該当する到達目標	予習	教材研究の意義について考える	1.5 時間
	2	復習	題材を考えてくる	1.5 時間
7	講義内容	教材研究をしてみよう①題材を決める		
	該当する到達目標	予習	題材に関する資料を集める	1.5 時間
	2	復習	題材における学びの可能性を考える	1.5 時間
8	講義内容	教材研究をしてみよう②教材研究		
	該当する到達目標	予習	題材における学びの可能性を考える	1.5 時間
	2	復習	教材研究シート作成	1.5 時間
9	講義内容	教材研究をしてみよう③指導計画をたてる		
	該当する到達目標	予習	活動の展開の仕方を考える	1.5 時間
		復習	指導案作成	1.5 時間
10	講義内容	教材研究をしてみよう④指導案完成		
	該当する到達目標	予習	指導案作成	1.5 時間
	2	復習	指導案作成	1.5 時間
11	講義内容	教材研究をしてみよう①題材を決める		
	該当する到達目標	予習	題材に関する資料を集める	1.5 時間
	2	復習	題材における学びの可能性を考える	1.5 時間
12	講義内容	教材研究をしてみよう②教材研究		
	該当する到達目標	予習	題材における学びの可能性を考える	1.5 時間
	2	復習	教材研究シート作成	1.5 時間
13	講義内容	教材研究をしてみよう③指導計画をたてる		
	該当する到達目標	予習	活動の展開の仕方を考える	1.5 時間
	3	復習	指導案作成	1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

14	講義内容	教材研究してみよう④指導案完成		
	該当する到達目標	予習	指導案作成	1.5 時間
	3	復習	指導案作成	1.5 時間
15	講義内容	まとめ:子どもの視点から指導計画をたてるということ		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
	3	復習	本実習に向けての課題を明確にする	1.5 時間
備考	オフィスアワーは、月曜日の 2・3 限です。(研究室 410) uchida-s@takasaki-u.ac.jp			

科目名	初等特別活動論(保育・教育の方法技術)				CEW182	講義
担当教員	栗原 幸正					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	保育教育コース選択・教員養成コース必修 1 単位			
講義目標	教育基本法が示すとおり、教育の目標は人格の完成である。そのためには知識や技術の習得のみならず、社会集団の中でよりよい人間関係を生み出す自己研鑽が不可欠である。本講義では、児童生徒の社会性を育む特別活動の実際について知ると共に、活動に潜む課題について検討し、教員としての実践力を高めることを目標とする。					
到達目標	1.特別活動の意義について理解し、説明することができる。 2.特別活動の具体的活動について知り、その課題を具体的事例を通して考え、対応策を検討する力を習得することができる。 3.特別活動に係る歴史的変遷について知る事ができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%) 特に討議参加内容や討議後の感想等について精査する。					
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。					
使用教材	小学校学習指導要領解説特別活動編(134円) 討議に必要な資料(別途配付) 学校要覧(別途貸与)					
1	講義内容	特別活動の意義とその概要				
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説特別活動編に目を通し、概要をつかんでおく。			1.5 時間
	1.3	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。また、特別活動の概要を理解する。			1 時間
2	講義内容	学級活動Ⅰ(学級会活動、係活動)				
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説特別活動編に目を通し、学級活動の概略を把握する。			1 時間
	1.2	復習	効果的な学級経営のための具体的方法を理解し、ノートにまとめる事ができる。			1 時間
3	講義内容	学級活動Ⅱ(席替え、お楽しみ会)				
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説特別活動編に目を通し、学級活動の概略を把握する。			1 時間
	1.2	復習	討議内容について整理し、自分の考えをノートにまとめる事ができる。			1 時間
4	講義内容	学級活動Ⅲ(清掃指導、給食指導、PTA 学級、学校図書館)				
	該当する到達目標	予習	配付資料に目を通しておく。			1 時間
	1.2	復習	清掃指導の計画立案を通して、学級活動における教員の重要性を理解する。			2 時間
5	講義内容	児童会活動(代表委員会、委員会活動、クラブ活動)				
	該当する到達目標	予習	経験した小学校におけるクラブ活動について、その内容と教育的効果についてノートにまとめておく。			1 時間
	1.2	復習	委員会活動の実施計画を検討する協議をまとめる事を通して、児童会活動の意義とカリキュラムマネジメントの重要性について理解する。			2 時間
6	講義内容	学校行事Ⅰ(儀式的行事・文化的行事とカリキュラムマネジメント)				
	該当する到達目標	予習	貸与資料の学校要覧に目を通し、学校における行事の位置づけを把握しておく。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1.2	復習	儀式的行事の持つ課題について自分の考えを説明することができる。	1 時間
7	講義内容	学校行事Ⅱ（健康安全体育的行事・遠足集団宿泊的行事とカリキュラムマネジメント）		
	該当する到達目標	予習	貸与資料の学校要覧に目を通し、学校における行事の位置づけを把握しておく。	1 時間
	1.2	復習	学校コンプライアンスについての自分の考えをまとめることができる。	1 時間
8	講義内容	特別活動の変遷と本講義のまとめ		
	該当する到達目標	予習	事前配付プリントに目を通しておく。	1 時間
	1.3	復習	特別活動の歴史的変遷について、その経緯も含めノートにまとめる。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名		初等教育方法論(保育・教育の方法技術)			CEW183	講義
担当教員		栗原 幸正				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	保育教育コース選択・教員養成コース必修 1 単位		
講義目標		教育方法論の対象領域は、児童の発達段階等の心理学的視点から教育の歴史、教科・特別活動の内容と広範である。その全てに精通することは教員としての資質形成にとって重要であるが、講義としてではなく教員の実践知として形成されるものとする。そこで、本講義では、小学校教員として学校現場に出る際に必要と思われる重要トピック(学級崩壊・多様な教育観・授業技術・教科書・授業研究等)をセレクトし、具体的事例に則して知識や技術を習得する。なお、平成 29 年 3 月公示学習指導要領の稼働に伴い、カリキュラムマネジメントの中核として「授業研究」の重要性についても扱う。				
到達目標		1.教育方法学の領域の広さについて理解し、小学校教員のファーストステップ方法論を習得することができる。 2.日本固有の授業研究の重要性並びに方法について理解することができる。 3.教育方法学に係る歴史的変遷並びに基礎的授業構成論について理解する事ができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%) 特に講義への主体的関わりについて、受講内容記述等を通して重要視する。				
課題に対する フィードバック		紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		教育の方法(佐藤学 放送大学叢書 本体 1,600 円) 講義内容に応じて関係資料を配付				
1	講義内容		学級崩壊と教育方法Ⅰ(教員と学級崩壊)			
	該当する到達目標 1	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学級崩壊について想起する。			1 時間
		復習	学級崩壊の要因としての教員の教育方法について理解し、自分自身の教員の資質について考察する。			1 時間
2	講義内容		学級崩壊と教育方法Ⅱ(学級崩壊と教育方法)			
	該当する到達目標 1.3	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学級崩壊の要因について検討する。			1 時間
		復習	具体的な学級崩壊の現状を整理し、学級崩壊の克服に向けての方策をチームで検討する。			2 時間
3	講義内容		学級崩壊と教育方法Ⅲ(学級崩壊の克服戦略)			
	該当する到達目標 1.2	予習	前時の協議を元に、学級崩壊を克服する方策をポスターの製作を通して見える化を図っておく。			1 時間
		復習	学級崩壊の克服に向けての具体的方策をまとめ、何が重要であるかを理解する。			1 時間
4	講義内容		教育方法学の歴史Ⅰ(プラトンからヴィゴツキーへ)			
	該当する到達目標 1.3	予習	教科書「教育の方法」に目を通し、これまでの教育方法学の変遷を教育学者の取り組みを通して把握しておく。			1 時間
		復習	教育方法学の変遷を知り、現代の教育における教育方法の多様性を理解する。			1 時間
5	講義内容		教育方法学の歴史Ⅱ(教育学者と教育方法)			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1.3	予習	教育方法学に影響を与えた教育学者を 1 人選び、教育的取り組みについてまとめる。	1 時間
		復習	自分の選択した教育学者が、教育方法学に与えた影響をまとめる。	1 時間
6	講義内容	日本の教科書給与システム(検定・採択・供給・給与)		
	該当する到達目標 1.3	予習	小・中・高において、教科書をどう活用してきたかを想起しておく。	0.5 時間
		復習	日本の教科書給与のシステムを海外諸国の実情と比較しながら整理し、ノートにまとめておく。	1.5 時間
7	講義内容	教科書と教育方法学		
	該当する到達目標 1.3	予習	日本の教科書給与のシステムを整理し、システムが持つメリットとデメリットについて自分の考えをまとめておく。	1 時間
		復習	日本の教科書システムの光と影について理解し、教員としてどう利用していくべきかについての自分の考えを明確化する。	1 時間
8	講義内容	教育方法学と授業研究(指導主事研修会の資料を基に)		
	該当する到達目標 2.3	予習	教科書「教育の方法」の授業研究に係る記述に目を通し、授業研究の意義と方法の概略を把握する。	1 時間
		復習	授業研究が学校運営にとって重要な取り組みである事を理解する。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 質問等はメールで常時受けつける。 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 305 号室			

科目名	中等特別活動論(保育・教育の方法技術)				CEW1C1	講義
担当教員	栗原 幸正					
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	保育教育コース選択・教員養成コース選択 1 単位			
講義目標	教育基本法が示すとおり、教育の目標は人格の完成である。そのためには知識や技術の習得のみならず、社会集団の中でよりよい人間関係を生み出す自己研鑽が不可欠である。本講義では、中学校における生徒の社会性を育む特別活動の実際について知ると共に、思春期を迎えた生徒を中心とする活動に潜む課題について検討し、教員としての実践力を高めることを目標とする。					
到達目標	1.特別活動の意義について理解し、説明することができる。 2.特別活動の具体的活動について知り、その課題を具体的事例を通して考え、対応策を検討する力を習得することができる。 3.特別活動に係る思春期における特性について理解する事ができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%) 特に討議参加内容や討議後の感想等について精査する。					
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。					
使用教材	中学校学習指導要領解説特別活動編(114円) 中学校学校要覧(別途貸与)					
1	講義内容	特別活動の意義				
	該当する到達目標	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編に目を通し、概要をつかんでおく。			1.5 時間
	1.	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。また、特別活動の概要を理解する。			1 時間
2	講義内容	思春期とは何か I				
	該当する到達目標	予習	学習指導要領に記述された「思春期」に関する内容に目を通しておく。			1 時間
	3	復習	思春期の特性について理解し、自分の身の回りに存在した思春期に係る事例をレポートとしてまとめる。			1 時間
3	講義内容	思春期とは何か II				
	該当する到達目標	予習	思春期についての自分の身の回りの事例をレポートにまとめ、簡略に発表できるようにする。			1 時間
	1.3	復習	中学校における思春期の影響並びに特別活動に係る配慮事項について理解する。			1 時間
4	講義内容	学級活動 I (学級組織と運営、思春期、PA)				
	該当する到達目標	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編 p25～p38 に目を通しておく。			1 時間
	2.3	復習	効果的な学級経営のための具体的方法を理解し、ノートにまとめる事ができる。			1 時間
5	講義内容	学級活動 II (進路指導と総合的な学習)				
	該当する到達目標	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編 p39～p57 に目を通しておく。			1 時間
	1.2	復習	中学校における進路指導について理解する。			2 時間
6	講義内容	生徒会活動				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 2.3	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編 p58～p73 に目を通し、生徒会活動の概略を把握する。	1 時間
		復習	生徒会の活動についてノートにまとめる。	1 時間
7	講義内容	学校行事Ⅰ（儀式的行事・文化的行事）		
	該当する到達目標 1.2	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編 p74～p91 に目を通し、学校行事Ⅰに係る概略を把握する。	0,5 時間
		復習	儀式的行事の持つ課題について自分の考えを説明することができる。	1 時間
8	講義内容	学校行事Ⅱ（健康安全体育的行事・遠足集団宿泊的行事）		
	該当する到達目標 1.2.3	予習	中学校学習指導要領解説特別活動編 p74～p91 に目を通し、学校行事Ⅱに係る概略を把握する。	1 時間
		復習	スクールコンプライアンスについての自分の考えをまとめることができる。	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室：9 号館 305 研究室 メールアドレス：kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名	中等教育方法論(保育・教育の方法技術)				CEW1C2	講義
担当教員	栗原 幸正					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 1 単位 教員養成コース 選択 1 単位			
講義目標	教育方法論の対象領域は、児童の発達段階等の心理学的視点から教育の歴史、教科・特別活動の内容及び教育技術と広範である。その全てに精通することは教員としての資質形成にとって重要であるが、学校現場に出てからの教員の実践知として具体的に認知されるものとする。そこで、本講義では、中学校教員として学校現場に出る際に必要と思われる教育方法に係る内容を、できるだけ事例に則して習得する。					
到達目標	1.教育方法学の歴史的変遷及び領域の広さについて理解し、中学校教員のファーストステップ方法論を習得することができる。 2.授業の在り方の重要性並びに方法について理解し、学校現場で主体的に授業研究に参画することができる。 3.教育方法学に係る現代的課題について理解する事ができる。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	定期試験(小論文を含む)60% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(40%)。					
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価点の明記並びに評価コメント。プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。					
使用教材	教育方法学(佐藤学著 岩波テキストボックス本体 2,000 円)					
1	講義内容	中学校の荒れの要因と教育方法				
	該当する到達目標	予習	自分の中学校時代の経験に即し、学校の荒れの要因について想起する。			1 時間
	1.3	復習	中学における学校の荒れの要因について理解するとともに、学校経営に不可欠な教育方法の重要性について再確認し、ノートにまとめる。			1 時間
2	講義内容	教育方法学の歴史Ⅰ(ソクラテスからヘルバルトへ)				
	該当する到達目標	予習	テキスト p7～p32 に目を通し、教育の概要をつかんでおく。			1 時間
	1	復習	教育観の変遷の流れをノートにまとめる。			1 時間
3	講義内容	教育方法学の歴史Ⅰ(デューイからヴィゴツキー、そして現代)				
	該当する到達目標	予習	テキスト p7～p32 に目を通し、教育の概要をつかんでおく。			1 時間
	1	復習	教育観の変遷を理解し、現在の教育観の在り方を考察する。			1 時間
4	講義内容	授業とは何かⅠ(授業研究の変遷を通して)				
	該当する到達目標	予習	テキスト p33～p62 に目を通しておく。			1 時間
	2	復習	授業と授業研究についてその特徴をノートにまとめる。			1 時間
5	講義内容	授業とは何かⅡ(授業研究の視点)				
	該当する到達目標	予習	テキスト p63～p79 に目を通しておく。			1 時間
	2	復習	授業と授業研究についてその特徴をノートにまとめる。			1 時間
6	講義内容	教育方法学と教育実践Ⅰ(茅ヶ崎市立浜之郷小学校の挑戦)				
	該当する到達目標	予習	テキストの実践に係る記述に目を通しておく。			1 時間
	2.3	復習	講義内容をふり返り。教育方法学に係るカリキュラムマネジメントの重要性について理解する。			1,5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	教育方法学と教育実践Ⅱ（茅ヶ崎市立浜之郷小学校のその後）		
	該当する到達目標 2.3	予習	実践校の取り組みの成果と課題について、自分なりの考えを構築する。	1 時間
		復習	講義内容をふり返り。教育方法学に係る現代的課題について理解する。	2 時間
8	講義内容	コンピュータと教育Ⅰ（CAI を用いた授業実践演習）		
	1.3	予習	PowerPoint で作成した自己紹介プレゼンテーションの発表練習をしておく。	1 時間
		復習	CAI を活用した教育の課題について理解する。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※PowerPoint を使用できる環境を準備しておく。			

科目名	国語科指導法(保育・教育の方法技術)				CEW184	講義
担当教員	武井 英昭					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	小学校の国語教師としての基礎的な知識・技能を確かなものとする。 (学習指導要領についての基本的な理解を踏まえ、具体的な教材を使用して教材研究・学習目標・学習活動・学習評価等を検討し、学習指導案を作成し、模擬授業を行う実践的な活動を通して。)					
到達目標	1.「国語」についての理解を深める 2.教科「国語科」(小学校学習指導要領解説 国語編)を基本的に理解する 3.国語科教師の基礎・基本的な指導力を身につける。 4.想定する子どもの理解や具体的な教材を通して実践的な国語科教師の指導力を身につける。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	作成した学習指導案(28%)、模擬授業の状況・相互評価(20%)及び、授業ごとの課題の取り組み(52%【4×13】)を、総合して評価する。					
課題に対する フィードバック	毎時間、課題を提示する。その際に出題意図と採点基準について解説する。必要な解説を加えた上で返却する。指導案の場合は全て添削して返却する。					
使用教材	小学校学習指導要領解説「国語」編。毎回配布する教材プリント、模擬授業時に配布される学習指導案					
	講義内容	ガイダンス(自己紹介、学習上の留意点)				
1	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説「国語」編、教科書を準備し概要をつかむ。			2 時間
	1,2	復習	小学校で「国語」を授業することの意義を確認し学修の全体像を理解する。			1 時間
	講義内容	国語教師の指導力 その1 求められる教師の資質・能力				
2	該当する到達目標	予習	優れた教師の条件、教師に求められる資質・能力について考えをまとめる。			1.5 時間
	2,3	復習	求められる教師の資質・能力をまとめ、自分の現在での課題を明確にする			1 時間
	講義内容	国語教師の指導力 その2 求められる国語教師の力				
3	該当する到達目標	予習	「国語」とは何かについて考えをまとめる。			1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもにつけるべき国語の力を理解し、そのために必要な国語教師としての力の概要をつかむ。			1 時間
	講義内容	子ども主体の授業づくりの学習指導構想 その1 学習指導案と学習者の実態について				
4	該当する到達目標	予習	学習指導案の形式を理解しておく。なぜ指導案が必要なのか考える。			1 時間
	3	復習	学習目標・学習者の実態・学習活動・評価について一体的に構想すること理解する。			1.5 時間
	講義内容	子ども主体の授業づくりの学習指導構想 その2 学習活動は手立てである				
5	該当する到達目標	予習	子どもの小学校 3 年生までの学習経験を概括する。学習活動を具体的に取り出せるだけ取り出してみる。			1.5 時間
	3	復習	子どもの学習経験を踏まえた学習活動を構想できる。			1 時間
	講義内容	子ども主体の授業づくりの学習指導構想 その3 子どもの学習活動と教師の支援・指導				
6	該当する到達目標	予習	子どもが主体的に学習活動に取り組むにはどうしたらいいかを考える。			1.5 時間
	3	復習	子どもの学習活動と教師の支援・指導について理解する。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	学習指導要領の指導事項と学習活動・学習評価、〔知識及び技能〕の取り扱いを含む		
	該当する到達目標 2,3	予習	小 4 の国語の指導事項について学習指導要領を読み理解する。	1.5 時間
		復習	小 4 の国語科の指導計画・評価計画を概括的に作成する。	3 時間
8	講義内容	説明文教材の目標・指導・評価		
	該当する到達目標 3,4	予習	指定の説明文教材を読み、学習指導を構想する。	1.5 時間
		復習	説明文教材における学習指導の基本をまとめる。	1 時間
9	講義内容	文学的文章教材の目標・指導・評価		
	該当する到達目標 3,4	予習	指定の文学的文章教材を読み、学習指導を構想する。	1.5 時間
		復習	文学的文章教材の学習指導の基本をまとめる。	1 時間
10	講義内容	書くことの学習指導(書写を含む)における目標・指導・評価		
	該当する到達目標 3,4	予習	指定の作文教材を読み、学習指導を構想する。	1.5 時間
		復習	作文教材の学習指導の基本をまとめる。	1 時間
11	講義内容	模擬授業 その1 以下模擬授業は、与えられた教材から選択し学習指導案を作成し模擬授業を行う		
	該当する到達目標 3,4	予習	選択した教材の学習指導案を作成し、実際の授業を構想する。	4.5 時間
		復習	批評や指導を踏まえ指導案を改善する。	3 時間
12	講義内容	模擬授業 その2 以下模擬授業は、与えられた教材から選択し学習指導案を作成し模擬授業を行う		
	該当する到達目標 3,4	予習	選択した教材の学習指導案を作成し、実際の授業を構想する。	4.5 時間
		復習	批評や指導を踏まえ指導案を改善する。	3 時間
13	講義内容	模擬授業 その3 以下模擬授業は、与えられた教材から選択し学習指導案を作成し模擬授業を行う		
	該当する到達目標 3,4	予習	選択した教材の学習指導案を作成し、実際の授業を構想する。	4.5 時間
		復習	批評や指導を踏まえ指導案を改善する。	3 時間
14	講義内容	アクティブ・ラーニング並びに国語科とカリキュラム・マネジメント		
	該当する到達目標 3,4	予習	アクティブ・ラーニングについて、また国語科の役割について調べる・考える。	1.5 時間
		復習	学び手は子どもであること、国語科はすべての教科の元であることを理解する。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 3,4	予習	学修の全体を振り返り、国語科教師の実践的で基礎的基本的な指導力をまとめる。	2 時間
		復習	講義2の課題が解決できたか、また新たな課題を明確にできたか、その自己課題解決に向けてどう学修を重ねるかを明らかにする。	1 時間
備考	オフィスアワー:月曜 4 限 研究室:8 号館 407 研究室 メールアドレス:h-takei@takasaki-u.ac.jp 小学校学習指導要領解説国語編、小学校4年生の国語(光村図書・教育出版)を準備のこと。			

科目名	算数科指導法(保育・教育の方法技術)				CEW186	講義
担当教員	小泉 健輔					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	小学校算数科の目標および4領域の内容について、数学的立場および教育的立場から考察することにより、理解を深められるようにする。また、算数科の授業を行う上での実践的な指導力の基礎を養うことができるようにする。					
到達目標	1.小学校算数科の目標および4領域の内容について理解することができる。 2.小学校算数科の内容の系統と、その教育的な意味について理解することができる。 3.小学校算数科における具体的な指導を構想・計画することができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業での取り組み(活動及び授業内課題 40%)、提出物の充実度(レポート及び期末レポート 60%)により総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対する フィードバック	授業での活動と課題については、毎時間評価をする。 レポート・期末レポートは添削し、コメントを付けて返却する。					
使用教材	文部科学省編『小学校学習指導要領解説 算数編』 それ以外は、必要に応じて資料を配布する。					
	講義内容	算数教育の目的				
1	該当する到達目標 1	予習	算数科の学習指導要領に目を通す。			1 時間
		復習	学習指導要領における教科の目標について、講義内容と関連付けて考える。			1.5 時間
	講義内容	算数科の目標と学習内容の系統				
2	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領解説の「内容の構成」に目を通す。			1 時間
		復習	学習指導要領の記述について、講義内容と関連付けて考える。			1.5 時間
	講義内容	算数教育の今日的課題				
3	該当する到達目標 1,2	予習	全国学力・学習状況調査などの大規模調査についての基本的な情報を知る。			0.5 時間
		復習	今日的課題について、講義内容と関連付けて自分なりにまとめる。			2 時間
	講義内容	数と計算 ①数の拡張				
4	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領解説の「A 数と計算」領域に目を通す。			0.5 時間
		復習	学習指導要領における内容の系統について、講義内容と関連付けて考える。			2 時間
	講義内容	数と計算 ②たし算・ひき算				
5	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領解説の「A 数と計算」領域における、加法・減法に関連する記述に目を通す。			0.5 時間
		復習	加法・減法の内容の系統と具体的な授業づくりについて、講義内容と関連付けて考える。			2 時間
	講義内容	数と計算 ③かけ算・わり算				
6	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領解説の「A 数と計算」領域における、乗法・除法に関連する記述に目を通す。			0.5 時間
		復習	乗法・除法の内容の系統と具体的な授業づくりについて、講義内容と関連付けて			2 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			考える。	
7	講義内容	図形		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説の「B 図形」領域について目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	学習指導要領における内容の系統について、講義内容と関連付けて考える。	2 時間
8	講義内容	測定及び変化と関係		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説の「C 測定」及び「C 変化と関係」領域について目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	学習指導要領における内容の系統について、講義内容と関連付けて考える。	2 時間
9	講義内容	データの活用		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説の「D データの活用」領域について目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	学習指導要領における内容の系統について、講義内容と関連付けて考える。	2 時間
10	講義内容	数学的な考え方の育成 ①発展的に考える		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	広げて考える視点からある教材を選び、分析する。	2 時間
11	講義内容	数学的な考え方の育成 ②オープンエンド・アプローチ		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	オープンエンド・アプローチの視点からある教材を選び、分析する。	2 時間
12	講義内容	算数科の授業づくり ①理論と方法		
	該当する到達目標	予習	授業づくりに関わることについて、他の講義で学んだことを振り返る。	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語の意味を理解し、まとめる。	1 時間
13	講義内容	算数科の授業づくり ②学習指導計画の作成		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実際の授業を分析した結果についてまとめる。	2 時間
14	講義内容	算数科の授業づくり ③授業研究		
	該当する到達目標	予習	前回の終わりに配布された資料に目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を踏まえて、学習指導案を作成する。	2 時間
15	講義内容	算数科の授業づくり ④授業研究のふり振り返りとまとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容をふり振り返り、期末レポートの作成に備える。	0.5 時間
	1,2,3	復習	指定された期末レポートの作成に取り組む。	2 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 2 時限、4 時限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: koizumi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 302 予習・復習については、適宜レポートや期末レポートの作成で補完すること。			

科目名		社会科指導法(保育・教育の内容)			CEW185	講義
担当教員		栗原 幸正				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース選択、教員養成コース必修 2 単位		
講義目標		社会科教育における授業づくりについて、具体的事例や具体的活動を通して、理論や方法を習得し、教育実習等で社会科の授業を実践できる力をつける。				
到達目標		1.児童生徒や学校の実態に即した社会科の授業づくりの理論を習得する事ができる。 2.授業づくりに不可欠な、教材研究、授業技術、取り組み手法を習得し、実践することができる。 3.社会科の授業づくりに係る課題について知り、課題克服に向けて取り組む事ができる。 4.教育実習に向けて、ソフト面・ハード面・メンタル面での準備をすることができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%)				
課題に対する フィードバック		紙媒体(授業感想・成果物等)については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		小学校学習指導要領解説社会編(115 円) 新社会科授業づくりハンドブック(全国社会科教育学会編 2260 円+税 明治図書)				
1	講義内容	社会科教育の現状				
	該当する到達目標 1.3	予習	小学校学習指導要領解説社会編 p10～p19 並びに新社会科授業づくりハンドブック第 1 章に目を通しておく。			1 時間
		復習	社会科教育の目標と、現状についてノートにまとめる。			1 時間
2	講義内容	社会科教育の課題				
	該当する到達目標 1.3	予習	社会科教育と教育の「画一化」について、自分の意見をまとめる。			1 時間
		復習	社会科における授業の画一化のメリットとデメリットについて理解する。			1 時間
3	講義内容	社会科教育の実践Ⅰ(社会科教育における画一化の挑戦:単元「海物語」の把握)				
	該当する到達目標 2.3	予習	事前配布資料に目を通し、実践内容の概要をつかんでおく。			1 時間
		復習	実践内容の概略と意義についての自分の考えをまとめる。			1 時間
4	講義内容	社会科教育の実践Ⅱ(社会科教育における画一化の課題:単元「海物語」の検討)				
	該当する到達目標 1.2.3	予習	実践内容の概略と意義についての自分の考えを発表できるようにする。			1 時間
		復習	協議をふり返り、社会科においても質の高い授業の画一化が可能であり、そのための教材研究やチームマネジメントが重要である事を理解する。			1 時間
5	講義内容	防災教育Ⅰ(中澤実践を通して)				
	該当する到達目標 2.3	予習	新社会科授業づくりハンドブック p204～p213 に目を通しておく。			1 時間
		復習	中澤実践の概要をノートにまとめ、講義中のセッションを踏まえて、実践の成果と課題について検討する。			2 時間
6	講義内容	防災教育Ⅱ(山井実践を通して)				
	該当する到達目標 2.3	予習	新社会科授業づくりハンドブック p214～p223 に目を通しておく。			1 時間
		復習	山井実践の概要をノートにまとめ、講義中のセッションを踏まえて、実践の成果と課題について検討する。			2 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	防災教育Ⅲ(大河原実践を通して)		
	該当する到達目標	予習	新社会科授業づくりハンドブック p224～p234 に目を通しておく。	1 時間
	2.3	復習	大河原実践の概要をノートにまとめ、講義中のセッションを踏まえて、実践の成果と課題について検討する。	2 時間
8	講義内容	防災教育Ⅳ(社会科の授業づくりの留意点)		
	該当する到達目標	予習	防災に係る 3 つの実践についてその目的と内容について理解し、それを元に社会科における防災教育の留意点について考える。	1 時間
	1.3	復習	講義中の協議を通して、社会科として授業づくりする際に留意すべき事について理解する。	2 時間
9	講義内容	社会科教育における授業づくりⅠ(実践研究:「ハンバーガーショップを作ろう」調査編)		
	該当する到達目標	予習	事前配付資料に目を通して、授業の概略を掴む。	2 時間
	2.4	復習	社会科の授業づくりに不可欠な教材研究の重要性を理解する。	1 時間
10	講義内容	社会科教育における授業づくりⅡ(実践研究:「ハンバーガーショップを作ろう」拡大編)		
	該当する到達目標	予習	前講義をふり返し、授業づくりの概略を把握し、実践の意義を検討する。	1 時間
	2.4	復習	社会科の授業づくりに必要な、直接体験や外部支援と、柔軟な授業構造の重要性について理解する。	1 時間
11	講義内容	社会科教育における授業づくりⅢ(実践研究:「ハンバーガーショップを作ろう」発展編)		
	該当する到達目標	予習	前講義をふり返し、児童や保護者が授業づくりにのめり込んでいった理由を考察する。	1 時間
	1.2.4	復習	社会科の授業づくりを通して、社会的なものの見方が育成されると同時に、学級経営も授業を通してできることを理解する。	2 時間
12	講義内容	模擬授業づくり①(チームとしての授業づくり準備)		
	該当する到達目標	予習	事前提示のあったテーマに沿って、授業化する領域・内容を検討しておく。	1 時間
	2.4	復習	授業づくりに取り組むための教材や方法に係る準備をする。	1 時間
13	講義内容	模擬授業づくり②(チームとしての模擬授業練習)		
	該当する到達目標	予習	授業づくりに向けての各自のアイデアをノートにまとめておく。	1 時間
	2.4	復習	模擬授業実施に向けて、チームで方法・役割分担を決める。	1 時間
14	講義内容	模擬授業①(チーム毎の模擬授業及び授業研究)		
	該当する到達目標	予習	模擬授業の方法についてチームで検討する。	1 時間
	2.4	復習	模擬授業の発表・参観を通して得た、方法や留意点についてノートにまとめる。	1 時間
15	講義内容	模擬授業②(チーム毎の模擬授業及び授業研究)		
	該当する到達目標	予習	模擬授業の方法についてチームで検討する。	1 時間
	2.4	復習	模擬授業の発表・参観を通して得た、方法や留意点についてノートにまとめる。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	理科指導法(保育・教育の方法技術)				CEW187	講義
担当教員	片山 豪					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	小学校理科の授業における指導法を学習指導要領の内容を理解する。また、小学校理科の授業を行うにあたって計画, 準備ができるとともに, 学習指導案の書き方を習得する。					
到達目標	1.小学校理科の授業における指導法を学習指導要領の内容を理解する。 2.小学校理科の授業の計画, 準備ができる。 3.詳細な学習指導案が書ける。 4.学習指導要領の理科の目的に伴った理科授業が行える。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	学習指導要領の解説のための資料(プレゼン資料, 小テスト)作成 10%, 学習指導案 20%, 小テスト 10%, 考査 50%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	学習指導案に関して修正すべき点を示し, 再度提出していただく。 小テストを返却する。					
使用教材	小学校学習指導要領解説理科編, 評価規準の作成・評価方法等の工夫改善のための参考資料, 小学校理科教科書, 自作プリント等					
1	講義内容	オリエンテーション, 学習指導要領について				
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	学習指導要領解説理科編の総説, 小学校理科の目標を読んでおく。			1.5 時間
		復習	講義の方針を確認するとともに, 学習指導要領の内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	学習指導案の書き方, 評価規準について				
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	評価規準の作成・評価方法等の工夫改善のための参考資料。			1.5 時間
		復習	評価規準を理解し, 学習指導案の構成を再度確認する。			1.5 時間
3	講義内容	学習指導要領の総説, 理科の目標及び内容について				
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。			1.5 時間
		復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。			1.5 時間
4	講義内容	現場教師による指導の実際(授業の組み立て方と学習指導案の書き方)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	学習指導要領, 評価規準の作成・評価方法等の工夫改善のための参考資料を読んでおく。			1.5 時間
		復習	講義内容を復習して授業の組み立て方と学習指導案の書き方を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	第3学年 A 物質・エネルギーの内容について				
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。			1.5 時間
		復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。			1.5 時間
6	講義内容	第3学年 B 生命・地球の内容について				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。			1.5 時間
		復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。			1.5 時間
7	講義内容	第4学年 A 物質・エネルギーの内容について				
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
8	講義内容	第4学年 B 生命・地球の内容について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
9	講義内容	第5学年 A 物質・エネルギーの内容について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3,	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
10	講義内容	第5学年 B 生命・地球の内容について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
11	講義内容	第6学年 A 物質・エネルギーの内容について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3,	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
12	講義内容	第6学年 B 生命・地球の内容について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
13	講義内容	指導計画の作成と内容の取扱い他について		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当する学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3,	復習	学習指導要領の内容を理解する。この単元に関わる学習指導案を見直す。	1.5 時間
14	講義内容	模擬授業 A 物質・エネルギーの内容		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当は, 学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬授業を振り返り, 良い点, 改善点をまとめておく。	1.5 時間
15	講義内容	模擬授業 B 生命・地球の内容		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領, 小学校理科教科書を読んでおく。担当は, 学習指導案を書く。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬授業を振り返り, 良い点, 改善点をまとめておく。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜 1 限 メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室			

科目名		生活科指導法(保育・教育の内容)			CEW188	講義
担当教員		栗原 幸正				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース選択、教員養成コース必修 2 単位		
講義目標		生活科における授業づくりについて、具体的事例や具体的活動を通して、目標や内容を理解し、技術や方法を習得することで、生活科の授業実践ができる力をつける。				
到達目標		1.児童生徒や学校の実態に即した、学習指導要領の主旨に沿った、生活科の理論を習得する事ができる。 2.授業づくりに不可欠な、教材研究、授業技術、取り組み手法を習得し、実践することができる。 3.生活科を実践する子供たちの内面の葛藤や変化について体験的に理解できる。 4.教育実習に向けて、ソフト面・ハード面・メンタル面での準備をすることができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		定期試験(小論文を含む)50% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(50%)				
課題に対する フィードバック		紙媒体(授業感想・成果物等)については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		生活科教科書(光村図書 上 871 円) 【小学校学習指導要領解説生活編(101 円) 生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—(学術図書出版 2000 円+税)】については 2 年次で購入済み。編入等の学生は自分で注文して要購入。				
1	講義内容	生活科の意義と目標				
	該当する到達目標 1	予習	生活科の意義と目標			2 時間
		復習	目標と意義について、事例をもとにノートにまとめる。			1 時間
2	講義内容	生活科の内容構成				
	該当する到達目標 1	予習	小学校学習指導要領解説生活編 p19～p23 及び生活科教育改訂新版—21 世紀のための教育創造—の p9～p20 に目を通しておく。			1 時間
		復習	生活科の内容構成について理解し、ノートにまとめる。			1 時間
3	講義内容	単元としての生活科(栗原実践:「遊びの基地をつくろう」を通して)				
	該当する到達目標 1.2.3	予習	事前配付資料に目を通す。			1 時間
		復習	生活科単元の広がり、単元構成について理解する。			1 時間
4	講義内容	生活科の実際Ⅰ(自然に係る領域:栽培活動)				
	該当する到達目標 1.2	予習	教科書の p84 を読み、実践の概要をつかむ。			1 時間
		復習	栽培活動について、生活科としての留意点を理解する。			2 時間
5	講義内容	生活科の実際Ⅱ(自然に係る領域:夏を見つけよう)				
	該当する到達目標 1.2.3	予習	自然観察の準備をすると共に、写真が撮れる機材をそろえておく。			1 時間
		復習	見つけた夏を、所定の書式で発表用の資料としてまとめ提出する。			2 時間
6	講義内容	生活科の実際Ⅲ(遊びに係る領域:糸電話をつくろう)				
	該当する到達目標 1.2.3	予習	事前に指示された遊び道具づくりに必要な材料を準備する。			1 時間
		復習	作成した遊び道具を写真に撮り、振り返りを記述して提出する。			1 時間
7	講義内容	生活科の実際Ⅳ(遊びに係る領域:糸電話の鑑賞)				
	該当する到達目標	予習	製作した糸電話の製作意図及び工夫を発表できるようにする。			2 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1.2.3	復習	生活科における作品の鑑賞についての留意点を理解する。	1 時間
8	講義内容	生活科の実際Ⅴ(物づくり:金田実践を通して)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p110～p120 を読み、実践の概略をつかむ。	1 時間
	1.2	復習	生活科の学習指導案の書き方を習得すると共に、物づくりに係る留意点について理解する。	1 時間
9	講義内容	生活科の実際Ⅵ(自分に係る領域:自分コラージュの製作)		
	該当する到達目標	予習	コラージュ製作に必要な写真や新聞、文字等を準備しておく。	1 時間
	1.2.3	復習	コラージュの主旨がわかりやすくなるよう作品の完成度をあげる。	1 時間
10	講義内容	生活科の実際Ⅶ(自分に係る領域:自分コラージュの発表①:生活科の評価)		
	該当する到達目標	予習	作成コラージュの制作意図が他者に伝わるような説明ができるようにしておく。	1 時間
	3.4	復習	発表を聞き、生活科の評価の留意点をノートにまとめる。	1 時間
11	講義内容	生活科の実際Ⅷ(自分に係る領域:自分コラージュの発表②:生活科の評価)		
	該当する到達目標	予習	作成コラージュの制作意図が他者に伝わるような説明ができるようにしておく。	1 時間
	3.4	復習	発表を聞き、生活科の評価の留意点を理解する。	2 時間
12	講義内容	模擬授業づくりⅠ(チームとしての授業づくり)		
	該当する到達目標	予習	授業づくりに向けての各自のアイデアをノートにまとめておく。	1 時間
	2.4	復習	模擬授業実施に向けて、チームで方法・役割分担を決める。	1 時間
13	講義内容	模擬授業づくりⅡ(チームとしての授業づくり)		
	該当する到達目標	予習	授業づくりに向けての各自の分担に基づき教材研究を行う。	1 時間
	2.4	復習	模擬授業実施に向けて、授業の質を高める。	1 時間
14	講義内容	模擬授業Ⅰ(チーム毎の模擬授業実施)		
	該当する到達目標	予習	模擬授業の方法についてチームで検討する。	1 時間
	2.3.4	復習	模擬授業の発表・参観を通して得た、方法や留意点についてノートにまとめる。	1 時間
15	講義内容	模擬授業Ⅱ(チーム毎の模擬授業実施)		
	該当する到達目標	予習	模擬授業の方法についてチームで検討する。	1 時間
	2.3.4	復習	模擬授業の発表・参観を通して得た、方法や留意点について理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		家庭科指導法(保育・教育の方法技術)			CEW189	講義
担当教員		内田 幸子				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位、教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		小学校家庭科の目標及び内容を理解し、授業をつくるために必要な知識と授業構成力を身につけることができる。学習指導案が作成でき、模擬授業を行うことができる。				
到達目標		1.小学校家庭科で学ぶ学習内容について知識を得る 2.衣生活、食生活、家庭生活、消費生活の実践的な学びを深めることができる 3.家庭科の学習内容を学ぶための指導を考えることができる 4.グループワークを通じて他を尊重して自己表現できる 5.授業の中で児童の考えを引き出すことができる				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業実践 30%、提出された指導案 70%により評価する 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対する フィードバック		指導案は評価して返却する				
使用教材		教科書「小学校学習指導要領解説」(文部科学省)ISBN978-4-491-02374-8 プリント 参考図書 「はじめての家庭科指導」櫻井順子著(開隆堂)ISBN978-4-304-02076-6 「家庭科の基本」流田直著(学研)ISBN978-4-05-405222-2				
1	講義内容	ガイダンス グループ分け				
	該当する到達目標 1, 4	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する			1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	小学校家庭科の目標と内容				
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書と学習指導要領解説に目を通す			1 時間
		復習	小学校家庭科の目標と内容を理解する			1.5 時間
3	講義内容	さまざまな指導法 教材研究(衣生活)				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布したプリントに目を通す			1 時間
		復習	グループワークでグループ毎にまとめ、授業をつくる視点を広げる			1.5 時間
4	講義内容	さまざまな指導法 教材研究(食生活)				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布したプリントに目を通す			1 時間
		復習	グループワークでグループ毎にまとめ、授業をつくる視点を広げる			1.5 時間
5	講義内容	ビデオによる授業観察				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布したプリントに目を通す			1 時間
		復習	次週までに各自観察記録を作成する			1.5 時間
6	講義内容	家庭科の評価について				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布したプリントに目を通す			1 時間
		復習	家庭科の評価について理解する			1.5 時間
7	講義内容	単元と学習指導案について				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布したプリントに目を通す	1 時間
		復習	各単元と学習指導案について理解する	1.5 時間
8	講義内容		学習指導案の書き方	
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	前回配布した指導案作成用プリントに目を通す	1 時間
		復習	学習指導案を作成する	1.5 時間
9	講義内容		学習指導案の作成Ⅰ(食生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	前回配布した指導案作成用プリントに目を通す	1 時間
		復習	学習指導案を作成する	1.5 時間
10	講義内容		学習指導案の作成Ⅱ(衣生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	前回配布した指導案作成用プリントに目を通す	1 時間
		復習	学習指導案を作成する	1.5 時間
11	講義内容		学習指導案の作成Ⅲ(家庭生活・消費生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	前回配布した指導案作成用プリントに目を通す	1 時間
		復習	学習指導案を作成する	1.5 時間
12	講義内容		模擬授業Ⅰ(食生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 5	予習	模擬授業に備え準備する	1 時間
		復習	相互評価をする	1.5 時間
13	講義内容		模擬授業Ⅱ(衣生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 5	予習	模擬授業に備え準備する	1 時間
		復習	相互評価をする	1.5 時間
14	講義内容		模擬授業Ⅲ(家庭生活・消費生活)	
	該当する到達目標 1, 2, 3, 5	予習	模擬授業に備え準備する	1 時間
		復習	相互評価をする	1.5 時間
15	講義内容		相互評価による学習指導案の再考	
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	模擬授業の学習指導案に目を通す	1 時間
		復習	相互評価をもとに学習指導案を再考し、提出する	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日と水曜日の 3 限 メールアドレス「uchida@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 5 階 512 予習・復習については、指導案の作成、模擬授業準備に補完すること			

科目名	音楽科指導法(保育・教育の方法技術)				CEW18A	講義
担当教員	吉田 恵子					
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	本講義では、「音楽基礎1・Ⅱ」「初等音楽演習Ⅰ・Ⅱ」「音楽」で学んだ音楽技術と知識を踏まえ、小学校における音楽科指導法を学ぶ。具体的には、①幼稚園・小学校における音楽教育の目的と概要 ②実技指導の実際 ③幼稚園・小学校の音楽教育の歴史と音楽教育を取り巻く現状から、音楽指導の理論と実践を学ぶ。また、模擬授業を行う中で、指導法や音楽教材についての考えを深めていく。					
到達目標	1.幼稚園・小学校における音楽指導の意義・目的を理解し、説明できる。 2.幼児・児童の音楽表現力を引き出す指導者としての知識・技術を習得し、範奏・範唱、伴奏、弾き歌い、指揮等ができる。 3.授業作りの基礎能力を身につけ、学習指導案作成や模擬授業ができる。 4.様々なジャンルの音楽に関心意欲を示し、教材化について課題や意見を述べる事が出来る。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	レポート 30%、実技発表 30% 毎回の授業課題・授業の貢献度 40%を総合する。					
課題に対するフィードバック	レポートはコメントをつけて返却する。実技課題はその都度コメントをする。					
使用教材	①文部科学省『小学校学習指導要領解説 音楽編』、②初等科音楽教育研究会編『最新初等科音楽教育法[改訂版]』音楽之友社					
	講義内容	オリエンテーション 音楽科の目標				
1	該当する到達目標 1	予習	テキスト①音楽科の目標、テキスト②pp.11-12 を読んでおく。			1 時間
		復習	音楽科の目標を理解し、まとめる。1 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。			2 時間
	講義内容	幼稚園及び小学校における音楽の位置づけと内容				
2	該当する到達目標 1,2	予習	幼稚園教育要領、保育所保育指針(テキスト②p.253)を読んでおく。			1 時間
		復習	幼小の教育の繋がりをまとめる。2 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。			2 時間
	講義内容	子どもの発達と音楽表現				
3	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト①各学年の目標と内容を読んでおく。			1 時間
		復習	3 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。ハンドサインを復習する。			2 時間
	講義内容	音楽の学習指導計画				
4	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト②pp.26-35 を読んでおく。			1 時間
		復習	4 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。			2 時間
	講義内容	歌を中心とした表現活動の指導				
5	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト②pp.50-55 を読んでおく。			1 時間
		復習	5 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。			2 時間
	講義内容	楽器を中心とした表現活動の指導:叩いて音を出す楽器				
6	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト②pp.62-67 を読んでおく。			1 時間
		復習	6 年生歌唱共通教材の弾き歌いをする。打楽器の指導法や留意点をまとめる。			2 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	楽器を中心とした表現活動の指導: 吹いて音を出す楽器 レポート課題提示		
	該当する到達目標	予習	ソプラノリコーダーの運指(テキスト②p.114)を確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	リコーダーの指導法や留意点をまとめる。(テキスト②p.70-72)	2 時間
8	講義内容	聴く活動の指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.94-96、pp.218-221 を読んでおく。	1 時間
	1,3,4	復習	鑑賞指導のポイントをまとめる。	2 時間
9	講義内容	聴く活動の評価		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.232-235、238-239 学習指導案から評価の基準を読んでおく。	1 時間
	1,3,4	復習	鑑賞指導の評価についてまとめる。	2 時間
10	講義内容	音楽作りの指導、レポート提出		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.82-91、227-231 を読んでおく。	1 時間
	1,3,4	復習	音楽づくりの指導と評価のポイントをまとめる。	2 時間
11	講義内容	各活動・各教科との関連		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.124-134 を読んでおく。	1 時間
	1,3	復習	音楽と特別活動との関連及び指導の目標についてまとめる。	2 時間
12	講義内容	幼稚園・小学校音楽教育史概説		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.218-221 を読んでおく。	1 時間
	1	復習	明治・大正・昭和・平成の音楽教育の流れをまとめる。	2 時間
13	講義内容	郷土芸能・日本の伝統音楽の指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト②p.162、pp.118-121 を読んでおく。	1 時間
	1,4	復習	日本の伝統音楽の教材化の課題についてまとめる。	2 時間
14	講義内容	指導において教師に求められるもの		
	該当する到達目標	予習	テキスト②pp.116-117 を読んでおく。	1 時間
	1	復習	学校音楽教育の目的および、自己の音楽教育観をまとめる。	2 時間
15	講義内容	教材の範唱・範奏(発表)		
	該当する到達目標	予習	範唱。範奏の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	テキスト②pp.242-251 を復習する。	2 時間
備考	オフィスアワー: 月曜1限、火曜1限 担当教員メールアドレス: yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8号館503研究室 受講資格: 「音楽」履修者。 ルール: ピアノや表現活動に苦手意識のある人も、課題意識をもって積極的に臨んでください。 学習に関して: 1) 教材に関する音源、楽器演奏法、楽典等はインターネット上で閲覧入手できます。 2) ピアノやリコーダー等技術課題は、毎回予習復習をして授業に臨んでください。 参考文献: 必要な資料は、授業内で配布・紹介します。			

科目名		図画工作科指導法(保育・教育の方法技術)			CEW18B	講義
担当教員		増田 金吾				
学年・開講期		3 年 前期	必修・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位		
講義目標		図画工作科を指導する際、子ども理解とその教科内容の把握が重要である。加えて、その内容をいかに児童に伝えていくかを考えた時、十分に検討された方法を踏まえなければ望ましい指導はできないと言えよう。 造形教育の歴史や様々な考え方を広く考察することを通して、子どもの日常生活から生まれる表現活動の意義を捉え、図画工作科の目標、教育内容・方法(実際の授業例や指導法など)の全体像を把握する。				
到達目標		(1) 図画工作科の特性、子どもの発達、思考、表現、知識・技能などについて理解できる。 (2) 造形教育の歴史や意義を踏まえつつ、図画工作科教育の目標や課題が分かる。 (3) 教材や資料等について理解し、題材研究の仕方が分かる。 (4) 図画工作科の教育内容・方法を理解し、学習指導案が書ける。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		中間まとめ(小テスト)(20%)、「学習指導案」作成(20%)、最終段階での提出レポート(60%)の内容により総合的に判断する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		小テストは各自に返却し、課題の解説と結果に対するコメントを全体的に行う。学習指導案には、個々にコメントをつけて返却する。最終レポートについては、最終回に課題の解説を行う。				
使用教材		教科書 (1) 教科教育学シリーズ⑧図工・美術科教育(平成 27 年4月発行 橋本美保・田中智志監修、増田金吾編著、一藝社) (2) 小学校学習指導要領解説 図画工作編(平成 29 年告示、平成 30 年2月頃発行予定 文部科学省)				
1	講義内容		ガイダンス、今日の教育現場と図画工作科、図画工作科の目標について			
	該当する到達目標 2	予習	シラバスの内容を読んで本講義の目標・内容などを理解する。教科書(1)のまえがき、序章 今日の教育と美術科教育 第1・2・3節に目を通す。			2.0 時間
		復習	講義の到達目標、内容、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.0 時間
2	講義内容		図画工作科の実態映画「トントンゴギゴ 図工の時間」の鑑賞を通して(DVD 使用)			
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書(2)の中の学習指導要領部分「小学校学習指導要領 図画工作」に目を通す。			1.5 時間
		復習	「小学校学習指導要領 図画工作」を踏まえて、映画で見た授業から継承したい点をまとめる。			1.5 時間
3	講義内容		美術教育の意義について			
	該当する到達目標 2	予習	教科書(1)の第1章 美術教育の意義 第1・2・3・4節に目を通す。			1.5 時間
		復習	美術教育の意義を理解する。			1.5 時間
4	講義内容		戦前の図画工作教育について			
	該当する到達目標 2	予習	教科書(1)の第2章 戦前の図画工作・美術教育史 第1・2・3節に目を通す。			1.5 時間
		復習	戦前の図画工作教育の歴史を理解する。			1.5 時間
5	講義内容		学習指導要領の変遷を中心とした戦後の図画工作教育について			
	該当する到達目標	予習	教科書(1)の第3章 美術教育の歴史 戦後 ― 学習指導要領の変遷を軸にして			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2		第1・2・3・4節に目を通す。	
		復習	学習指導要領誕生の意義と変遷について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	造形表現と発達段階1) なぐり描き期、前図式期、図式期		
	該当する到達目標 1	予習	教科書(1)の第5章 造形表現と子どもの成長 第1・2節、第3節1.と第3節2.の(1)～(4)に目を通す。	1.5 時間
		復習	子どもの発達と造形表現との関係、なぐり描き期、前図式期、図式期を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	造形表現と発達段階2) 写実の芽生え期、擬写実期、決定期。この頃(時期未定)、中間まとめとして小テストを実施		
	該当する到達目標 1	予習	教科書(1)の第5章 造形表現と子どもの成長 第3節2.の(5)～(7)に目を通す。	1.5 時間
		復習	写実の芽生え期、擬写実期、決定期を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	表現と鑑賞の活動 ― 平成29年版小学校学習指導要領図画工作科を踏まえて		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書(2)全体に目を通す。	2.0 時間
		復習	平成 29 年版「小学校学習指導要領解説 図画工作」を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	小学校低学年の題材と指導事例		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書(1)の第8章 小学校低学年の題材と指導事例 第1・2・3節に目を通す。	1.5 時間
		復習	小学校低学年の図画工作の題材と指導事例を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	小学校中学年の題材と指導事例		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	教科書(1)の第9章 小学校中学年の題材と指導事例 第1・2・3節に目を通す。	1.5 時間
		復習	小学校中学年の図画工作の題材と指導事例を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	小学校高学年の題材と指導事例		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	教科書(1)の第 10 章 小学校高学年の題材と指導事例 ― 指導計画と評価 第1・2・3節に目を通す。	1.5 時間
		復習	小学校高学年の図画工作の題材と指導事例を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	授業と学習の構想、指導計画・学習指導案の作成		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	教科書(2)の「指導計画の作成と内容の取扱い」を熟読する。	1.5 時間
		復習	図画工作科指導計画・学習指導案の作成について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	題材研究と教師の働きかけ、指導法と学習評価		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	教科書(1)の第 10 章 小学校高学年の題材と指導事例 ― 指導計画と評価 第1・2・3節を熟読する。	1.5 時間
		復習	指導法と学習評価について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	図画工作科学習指導案提出、模擬授業1)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	図画工作科学習指導案を作成し、提出する。模擬授業をするための準備を行う。教科書(1)の終章 美術科教育の過去と現在 ― その指導法を中心として ― 第2・3節に目を通す。	2 時間
		復習	図画工作科学習指導案について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	レポート提出、模擬授業2)、図画工作科指導法のあり方		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	課題レポートを作成し、提出する。模擬授業をするための準備を行う。教科書(1)の終章 美術科教育の過去と現在 ― その指導法を中心として ― 第2・3節を熟読する。	2 時間
		復習	図画工作科指導法の望ましいあり方を理解する。	1.5 時間
備	メールアドレス:kingo@spn1.speednet.ne.jp			

考	予習・復習の際に生じた不明な点があれば、当日の授業中におけることも含め、質問を授業中にすること。クラス全員で共有することが重要であるため。しかし、その後別の質問等が生じたらメールで連絡してください。

科目名	体育科指導法(保育・教育の方法技術)				CEW18C	講義
担当教員	山西 加織					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	小学校学習指導要領における体育科の目標と内容を踏まえ、生涯にわたって運動に親しみ、心と体の健康を維持する態度を育むための指導法について学習する。各学年における運動領域や保健領域の授業づくりに関して、基本的な進め方を理解するとともに、指導計画の作成および教材づくり、評価など、授業を運営する能力を養う。					
到達目標	1.小学校学習指導要領「体育科」の目標および内容について理解することができる。 2.各運動領域における実践内容を学習し、指導法を習得する。 3.小学校体育科の学習指導案を作成することができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業への参加度と貢献度(40%)、模擬授業(30%)、レポート課題(30%)を総合的に評価する。					
課題に対する フィードバック	提出された課題は適宜返却するので、復習しておくこと。					
使用教材	教科書「小学校学習指導要領解説体育編」文部科学省(東洋館出版社) その他、適宜資料を配布する。					
	講義内容	オリエンテーション なぜ「体育」の授業があるのか？				
1	該当する到達目標	予習	教科書を読み、小学校学習指導要領体育科の目標と内容を学習する。			1.5 時間
	1	復習	授業で学習した内容をノートにまとめる。			1.5 時間
	講義内容	小学校体育科の目標および内容				
2	該当する到達目標	予習	教科書を読み、運動領域ごとの内容を学習する。			1.5 時間
	1,3	復習	学年・運動領域を選択し、学習指導案を作成する。			1.5 時間
	講義内容	教材づくりと体育科学習指導案作成				
3	該当する到達目標	予習	教科書を読み、運動領域ごとの内容を学習する。			1.5 時間
	1,3	復習	学年・運動領域を選択し、学習指導案を作成する。			1.5 時間
	講義内容	模擬授業 (1) 体づくり運動				
4	該当する到達目標	予習	学年を選択し、「体づくり運動」の学習指導案を作成する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。			1.5 時間
	講義内容	模擬授業 (2) 器械・器具を使っの運動遊び				
5	該当する到達目標	予習	低学年の「器械・器具を使っの運動遊び」の学習指導案を作成する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。			1.5 時間
	講義内容	模擬授業 (3) 器械運動				
6	該当する到達目標	予習	中学年または高学年の「器械運動」の学習指導案を作成する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。			1.5 時間
	講義内容	模擬授業 (4) 走・跳の運動遊び				
7	該当する到達目標	予習	低学年の「走・跳の運動遊び」の学習指導案を作成する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	模擬授業 (5) 走・跳の運動、陸上運動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	中学年の「走・跳の運動」または高学年の「陸上運動」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
9	講義内容	模擬授業 (6) 水遊び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	低学年の「水遊び」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
10	講義内容	模擬授業 (7) 浮く・泳ぐ運動、水泳		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	中学年の「浮く・泳ぐ運動」または高学年の「水泳」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
11	講義内容	模擬授業 (8) ゲーム		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	低学年または中学年の「ゲーム」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
12	講義内容	模擬授業 (9) ボール運動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	高学年の「ボール運動」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
13	講義内容	模擬授業 (10) 表現リズム遊び、表現運動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学年を選択し、「表現リズム遊び」または「表現運動」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
14	講義内容	模擬授業 (11) 保健		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学年を選択し、「保健」の学習指導案を作成する。	1.5 時間
		復習	模擬授業を振り返り、実際に指導する上での改善点や工夫を記録する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	これまでに実施した学習指導案や模擬授業から課題を見つける。	1.0 時間
		復習	小学校体育科における学習指導案作成や授業実践のポイントをレポートにまとめる。	2.0 時間
備考	※実技の際にはトレーニングウェアとトレーニングシューズ(体育館用、外履き用)を着用し、運動にふさわしい身だしなみで参加すること。貴重品は各自で管理すること。 オフィスアワー:【前期】火曜 3 時限、木曜 3 時限 【後期】月曜 3 時限、火曜 5 時限 メールアドレス:yamanishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 505 研究室			

科目名	英語科指導法Ⅰ（保育・教育の方法技術）			CEW1C3	講義
担当教員	中村 博生				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	英語教師をめざすために、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることを目標とする。また、小・中・高等学校の学習指導要領やそれぞれで使用する教科書を理解し、英語教育の授業指導に生かせる専門性と実践力を身に付けることを目標とする。特に、5領域の能力とその背景的知識を身に付け、授業指導に生かせることを目標とする。				
到達目標	1.幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることができる。 2.英語科教育法の理論に基づいて 5 領域の指導方法と指導技術を理解することができる。 3.5 領域の指導を効率的に行うための指導方法と指導技術を身に付けることができる。 4.教育課程の意義及び編成の方法と「言語活動」や「言語材料」などを理解し、学習指導要領に従って、自ら進んで英語の授業を計画し、生徒の実態に即した授業指導を展開できる。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学修する力			
評価方法	4 技能に関する小テスト 30%、授業演習 60%、授業内の議論の内容等 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	小テストは評価しコメントを付けて返却する。 授業演習(模擬授業)には、全員での議論と指導を行う。				
使用教材	教科書『改訂版 新学習指導要領にもとづく英語科教育法』、望月明彦他、大修館書店、2012、2,300 円 講義のスライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、英語教員に求められること、学習指導要領(小・中・高等学校)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の目次や第 3 章と第 5 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法の確認と、英語教員が備えておくべき能力と学習指導要領(小・中・高等学校)について、理解することができる。		1.5 時間
2	講義内容	小・中・高等学校で使用されている英語の教科書			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 3 章と第 17 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	小・中・高等学校の英語の教科書を概観し、言語材料と言語活動に関して理解する。		1.5 時間
3	講義内容	外国語として学ぶ英語の音声の特徴とその聞き方と発音の仕方			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 10 章と第 11 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	英語の音声の特徴とその聞き方と発音の仕方について理解することができる。		1.5 時間
4	講義内容	授業指導で使用する英語の語、語句、文、文章の表現指導			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 19 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	英語の語、語句、文、文章の表現指導について理解することができる。		1.5 時間
5	講義内容	授業指導で用いる文法			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 18 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	英語習得の1つの手段として文法をとらえ、指導方法を理解することができる。		1.5 時間
6	講義内容	アルファベットからまとまりのある文章までの文字指導			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	アルファベットから文章までの文字指導の手順について理解することができる。	1.5 時間
7	講義内容	話し手の意向などを理解できる「聞くこと」の指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	話し手の意向などを理解できる「聞くこと」の指導方法を身に付けることができる。	1.5 時間
8	講義内容	自分の考えなどを話す「話すこと(やり取り・発表)」の指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	自分の考えなどを話すことができる「話すこと」の指導方法を身に付けることができる。	1.5 時間
9	講義内容	語、語句、文単位からまとまりのある文章まで理解できる「読むこと」の指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	文単位からまとまりのある文章までの英語を読んで、書き手の意向などを理解できる「読むこと」の指導方法を身に付けることができる。	1.5 時間
10	講義内容	語、語句、文単位からまとまりのある文章を書く「書くこと」の指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	文単位からまとまりのある文章を書くことができる「書くこと」の指導方法を身に付けることができる。	1.5 時間
11	講義内容	異文化(教科書に登場する外国の文化や外国の友など)の理解の指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章と第 19 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書に登場する外国の文化や ALT の出身地などの文化を、教材として活用して、異文化理解の指導に応用できる指導方法を身に付ける。	1.5 時間
12	講義内容	学習到達目標に基づく複数の領域の学習指導案の作成とその模擬授業		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章と「実習の手引き」に目を通す。指導案を作成する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	指導案と模擬授業を振り返り、今後の授業実践の基礎とすることができる。	1.5 時間
13	講義内容	英語でのインタラクションを中心とした学習指導案の作成とその模擬授業		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章と「実習の手引き」に目を通す。指導案を作成する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	指導案と模擬授業を振り返り、今後の授業実践の基礎とすることができる。	1.5 時間
14	講義内容	生徒の実態や特性、習熟度を考慮した学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章と「実習の手引き」に目を通す。指導案を作成する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	指導案と模擬授業を振り返り、今後の授業実践の基礎とすることができる。	1.5 時間
15	講義内容	ALT 等とのチーム・ティーチングの授業の学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章に目を通す。指導案を作成する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	外国語指導助手とのチーム・ティーチングの授業についての理解を深め、実践できるようにする。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日の 4 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「nakamura-h@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 9 号館 3 階 301 英和辞典必携 (電子辞書可)			

科目名	英語科指導法Ⅱ（保育・教育の方法技術）				CEW1C4	講義
担当教員	中村 博生					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	英語教師をめざすために、幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることを目標とする。また、中学校の英語教育の学習指導要領及び教科書について理解し、必要な英語教授法と英語科指導に関する知識と技術を身に付けることを目標とする。さらに、学習到達目標を踏まえ、年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画の作成と、その実践と評価の方法を学ぶ。					
到達目標	1.幅広い教養と豊かな人間性の上に、英語教育の専門性と実践力を備えることができる。 2.英語教授法の知識と技術、5 領域の指導を行うための指導方法と技術を身に付けることができる。 3.英語科教育法の理論に基づいて、5 領域を意識した授業計画を立て、生徒に 5 領域の能力を確実に身に付けるよう指導することができる。 4.学習到達目標を踏まえ、年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画の作成と、その実践と評価の方法を学び、さらに外国語指導助手の活用などに配慮した授業等を実践することができる。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）				
	✓	自律的・意欲的に学修する力				
評価方法	授業演習 70%、授業内の議論の内容等 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	模擬授業に対しては、その都度評価しコメントやアドバイスをする。 模擬授業などに関する議論については、その都度コメントやアドバイスをする。					
使用教材	教科書『改訂版 新学習指導要領にもとづく英語科教育法』、望月明彦他、大修館書店、2012、2,300 円					
1	講義内容	ガイダンス、小・中・高等学校の英語教育と中学校及び高等学校の学習指導要領				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 1、2、3 章に目を通す。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法の確認と、日本の小・中・高等学校の英語教育の実態を確認する。			1.5 時間
2	講義内容	英語教授法を背景に、学習到達目標に基づいた授業の構想と展開				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 7 章に目を通す。			1.5 時間
		復習	授業の目標に応じた英語教授法を背景に、授業を構想し展開する能力を身に付けることができる。			1.5 時間
3	講義内容	学習到達目標に合った教材作成、言語活動、ICT の活用				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 16 章と第 17 章に目を通す。			1.5 時間
		復習	授業の目標に応じて、指導方法に合った教材作成等を行うことができる。			1.5 時間
4	講義内容	「CAN-DO リスト」などに基づいた言語能力の測定と評価				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 3 章と第 15 章に目を通す。			1.5 時間
		復習	「CAN-DO リスト」を学び、教育課程や学習指導要領との関連性において、実際の授業で配慮することを理解することができる。			1.5 時間
5	講義内容	学習指導案の構成と内容の理解及び年間指導計画や単元毎の指導計画との関連性				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 3 章、第 4 章、第 15 章に目を通す。			1.5 時間
		復習	学習指導案の構成と内容を理解し、教育課程に基づく年間指導計画や単元毎の指導計画との関連性を理解することができる。			1.5 時間

6	講義内容	観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評価への総括		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 3 章、第 4 章、第 15 章に目を通す。『実習の手引』を参考にする。	1.5 時間
		復習	学習指導案の例(教育課程を踏まえた『実習の手引』参照)を見て、学習指導案を作成し、実際の授業との関連性を理解することができる。	1.5 時間
7	講義内容	中学校 3 年間の英語学習過程と第二言語習得プロセス		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 4 章、第 7 章、第 8 章に目を通す。『実習の手引』を参考にする。	1.5 時間
		復習	第二言語習得の理論に基づいた英語教育を理解し、英語教授法に基づいた学習指導案を学習者の実態に応じて作成することができる。	1.5 時間
8	講義内容	学習指導案(日本語版・英語版)と実際の授業指導		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の第 14 章に目を通す。『実習の手引』を参考にする。	1.5 時間
		復習	学習指導案の日本語版と英語版を参考にして、実際の授業指導の展開を理解したり、構想したりすることができる。	1.5 時間
9	講義内容	授業演習(1) TT の学習指導案作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	TT の指導案を作成し、実践できるように準備する。	1.5 時間
		復習	TT の模擬授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
10	講義内容	授業演習(2) 「聞くこと」の指導を中心とした学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	「聞くこと」中心の指導案を作成し、実践できるように準備する。	1.5 時間
		復習	「聞くこと」の指導を中心とした授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
11	講義内容	授業演習(3) 「話すこと(やり取り・発表)」の指導を中心とした学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	「話すこと(やり取り・発表)」中心の指導案を作成し、実践できるよう準備する。	1.5 時間
		復習	「話すこと(やり取り・発表)」の指導を中心とした授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
12	講義内容	授業演習(4) 「読むこと」の指導を中心とした学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	「読むこと」中心の指導案を作成し、実践できるよう準備する。	1.5 時間
		復習	「読むこと」の指導を中心とした授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
13	講義内容	授業演習(5) 「書くこと」の指導を中心とした学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	「書くこと」中心の指導案を作成し、実践できるよう準備する。	1.5 時間
		復習	「書くこと」の指導を中心とした授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
14	講義内容	授業演習(6) ICT を活用した学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	ICT を活用した授業の指導案を作成し、実践できるよう準備する。	1.5 時間
		復習	ICT を活用した授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
15	講義内容	授業演習(7) All in English の学習指導案の作成と模擬授業		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	All in English の授業の指導案を作成し、実践できるよう準備する。	1.5 時間
		復習	All in English の授業を行い、終了後の議論の反省事項を活かし今後の授業に反映することができる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日の 4 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「nakamura-h@takasaki-u.ac.jp」			

科目名		英語科教材研究Ⅰ（保育・教育の方法技術）			CEW1C5	講義
担当教員		嶋田 和成				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		学習指導要領に沿って、どのような教材を用いれば、生徒が効率的かつ興味をもちながら英語を学べるかを考える。そのため授業では、中学校及び高等学校で用いられる教科書を中心に、デジタル教材、オンライン教材などへの理解を深め、その活用方法を模擬授業形式で学ぶ。				
到達目標		1. 英語科の教材について、どのような教材があるのかを理解する。 2. 英語科の教材がどのような目的・手順で開発(デザイン)されているのかを理解する。 3. 英語科の教材をどのように分析・評価すればよいのかを理解する。 4. 中学校の英語教科書を使って、学習指導要領で示された 5 領域の指導ができるようにする。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度、発表(20%)、模擬授業(30%)、レポート課題(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材		講義内で適宜資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス・中学校・高等学校外国語(英語)における教材について				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.0 時間
	1	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	教材研究の方法 (1): 教材分析				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	授業で紹介した中学校英語教科書数冊を比較、検討し、そのデザインの違いを理解する。			1.5 時間
3	講義内容	教材研究の方法 (2): 教材とシラバス				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	授業で紹介した中学校英語教科書数冊のシラバスデザインを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	教材研究の方法 (3): 言語材料とタスク				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2, 3	復習	言語材料とタスクの概念を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	「教科書を教える」と「教科書で教える」(教材のアダプテーション)				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	「教科書を教える」と「教科書で教える」ことの違いを理解する。			1.5 時間
6	講義内容	中学校英語教科書の分析(1): 第二言語習得理論と教材のシラバスの観点から				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.0 時間
	1, 2, 3	復習	中学校英語教科書を第二言語習得理論とシラバスの観点から分析し、その教材の特徴を把握する。			2.0 時間
7	講義内容	中学校英語教科書の分析(2): 第二言語習得理論と教材の言語材料の観点から				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.0 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1, 2, 3	復習	中学校英語教科書を第二言語習得理論と言語材料の観点から分析し、その教材の特徴を把握する。	2.0 時間
8	講義内容	中学校英語教科書の分析(3): 第二言語習得理論と教材のタスクの観点から		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	中学校英語教科書を第二言語習得理論とタスクの観点から分析し、その教材の特徴を把握する。	2.0 時間
9	講義内容	小学校外国語活動・外国語(英語)の教科書と中学校英語教科書の違いについて		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。	1.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	小学校外国語活動・外国語(英語)で使用されている教科書の利用方法を学び、中学校英語教科書との違いを理解する。	2.0 時間
10	講義内容	デジタル教材とオンライン教材の活用について		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	授業で紹介されたデジタル教材とオンライン教材を使って、その長所・短所をまとめてみる。	1.5 時間
11	講義内容	中学校英語教科書の活用(模擬授業)と振り返り(1): 読むこと		
	該当する到達目標	予習	中学校英語教科書を使った模擬授業(読むこと)の準備をする。	2.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、改善点を検討する。	1.0 時間
12	講義内容	中学校英語教科書の活用(模擬授業)と振り返り(2): 聞くこと		
	該当する到達目標	予習	中学校英語教科書を使った模擬授業(聞くこと)の準備をする。	2.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、改善点を検討する。	1.0 時間
13	講義内容	中学校英語教科書の活用(模擬授業)と振り返り(3): 話すこと[やりとり・発表]		
	該当する到達目標	予習	中学校英語教科書を使った模擬授業(話すこと)の準備をする。	2.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、改善点を検討する。	1.0 時間
14	講義内容	中学校英語教科書の活用(模擬授業)と振り返り(4): 書くこと		
	該当する到達目標	予習	中学校英語教科書を使った模擬授業(書くこと)の準備をする。	2.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、改善点を検討する。	1.0 時間
15	講義内容	まとめ・中学校英語教科書の活用(模擬授業)と振り返り(5): 複数の領域		
	該当する到達目標	予習	中学校英語教科書を使った模擬授業(複数の領域)の準備をする。	2.0 時間
	1, 2, 3, 4	復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、改善点を検討する。	1.0 時間
備考	オフィスアワー: 木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303 研究室			

科目名		英語科教材研究Ⅱ（保育・教育の方法技術）			CEW1C6	講義
担当教員		嶋田 和成				
学年・開講期		3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		中学校・高等学校の英語教科書を軸に、それぞれの内容と使い方について理解を深め、教科書のもととなるシラバス、言語材料、言語活動、トピックなどについて研究する。また、教員としての授業実践力をつけるために、教科書をもとにした補助教材の作成を行い、実際に模擬授業を通して、作成した教材の改善点を検討する。				
到達目標		1. 中学校英語教科書を様々な観点から分析したり、教材の利点・欠点を述べたりすることができる。 2. 中学校英語教科書に沿った補助教材を作成することができる。 3. 中学校英語教科書と自作の補助教材を使って、実際に授業を行うことができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業への参加度、発表(20%)、模擬授業(30%)、レポート課題(50%)で総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		課題にはコメントをつけて返却する。				
使用教材		講義内で適宜資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス・学習指導要領と中学校・高等学校外国語(英語)教科書のシラバスについて				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。			1.0 時間
	1	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	学習指導要領と中学校英語教科書に含まれる言語材料について				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1	復習	授業で紹介した中学校英語教科書数冊において、どのような言語材料が用いられているのかを確認する。			1.5 時間
3	講義内容	学習指導要領と中学校英語教科書をもとにした言語活動について				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1	復習	授業で紹介した中学校英語教科書数冊において、どのような言語活動が用いられているのかを確認する。			1.5 時間
4	講義内容	学習指導要領と中学校英語教科書で扱われるトピックについて				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1	復習	授業で紹介した中学校英語教科書数冊において、どのようなトピックが用いられているのかを確認する。			1.5 時間
5	講義内容	教科書のアダプテーション(1): 中学校英語教科書を用いたフォーカス・オン・フォームの授業				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			1.5 時間
	1, 2	復習	フォーカス・オン・フォームの授業を行うことを目的として、教科書のアダプテーションを行う。			1.5 時間
6	講義内容	教科書のアダプテーション(2): 中学校英語教科書を用いた CLIL の授業				
	該当する到達目標	予習	配布プリントの指定された箇所を読む。			2.0 時間
	1, 2	復習	CLIL の授業を行うことを目的として、教科書のアダプテーションを行う。			1.0 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	中学校英語教科書に沿ったリーディング教材作成		
	該当する到達目標 1, 2	予習	中学校英語教科書に沿ったリーディング教材を作成する。	2.0 時間
		復習	自作のリーディング教材の長所・短所をまとめ、教科書の内容を最大限に活かすにはどうすればよいかを検討する。	1.0 時間
8	講義内容	模擬授業とその振り返り(1):リーディング教材を主とした授業		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	自作のリーディング教材を使った模擬授業の準備をする。	2.0 時間
		復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、自作のリーディング教材の改善点を検討する。	1.0 時間
9	講義内容	中学校英語教科書に沿ったリスニング教材作成		
	該当する到達目標 1, 2	予習	中学校英語教科書に沿ったリスニング教材を作成する。	2.0 時間
		復習	自作のリスニング教材の長所・短所をまとめ、教科書の内容を最大限に活かすにはどうすればよいかを検討する。	1.0 時間
10	講義内容	模擬授業とその振り返り(2):リスニング教材を主とした授業		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	自作のリスニング教材を使った模擬授業の準備をする。	2.0 時間
		復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、自作のリスニング教材の改善点を検討する。	1.0 時間
11	講義内容	中学校英語教科書に沿ったスピーキング教材作成		
	該当する到達目標 1, 2	予習	中学校英語教科書に沿ったスピーキング教材を作成する。	2.0 時間
		復習	自作のスピーキング教材の長所・短所をまとめ、教科書の内容を最大限に活かすにはどうすればよいかを検討する。	1.0 時間
12	講義内容	模擬授業とその振り返り(3):スピーキング教材を主とした授業		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	自作のスピーキング教材を使った模擬授業の準備をする。	2.0 時間
		復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、自作のスピーキング教材の改善点を検討する。	1.0 時間
13	講義内容	中学校英語教科書に沿ったライティング教材作成		
	該当する到達目標 1, 2	予習	中学校英語教科書に沿ったライティング教材を作成する。	2.0 時間
		復習	自作のライティング教材の長所・短所をまとめ、教科書の内容を最大限に活かすにはどうすればよいかを検討する。	1.0 時間
14	講義内容	模擬授業とその振り返り(4):ライティング教材を主とした授業		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	自作のライティング教材を使った模擬授業の準備をする。	2.0 時間
		復習	模擬授業でうまくいかなかった点を振り返り、自作のライティング教材の改善点を検討する。	1.0 時間
15	講義内容	まとめ・生徒の言語習得を促す教材とは何か		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	教科書と補助教材を使って、中学生の英語の 5 領域をどのように高めていくことができるのかを検討する。	1.5 時間
		復習	クラスメートの作った補助教材の長所・短所をまとめた上で、自作の補助教材の改善点を検討する。	2.0 時間
備考	オフィスアワー: 木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303 研究室			

科目名	小学校理科実験(保育・教育の方法技術)	CEW206	実験

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

担当教員	片山 豪				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標	小学校理科の授業における観察・実験及びその指導法を指導する。そして、学生が授業を行うにあたって観察・実験を用いた授業の計画、準備ができるようになる。また、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を測りながら、それらを積極的に活用する態度を養う。				
到達目標	1.小学校理科の授業における観察・実験及びその指導法を習得する。 2.学生自ら観察・実験における既存の教材教具の問題点を改善し、新たな教材教具の開発ができる能力を身につける。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	毎回提出するレポート 80%, 授業への参加度, 態度, 積極性等 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにおける修正すべき点を示し、再レポートを促す。 実験技術に関して修正すべき点を指摘し、改善のアドバイスを受けることができる。				
使用教材	小学校学習指導要領解説理科編, 評価規準の作成・評価方法等の工夫改善のための参考資料, 小学校理科教科書, 自作プリント等				
1	講義内容	観察・実験の方法, 教材教具の開発方法			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編の総説, 小学校理科の目標を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	講義の方針を確認するとともに, 学習指導案の内容を理解する。		2.5 時間
2	講義内容	身近な生物の観察Ⅰ(野外実習)			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
3	講義内容	身近な生物の観察Ⅱ(野外実習)			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
4	講義内容	実験の指導(1) 第3学年 A 物質・エネルギーの内容			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
5	講義内容	実験の指導(2) 第3学年 B 生命・地球			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
6	講義内容	実験の指導(3) 第4学年 A 物質・エネルギーの内容			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
7	講義内容	実験の指導(4) 第4学年 B 生命・地球			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。		2.5 時間
8	講義内容	実験の指導(5) 第5学年 A 物質・エネルギーの内容			
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。		0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
9	講義内容	実験の指導(6) 第5学年 B 生命・地球		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
10	講義内容	実験の指導(7) 第6学年 A 物質・エネルギーの内容		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
11	講義内容	実験の指導(8) 第6学年 B 生命・地球		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
12	講義内容	博物館や科学学習センターなどの利用(1) 講義		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
13	講義内容	博物館や科学学習センターなどの利用(2) 実践		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
14	講義内容	博物館や科学学習センターなどの利用(3) まとめ		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
15	講義内容	教材教具案の発表会(学生の開発した教材教具案)		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領解説理科編, 小学校の教科書を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実験のレポートを書く。自ら観察・実験の教材教具を開発する。	2.5 時間
備考	野外観察に出たり, 博物館や科学学習センターなどに出向いたりすることがある。 現職教員による指導をお願いすることもある。 オフィスアワー: 火曜日 3 限, 金曜 1 限 メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室			

科目名	初等道徳教育論(保育・教育の方法技術)			CEW18D	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース選択 教員養成コース必修 2 単位		
講義目標	道徳教育を通じた人間形成は、道徳的な判断力のほか、他者への思いやりや共感(道徳的心情)、正しいことを行おうとする意志と実践力を身につけることでもある。本講義では道徳教育の歴史、道徳性とその発達に関する基礎的知識を習得するほか、児童・生徒の発達の段階に応じた教育課題の理解、それに応じた教育法を考察する。また生徒の思考を深め、道徳的実践力を育成する対話型授業の手法、指導案作成と模擬授業といった演習を通して、道徳教育に必要な素養と指導力を養う。				
到達目標	1.教育勅語、教育基本法と、戦前・戦後の道徳教育の変化を理解し、概説できる。 2.道徳性について発達論的な視点や社会学的な視点から理解し、概説できる。 3.学習指導要領にある道徳教育の目標や内容、課題などについて理解し、概説できる。 4.道徳授業でのねらいの設定、展開や発問、評価の方法を理解し、応用できる。 5.講義内容をいかして指導案を作成し、模擬授業という形式で実践できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	指導案作成および模擬授業(50%)、講義中に作成する課題(50%)に参加態度などを加味して総合的に評価する。評価基準については、講義中に説明する。				
課題に対するフィードバック	課題内容については、講義中に学生発表、教員による評価を行う。また模擬授業については、学生による相互評価を取り入れる。				
使用教材	文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成 29 年)を、各自で文部科学省 HP からダウンロードすること。また、講義中に補助プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス:道徳とは何か、道徳教育の目標と現代的な課題			
	該当する到達目標 3	予習	シラバスを読み、講義の目標・内容を確認する。文部科学省 HP から、指導要領解説をダウンロードし、「改訂の経緯」に目を通す。		1.5 時間
		復習	「特別の教科 道徳」への改訂理由と、主な変更点を理解する。		1 時間
2	講義内容	道徳教育の変遷① 教育勅語と修身科			
	該当する到達目標 1	予習	教育勅語について調べる。		1.5 時間
		復習	戦前の道徳教育の変遷、国定教科書の内容などを理解する。		1 時間
3	講義内容	道徳教育の変遷② 教育基本法、「特別の教科 道徳」へ			
	該当する到達目標 1	予習	教育基本法について調べる。		1.5 時間
		復習	戦後の道徳教育の変遷、主な改訂の内容を理解する。		1 時間
4	講義内容	学習指導要領と道徳教育の位置づけ			
	該当する到達目標 3	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		復習	学校教育における道徳教育の役割を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	道徳性の発達論的理解:ピアジェ、コールバーグ等			
	該当する到達目標 2	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		復習	子どもが自律的な道徳判断を獲得する過程を理解する。		1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

6	講義内容	道徳性の社会的理解:デュルケーム、ロールズ等		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	道徳教育と社会的な目的の関連を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	初等道徳教育の特性と道徳的課題①公德心と社会的態度		
	該当する到達目標	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	社会規範を尊重する意義を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	初等道徳教育の特性と道徳的課題②生命の尊重と人権		
	該当する到達目標	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。	2 時間
	3	復習	障がいへの多様な視点、生命の尊厳を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	初等道徳教育の特性と道徳的課題③自律性の獲得		
	該当する到達目標	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	自由のあり方、自律の意義について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	道徳教育と家庭、地域社会の関わり		
	該当する到達目標	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。	1 時間
	3	復習	学校と家庭・地域社会の連携の実例、教育に対する市民の意識を理解する。 指導計画の意義を理解する。	1 時間
11	講義内容	道徳教育の実践①指導方法と実践事例の分析		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	児童の思考を深める「ねらい」の設定、発問の仕方を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	道徳教育の実践②教材研究の方法		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	児童の思考を深める展開の手法を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	道徳教育の実践③指導案の作成、評価の方法		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	評価の方法、指導案の内容や作成法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	道徳教育の実践④模擬授業		
	該当する到達目標	予習	模擬授業の指導案、使用する教材の準備をする。	20 時間
	5	復習	相互評価表などをもとに、授業の成功した点、改善点を分析する。	3 時間
15	講義内容	模擬授業の振り返り、総括		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布プリントに目を通し、模擬授業の改善案を考える。	1 時間
	4,5	復習	模擬授業の改善策をまとめる。	1 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 6 階 601			

科目名		中等道德教育論(保育・教育の方法技術)			CEW1C7	講義
担当教員		大石 桂子				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース選択 教員養成コース必修 2 単位		
講義目標		人々の価値観が多様化し、家庭や地域社会の教育力低下がしたといわれる現在、学校の道德教育への期待は高まっている。情報モラルの習得、自己肯定感の獲得、いじめ問題の解決など、学校教育の課題に、道德教育はどのように貢献できるか。国内外の道德教育の理論・手法を手引きに、学生各自が探求・考察することを目標とする。				
到達目標		1.価値の多様化、情報化社会など、現代の状況から生じる道德的課題を理解し、概説できる。 2.学習指導要領にある道德教育の目標や内容、課題などについて理解し、概説できる。 3.道德授業でのねらいの設定、展開や発問、評価の方法を理解し、概説できる。 4.国内外の道德授業の、多様なアプローチを理解し、概説できる。 5.いじめなど学校教育の抱える問題について主体的に探究し、意見交換を通して思考を深めることができる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		学生発表およびグループワーク(50%)、講義中に作成する課題(50%)に参加態度などを加味して総合的に評価する。評価基準については、講義中に説明する。				
課題に対するフィードバック		提出課題については、コメントを添えて返却する。				
使用教材		文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道德編」を、各自で文部科学省 HP からダウンロードすること。また、講義中に補助プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、「特別の教科 道德」の位置づけ				
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスを読み、講義の目標・内容を確認する。文部科学省 HP から、指導要領解説をダウンロードし、「改訂の経緯」に目を通す。			1.5 時間
		復習	「特別の教科 道德」への改訂理由と、主な変更点を理解する。			1 時間
2	講義内容	価値多様化の時代と道德性				
	該当する到達目標 1	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		復習	多様な文化・価値観が存在する中、善の共有がいかに可能か理解する。			1.5 時間
3	講義内容	学習指導要領と学校における道德教育の位置づけ				
	該当する到達目標 2	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。			2 時間
		復習	指導要領改訂の具体的な内容、道德性を構成する三要素を理解する。			1 時間
4	講義内容	中等道德教育の特性と道德的課題:「自律」「個性の伸長」など				
	該当する到達目標 2	予習	指導要領解説の該当箇所に目を通す。			1.5 時間
		復習	個性の定義、“個性を伸ばす”意義と課題を理解できる。			1 時間
5	講義内容	中等道德教育の特性と道德的課題:自己肯定感の獲得				
	該当する到達目標 1	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		復習	自己肯定感が低下している現状と、問題解決の取り組みについて理解する。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

6	講義内容	中等道德教育の特性と道德的課題・情報モラルと現代的な課題		
	該当する到達目標 1,2	予習	指導要領解説の該当箇所に通す。	1 時間
		復習	情報モラルなど、現代特有の課題への具体的なアプローチを理解する。	1 時間
7	講義内容	道德教育の実践① ねらいの設定、授業の展開と視覚化の工夫		
	該当する到達目標 3	予習	指導要領解説の該当箇所に通す。	1.5 時間
		復習	生徒の思考を深める「ねらい」の設定、授業展開の仕方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	道德教育の実践② 発問・評価の工夫		
	該当する到達目標 3	予習	指導要領解説の該当箇所に通す。	1 時間
		復習	生徒の思考を深める発問・評価の仕方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	道德教育の実践③ 指導計画・指導案作成の方法		
	該当する到達目標 3	予習	指導要領解説の該当箇所に通す。	1.5 時間
		復習	指導案の内容や作成法を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	国内外の道德教育① 価値の明確化、モラルジレンマ授業		
	該当する到達目標 4	予習	配布プリントに通す。	1 時間
		復習	価値の明確化やモラルジレンマ授業の理論、授業展開、課題を理解する。	1 時間
11	講義内容	国内外の道德教育② モラルスキルトレーニング (MoST)		
	該当する到達目標 4	予習	配布プリントに通す。	1 時間
		復習	MoST の理論、授業展開、課題を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	学生発表とグループワーク① いじめはなぜ起こる？心理、背景の分析		
	該当する到達目標 5	予習	いじめが発生する心理、社会的背景や環境を調べる。	5 時間
		復習	グループワークの成果を踏まえて、課題を完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	学生発表とグループワーク② 昔と今のいじめの特徴・事例		
	該当する到達目標 5	予習	事例を通して、時代によるいじめの特徴を調べる。	5 時間
		復習	グループワークの成果を踏まえて、課題を完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	学生発表とグループワーク③ 学校教育といじめ対策、国内外の取り組み		
	該当する到達目標 5	予習	国内外の学校で行われている、いじめ対策と成果を調べる。	5 時間
		復習	グループワークの成果を踏まえて、課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 1 回から第 14 回のノート等を見直す。	2 時間
		復習	道德授業について、目標、内容、具体的手法などを概説できる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1 号館 6 階 601			

科目名		相談援助(保育の教育方法技術)			CEW142	演習
担当教員		千葉 千恵美				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		保育におけるソーシャルワークの応用と事例検討・分析し、支援が必要な対象者への理解を深める。				
到達目標		1.相談援助の理論と意義について理解することができる。 2.具体的な相談援助について方法・技術を理解し事例検討を行い支援方法と実践を考える事が出来る。 3.相談機能と保育ソーシャルワークを理解するとともに、児童虐待防止にむけ支援する事が出来る。 4.相談援助の過程と記録や評価について必要性を理解する事が出来る。 5.他機関連携の相談援助必要性や地域社会の資源と役割についても総合的に理解する事が出来る。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中の積極的な参加と毎回期に記述する感想シート 20% 定期試験を判断する 80%				
課題に対する フィードバック		授業終了後に学生から出された感想シートや質問についてフィードバックする。試験課題についてコメントをする				
使用教材		「相談援助」杉本敏夫・豊田志保編著 2014 年 保育出版社				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	相談援助の概要について理解する			0.5 時間
	1	復習	相談援助について概要の理解を深める			0.5 時間
2	講義内容	相談援助の理論・意義について				
	該当する到達目標	予習	相談援助の理論と意義について事前に整理をする			0.5 時間
	1,2	復習	相談援助の理論と意義を総合的に理解し事例検討につなげる			0.5 時間
3	講義内容	相談機能とソーシャルワーク				
	該当する到達目標	予習	相談機能とソーシャルワークの関連性について事前に調べ学習する			0.5 時間
	1,2,3	復習	相談機能とソーシャルワークの関連性を理解し対象者理解を復習する			0.5 時間
4	講義内容	保育とソーシャルワークについて				
	該当する到達目標	予習	保育とソーシャルワークの用語や関連性を事前に調べ学習をする			0.5 時間
	1,2,3	復習	社会問題で示される保育とソーシャルワークの関連性を復習する			0.5 時間
5	講義内容	相談援助の対象				
	該当する到達目標	予習	様々な事例と対象者について背景や状況を事前に調べておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	対象者の背景や状況を理解し、検討による対象者理解の復習をする			0.5 時間
6	講義内容	相談援助の過程				
	該当する到達目標	予習	相談援助のプロセスについて事前に調べ学習を行う			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	相談援助過程においてアセスメントの重要性を確認し復習をする			0.5 時間
7	講義内容	相談援助の技術・アプローチについて				
	該当する到達目標	予習	学習する事例について、事前に検討を行い、支援方法を調べておく			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	事例検討により支援方法が異なることを整理し復習をする			0.5 時間
8	講義内容	相談援助の計画・記録・評価について				
	該当する到達目標	予習	相談計画・記録・評価の意義について事項を事前に学習をする			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3,4	復習	実践に必要な計画・介入による記録、結果を踏まえ復習をする	0.5 時間
9	講義内容	相談援助の関係機関との協働について		
	該当する到達目標	予習	他機関との連携による関わりの必要性を事前に学習をする	0.5 時間
	1,2,3,5	復習	他機関連携による複雑な事例検討を検討し支援方法を復習する	0.5 時間
10	講義内容	多様な専門職との連携について		
	該当する到達目標	予習	複雑な事例検討による多職種による必要性を事前に学習する	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	多職種による事例検討の必要性について整理し復習をする	0.5 時間
11	講義内容	社会資源の活用・調整・開発について		
	該当する到達目標	予習	地域の社会資源による活動と調整、支援方法を事前に学習する	0.5 時間
	4,5	復習	社会資源の活用の場合提供しやすい方法を整理し復習する	0.5 時間
12	講義内容	事例検討・分析①虐待予防と対応について		
	該当する到達目標	予習	虐待予防にむけた事例検討を行うなど事前に虐待について学習する	0.5 時間
	1,2,3,5	復習	虐待の背景や予防には必要な支援方法について整理し復習をする	0.5 時間
13	講義内容	事例検討・分析②障害のある子どもとその保護者への支援について		
	該当する到達目標	予習	障害を持つ子どもと親支援について方法を事前に調べ学習する	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害を持つ子どもと親への対応について復習をする	0.5 時間
14	講義内容	事例検討・分析③ロールプレイとフィードバックについて		
	該当する到達目標	予習	事例による当事者理解に関する内容を事前に学習する	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	当事者理解と家族にむけた支援について復習をする	0.5 時間
15	講義内容	まとめ 相談援助にむけた理解と対応について整理をする		
	該当する到達目標	予習	相談援助に関する内容と確認を事前に調べ学習する	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	相談援助についた学習内容を振り返り復習をする	0.5 時間
備考	積極的な授業参加と授業終了後感想シートに毎回感想を記入して提出 オフィスアワー 火曜日 4, 5 限目 chiba@takasaki-u.ac.jp KEY WORD 相談援助 事例検討 保育ソーシャルワーク 児童虐待予防 親支援			

科目名	保育相談Ⅰ（保育・教育の方法技術）				CEW143	演習
担当教員	内田 祥子					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	保育相談支援の理念と目的を理解し、適切な支援をおこなうための基礎的な知識や技術を習得する。					
到達目標	1.保育相談支援の理念と目的について理解し説明することができる。 2.保育者に求められる保育相談支援における専門性を理解し説明することができる。 3.保育相談支援における方法や技術を理解し、実際の支援に生かすことができる。 4.事例検討を通じて、保育相談支援の実際について理解し、適切な支援の仕方を考えることができる。					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業内での課題 30%・期末試験 70%					
課題に対する フィードバック	課題にコメントし返却する					
使用教材	「保育所保育指針解説」					
1	講義内容	オリエンテーション 保育相談支援の理念と目的				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでくる			1.5 時間
	1	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
2	講義内容	保育所保育指針における保育相談支援の位置づけ				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	1	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
3	講義内容	保育所における保育相談の役割				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	2	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
4	講義内容	保育相談における様々な資源の活用				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	2	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
5	講義内容	保育相談支援の基本① ソーシャルワークの原則				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
6	講義内容	保育相談支援の基本② 受容と共感				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
7	講義内容	保育相談支援の基本③ 支援計画と評価				
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページを読んでくる			1.5 時間
	3	復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間
8	講義内容	保育相談支援の対象① 精神疾患のある保護者や子どもへの対応				
	該当する到達目標	予習	保育所保育指針の該当ページを読んでくる			1.5 時間
	3	復習	テキストの内容にかんする小テスト形式の復習課題			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	保育相談支援の対象② 離婚協議中や母子家庭の保護者や子どもへの対応		
	該当する到達目標 3	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
10	講義内容	保育相談支援の対象③ 子育てに不安を感じている保護者や子どもへの対応		
	該当する到達目標 3	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
11	講義内容	保育相談支援の対象④ 外国籍の保護者と子どもへの対応		
	該当する到達目標 3	予習	テキストの該当ページを読んでくる	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
12	講義内容	映像: 保育相談支援の実際		
	該当する到達目標 4	予習	保育者として保育相談支援に生かせる専門性はなにかを考える	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
13	講義内容	事例検討(2) 生活場面での支援		
	該当する到達目標 4	予習	生活場面に関してどのような相談事がありうるかを考える	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
14	講義内容	事例検討(3) 遊び場面での支援		
	該当する到達目標 4	予習	遊び場面に関してどのような相談事がありうるかを考える	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 保育相談支援における現代的課題		
	該当する到達目標 1	予習	保育相談支援における現代の課題を考える	1.5 時間
		復習	授業の内容にかんする小テスト形式の復習課題	1.5 時間
備考	オフィスアワーは月曜の 2・3 限です。(研究室 410) uchida-s@takasaki-u.ac.jp			

科目名		保育相談Ⅱ（保育・教育の方法技術）			CEW151	演習
担当教員		板津 裕己				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		子どもたちの健やかな成長・発達のために、どのように保護者支援をおこなえばよいのかを、個人ワーク、グループワークおよび発表などを行いながら学んでいく。				
到達目標		1.保育相談活動の意義や相談進行上の基本的なルールなどが理解できる。 2.保育活動における保護者支援の実際(知識や方法論など)について理解できる。 3.保育相談内容について、自分なりの見解と対応法を考えることができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		評価は、予習課題の提出状況(30点)および期末試験(レポート課題)(70点)を総合して行う。				
課題に対する フィードバック		課題レポートは、コメントを付けた後に返却する。				
使用教材		テキストは使用しない。授業進行に従いプリントや予習課題 を配布する。 参考書・補助教材 板津裕己 こころの健康の基礎理解 教育新聞社 2007 中島・箱田・繁樹(編) 新・心理学の基礎知識 有斐閣 2005 上里一郎(監修) 臨床心理学と心理学を学ぶ人のための心理学基礎事典 至文堂 2002				
1	講義内容	オリエンテーション ―相談とカウンセリングの違い―				
	該当する到達目標 1	予習	「相談」や「カウンセリング」についての既習内容を復習しておく。			1.5 時間
		復習	相談とカウンセリングの共通性と違いについて復習をしておく。			1 時間
2	講義内容	相談者の基本姿勢				
	該当する到達目標 1	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	相談を受ける際に大切な聞き手側の姿勢について復習をしておく。			1 時間
3	講義内容	相談活動進行上の注意点				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	相談活動進行上の聞き手側の注意点について復習をしておく。			1 時間
4	講義内容	保護者の保育者への期待、ラポール				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	信頼関係を構築する際に重要視したいことについて経験を踏まえて考える。			1 時間
5	講義内容	保護者への保育相談支援1 ―子どもの権利擁護、相談内容、問題点の把握と障害の受容―				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	子どもの権利擁護、相談内容、問題点の把握と障害の受容などについて復習を しておく。			1 時間
6	講義内容	保護者への保育相談支援2 ―感情と行動の結びつき―				
	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。			1.5 時間
		復習	感情と行動の結びつきについて日常生活経験も踏まえて考える。			1 時間
7	講義内容	保護者への保育相談支援3 ―コミュニケーション場面での話の要素、話すことの意味や期待―				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
		復習	コミュニケーションや話をすることの意味について日常生活経験も踏まえて考える。	1 時間
8	講義内容 該当する到達目標 1,2	保護者への保育相談支援4 ―非言語メッセージの意味について考えてみよう―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	しぐさや表情等について考える。	1 時間
9	講義内容 該当する到達目標 1,2	子どもを取りまく諸問題について考えてみよう1 ―親子関係に起因する問題―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	子どもに関する社会問題に関心を向ける。	1 時間
10	講義内容 該当する到達目標 1,2	子どもを取りまく諸問題について考えてみよう2 ―父母の役割に係わる問題―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	子どもに関する社会問題に関心を向ける。	1 時間
11	講義内容 該当する到達目標 1,2,3	事例検討1 ―前問題行動をとまなう子ども支援―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容について復習をしておく。関連事例にあたってみる。	1 時間
12	講義内容 該当する到達目標 1,2,3	事例検討2 ―集団生活に係わる不適応行動の子ども支援―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容について復習をしておく。関連事例にあたってみる。	1 時間
13	講義内容 該当する到達目標 1,2,3	事例検討3 ―こころの問題が考えられる子ども支援―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容について復習をしておく。関連事例にあたってみる。	1 時間
14	講義内容 該当する到達目標 1,2,3	事例検討4 ―心身の発達状況に注意をしたい子ども支援―		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	本時の学習内容について復習をしておく。関連事例にあたってみる。	1 時間
15	講義内容 該当する到達目標 1,2	関係相談機関などとの連携・協力、まとめ		
		予習	本時の授業内容に関する予習課題を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	本時の学習内容について復習をしておく。関連事例にあたってみる。全15回の学習内容を復習しておく。	2 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 予習課題は授業終了時に提出をする。			

科目名		幼児教育運営論(保育・教育の方法技術)			CEW152	講義
担当教員		高梨 珪子				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		入学以来学習してきた幼児教育・保育に関する内容の集大成として、これからの幼児教育の在り方を、総合的、実践的に学ぶ。				
到達目標		1.幼児教育の多様性を理解し、それらの特性に応じた望ましい在り方を学ぶ。 2.幼児教育に関わる社会の動向を踏まえつつ、これからの保育の役割・保育機関の役割を追究する。 3.質の高い保育、それを実現できる保育者の在り方を学ぶ。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎時間ミニ課題を課す(50%)・授業終期に自己課題についてのレポートを基に、口頭発表と自己評価・相互評価を行う(30%)・授業への出席態度や積極性(20%)で、総合的に評価をする。				
課題に対するフィードバック		ミニ課題にはコメントを付し、口頭での説明を加えて返却する。 長期間にわたる課題については、折々点検をしながら進める。				
使用教材		時間の中で参考になる資料プリントを配布(幼児教育に関わる最新の情報や文科省・厚労省関連資料など)				
1	講義内容	授業の進め方についてのガイダンス。幼児教育を運営するとは何かを概観する				
	該当する到達目標	予習	選択科目なのでこの科目を学びたいと思っている意図を描いておく			1 時間
	1	復習	次時に備え自己課題をいくつか考えておく			2 時間
2	講義内容	幼児教育の多様性について学ぶ～その現状と課題を聞き、自己課題を明確にする～				
	該当する到達目標	予習	幼児教育に関わる情報を、いくつか収集しておく			1 時間
	1	復習	自己課題についての追究方法を考える			2 時間
3	講義内容	幼保連携型認定こども園の意味・現状を知る				
	該当する到達目標	予習	幼保連携型認定こども園についての情報を収集しておく			1 時間
	1,2	復習	幼保連携型認定こども園のこれからについて考えをまとめる			2 時間
4	講義内容	新しい教育課程・保育課程での幼児教育について学ぶ				
	該当する到達目標	予習	新しい幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読む			1 時間
	1,2,3	復習	これまでと何が変わり何は同じかをまとめる			2 時間
5	講義内容	ビデオカンファレンス～実際の保育場面を視聴し、保育理論を追究する～特に個の課題～				
	該当する到達目標	予習	HW 用プリントの事例で個の課題を見出す			1 時間
	3	復習	HW 用プリントの事例で個の課題を追究する			2 時間
6	講義内容	保育現場での保育参観とカンファレンス～特に集団の課題～				
	該当する到達目標	予習	HW 用プリントの事例で集団の課題を見出す			1 時間
	3	復習	HW 用プリントの事例で集団の課題を追究する			2 時間
7	講義内容	前時の続き(保育参観は 2 コマ分とする)				
	該当する到達目標	予習	前時と同じ			1 時間
	3	復習	前時と同じ			2 時間
8	講義内容	保育における「遊び」の意味について吟味をする				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	保育参観の結果から遊びについて考えておく	1 時間
	1,2,3	復習	保育における遊びについてミニレポートを作成する	2 時間
9	講義内容	保育者としての資質を高めるために～遊びと環境の構成についての再考～		
	該当する到達目標	予習	参観した園の遊び場面の一部について自分の環境の構成案を作成する	2 時間
	3	復習	環境の構成の在り方についてまとめる	1 時間
10	講義内容	保育者としての資質を高めるために～保護者との関係づくりについて追究する～		
	該当する到達目標	予習	HW 用プリントの事例で保護者との関係づくりの課題を見出す	2 時間
	1,2	復習	授業で行ったロールプレイのまとめをする	1 時間
11	講義内容	保育者としての資質を高めるために～小学校教育との接続・連携について～		
	該当する到達目標	予習	小学校との接続・連携の課題を予想する	1 時間
	1,2,3	復習	自分が小学校側に立つとしたらどのようにこの課題に取り組むかを考える	2 時間
12	講義内容	保育者としての資質を高めるために～特別な支援を必要とする子どもの保育について～		
	該当する到達目標	予習	これまでの他の教科目で学んだ関連事項を思い起こしておく	1 時間
	1,2,3	復習	自分が担任をする立場で配慮したいことをまとめる。	2 時間
13	講義内容	自分が描く保育プランの作成～子ども理解とクラスづくり～		
	該当する到達目標	予習	1 回目からの授業の資料やノートを基にプランの素材を収集しておく	1 時間
	3	復習	プランの仕上げをする	2 時間
14	講義内容	自己課題についての追究		
	該当する到達目標	予習	初期に描いた自己課題を見直し、新たな課題として整理しておく	1 時間
	3	復習	次時に備え、自己課題の発表準備をする	2 時間
15	講義内容	自己課題についての発表と事後のまとめとしてのレポート作成		
	該当する到達目標	予習	自己課題について発表資料を整えておく	1 時間
	1,2,3	復習	15 回の授業を振り返る	2 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 3 時限・金曜日 2 時限 研究室: 9 号館 306 室 たくさんの資料の提示をしながら、具体的に進めます。4 年生という自覚をもって積極的に学習内容を自分のものにしていってください。(mail:takanashi@takasaki-u.ac.jp)			

科目名	保育内容指導法(保育・教育の方法技術)				CEW153	講義
担当教員	今井 麻美 富田 純喜					
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	保育・教育コース必修 教員養成コース選択 2 単位			
講義目標	保育内容 5 領域を総合的に実践するための具体的な方法に対する理解を深める。					
到達目標	1. ねらいに即した遊びを考えることができる 2. ねらいに即した遊びの展開を考えることができる 3. 教材研究の必要性を理解できる 4. 子ども主体の保育内容の展開を具体的に考えようとする姿勢を身につける					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	演習活動・発表討議への参加度 30%, 最終的に完成させる指導案 40%, 最終レポート 30%					
課題に対する フィードバック	提出された課題には、コメントを付けて返却する。 課題の意義について説明する。					
使用教材	適宜資料を配布する					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する			1.5 時間
	1,2,3,4,	復習	講義内容, 到達目標, 学位授与方針, 成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	子どもの実態に応じた保育内容とは				
	該当する到達目標	予習	これまでの授業から保育内容を予習する			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	保育内容とは何かについて理解を深め, 保育内容 5 領域の内容を復習する			1.5 時間
3	講義内容	ねらいに即した遊びを考える ①グループディスカッション				
	該当する到達目標	予習	どのような遊びを取り上げるかを考える			1.5 時間
	1,2,4	復習	グループディスカッションした内容を次回の発表のために整理する			1.5 時間
4	講義内容	ねらいに即した遊びを考える ②グループ発表				
	該当する到達目標	予習	発表準備を行う			1.5 時間
	1,2,4	復習	他のグループの発表を聞いて気づいたことを整理する			1.5 時間
5	講義内容	遊びに用いる素材の様々な可能性を考える ①グループディスカッション				
	該当する到達目標	予習	遊びに用いることができそうな身近な素材を考え, 準備する			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	グループディスカッションした内容を次回の発表のために整理する			1.5 時間
6	講義内容	遊びに用いる素材の様々な可能性を考える ②グループ発表				
	該当する到達目標	予習	発表準備を行う			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	他のグループの発表を聞いて気づいたことを整理する			1.5 時間
7	講義内容	ねらいに即した遊びの展開を考える ①グループディスカッション				
	該当する到達目標	予習	3,4 回目に考えた遊びの具体的な展開の仕方を考える			1.5 時間
	1,2,4	復習	グループディスカッションした内容を次回の発表のために整理する			1.5 時間
8	講義内容	ねらいに即した遊びの展開を考える ②グループ発表				
	該当する到達目標	予習	発表準備を行う			1.5 時間
	1,2,4	復習	他のグループの発表を聞いて気づいたことを整理する			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	指導案の作成		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの授業内容を振り返り, どのような内容で指導案を作成するか考える	1.5 時間
		復習	自己添削し, 修正点がないかどうか考える	1.5 時間
10	講義内容	指導案に磨きをかける ①グループディスカッション		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	指導案の内容を見返して, 他のメンバーと話し合いたい点を整理する	1.5 時間
		復習	ディスカッションの内容を振り返り, 気づいたことを整理する	1.5 時間
11	講義内容	指導案に磨きをかける ②指導案の修正		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	ディスカッションの内容を踏まえて, 修正点を整理する	1.5 時間
		復習	指導案作成における留意点をまとめる	1.5 時間
12	講義内容	作成された指導案の教材研究 ①個人		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教材研究に必要な道具や素材を準備する	1.5 時間
		復習	教材研究をしてみて, 気づいた内容を整理する	1.5 時間
13	講義内容	作成された指導案の教材研究 ②グループディスカッション		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	他のメンバーと話し合いたい点を整理する	1.5 時間
		復習	ディスカッションの内容を振り返り, 気づいたことを整理する	1.5 時間
14	講義内容	作成された指導案の教材研究 ③グループ発表		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	発表の準備を行う	1.5 時間
		復習	活動を通して, 気づいたことを整理する	1.5 時間
15	講義内容	教材研究を踏まえた指導案の作成		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	授業を通して, 気づいたことや理解したことを整理する	1.5 時間
		復習	授業を通して学んできた指導案作成時の留意点が自身の指導案に反映されているか, 自己評価を行う	1.5 時間
備考	保育内容に関する既習の内容と本授業の内容を結びつけて, 自分なりに理解しようとする姿勢を求める。 課題, グループディスカッション等への積極的な参加を求める。 オフィスアワー: 火曜3限, 金曜2限。質問は, メールでも受け付けます。 メールアドレス: imai-a@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 504			

科目名		子ども理解の理論と方法(保育・教育の方法技術)			CEW123	講義
担当教員		今井 邦枝				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース必修、教員養成コース選択 2 単位		
講義目標		保育において保育者は、子ども一人一人の特性に応じ発達の課題に即した指導をおこなっていく。そのためには、子ども一人一人を理解し、常にその姿を捉えていくことが重要である。本講義では、様々な側面から子どもを理解するための基礎的な知識を学ぶ。そして具体的な事例や実習での日誌を検討することを通して、子どもを理解するための視点と記録の書き方を身に付ける。				
到達目標		1.保育における子ども理解の重要性を理解する。 2.子ども理解のための視点を身に付ける。 3.さまざまな記録の種類とその特性について理解する。 4.実習日誌を検討することなどを通して、子ども理解を深めるための記録方法を理解する				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		試験(70%)、課題(20%)、授業の参加度(10%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック		提出された課題は、適宜返却するので、各自見直しておくこと。 定期試験の後に、出題の意図を解説する。				
使用教材		教科書①文部科学省「幼稚園教育指導資料第 3 集幼児理解と評価」2010 教科書②文部科学省「幼稚園教育指導資料第 5 集指導と評価に生かす記録」2013				
1	講義内容		子ども理解の重要性			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。教科書①第 1 章1を読む。			1 時間
		復習	保育における子ども理解の重要性を理解する。			1.5 時間
2	講義内容		子ども理解のための基礎理論①(子どもを理解する保育者の姿勢)			
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 1 章 2(1) を読む。			1 時間
		復習	子どもを理解するための保育者の姿勢について理解する。			1.5 時間
3	講義内容		子ども理解のための基礎理論②(子どもの活動の意味)			
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 1 章 2(2) を読む。			1 時間
		復習	子どもを理解するために子どもの活動の意味を考える重要性を理解する。			1.5 時間
4	講義内容		子ども理解のための基礎理論③(身体・運動発達について)			
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 1 章 2(3)、参考資料 領域「健康」を読む。			1 時間
		復習	身体・運動発達を視点にして子どもを理解する。			1.5 時間
5	講義内容		子ども理解のための基礎理論④(言語・認知発達について)			
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 1 章 2(3)、参考資料 領域「言葉」を読む。			1 時間
		復習	言語・認知発達を視点にして子どもを理解する			1.5 時間
6	講義内容		子ども理解のための基礎理論⑤(情緒・社会性の発達について)			
	該当する到達目標 2	予習	教科書①第 1 章 2(4)、参考資料 領域「人間関係」を読む。			1 時間
		復習	情緒・社会性の発達を視点にして子どもを理解する。			1.5 時間
7	講義内容		記録のとり方①(環境図)			
	該当する到達目標	予習	教科書②第 2 章1, 2を読む。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3	復習	環境図の特性と記録の取り方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	記録のとり方②(個別記録)		
	該当する到達目標	予習	教科書②第 2 章 1, 2 を読む。	1 時間
	3	復習	個別記録の特性と記録の取り方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	記録のとり方③(エピソード記述)		
	該当する到達目標	予習	教科書②第 2 章 1, 2 を読む。	1 時間
	3	復習	エピソード記録の特性と記録の取り方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	実習日誌の検討①(遊びの視点から)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 2 章 1 を読む。	1 時間
	4	復習	実習日誌を遊びの視点から検討し、子どもの具体的な姿を記録できるようにする。	1.5 時間
11	講義内容	実習日誌の検討②(仲間関係の視点から)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 2 章 2(1)を読む。	1 時間
	4	復習	実習日誌を仲間関係の視点から検討し、子どもの具体的な姿を記録できるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	実習日誌の検討③(保育者の援助の視点から)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 2 章 2(2)を読む。	1 時間
	4	復習	実習日誌を保育者の援助の視点から検討し、保育者の具体的な援助と実習生の動きを記録できるようにする。	1.5 時間
13	講義内容	指導計画における記録の重要性		
	該当する到達目標	予習	教科書②第 3 章 1, 3 を読む。	1 時間
	4	復習	記録と指導計画の関係を理解し、記録に基づいた指導計画が立てられるようにする。	1.5 時間
14	講義内容	子ども理解を深めるための保育者の学び①(継続的な記録の重要性)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 2 章 3、教科書②第 3 章 4 を読む。	1 時間
	1	復習	保育における継続的な記録の重要性と、幼稚園要録等の書き方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	子ども理解を深めるための保育者の学び②(情報共有の重要性)		
	該当する到達目標	予習	教科書②第 3 章 5, 6 を読む。	1 時間
	1	復習	子ども理解を深めるために子ども情報を共有することの重要性を理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 3 限、火曜 3 限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: kimai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 507 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		幼小教育相談(保育・教育の方法技術)			CEW161	講義
担当教員		角野 善司				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		幼児や児童、その保護者等を対象とした相談活動に必要な基礎的事項を修得する。 この際には、密室に閉じた相談活動ではなく、学校、さらには地域に開かれた支援を視野に入れる。				
到達目標		1.幼児児童の教育における教育相談の意義と課題について説明できる。 2.幼児児童の教育における教育相談の位置づけについて説明できる。 3.教育相談の基盤となる幼児児童の理解や、教師に求められるカウンセリングに関する基礎的な知識について説明できる。 4.学校内で生じる問題およびその対応について説明できる。 5.障害や病気を持つ幼児児童およびその対応について説明できる。 6.教員のメンタルヘルスについて説明できる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の宿題(予習・小レポート)75%、学期末レポート 25%				
課題に対する フィードバック		宿題は毎回授業時に、学期末レポートは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材		原田眞理(編著)「教育相談の理論と方法 小学校編」玉川大学出版部 2016 年 2,400 円＋税 文部科学省「生徒指導提要」教育図書 2010 年 276 円＋税				
1	講義内容		教育相談とは			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
2	講義内容		幼児児童の理解 / こころの表現			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
3	講義内容		教師に求められるカウンセリングに関する基礎的な知識(1): カウンセリングの諸理論			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
4	講義内容		教師に求められるカウンセリングに関する基礎的な知識(2): カウンセリングの諸技法			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
5	講義内容		学校における教育相談活動の在り方			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えた			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			ことを小レポートにまとめ、提出する。	
6	講義内容	学校内の問題の理解と対応(1): いじめ / 不登校		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
7	講義内容	学校内の問題の理解と対応(2): 学級崩壊 / 児童虐待		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
8	講義内容	学校内の問題の理解と対応(3): 非行 / インターネットトラブル		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
9	講義内容	障害のある子どもの理解と対応(1): 障害のある子ども		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	5	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
10	講義内容	障害のある子どもの理解と対応(2): 障害のある子どもの保護者		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	5	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
11	講義内容	障害のある子どもの理解と対応(3): 障害のある子どものきょうだい		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	5	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
12	講義内容	幼児児童に起こりやすい病気(1): チックほか		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	5	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
13	講義内容	幼児児童に起こりやすい病気(2): 場面緘黙ほか		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	5	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	教育相談に必要なさまざまな連携 / 保護者との協力体制のつくり方		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	教員のメンタルヘルス		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	6	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
備	・宿題の提出は、C-learning による。			

考	・オフィスアワー(前期):月曜 3 限、月曜 4 限 研究室:8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス:zsumino@takasaki-u.ac.jp

科目名		中学校教育相談(保育・教育の方法技術)			CEW1C8	講義
担当教員		角野 善司				
学年・開講期		2 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		2 年前期科目「幼小教育相談」での学修をもとに、思春期にある中学生とその保護者等を対象とした相談活動で必要な知識や技能を習得する。				
到達目標		1.中学校における教育相談の意義と課題について説明できる。 2.中学生の心身の発達とその過程で直面する困難について説明できる。 3.中学生の保護者の意識について説明できる。 4.カウンセリングに関する基礎的な知識・技能を理解し、それを実践できる。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		平常点(ワーク・ロールプレイ等への積極的参加度、小レポート)80%、学期末レポート 20%。				
課題に対する フィードバック		小レポートは毎回授業時に、学期末レポートは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材		必要に応じ、授業に先立って資料を配布もしくは URL を示す。輪読の題材としては以下を用いる予定である： 内閣府「平成 25 年度 小学生・中学生の意識に関する調査」 2014 年 http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/junior/pdf_index.html				
1	講義内容	中学校における教育相談とは				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1.5 時間
		復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
2	講義内容	思春期の発達(1): 思春期の定義				
	該当する到達目標 2	予習	事前配布資料を精読する。			1.5 時間
		復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
3	講義内容	思春期の発達(2): 思春期の身体発達／対人関係				
	該当する到達目標 2	予習	事前配布資料を精読する。			1.5 時間
		復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
4	講義内容	思春期の発達(3): 思春期の人格発達・認知発達				
	該当する到達目標 2	予習	事前配布資料を精読する。			1.5 時間
		復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
5	講義内容	思春期の発達(4): 思春期の問題行動とその対応				
	該当する到達目標 2	予習	事前配布資料を精読する。			1.5 時間
		復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
6	講義内容	思春期の発達(5): 思春期の障害・病気とその対応				
	該当する到達目標	予習	事前配布資料を精読する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
7	講義内容	内閣府調査の輪読(1): 調査実施の概要		
	該当する到達目標	予習	文献の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
8	講義内容	内閣府調査の輪読(2): 調査結果[青少年](1) 学校生活		
	該当する到達目標	予習	レポーターは、与えられた文献だけではなく、広く諸資料にあたってレジュメを作成し、発表準備をする。それ以外の履修者は文献の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
9	講義内容	内閣府調査の輪読(3): 調査結果[青少年](2) 悩み・将来のこと		
	該当する到達目標	予習	レポーターは、与えられた文献だけではなく、広く諸資料にあたってレジュメを作成し、発表準備をする。それ以外の履修者は文献の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
10	講義内容	内閣府調査の輪読(4): 調査結果[保護者](1) しつけ		
	該当する到達目標	予習	レポーターは、与えられた文献だけではなく、広く諸資料にあたってレジュメを作成し、発表準備をする。それ以外の履修者は文献の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
11	講義内容	内閣府調査の輪読(5): 調査結果[保護者](2) 子どもに期待する生き方		
	該当する到達目標	予習	レポーターは、与えられた文献だけではなく、広く諸資料にあたってレジュメを作成し、発表準備をする。それ以外の履修者は文献の該当箇所を精読する。	1.5 時間
	3	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
12	講義内容	内閣府調査の輪読(6): 全体討論		
	該当する到達目標	予習	前回までの配布資料を精読し、考察を深める。	1.5 時間
	2,3	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
13	講義内容	カウンセリング演習(1): 傾聴		
	該当する到達目標	予習	事前配布資料を精読する。	1.5 時間
	4	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	カウンセリング演習(2): 言語的コミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	事前配布資料を精読する。	1.5 時間
	4	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	カウンセリング演習(3): 非言語的コミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	事前配布資料を精読する。	1.5 時間
	4	復習	配布資料・ノートを再読する。授業での学習を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間

備 考	・オフィスアワー(後期):月曜 3 限、月曜 4 限 研究室:8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス:zsumino@takasaki-u.ac.jp

科目名		生徒指導論A(保育・教育の方法技術)				CEW18E	講義
担当教員		角野 善司					
学年・開講期		4 年 前期	必修・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標		小学校において、教師が児童に教科等の指導以外の様々な生活面の指導を行うにあたり、どのような考え方のもとにどのような技術を用いるべきか、生徒指導のあり方についての理論と実践の力をつけることをめざす。					
到達目標		1.小学校教育における生徒指導の意義と課題について説明できる。 2.小学校教育における生徒指導の位置づけについて説明できる。 3.生徒指導の基盤となる児童生徒理解について説明できる。 4.望ましい人間関係づくりと集団指導・個別指導について説明できる。					
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養				
		✓	専門的知識				
		✓	問題発見・解決力				
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
		✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		学期途中および学期末に実施する筆記試験 各 40%、平常課題 20%					
課題に対する フィードバック		平常課題は毎回授業時に、筆記試験は事後に講評解説の機会を設ける。					
使用教材		文部科学省「生徒指導提要」教育図書 2010 年 276 円＋税					
1	講義内容		生徒指導の意義と課題				
	該当する到達目標 1		予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を始める。			1.5 時間
2	講義内容		教育課程における生徒指導の位置付け / 生徒指導の前提となる発達観と指導観				
	該当する到達目標 2,3		予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を重ねる。			1.5 時間
3	講義内容		集団指導・個別指導の方法原理 / 学校運営と生徒指導				
	該当する到達目標 2,4		予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を重ねる。			1.5 時間
4	講義内容		生徒指導の進め方(1): 児童生徒全体への指導				
	4		予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を重ねる。			1.5 時間
5	講義内容		生徒指導の進め方(2): 個別の課題を抱える児童生徒への指導				
	4		予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
			復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を重ねる。			1.5 時間
6	講義内容		生徒指導に関する法制度等				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。				1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。中間試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
7	講義内容	中間試験および講評		
	該当する到達目標	予習	これまでの学習内容をまとめる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	中間試験での出題内容について、再学習する。	1.5 時間
8	講義内容	教育課程と生徒指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を始める。	1.5 時間
9	講義内容	児童生徒の心理と児童生徒理解(1): 児童生徒理解の基本 / 児童期の心理と発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
10	講義内容	児童生徒の心理と児童生徒理解(2): 児童生徒理解の資料とその収集		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
11	講義内容	学校における生徒指導体制		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
12	講義内容	生徒指導と教育相談		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
13	講義内容	学校と家庭・地域・関係機関との連携		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。学期末試験に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
14	講義内容	各自が児童生徒として経験してきた生徒指導に関するエピソードについてのディスカッション		
	該当する到達目標	予習	各自の経験したエピソードについて、要点をまとめる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	各自及び他の学生が報告したエピソードを振り返り、生徒指導のあり方について考察を深める。	1.5 時間
15	講義内容	各自が教育実習生として経験した生徒指導に関するエピソードについてのディスカッション		
	該当する到達目標	予習	各自の経験したエピソードについて、要点をまとめる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	各自及び他の学生が報告したエピソードを振り返り、生徒指導のあり方について考察を深める。	1.5 時間
備考	・オフィスアワー(前期): 月曜 3 限、月曜 4 限 研究室: 8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp			

科目名		生徒・進路指導(保育・教育の方法技術)			CEW1C9	講義
担当教員		小西 尚之				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		生徒指導・進路指導は、学校教育において学習指導(教科指導)と並ぶ重要な分野として位置付けられる。本授業では、中学校教師における生徒指導・進路指導について、理論と実践の両面から考察していく。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標		1.生徒指導・進路指導の理論について理解している。 2.生徒指導・進路指導について実践的に思考することができる。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		小テストに 70%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に 30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		教科書:『よくわかる生徒指導・キャリア教育』小泉令三編著、ミネルヴァ書房、2010 年、2,400 円(税別)				
	講義内容	オリエンテーション				
1	該当する到達目標	予習	シラバスや教科書のまえがきを読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生徒・進路指導を学ぶ意味を理解する。			1.5 時間
	講義内容	校則、生徒心得				
2	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章－1(50～53 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
	講義内容	懲戒、体罰				
3	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章－2(54～57 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
	講義内容	不登校				
4	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章－1(118～121 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
	講義内容	いじめ				
5	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章－2(122～125 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
	講義内容	非行				
6	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章－3(126～129 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
	講義内容	キャリア教育の意義と理論				
7	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章－1(168～171 ページ)を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	キャリア教育の進め方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－2(172～175 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	キャリア教育の方法と技術		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－3(176～179 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	職業観・勤労観の形成		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－4(180～183 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	進路相談の進め方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－5(184～187 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	小学校でのキャリア教育実践		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－7(192～195 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	中学校でのキャリア教育実践		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－8(196～199 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	高校でのキャリア教育実践		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－9(200～203 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習の現状と今後		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 11 章－10(204～207 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 409 号室			

科目名		学校危機管理論(保育・教育の方法技術)			CEW207	講義
担当教員		吉田 恵子				
学年・開講期		4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		子ども達を安全な環境で教育・指導しなければならない学校園であるが、現実には日々大小の事故が生じ、教師はその対応に苦慮することが少なくない。学校事故について、事前・発生時・事後の危機管理を事例をもとに考え、学校危機管理の実践力をつける。				
到達目標		1.学校事故の事例を通して、危機管理の理論を理解することができる。 2.学校事故の事例を通して、安全教育の理論を理解することができる。 3.危機管理の実践力をつけることができる。 4.安全教育の指導法を習得し、実践することができる。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中に行う 3 回の小テストに 70%、授業貢献度に 30%を配分して総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック		毎回提出する活動・感想シートはコメントを付けて返却する。 小テストは、返却時に解説をする。				
使用教材		資料を配布する				
1	講義内容	オリエンテーション、安全の概念				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標や内容を理解する。			1.5 時間
	1	復習	安全の概念について資料をまとめ、理解する。			1.5 時間
2	講義内容	学校事故発生における援用法規				
	該当する到達目標	予習	学校事故と法的責任について調べる。			1.5 時間
	1	復習	援用法規について配布資料をまとめ、理解する。			1.5 時間
3	講義内容	危険予知と安全教育				
	該当する到達目標	予習	安全教育について調べる。			1.5 時間
	1,2	復習	危険予知トレーニングの理論と方法を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	事前の危機管理				
	該当する到達目標	予習	事前の危機管理について調べる。			1.5 時間
	1,2,3	復習	事前の危機管理について、事例ワークを復習する。			1.5 時間
5	講義内容	事故発生時の危機管理 第 1 回小テスト				
	該当する到達目標	予習	事故発生時の危機管理について調べる。			1.5 時間
	1,2,3	復習	事故発生時の事例ワークを復習する。			1.5 時間
6	講義内容	事後の危機管理				
	該当する到達目標	予習	事後の危機管理について調べる。			1.5 時間
	1,2,3	復習	事後の危機管理と対応について理解し、事例を復習する。			1.5 時間
7	講義内容	学校安全の死角				
	該当する到達目標	予習	学校安全の死角とは何か調べる。			1.5 時間
	2.4	復習	安全の死角について、事例ワークを復習する。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	体育祭・運動会の事故		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	体育祭・運動会の事故事例を調べる。	1.5 時間
		復習	事例から得た知見を基に、事故防止策をまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	部活をめぐる事故		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	部活の事故について資料を調べる。	1.5 時間
		復習	事例をもとに、部活における事故防止について理解し、まとめる。	1.5 時間
10	講義内容	登下校の事故・事件 第 2 回小テスト		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	登下校の安全教育について、学校・地域の取り組みを調べる。	1.5 時間
		復習	事例をもとに地域の連携と事故防止について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	プール事故		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	プール事故について調べる。	1.5 時間
		復習	事例をもとに、プール指導における危機管理について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	学校給食と死亡事故		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	食物アレルギーについて調べる。	1.5 時間
		復習	除去食と児童の指導についてまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	いじめ自殺		
	該当する到達目標 1,3	予習	いじめ自殺と相当因果関係について調べる。	1.5 時間
		復習	内外の自殺防止教育について理解する。チーム援助理論を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	自然災害と学校		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自然災害による学校事故について調べる。	1.5 時間
		復習	災害時の対応について、シミュレーションを重ねる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 第 3 回小テスト		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	授業資料を整理する。	1.5 時間
		復習	授業を振り返り、学校危機管理の実践力を蓄える。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜1限、水曜1限 担当教員メールアドレス： yoshikei@takasaki-u.ac.jp 研究室：8 号館 503 研究室 事故対応のロールプレイやグループワークがある。意欲的に授業に参加すること。			

科目名	心理検査法(保育・教育の方法技術)				CEW208	講義
担当教員	板津 裕己					
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	こころの特徴理解の方法の1つとして心理検査法が用いられている。本講義では、心理検査の中で、質問紙法、作業検査法及び発達検査について、その検査実施上の注意点や処理方法などを学ぶ。なお、投影法は、その検査実施や結果処理を習熟するために相当な経験を要するため、基礎事項学習にとどめる。					
到達目標	1.心理検査の長所とその限界を含めた心理検査についての正しい理解ができるようになる。 2.各種検査法の正確な実施法と適切な結果の読み取りができるようになる。 3.心理検査を受検することで自己理解を深める。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	評価は、個人ワークやグループワークなどで得られたデータによるレポート課題(70点)と予習課題の提出状況(30点)に基づく。					
課題に対するフィードバック	レポート課題は、コメントを付けた後に返却する。					
使用教材	板津裕己 生徒理解と心理テスト 日本・精神技術研究所 1995 この他に、授業進行に従いプリントや予習課題を配布する。 参考書・補助教材 大村・花沢・佐藤 新訂心理検査の理論と実際) 1986 各種心理テストのマニュアルや解説書					
1	講義内容	オリエンテーション ―心理検査の歴史と基本的な考え方―				
	該当する到達目標	予習	「こころの特徴理解の方法」にどのようなものがあるのかを考えておく。			1.5 時間
	1.	復習	心理検査の歴史と基本的な考え方についての理解を深めておく。			1.5 時間
2	講義内容	心理検査で何がわかる？				
	該当する到達目標	予習	「生徒理解と心理テスト」をよく読んでおく。			1.5 時間
	1.	復習	心理テスト理論や心理検査で得られる情報などについての理解を深めておく。			1.5 時間
3	講義内容	質問紙法検査の概要と自己観に係わるテスト				
	該当する到達目標	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。			1.5 時間
	1,2,3.	復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。			1.5 時間
4	講義内容	質問紙法検査の実習1 ―類型論に基づくパーソナリティテスト―				
	該当する到達目標	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。			1.5 時間
5	講義内容	質問紙法検査の実習2 ―特性論に基づくパーソナリティテスト―				
	該当する到達目標	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。			1.5 時間

6	講義内容	質問紙法検査の実習3 ―規模の大きなパーソナリティテスト―		
	該当する到達目標 1,2,3.	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。	1.5 時間
7	講義内容	質問紙法検査の実習4 ―青年期の発達に係わるテスト―		
	該当する到達目標 1,2,3.	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。	1.5 時間
8	講義内容	作業検査法の概要とテスト実習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。	1.5 時間
9	講義内容	作業検査法検査結果の着眼点と読み取り方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト他を参考に作業検査法について理解を深めておく。	1.5 時間
		復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。	1.5 時間
10	講義内容	作業検査法検査の結果整理の実習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト他を参考に作業検査法について理解を深めておく。	1.5 時間
		復習	作業検査法の学習内容について復習をしておく。	1.5 時間
11	講義内容	投影法検査		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	投影法検査法の学習内容について復習をしておく。	1.5 時間
12	講義内容	知能検査の実習1 ―概要と集団式知能検査―		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	本時に実施する検査の理論背景について学習をする。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	知能検査法の学習内容について復習をしておく。	1.5 時間
13	講義内容	知能検査の実習2 ―個別式知能検査―		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	集団式と個別式知能検査の特徴について学習をしておく。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	自分自身の結果を見直して自己理解を深めるとともに、レポートを作成する。さらに、自己成長に役立てる。	1.5 時間
14	講義内容	乳幼児発達検査の実習1 ―概要と質問紙検査―		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト他を参考に発達検査法について理解を深めておく。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	発達検査の学習内容について復習をしておく。	1.5 時間
15	講義内容	乳幼児発達検査の実習2 ―個別簡易検査―		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト他を参考に発達検査法について理解を深めておく。予習課題を進めておく。	1.5 時間
		復習	全 15 回の学習内容について復習を行う。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2 時限、木曜日 3 時限 メールアドレス:itatsu@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 403 授業は、講義のほか個人ワークやグループワークの形で進めていく。			

	授業時間内でテスト実習および結果処理などができなかった場合、履修学生は、時間外を利用して、個人あるいはグループで責任ももって課題を終えておく。 検査器具、検査用紙や実施マニュアルなどは担当者が用意する。

科目名		家族療法(保育・教育の方法技術)			CEW209	講義
担当教員		千葉 千恵美				
学年・開講期		4 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		家族と人間を発達的な視点からとらえ、家族が抱える臨床的問題と対応を学ぶ。 家族背景や家族の抱えている諸問題については、ジェノグラムの作成を行い、家族にむけた理論と実践を総合的に理解する。困難事例検討を行い、問題解決にむけての力量習得を目指す。				
到達目標		1.家族療法の理論と技術を理解する事が出来る。 2.家族を視野に置いた支援方法を理解する事が出来る。 3.困難事例を検討しながら、解決策を考える事が出来る。 4.実践的な対応を行うことや応用的な面接技法を習得する事が出来る。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業終了後に提出する感想シート 20% 並びに定期試験を判断する 80%				
課題に対する フィードバック		感想シートや質問については授業を通してコメントを行う。試験の課題についてフィードバックをする				
使用教材		家族の心理 変わる家族の新しいかたち 小田切紀子 野口康彦 青木聡 金剛出版 2017				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標 1	予習	家族について事前に配布した資料を読み予習をする			1.5 時間
		復習	家族について学んだ事を復習する			1.5 時間
2	講義内容	家族とは何か				
	該当する到達目標 1,2	予習	家族療法の定義や特徴、家族の変化ついて事前に p3-p9 を読書し予習する			1.5 時間
		復習	講義で学んだ家族の発展や変化等を復習する			1.5 時間
3	講義内容	健康な家族と役割について				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	健康な家族と役割について事前に p13-p24 を読書し予習する			1.5 時間
		復習	健康な家庭と家族関係について学んだ事を復習する			1.5 時間
4	講義内容	家族の成長について(家庭生活のストレスを含む)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	家族の成長ついて事前に p27-p42 まで読書し理論を予習する			1.5 時間
		復習	家族の成長について学んだ事を復習する			1.5 時間
5	講義内容	家族の様々な場面と対応について(養育問題を含む)				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	家族の様々な場面と対応について p47-p59 を読書し予習をする			1.5 時間
		復習	家族の様々な場面について学んだ事を復習する			1.5 時間
6	講義内容	家族のアセスメントについて(再婚家庭と子ども)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	様々な方法を用いたアセスメントについて p71ーp81 読書し予習する			1.5 時間
		復習	他機関との連携を含む複雑な事例についての検討内容を復習する			1.5 時間
7	講義内容	子どもの発達と家族にむけた支援について				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	子どもの発達と家族に向けた支援について事前に p85-p97 を読書し予習を行う			1.5 時間
		復習	子どもの発達と家族に向けた支援について学んだ事を復習する			1.5 時間
8	講義内容	中年期・老年期家族に向けた支援について				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	中年期・老年期家族に向けた支援について事前に p121-p131 を読書し予習する	1.5 時間
		復習	中年期・老年期家族に向けた支援について整理し学んだ事を復習する	1.5 時間
9	講義内容 家族治療に向けた支援(児童虐待発生から再生)			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	家族治療を始める前に事前に p121-p131 を読書し予習する	1.5 時間
		復習	家族治療で学んだ事を整理し復習する	1.5 時間
10	講義内容 家族の課題とその支援			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	家族の関係性から生じる非行について事前に p139-p158 を読書し予習する	1.5 時間
		復習	家族の関係性から生じる非行について学んだ事を復習する	1.5 時間
11	講義内容 事例検討(1) —児童虐待と被虐待児(者)の心理—			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	児童虐待事例について事前に p159-p161 を読書し予習をする	1.5 時間
		復習	事例検討を行い整理し学んだ事を復習する	1.5 時間
12	講義内容 事例検討(2) —児童虐待と虐待する親の心理について—			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	児童虐待する親とその要因について事前に p162 を読書し予習を行う	1.5 時間
		復習	児童虐待する親とその要因について学んだ事を復習する	1.5 時間
13	講義内容 家族療法について			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	家族療法についての理解 p173 を読書し予習をする	1.5 時間
		復習	家族療法について学んだ事を復習する	1.5 時間
14	講義内容 家族の歴史とジェノグラム作成			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	家族の歴史とジェノグラム作成について事前に p182 を読書し予習する	1.5 時間
		復習	家族の歴史とジェノグラム作成について学んだ事を復習する	1.5 時間
15	講義内容 まとめ 様々な家庭、家族を対象にする面接方法を総合的に学ぶ			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	対応出来ない特殊事例にはどのような事例があるか事前に調べ予習をする	1.5 時間
		復習	家族療法に必要な支援内容等学んだ事を総合的に復習する	1.5 時間
備考	ロールプレイを行うため、積極的な授業参加を望む オフィスアワー火曜日 4, 5 限目 KEY WORD 家族療法 家族支援 困難事例 ジェノグラム chiba@takasaki-u.ac.jp			

科目名	保育方法論(保育・教育の方法技術)				CEW124	講義
担当教員	千葉 千恵美					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位、教員養成コース 選択 2 単位			
講義目標	子育て支援に必要な保育方法の知識や技術を習得し、親子関係の関わりについて学び、理解を深める					
到達目標	1.保育方法の理解と子育て支援に必要な知識と技術を習得し、虐待防止について考える事が出来る 2.具体的な観察を行うことで様々な親子関係や育児や保育の方法について理解する事が出来る 3.子育て支援の方法を観察したことを踏まえ、フォードバックすることで応用的に理解する事が出来る 4.子どもの発達課題と親子関係の支援の必要性について理解する事が出来る 5.理論と実践を通し、子育て支援に必要な専門性を総合的に理解する事が出来る					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	実践参加レポート 20% 定期試験 80%とする。					
課題に対するフィードバック	授業後に内容を確認しフィードバックする。質問や感想シートへのフィードバックを授業中に行う。試験について課題がある場合はコメントをする。					
使用教材	子育て・子育て支援 寺見陽子 保育出版社 2014					
	講義内容	オリエンテーション				
1	該当する到達目標	予習	子育て支援に必要な保育方法を事前に第 1 章 1 節 2 節を読み予習する			1.5 時間
	1	復習	子育て支援にむけた保育方法について内容を整理し復習する			1.5 時間
	講義内容	日本における保育方法の現状とニーズについて				
2	該当する到達目標	予習	子育て支援の現状について事前に第 2 章第 1 節 2 節を読み予習する			1.5 時間
	1,2	復習	子育て支援の現状と具体的なニーズを整理し必要事項を復習する			1.5 時間
	講義内容	保育方法に必要な児童家庭福祉の知識について(児童虐待の背景・予防・発見を含む)				
3	該当する到達目標	予習	児童虐待の背景や予防と現状について事前に第 4 章第 6 節を予習する			1.5 時間
	1,2	復習	子育て支援と児童虐待防止につながる知識技術を確認し復習をする			1.5 時間
	講義内容	親支援に必要な関わりと子どもの育ちについて				
4	該当する到達目標	予習	子育て支援に必要な親への関わりを事前に第 4 章第 1 節を読み予習をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	親支援に必要な関わりと子どもの育ちについての関連性を整理し復習をする			1.5 時間
	講義内容	子どもと家族関係について(親の心理、障害児と家族、夫婦関係を含む)				
5	該当する到達目標	予習	子どもの障害と家族の関係性、育児不安について第 6 章を事前に予習する			1.5 時間
	1,2,3	復習	子どもの置かれた障害と育児不安の状況を整理し復習をする			1.5 時間
	講義内容	保育所・幼稚園でみられる子どもの課題と対応について				
6	該当する到達目標	予習	子どもの行動や課題の背景について事前に第 9 章第 3 節を予習する			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	子どもが示す様々な課題や問題行動について必要事項を整理し復習する			1.5 時間
	講義内容	子育て支援にむけた観察の視点と支援方法について(留意点を含む)				
7	該当する到達目標	予習	子育て支援の観察方法や視点について事前に第 9 章を読み予習する			1.5 時間
	3,4	復習	子育て支援に必要な観察や支援方法について必要事項を整理し復習する			1.5 時間
8	講義内容	子育て支援の相談技術の基礎1(支援センターの活動後のレポート、指導案作成)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	支援センターの活動内容について事前に第 11 章を読み予習をする	1.5 時間
	2,4	復習	実践活動と観察に必要なレポート、指導案等必要な事項を整理し復習する	1.5 時間
59	講義内容	子育て支援の相談技術の基礎2(支援センター活動後のグループ・ディスカッション)		
	該当する到達目標	予習	活動後にむけて必要な子育て支援について事前に第 12 章を読み予習する	1.5 時間
	3,4	復習	活動後具体的な子育て支援や必要な方法について整理し復習をする	1.5 時間
10	講義内容	事例検討による具体的な支援方法について1(親子の遊びの場面からの観察)		
	該当する到達目標	予習	親子の関係性から見えてくる関わりを調べ事前に第 10 章を読み予習する	1.5 時間
	2,3,4	復習	事例を通じて観察できた親子の関係性から関わりを整理し復習をする	1.5 時間
11	講義内容	事例検討による具体的な支援方法について2 (親子の活動から見えた支援)		
	該当する到達目標	予習	事例検討する内容や状況を事前に第 3 章第 4 節第 5 節を読み予習する	1.5 時間
	2,3,4	復習	事例検討から見えてきた支援方法について振り返り復習をする	1.5 時間
12	講義内容	事例検討による具体的な支援方法について3 (関わりが難しい親子支援と方法)		
	該当する到達目標	予習	関わりが築けない親子の関係性を事前に第 12 章を読み予習する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	親子の関わりが築けない親子の状況から見えた事項を整理し復習する	1.5 時間
13	講義内容	地域子育て支援施設見学(インターナショナル認定こども園、幼稚園、保育所等)		
	該当する到達目標	予習	様々な地域の子育て施設にむけた保育実践を事前に第 11 章を調べ予習する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	地域の様々な子育て支援の取り組みについて整理し復習する	1.5 時間
14	講義内容	親子に必要な子育て支援についての理論と実践、支援方法について		
	該当する到達目標	予習	子育てに必要な親子の関係性について事前に第 10 章を読み予習する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	子育て支援に必要な親子の関わりや支援方法を整理し必要事項を復習する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 保育方法と今後必要な子育て支援と専門性について		
	該当する到達目標	予習	子育て支援の方法について事前に第 12 章第 5 節を調べ予習する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	保育について学習した技術、方法、課題を総合的に理解し復習する	1.5 時間
備考	実践的活動が加わるので、積極的に参加をしてください オフィスアワー 火曜日 4, 5 限 chiba@takasaki-u.ac.jp KEY WORD 保育の方法 親子関係 支援と実践 子育て支援			

科目名		心身の発達と学習過程(保育・教育の方法技術)			CEW125	講義
担当教員		角野 善司				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		教育職員免許法施行規則に定める「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」のうち、主に幼児期までの発達と学習が、その後の児童期・青年期、さらには生涯にわたる発達と学習にどのように関わっていくかに重点を置いて学んでいく。そのうえで、心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。				
到達目標		1. 生涯にわたる発達、中でも幼児期までの心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2. 生涯にわたる学習、中でも幼児期までの学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の宿題(復習課題) 15%、学期中 3 回程度のレポート 30%、学期末の筆記試験 55%。				
課題に対する フィードバック		宿題・レポートは毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材		教科書は使用しない。参考書・参考資料等は以下のとおりである。 文部科学省「幼稚園教育要領 平成 29 年 3 月」 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領 平成 29 年 3 月」 厚生労働省「保育所保育指針 平成 29 年 3 月」				
1	講義内容		生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(1): 生涯発達とは			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1.5 時間
		復習	参考書の関連箇所を精読し、配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。			1.5 時間
2	講義内容		生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(2): 発達段階と発達課題			
	該当する到達目標 1	予習	参考書の関連箇所を精読する。			1.5 時間
		復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。			1.5 時間
3	講義内容		生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(3): 社会・文化と人間発達			
	該当する到達目標 1	予習	参考書の関連箇所を精読する。			1.5 時間
		復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。			1.5 時間
4	講義内容		生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(4): 胎生期の発達			
	該当する到達目標 1	予習	参考書の関連箇所を精読する。			1.5 時間
		復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。			1.5 時間
5	講義内容		生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(5): 新生児期の発達			
	該当する到達目標 1	予習	参考書の関連箇所を精読する。			1.5 時間
		復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポ			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			ートの作成に向けた学習を重ねる。	
6	講義内容	生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(6): 乳児期の発達		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
7	講義内容	生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(7): 幼児期前期の発達		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
8	講義内容	生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(8): 幼児期後期の発達		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
9	講義内容	生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(9): 児童期・青年期の発達		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
10	講義内容	生涯発達に幼児期までの発達を位置づける(10): 成人期・老年期の発達		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	子どもの発達と学習について考える(1): 初期学習		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1,2	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。	1.5 時間
12	講義内容	子どもの発達と学習について考える(2): 発達を導く教育		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1,2	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
13	講義内容	子どもの発達と学習について考える(3): 幼児期における基本的生活習慣の学習		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	1,2	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
14	講義内容	子どもの主体的学習について考える(1): 子どものやる気		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
15	講義内容	子どもの主体的学習について考える(2): 主体的学習を支える指導		
	該当する到達目標	予習	参考書の関連箇所を精読する。	1.5 時間
	2	復習	参考書の関連箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	1.5 時間
備	・オフィスアワー(前期): 月曜 3 限、月曜 4 限 研究室: 8 号館 4 階 405 室			

科目名		チーム医療アプローチ演習(保育・教育の方法技術)			CEW210	演習
担当教員		各学科担当教員				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。				
到達目標		1.各専門職の役割と活動について理解できる。 2.患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。 3.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。 4.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		演習参加への積極性 20%、レポート 50%、グループ発表の内容 30%の総合評価				
課題に対するフィードバック		模擬症例検討を行う際には教員がファシリテートし、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。				
使用教材		関連する資料を随時プリントして配布する。				
1	講義内容		ガイダンス / チーム医療アプローチについて			
	該当する到達目標		予習	チーム医療について調べておく。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1 時間	
2	講義内容		チームビルディング			
	該当する到達目標		予習	専門職について調べておく	1 時間	
	1.2.3.4		復習	チーム内の他職種について学習しておく	1 時間	
3	講義内容		模擬症例検討・報告書作成①			
	該当する到達目標		予習	症例解析について学んでおく。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	模擬症例について学習する。	1 時間	
4	講義内容		模擬症例検討・報告書作成②			
	該当する到達目標		予習	疾病と治療について学習し、専門職としてのかわり方を学習する。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	グループ内で各専門職の観点から模擬症例を読み合わせておく。	1 時間	
5	講義内容		模擬症例検討・報告書作成③			
	該当する到達目標		予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかわり方を学習する。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし学習を深める。	1 時間	
6	講義内容		発表・フィードバック①			
	該当する到達目標		予習	発表の準備をしておく。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間	
7	講義内容		発表・フィードバック②			
	該当する到達目標		予習	発表の準備をしておく。	1 時間	
	1.2.3.4		復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	発表・フィードバック③		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
備考	キーワード: 専門職、チーム医療、多職種連携 ・オフィスアワー:			

科目名	保育実習Ⅰ（実習）		CEF341	実習
担当教員	保育実習Ⅰ担当教員			
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 4 単位	
講義目標	保育実習Ⅰを通じて保育士の業務内容や職業倫理についての知識および技術習得をめざす。また、保育専門職としての健康管理能力や責任感を身につけさせる。各実習種の具体的目標は以下のとおりとする。 ▼保育所における実習 子どもと関わることを通して、子どもへの理解を深めるとともに、保育所の機能や保育士の業務内容、職業倫理を具体的に学ぶ。 ▼児童福祉施設等における実習 生活や支援活動に参加し、児童・利用者との関わりや支援活動を通して児童・利用者への理解を深めるとともに、児童福祉施設などの機能や保育士・施設職員の役割及び職務内容などに関する知識・技術習得をめざす。			
到達目標	1.保育所、児童福祉施設の目的や職員の役割などを具体的に説明できる。 2.観察やかかわりを通して利用児者の状態像を多面的に把握し、説明できる。 3.保育所、児童福祉施設における職務を理解し行動できる。			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）		
	✓	自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	実習日誌 50%（保育所 25%、施設 25%）と評価票 50%（保育所 25%、施設 25%）より総合的に評価する。			
課題に対するフィードバック	事後指導において実習日誌、評価表、提出物等を材料に適宜、口頭もしくはコメントを付してフィードバックする。			
使用教材	実習先により適宜			
講義内容	保育所に概ね 2 週間（1 日 8 時間、週 5～6 日）12 日間程度通う、また児童福祉施設等に概ね 2 週間（1 日 8 時間、週 5～6 日）12 日間程度、宿泊もしくは通う。上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。			
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認		実習中適宜
	復習	実習日誌の記入。実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備		実習中適宜
備考	履修にあたっては要件科目があるため確認を要する。また、実習指導の履修登録が必要。担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は現場に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず思い出して指示されたことや教わったことを書き出すなどの行為が必要である。 また、報告会を適宜予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成に着手することを勧める。			

科目名	保育実習指導Ⅰ（実習）			CEF351	演習
担当教員	保育実習Ⅰ担当教員				
学年・開講期	2・3 年 通年	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位		
講義目標	保育実習Ⅰに向けて円滑に準備ができ、実習中および実習後の学びの深化をめざす。具体的には以下を目標とする。 ・保育実習の意義、目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 ・実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。				
到達目標	1.事前に保育所、児童福祉施設等の役割や機能を理解し、実習場면을イメージした目標や行動指針が立てられるようになる。 2.子ども・利用者との関わりや観察を通じた記録、振り返りができるようになる。 3.今後の実習に向け具体的な学習と目標設定ができるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力（多様性理解）			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	提出課題 40％、ディスカッションへの参加度 30％、平常点（出席、授業態度）30％				
課題に対する フィードバック	提出された課題は、コメントを付けて返却する。				
使用教材	高崎健康福祉大学人間発達学部「教育・保育の手引き」その1、その2 保育所保育指針解説書 教科書：小田豊監修・岡上直子・鈴木みゆき・酒井幸子編著「教育・保育実習と実習指導」光生館 OHC（書画映写機）、スライド、DVD ビデオ等も使用する。				
1	講義内容	保育所実習に向かう心構えと準備			
	該当する到達目標 1	予習	1 年次の実習を振り返り、自身の課題を明確化する		0.5 時間
		復習	授業内容を踏まえ、実習に向けて必要な準備について整理する		0.5 時間
2	講義内容	保育所実習の実習先を決めるに向けて			
	該当する到達目標 1	予習	希望する実習先を調べる		0.5 時間
		復習	実習先の候補園の保育内容を調べる		0.5 時間
3	講義内容	保育所における乳幼児の発達の理解を深める			
	該当する到達目標 1,2	予習	これまでの授業を振り返り、乳幼児の発達を復習しておく		0.5 時間
		復習	保育所保育指針解説書 p32～p37 を読み、授業内容を振り返る		0.5 時間
4	講義内容	保育所保育における援助と配慮に対する理解を深める ①3 歳未満児			
	該当する到達目標 1,2	予習	保育所保育指針解説書 p38～p46 を読み、3 歳未満児の発達とその配慮について予習する		0.5 時間
		復習	保育所保育指針解説書 p108～p115 を読み、3 歳未満児への援助と配慮について復習する		0.5 時間
5	講義内容	保育所保育における援助と配慮に対する理解を深める ②3 歳以上児			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	保育所保育指針 p46～54 を読み, 3 歳以上児の発達とその配慮について予習する	0.5 時間
		復習	保育所保育指針 p116～122 を読み, 3 歳以上児の発達とその配慮について復習する	0.5 時間
6	講義内容	保育所実習の日記の書き方 ①時系列の記録について		
	該当する到達目標 1,2	予習	1 年次に記録した実習日記を読み返し, 自身の課題を明確化する	0.5 時間
		復習	自身の課題に合わせて, 授業内容を踏まえて, 保育記録の留意点を復習する	0.5 時間
7	講義内容	保育所実習の日記の書き方 ②エピソード記録について		
	該当する到達目標 1,2	予習	「教育・保育の手引き」の該当箇所を読み予習する	0.5 時間
		復習	記録する上での留意点を復習する	0.5 時間
8	講義内容	保育所実習の日記の書き方 ③環境について		
	該当する到達目標 1,2	予習	「教育・保育の手引き」の該当箇所を読み予習する	0.5 時間
		復習	記録する上での留意点を復習する	0.5 時間
9	講義内容	保育所実習の目的と意義		
	該当する到達目標 1,2	予習	「教育・保育の手引き」の該当箇所を読み予習する	0.5 時間
		復習	授業内容を踏まえ, 自己課題を考える	0.5 時間
10	講義内容	保育所実習に向けての自己課題		
	該当する到達目標 1,2	予習	自己課題を整理する	0.5 時間
		復習	自己課題を完成させる	0.5 時間
11	講義内容	保育所実習に向かうための手続きや諸準備		
	該当する到達目標 1,2	予習	「教育・保育の手引き」の該当箇所を読み予習する	0.5 時間
		復習	保育所実習に向かうための手続きや諸準備に関する今後の計画を確認する	0.5 時間
12	講義内容	保育所実習の指導案の作成		
	該当する到達目標 1,2	予習	責任実習に使用したい指導案を作成する	0.5 時間
		復習	指導を踏まえて, 指導案を修正する	0.5 時間
13	講義内容	保育所実習事後指導 ①実習態度に対する振り返り		
	該当する到達目標 3	予習	実習日記を読み, 自身の実習態度を振り返る	0.5 時間
		復習	次の実習に向けた自己課題を考える	0.5 時間
14	講義内容	保育所実習事後指導 ②実習内容に対する振り返り		
	該当する到達目標 3	予習	実習日記を読み, 自身の実習内容を振り返る	0.5 時間
		復習	次の実習に向けた自己課題を考える	0.5 時間
15	講義内容	保育所実習事後指導 ③事例検討		
	該当する到達目標 3	予習	実習日記を読み, 印象に残った子どもの姿や場面を振り返る	0.5 時間
		復習	次の実習に向けた自己課題を整理する	0.5 時間
16	講義内容	施設実習に向かう心構えと配属に向けて		
	該当する到達目標 1	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 全体編を読んでおく。	0.5 時間
		復習	配布資料に基づき各児童福祉施設の目的・実習の特徴を調べる。	0.5 時間
17	講義内容	施設実習の配属調整・決定		
	該当する到達目標 1	予習	前回授業時の配布資料を確認し配属希望が出せるようにしておく。	0.5 時間
		復習	配属実習種別の運営指針をダウンロードし目を通しておく。	0.5 時間
18	講義内容	施設実習に関連する事務手続きとスケジュール・体調管理		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 1 を読んでおく。	0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	個人票の記入・提出。実習スケジュール自己管理表の記入・確認。	0.5 時間
19	講義内容	施設実習の目的・目標・内容		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部 I, II を読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	施設実習の目的・目標などを理解する。	0.5 時間
20	講義内容	施設実習の実際 ①実習施設の事前学習		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部Ⅲを読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	施設種別の特徴、実習の相違点について理解する	0.5 時間
21	講義内容	施設実習の実際 ②事前オリエンテーションと準備物		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部Ⅲを読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	事前オリエンテーションに向けた手順、内容、留意点を理解する。	0.5 時間
22	講義内容	施設実習の実際 ③施設実習日誌の書き方		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部Ⅲを読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	施設実習日誌の書き方と留意点などを理解する。	0.5 時間
23	講義内容	施設実習の実際 ④実習中の心構え		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部Ⅳを読んでおく。	0.5 時間
	1,2	復習	実習中におけるトラブルシューティングを理解する。	0.5 時間
24	講義内容	施設実習の実際 ⑤事後指導の内容と方法		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習 I (施設) の部Ⅴを読んでおく。	0.5 時間
	2,3	復習	事後指導の内容と方法を理解できる。	0.5 時間
25	講義内容	施設実習事後集団指導 ①報告書の作成および指導		
	該当する到達目標	予習	実習報告書の下書きを完成させる。	0.5 時間
	2,3	復習	添削指導のコメントをもとに加筆修正および報告会発表準備をする。	0.5 時間
26	講義内容	施設実習事後集団指導 ②実習報告会 (児童養護施設)		
	該当する到達目標	予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
	2,3	復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
27	講義内容	施設実習事後集団指導 ③実習報告会 (乳児院・母子生活支援施設)		
	該当する到達目標	予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
	2,3	復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
28	講義内容	施設実習事後集団指導 ④実習報告会 (障害児入所施設・障害者支援施設)		
	該当する到達目標	予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
	2,3	復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
29	講義内容	施設実習事後個別指導 ①(乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設)		
	該当する到達目標	予習	個別指導の諮問を想定したレクチャーの練習。	0.5 時間
	2,3	復習	選択実習に向けたリフレクションカードの記入。	0.5 時間
30	講義内容	施設実習事後個別指導 ②(障害児入所施設・障害者支援施設)		
	該当する到達目標	予習	個別指導の諮問を想定したレクチャーの練習。	0.5 時間
	2,3	復習	選択実習に向けたリフレクションカードの記入。	0.5 時間
備考	履修にあたっては要件科目があるため確認を要する。担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。			

科目名	保育実習Ⅱ(保育所)(実習)	CEF342	実習

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

担当教員	岡本 拡子 富田 純喜 今井 麻美		
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位
講義目標	既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、乳幼児に対する保育実践、保護者支援を総合的に理解し、自らの実践力を向上させる。		
到達目標	1.自分なりの課題や問題意識を持ちながら実習に取り組むことができる。 2.一人一人に応じる保育方法や援助方法について、試行錯誤する姿勢を持てる。 3.保育士としての自己の課題を明確化する。		
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養	
	✓	専門的知識	
	✓	問題発見・解決力	
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)	
	✓	自律的・意欲的に学習する力	
評価方法	実習日誌 50%, 評価票 50%		
課題に対する フィードバック	事後指導において実習日誌、評価表、提出物等を材料に適宜、口頭もしくはコメントを付してフィードバックする。		
使用教材	高崎健康福祉大学人間発達学部「教育・保育の手引き」その1, その2 OHC(書画映写機), スライド、DVD ビデオ等も使用する。		
講義内容	保育所に概ね 2 週間(1 日 8 時間、週 5～6 日)12 日間程度通う。上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。		
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認	実習中適宜
	復習	実習日誌の記入。実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備	実習中適宜
備考	履修にあたっては要件科目があるため確認を要する。また、実習指導の履修登録が必要。担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は現場に入る前に必ず学んだことや調べたことをチェックし、帰宅後も必ず思い出して指示されたことや学んだことを書き出すなどの行為が必要である。		

科目名	保育実習Ⅲ(施設)(実習)			CEF343	実習
担当教員	石原 綱成 野田 敦史				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 4 単位		
講義目標	保育実習Ⅰで習得した保育士の業務内容や職業倫理についての基本的な知識・技術を踏まえて、より高度な保育・養護実践の経験を通じて汎用性のある実践力を養うことをめざす。具体的目標は以下のとおりとする。 1.児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解を深める。 2.家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。 3.保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4.保育士としての自己の課題を明確化する。				
到達目標	1.児童福祉施設の目的や職員の役割などを具体的に説明できる。 2.観察やかかわりを通して利用児者の状態像を多面的に把握・アセスメントできる。 3.利用児者の生活課題を抽出し個別の支援計画を立案できる。 4.児童福祉施設における職務・倫理を理解し社会福祉援助技術実践ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習日誌 50%と評価票 50%により総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	事後指導において実習日誌、評価表、提出物等を材料に適宜、口頭もしくはコメントを付してフィードバックする。				
使用教材	実習先により適宜				
講義内容	児童福祉施設等に概ね 2 週間(1 日 8 時間、週 5～6 日)12 日間程度、宿泊もしくは通う。上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。				
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認			実習中適宜
	復習	実習日誌の記入。実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備			実習中適宜
備考	履修にあたっては要件科目があるため確認を要する。また、実習指導の履修登録が必要。担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は現場に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず思い出して指示されたことや教わったことを書き出すなどの行為が必要である。 また、報告会を適宜予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成に着手することを勧める。				

科目名		保育実習指導Ⅱ(実習)			CEF352	演習
担当教員		岡本 拓子 富田 純喜 今井 麻美				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位		
講義目標		既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、乳幼児に対する保育実践、保護者支援に対する理解を総合的に深め、実践力を養う。保育の記録、および自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。				
到達目標		1.保育実習Ⅰや既習の教科の内容を踏まえ、事前指導において、自己の課題を明確にすることができる。 2.保育の様々な記録様式を学び、それぞれの利点と欠点について理解することができる。 3.自身の保育実践を多角的な視点から省察する態度を持つことができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法		提出課題 40%, ディスカッションへの参加度 30%, 平常点(出席, 授業態度)30%				
課題に対する フィードバック		提出された課題にはコメントを付けて返却する				
使用教材		高崎健康福祉大学人間発達学部「教育・保育の手引き」その1, その2 保育所保育指針解説書				
1	講義内容	保育実習Ⅱの目的と意義				
	該当する到達目標	予習	「保育・教育の手引き」の該当箇所を読み予習する			0.5 時間
	1	復習	保育実習Ⅱの目的と意義について理解を深める			0.5 時間
2	講義内容	実習園決定に向けて				
	該当する到達目標	予習	希望する実習先を考えたり、調べたりする			1 時間
	1	復習	実習先の候補園の保育内容を調べる			1 時間
3	講義内容	保育実習Ⅰの振り返り ①記録				
	該当する到達目標	予習	保育実習Ⅰの実習日誌を振り返り、自身の課題を考える			0.5 時間
	1,3	復習	保育実習Ⅱに向けた自身の課題を明確化する			0.5 時間
4	講義内容	保育実習Ⅰの振り返り ②自身の子どもへの関わり				
	該当する到達目標	予習	保育実習Ⅰの実習日誌を振り返り、自身の課題を考える			0.5 時間
	1,3	復習	保育実習Ⅱに向けた自身の課題を明確化する			0.5 時間
5	講義内容	保育実習Ⅰの振り返り ③3 歳未満児の保育実践				
	該当する到達目標	予習	保育実習Ⅰの実習日誌を振り返り、疑問点などを明らかにする			0.5 時間
	1,3	復習	保育実習Ⅱに向けた自身の課題を明確化する			0.5 時間
6	講義内容	保育実習Ⅱの実習日誌における記録方法 ①新たな記録方法を学ぶ				
	該当する到達目標	予習	保育実習Ⅰの実習日誌を振り返り、自身の課題を明確にする			0 時間
	1,2,3	復習	新たな記録方法を復習する			0.5 時間
7	講義内容	保育実習Ⅱの実習日誌における記録方法 ②新たな記録方法で記録してみる				
	該当する到達目標	予習	これまで学んだ記録方法について、それぞれにおけるメリットデメリットについて考える			0 時間
	1,2,3	復習	新たな記録方法の留意点を整理して理解を深める			0.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

8	講義内容	保育所実習に向けての自己課題		
	該当する到達目標	予習	保育実習Ⅱの自己課題を考える	0.5 時間
	1,2,3	復習	保育実習Ⅱの自己課題を明確化する	0.5 時間
9	講義内容	保育実習Ⅱに向かうための手続きや諸準備		
	該当する到達目標	予習	「教育・保育の手引き」の該当箇所を読み予習する	0.5 時間
	1	復習	保育実習Ⅱに向かうための手続きや諸準備に関する今後の予定を確認する	0.5 時間
10	講義内容	事後指導 ①グループディスカッション 自身の子どもへの関わり		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションで共有したい出来事や内容を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループディスカッションを通して得た気づきを整理する	0.5 時間
11	講義内容	事後指導 ②グループディスカッション 保育者の援助から学んだこと		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションで共有したい出来事や内容を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループディスカッションを通して得た気づきを整理する	0.5 時間
12	講義内容	事後指導 ③グループディスカッション 子どもの経験と保育環境		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションで共有したい出来事や内容を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループディスカッションを通して得た気づきを整理する	0.5 時間
13	講義内容	事後指導 ④グループディスカッション 記録		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションで共有したい出来事や内容を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループディスカッションを通して得た気づきを整理する	0.5 時間
14	講義内容	事後指導 ⑤グループディスカッション 責任実習		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションで共有したい出来事や内容を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループディスカッションを通して得た気づきを整理する	0.5 時間
15	講義内容	事後指導 ⑥ まとめ		
	該当する到達目標	予習	グループディスカッションを通して、気づいた自己課題を整理する	0.5 時間
	1,2,3	復習	保育士としての自己の課題を明確化する	0.5 時間
備考	実習園の保育内容や実践について、できる限り理解した上で実習へ臨むこと。 担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。			

科目名	保育実習指導Ⅲ(実習)			CEF353	実習
担当教員	石原 綱成 野田 敦史				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 1 単位		
講義目標	保育実習Ⅲに向けて円滑に準備ができ、実習中および実習後の学びの深化をめざす。具体的には以下を目標とする。 ・保育実習の意義、目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 ・実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。				
到達目標	1.事前に児童福祉施設等の役割や機能を理解し、実習場面をイメージした目標や行動指針が立てられるようになる。 2.子ども・利用者との関わりや観察を通じた記録、振り返りができるようになる。 3.社会福祉援助技術を活用した保育実践ができるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	提出課題 40%, ディスカッションへの参加度 30%, 平常点(出席, 授業態度)30%				
課題に対する フィードバック	提出された課題は、コメントを付けて返却する。				
使用教材	高崎健康福祉大学人間発達学部「教育・保育の手引き」その1, その2 厚生労働省HP所管 各事業実施要綱およびガイドライン 教科書:小田豊監修・岡上直子・鈴木みゆき・酒井幸子編著「教育・保育実習と実習指導」光生館 OHC(書画映写機), スライド、DVD ビデオ等も使用する。				
1	講義内容	施設実習に向かう心構えと配属に向けて			
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 全体編を読んでおく。		0.5 時間
	1	復習	配布資料に基づき各児童福祉施設の目的・実習の特徴を調べる。		0.5 時間
2	講義内容	施設実習の配属調整・決定			
	該当する到達目標	予習	前回授業時の配布資料を確認し配属希望が出せるようにしておく。		0.5 時間
	1	復習	配属実習種別の運営指針をダウンロードし目を通しておく。		0.5 時間
3	講義内容	施設実習に関連する事務手続きとスケジュール・体調管理			
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その1を読んでおく。		0.5 時間
	1	復習	個人票の記入・提出。実習スケジュール自己管理表の記入・確認。		0.5 時間
4	講義内容	施設実習の目的・目標・内容			
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅲ(施設)の部Ⅰ, Ⅱを読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	施設実習の目的・目標などを理解する。		0.5 時間
5	講義内容	施設実習の実際 ①実習施設の事前学習			
	該当する到達目標	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅲ(施設)の部Ⅲを読んでおく。		0.5 時間
	1,2	復習	施設種別の特徴、実習の相違点について理解する		0.5 時間
6	講義内容	施設実習の実際 ②事前オリエンテーションと準備物			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅲ(施設)の部Ⅲを読んでおく。	0.5 時間
		復習	事前オリエンテーションに向けた手順、内容、留意点を理解する。	0.5 時間
7	該当する到達目標 1,2	講義内容 施設実習の実際 ③施設実習日誌の書き方		
		予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅰ(施設)の部Ⅲを読んでおく。	0.5 時間
		復習	施設実習日誌の書き方と留意点などを理解する。	0.5 時間
8	該当する到達目標 1,2	講義内容 施設実習の実際 ④実習中の心構え		
		予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅰ(施設)の部Ⅳを読んでおく。	0.5 時間
		復習	実習中におけるトラブルシューティングを理解する。	0.5 時間
9	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習の実際 ⑤事後指導の内容と方法		
		予習	「教育・保育実習の手引き」その 2 保育実習Ⅰ(施設)の部Ⅴを読んでおく。	0.5 時間
		復習	事後指導の内容と方法を理解できる。	0.5 時間
10	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後集団指導 ①報告書の作成および指導		
		予習	実習報告書の下書きを完成させる。	0.5 時間
		復習	添削指導のコメントをもとに加筆修正および報告会発表準備をする。	0.5 時間
11	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後集団指導 ②実習報告会 (児童養護施設・乳児院)		
		予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
		復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
12	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後集団指導 ③実習報告会 (児童発達支援センター)		
		予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
		復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
13	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後集団指導 ④実習報告会 (障害児入所施設・障害者支援施設)		
		予習	報告会発表準備をする。	0.5 時間
		復習	リフレクションカードの記入と報告書加筆修正。	0.5 時間
14	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後個別指導 ①(乳児院・児童養護施設)		
		予習	個別指導の諮問を想定したレクチャーの練習。	0.5 時間
		復習	選択実習に向けたリフレクションカードの記入。	0.5 時間
15	該当する到達目標 2,3	講義内容 施設実習事後個別指導 ①(障害児入所施設・障害者支援施設 その他の施設)		
		予習	個別指導の諮問を想定したレクチャーの練習。	0.5 時間
		復習	選択実習に向けたリフレクションカードの記入。	0.5 時間
備考	履修にあたっては要件科目があるため確認を要する。担当教員のメールアドレスおよびオフィスアワーは、実習指導の授業において一覧で提示する。			

科目名	幼稚園教育基礎実習(実習)		CEF301	実習
担当教員	今井 邦枝 山西 加織 内田 祥子			
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 必修 1 単位	
講義目標	幼稚園教育基礎実習とは、幼稚園に出向いて 1 週間の教育実習をするもので、幼稚園での教師の役割や幼児の実態等について主に観察を通じて学ぶことが目的である。 また、幼稚園教育実習事前事後指導では、スムーズに実習に取り組めるよう実習の事前準備を行い、実習後には報告会などを通じて実習での学びの定着と課題の意識化をはかる。			
到達目標	1.実習における自己課題を明確にする 2.幼児期の教育の基本を理解し説明することができる 3.幼児期の発達について理解し説明することができる 4.日誌の記載方法を理解し、適切に記載できる 5.実習に向けて主体的に準備に取り組む 6.事後指導では、グループワークを通じて実習での経験を共有すると共に、自らの学びを振り返ることで課題を明確にする			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)		
	✓	自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	実習園における評価をもとに、事前事後指導への取り組み、実習記録の記入状況、実習報告会の内容を参考にしながら、実習担当者が総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	提出課題にはコメントをつけて返却する			
使用教材	「幼稚園教育要領解説」「日誌の書き方」「教育基礎実習の手引き」			
講義内容	・事前指導では、幼児教育の基本・子どもの発達と遊び・保育のねらいと実習のねらい・日誌の記載などについて確認し、実習に際しての自己課題を明確にする。また実習のために必要な準備事項の確認をしたり、実習生として相応しい態度を身に付ける。 ・実習では、主に観察実習を通じて、幼稚園での教師の役割や幼児の実態等、一日の保育の流れ等について主に学ぶ。また毎日日誌を記載し、園に提出をする。 ・事後指導では、基礎実習での学びを、グループワークなどを通じて振り返り共有することで、新たな課題意識を持つことを目指す。			
	予習	事前に「実習の手引き」の該当部分を読んでくこと		5 時間
	復習	実習の手続きに必要な課題や実習の準備、実習中の日誌提出、実習後の課題提出		10 時間
備考	提出物は期日厳守で提出すること。無断での遅刻欠席は厳禁。			

科目名	小学校教育基礎実習(実習)			CEF302	実習
担当教員	片山 豪 角野 善司 小西 尚之				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 1 単位 教員養成コース 必修 1 単位		
講義目標	小学校で1週間の基礎的な実習を行うことによって、3年生の小学校教育実習に向けての基本的な準備と事前学習となるものである。				
到達目標	1.小学校で教育活動に従事している教職員の仕事や児童の学びについて、実践を通して基礎的な観察・体験を行い、大学での学修に一層の動機づけをする。 2.小学校で教育活動に従事している教職員の仕事や児童の学びについて、実践を通して基礎的な観察・体験を行い、学校・教育・教師・児童への理解を深める。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習の評価(実習校による評価、実習日誌等)(80%)、事前事後指導の評価(課題の提出状況および内容、実習報告書、実習報告会におけるプレゼンテーション、授業参加度等)(20%)。				
課題に対する フィードバック	実習後には報告書をもとに面談を行う。				
使用教材	『教育・保育実習の手引 その1(心構え・事務手続き 共通編)』(高崎健康福祉大学人間発達学部) 『教育・保育実習の手引 その2(事前・事後指導編)』(高崎健康福祉大学人間発達学部)				
講義内容	・実習の前後には大学において必要な事前事後指導を行うとともに、実習校との打ち合わせを緊密にする。 ・実習中は実習校の担当教員の指導を第一としつつ、大学の担当教員が実習校を訪問して、実習生に対する指導を行う。 ・実習期間は短いですが、実習校に出向くにあたっては、事前の準備を周到に行い、実習終了後は学生たちにその記録を提出させ、報告会を開催するなど事後の指導を入念に行う。				
	予習	事前指導の課題(実習の目標、外部講師講演会の感想)を仕上げる。実習校からの指示を準備する。日誌の事前に書くべきところを書いておく。			5 時間
	復習	実習日誌に記述不十分な箇所がないか確認し、適宜加筆し完成させる。実習報告を書く。実習報告会のプレゼンテーション資料を作成する。			10 時間
備考	提出物等は、期日時間厳守で提出すること。 実習日誌については、実習校の指導担当教員に提出して指導を受けること。 (片山) オフィスアワー: 火曜 3 限、金曜 1 限 メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 4 階 411 研究室 (角野) オフィスアワー: 【前期】 火曜 3 限、木曜 4 限 【後期】 月曜 4 限、火曜 4 限 メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 405 研究室 (小西) オフィスアワー: 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス: konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 409 研究室				

科目名	中学校教育基礎実習(実習)			CEF303	実習
担当教員	中村博生・嶋田一成・松田幸子				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	教員養成コース 選択 1 単位		
講義目標	中学校教員免許(英語)を取得するにあたって、中学校に出向いて1週間の基礎的な教育実習をするもので、実習が確実にできるよう、実習校と密に連携協力しながら、巡回等の方法で指導する。				
到達目標	1. 中学校に出向いて、そこで教育活動に従事している教職員の仕事、役割等について、実践を通して基礎的な観察・体験を行う。 2. 基礎的な実習を行うことで、大学での学修にいつそうの動機づけをする。 3. 基礎実習に基づいて、現場での学校・教育・教師についての理解を深める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習の実際(実習日誌、研究授業等)(50%)、実習校の評価(40%)、事前事後指導(報告会、出席状況)(10%)の総合評価。				
課題に対するフィードバック	実習日誌・報告書については添削・コメントを付したのち返却する。				
使用教材	『保育・教育基礎実習の手引き』				
講義内容	・実習の前には大学において必要な事前指導を行うとともに、実習校との打ち合わせを緊密に行う。 ・実習中は実習校の担当教師の指導を第一としつつ、大学の担当教員が当該校を適宜訪問したり E メールを用いたりしながら、実習生に対する指導を行う。 ・実習期間は短いですが、実習校に出向くにあたっては、事前の準備を周到に行う。実習終了後は、学生たちにその記録を提出させ、報告会を開催するなど事後の指導を入念に行う。				
	予習	学習指導要領の通読・理解			8.0 時間
	復習	観察授業のまとめ、報告書の作成			7.0 時間
備考	中村(nakamura-h@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:火曜 4 限と木曜 4 限 研究室:9 号館 3 階 302 号室 嶋田(shimada-k@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:火曜 3 限 研究室:9 号館 303 号室 松田(matsuda-y@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:木曜 4 限 研究室:9 号館 304 号室				

科目名	幼稚園教育実習(事前事後指導含む)(実習)		CEF321	実習
担当教員	今井 邦枝 山西 加織 内田 祥子			
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	保育・教育コース 必修 4 単位	
講義目標	幼稚園教育実習とは 1 年次におこなった基礎実習での学びを基礎とし、保育者の役割や保育の展開方法について責任実習などを通じて理解を深め実践力を高めることを目的とする。 幼稚園教育実習事前事後指導では、スムーズに実習に取り組めるよう実習の事前準備を行い、実習後には報告会などを通じて実習での学びの定着と課題の意識化をはかる。			
到達目標	1.基礎実習時の課題を踏まえ、本実習に向けての自己課題を明確にもつ 2.日誌の記載方法の理解し、適切に記載できる 3.責任実習に向けて指導計画をたてることができる 4.教材研究の重要性を知り、実際におこなうことができる 5.指導計画に基づき適切に保育を展開できる 6.事後指導では、グループワークを通じて実習での経験を共有すると共に、自らの学びを振り返ることで課題を明確にする。			
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養		
との対応	✓	専門的知識		
	✓	問題発見・解決力		
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)		
	✓	自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	実習園における評価をもとに、事前事後指導への取り組み、実習記録の記入状況、実習報告会の内容を参考にしながら、実習担当者が総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	課題にコメントをつけて返却する			
使用教材	「教育・保育実習の手引」「幼稚園教育要領解説」「実習日誌の書き方」			
講義内容	・事前指導では、日誌の書き方を確認すると共に、模擬保育・指導案作成などを通じて責任実習に向けての準備をおこなう。また基礎実習での学びを振り返り、本実習での自己課題を明確にする。また実習のために必要な準備事項の確認をし、実習生として相応しい態度を身に付ける。 ・実習では、主に保育者の役割や保育の展開方法について責任実習などを通じて理解を深め実践力を高める。また毎日日誌を記載し、園に提出をする。 ・事後指導では、基礎実習での学びを、グループワークなどを通じて振り返り共有することで、新たな課題意識を持つことを目指す。			
	予習	事前に「実習の手引き」の該当部分を読んでくこと・指導案作成と模擬保育準備		10 時間
	復習	実習の手続きに必要な課題や実習の準備・実習中の日誌提出・実習後の課題提出		5 時間
備考	提出物は期日厳守で提出すること。無断での遅刻欠席は厳禁。			

科目名	小学校教育実習(事前事後指導含む)(実習)			CEF322	実習
担当教員	片山 豪 角野 善司 小西 尚之				
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	保育・教育コース 選択 4 単位 教員養成コース 必修 4 単位		
講義目標	・小学校で実習を行う学生が、実習先での勤務の仕方、接遇等について事前指導を受け、3週間の教育実習を行う。 ・実習中は実習校の指導を受けながら、研究授業等を行う。 ・実習後は報告会に参加し、他の実習生たちの体験を聞くことを通して、学校・教師・児童への理解と実践的力量について認識し、教師としての自覚を深める。				
到達目標	1.実習校に出向くにあたって、種々の心構え・態度等を身につける。 2.実習中は、実習校の指導のもと、観察・参加・授業実習に携わり、学校・教師・児童への理解を深め、実践力を養う。 3.実習後は、教育に対する使命感を確立することを目指す。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習の評価(実習校による評価、実習日誌、研究授業等)(80%)、事前事後指導の評価(課題の提出状況および内容、実習報告書、実習報告会におけるプレゼンテーション、授業参加度等)(20%)。				
課題に対する フィードバック	実習後には報告書をもとに面談を行う。				
使用教材	『教育・保育実習の手引 その1(心構え・事務手続き 共通編)』(高崎健康福祉大学人間発達学部) 『教育・保育実習の手引 その2(事前・事後指導編)』(高崎健康福祉大学人間発達学部)				
講義内容	・3週間にわたる実習に臨むにあたっては、実習校と事前の準備を周到に行い、実習校との打ち合わせを綿密にし、実習校の教育方針等を理解させ、言葉遣い・接遇等について指導する。 ・実習中は、実習校の担当教員の指導を第一としつつ、大学の担当教員が適宜訪問したり、Eメールを用いたりしながら、実習生に対する指導を行う。 ・研究授業に際しては大学の担当教員が出向くことを原則とし、それができない時はEメール等を用い、実習校の指導教員とともに、実習生が実施した授業について必要な指導・助言を行う。 ・実習終了後は、実習報告会などを通じて、実習での学びや今後の学修・進路にどのような意味を持ったか等を報告し合い、指導助言を与える。				
	予習	事前指導の課題(実習の目標、外部講師講演会の感想)を仕上げる。実習校からの指示を準備する。日誌の事前を書くべきところを書いておく。学習指導案の書き方を学び準備をする。			5 時間
	復習	実習日誌、実習中に書いた学習指導案に記述不十分な箇所がないか確認し、適宜加筆し完成させる。実習報告を書く。実習報告会のプレゼンテーション資料を作成する。			10 時間
備考	提出物等は、期日時間厳守で提出すること。 実習日誌については、実習校の指導担当教員に提出して指導を受けること。 (片山) オフィスアワー: 火曜 3 限、金曜 1 限 メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp				

	研究室： 9 号館 4 階 411 研究室 (角野) オフィスアワー：【前期】 火曜 3 限、木曜 4 限 【後期】 月曜 4 限、火曜 4 限 メールアドレス： zsumino@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 405 研究室 (小西) オフィスアワー： 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス： konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室： 8 号館 4 階 409 研究室

科目名	中学校教育実習(事前事後指導含む)(実習)			CEF323	実習
担当教員	中村博生・嶋田一成・松田幸子				
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	教員養成コース 4 単位		
講義目標	中学校教員免許(英語)を取得するにあたって、中学校に出向いて3週間の教育実習をするもので、実習が確実にできるように、実習校と密に連携協力しながら、巡回及び研究授業参加等の方法で指導する。				
到達目標	1. 中学校に出向き、教職員の仕事、役割、生徒の状況等について把握する。 2. 大学での学修を生かしながら、実際に授業を行い、授業実践力を身につける。 3. 教育実習を踏まえて、授業実践、生徒指導、教室運営などについての理解を深める。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習の実際(実習日誌、研究授業等)(50%)、実習校の評価(40%)、事前事後指導(報告会、出席状況)(10%)の総合評価。				
課題に対する フィードバック	実習日誌・報告書については添削・コメントを付したのち返却する。				
使用教材	『保育・教育実習の手引き』				
講義内容	・実習の前には大学において必要な事前指導を行うとともに、実習校との打ち合わせを緊密に行う。 ・実習中は実習校の担当教師の指導を第一としつつ、大学の担当教員が当該校を適宜訪問したり電話や E メールを用いたりしながら、実習生に対する指導を行う。 ・研究授業に際しては大学の担当教員が出向くことを原則とし、それができないときは電話や E メールを用い、実習校の指導教師とともに、実習生が実施した授業について必要な指導・助言を行う。 ・3 週間にわたる実習に臨むにあたっては、実習校と事前の準備を周到に行う。実習中も当該校及び当該校の担当教師と連絡をとりながら、実習が確実にできるよう、また、確実にできているかどうかを確認するため巡回し、適宜実習生に助言指導する。実習終了後は、学生たちにその記録を提出させ、実習報告会を開催して体験を報告させるなど事後の指導を入念に行う。				
	予習	実際に中学校で授業を行うための、指導要領の通読、教材研究、指導案の作成			10 時間
	復習	研究授業のまとめ、報告書の作成			5 時間
	備考	中村(nakamura-h@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:火曜 4 限と木曜 4 限 研究室:9 号館 3 階 302 号室 嶋田(shimada-k@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:火曜 3 限 研究室:9 号館 303 号室 松田(matsuda-y@takasaki-u.ac.jp) オフィスアワー:木曜 4 限 研究室:9 号館 304 号室			

科目名	特別支援学校教育基礎実習(実習)			CEF304	実習
担当教員	松田 直 五十嵐 一徳 村田 美和				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学生は、特別支援学校(知的障害、肢体不自由、病弱)でどのような教育が実際に行われているか、児童生徒の実態・教育課程・時間割・日々の授業について、基礎的な事柄を具体的に学ぶ。特に、担当教員が児童生徒の実態をどのように把握し、どのように目標を設定して授業を組み立てているか、教材の準備・同僚との打ち合わせ・チームティーチング・授業後の振り返りなどをどのように行っているかを観察し理解する。教員の指示の下で、授業の補助的な役割を体験する。特別支援学校における講話や実習記録を振り返り、自らの課題を明らかにする。				
到達目標	特別支援学校でどのような教育が行われているか、児童生徒の実態・教育課程・時間割・授業などについて、基礎的な事柄を理解すること。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習校における評価と実習記録の記入状況・提出状況・指導教員所見(50%)、事前事後指導(報告会・レポートなど)(50%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	事後報告会において適宜コメントを行い、3 年次の教育実習で必要となる知識等についての気づきを促す。				
使用教材	教育基礎実習の手引				
講義内容	1. 事前学習として、実習生としての心構え、必要な基本的マナー、特別支援学校教育の概要、基礎実習の目的、実習記録の書き方などを講義する(3コマ)。 2. 5 日間(1 日 8 時間、計 40 時間)の特別支援学校教育基礎実習を実施する。そこでは、児童生徒の実態、教育課程、時間割、毎回の授業の目標設定、使用する教材、授業実践、授業後の振り返り(評価)などについて、実習校からの説明を受け、担当クラスあるいは学習グループにおいて参与観察を行う。また、教員の指示により、授業の補助を行う。毎日、実習記録を書き、実習校の担当教員に提出する。人間発達学部の教員が実習校を訪問し、実習生の状況を把握するとともに、実習生の指導について担当教員と情報交換を行う。 3. 事後学習として報告会を実施し、特別支援学校における講話や指導、実習記録を振り返り、3 年次の特別支援学校教育実習に向けて各自が取り組むべき課題を明らかにする(3 コマ)。				
	予習	教育基礎実習の手引を読んでおくこと			8 時間
	復習	児童生徒の実態、教育課程、授業実践などについて理解する			7 時間
備考	・基礎実習の手引きや日誌を事前に読んでおくこと。また、事前指導で配布する資料を必ず授業後に繰り返し読むこと。不明な点については、特別支援教育大事典や教育小六法などで理解できるようにしておくこと。 ・1 年前期までに開講されている特別支援教育関連の授業内容を十分に振り返り、理解を深めておくこと。 ・特別支援学校教育基礎実習の実習校の教員や事後報告会で学生あるいは担当教員から指摘されたことについて、十分に振り返りを行うこと。 ・松田直(オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 301) ・五十嵐一徳(オフィスアワー:木曜日 2 限目、金曜日 2 限目 メールアドレス:igarashi-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 5 階 506				

	・村田美和(オフィスアワー:火曜 2 限、金曜 2 限 メールアドレス:murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 502 号室)

科目名	特別支援学校教育実習(事前事後指導を含む)(実習)			CEF324	実習
担当教員	松田 直 五十嵐 一徳 村田 美和				
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	選択 3 単位		
講義目標	学生は、特別支援教育基礎実習で明らかになった課題について、教育実習においてどのように取り組むか、事前指導で具体的に検討し、教育実習の目的・方法を明確に自覚する。教育実習では、学生は特別支援学校での児童生徒との係わり方、児童生徒の実態把握・指導案作成・教材作成・授業実践・評価・学級経営など、教員に求められる基礎基本を修得する。事後指導において、学生は教育実習を振り返り、自らの課題達成状況や新たな課題を明確にする。				
到達目標	教育実習の目的・方法を自覚し、児童生徒の実態把握・指導案作成・教材作成・授業実践・授業記録・評価・学級経営などの基礎基本を修得すること				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	実習校における評価と実習記録の記入状況・提出状況・指導教員所見(50%)、事前事後指導(報告会、レポートなど)(50%)から総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	事後報告会において適宜コメントを行い、就職後必要となる知識等についての気づきを促す。				
使用教材	教育・保育実習の手引				
講義内容	・事前指導(25 時間)として、実習にあたっての心構え・身だしなみ・言葉づかいなど、障害のある児童生徒の心身・健康の理解、特別支援学校及び教員の仕事について、学習指導案の書き方、優れた教育実践の紹介等を行い、各自の課題を明確に意識させる。 ・特別支援学校における実習(1 日 8 時間、10 日間、計 80 時間)では、参与観察も行いつつ、児童・生徒との係わり方、実態把握・指導案作成・授業実践・授業記録・評価・学級運営など、教員に求められる基礎基本の修得を促す。大学の教員が研究授業の日以外にも実習校を訪問し、実習生の状況を把握するとともに、実習生の指導について担当教員と情報交換を行う。 ・事後指導(15 時間)として、学生による実習体験の報告、研究授業内容の検討・確認、指導経験の報告、教職に向けての指導・助言などを行い、さらなる専門性と実践力の向上につなげる。				
	予習	・教育・保育実習の手引を読んでおくこと ・3 年前期までに開講されている特別支援教育関連の授業内容を振り返り、理解を深めておくこと			10 時間
	復習	児童生徒の実態、教育課程、授業実践などについて理解する			5 時間
備考	・実習の手引きや日誌を事前に読んでおくこと。また、事前指導で配布する資料を必ず授業後に繰り返し読むこと。不明な点については、特別支援教育大事典や教育小六法などで理解できるようにしておくこと。 ・3 年前期までに開講されている特別支援教育関連の授業内容を十分に振り返り、理解を深めておくこと。 ・特別支援学校教育実習の実習校の教員や事後報告会で学生あるいは担当教員から指摘されたことについて、十分に振り返りを行うこと。 ・松田直(オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 301) ・五十嵐一徳(オフィスアワー:木曜日 2 限目、金曜日 2 限目 メールアドレス:igarashi-k@takasaki-u.ac.jp)				

	研究室:8 号館 5 階 506 ・村田美和(オフィスアワー:火曜 2 限、金曜 2 限 メールアドレス:murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 502 号室)

科目名		保育・教職実践演習(幼)(実践演習)			CEF361	演習
担当教員		保育・教職実践演習(幼)担当教員 千葉千恵美 山西加織 内田祥子 富田純喜				
学年・開講期		4 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		これまでの授業・実習を通して得た個々の課題を学生相互に共有しあい、それぞれの課題にグループごとに取り組みながら解決を見出す。授業はグループワーク、発表形式、模擬保育などの演習を中心に行う。また、保育現場におけるフィールドワークも行い、子どもや親との関わりを通して問題解決をはかる。				
到達目標		1.保育者としての使命感・責任感をもち、愛情をもって子どもと関わる力を身につける。 2.保育者に必要な社会性や倫理観、対人関係能力を身につける。 3.乳幼児の理解や学級運営に関する知識・能力を身につける。 4.保育内容の指導にむけた知識・能力を身につける。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		グループワーク(フィールドワークを含む)での取り組み:60%、発表:20%、個人レポート:20%				
課題に対する フィードバック		個人レポートは、担当教員が適宜返却する。				
使用教材		必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション、これまでに授業や実習で身につけた保育者の専門性を分析してみよう				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	シラバスを読み、本授業の目標・内容を予習する。			0.5 時間
		復習	担当教員から説明があった点、今後の授業内容について復習する。			0.5 時間
2	講義内容	保育現場における現代的課題を考えよう(個人)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの授業・実習を振り返り、課題について予習する。			0.5 時間
		復習	考えた課題について復習する。			0.5 時間
3	講義内容	保育現場における現代的課題を話し合おう(グループワーク① 具体的事例を出し合いながら検討する)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	課題と授業目標を照らし合わせ、グループワークの準備をする。			0.5 時間
		復習	グループワークで出された事例をもとに、課題をより具体化し復習する。			0.5 時間
4	講義内容	保育現場における現代的課題を話し合おう(グループワーク② フィールドワークにおいて見出すべき課題を設定する)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	具体化した課題の問題点を掲げ予習する。			0.5 時間
		復習	問題の本質を明確にする。			0.5 時間
5	講義内容	保育現場における現代的課題を話し合おう(グループワーク③ 設定した課題をもとにフィールドワークの方法を計画する)				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	課題の確認とフィールドワークの方法を予習する。			0.5 時間
		復習	フィールドワークの準備と確認を行う。			0.5 時間
6	講義内容	フィールドワーク① 幼稚園・こども園				
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	フィールドワークにおいて見出すべき課題とフィールドワークの方法を確認する。			0.5 時間
		復習	得られた記録を整理し復習する。			0.5 時間
7	講義内容	フィールドワーク② 保育所				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	フィールドワークにおいて見出すべき課題とフィールドワークの方法を確認する。	0.5 時間
		復習	得られた記録を整理し復習する。	0.5 時間
8	講義内容 フィールドワーク③ 福祉施設・子育て支援センター等			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	フィールドワークにおいて見出すべき課題とフィールドワークの方法を確認する。	0.5 時間
		復習	得られた記録を整理し復習する。	0.5 時間
9	講義内容 フィールドワークを振り返ろう(グループワーク① フィールドワークを通して得た記録から問題点を話し合う)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	課題と記録を事前に整理し予習する。	0.5 時間
		復習	グループワークで出た問題点を復習する。	0.5 時間
10	講義内容 フィールドワークを振り返ろう(グループワーク② 問題解決方法を見出す)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	グループワークで出た問題点を整理する。	0.5 時間
		復習	グループワークで検討した問題解決方法について復習する。	0.5 時間
11	講義内容 問題解決方法を共有しよう(発表① 各グループで見出した問題解決方法を発表する)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	発表資料を作成し、準備する。	0.5 時間
		復習	他グループの発表を思い出し、自分たちの発表に活かせる手法など検討したことを復習する。	0.5 時間
12	講義内容 問題解決方法を共有しよう(発表② 全体討議)			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	各グループの発表内容を確認する。	0.5 時間
		復習	討論した内容について、各自で感じたことなどをまとめ復習する。	0.5 時間
13	講義内容 保育者としての自己課題を明らかにしよう			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育者としての自己課題を挙げ予習する。	0.5 時間
		復習	明らかにした自己課題についてノートにまとめる。	0.5 時間
14	講義内容 保育者としての自己課題を文章化しよう			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	保育者としての自己課題を明確にしておく。	0.5 時間
		復習	保育者としての自己課題についてレポートを作成する。	0.5 時間
15	講義内容 まとめ			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	指示を受けた授業内容を確認して予習する。	0.5 時間
		復習	本授業で得られた成果を再度確認し復習する。	0.5 時間
備考	Key words:4 年間の総まとめ、個々の課題整理と解決策、フィールドワークによる振り返り、各教員のメールアドレス、オフィスアワーは次の通りである:千葉千恵美 chiba@takasaki-u.ac.jp 火曜日 4, 5 限目 山西加織 yamanishi@takasaki-u.ac.jp 月曜日5, 6限目 内田祥子 uchida-s@takasaki-u.ac.jp 月曜日 2, 3 限目 富田純喜 tomita-t@takasaki-u.ac.jp 火曜日 2 限目 水曜日 3 限目			

科目名	教職実践演習（小中）（実践演習）				CEF362	演習
担当教員	教職実践演習（小中）担当教員					
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 必修 2 単位			
講義目標	教員をめざす4年間の学修の総仕上げとして、講義・講話・討論・事例研究(学校訪問など)をとおして、教育現場の様々な現象を認識し、それに伴う諸問題に対応できる力を身に付けることを目標とする。講義・講話では教科指導、生徒指導、特別支援、職場環境、保護者や地域との連携などの観点から、教育現場の多様性を理解する。また、実習や学校訪問の経験などをもとに討論を行い、教育現場の多様性に対処するための柔軟な指導力の習得をめざす。学校訪問では、学校現場の様々な現象を観察し、教師としての自覚と責任感を養い、学校教育に携わろうとする意欲を高める。					
到達目標	1.教育現場の様々な現象を、教科指導、生徒指導、特別支援、職場環境、保護者や地域との連携などの観点から認識することができる。 2.教育現場の多様性を理解し、それぞれの観点から諸問題に対応できる力を身に付けることができる。 3.実習や学校訪問の経験などをもとに討論を行い、現場での諸問題に対処するための指導の在り方の理解を深め、柔軟な指導力を身に付けることができる。 4.教師として教育現場で、児童生徒に対応できる資質・能力、及び、使命感や責任感、教育的愛情、さらには、社会性や対人関係能力等を備え、学校教育に携わろうとする意欲を高めることができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	毎回提出するレポート70%、授業への貢献度等30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントをつけて返却する。 授業中の貢献度についてはその都度評価する。					
使用教材	各教員による自作のプリント等					
	講義内容	実践演習の意義、教師となるにあたっての学生同士の討論				
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、実習の体験をもとに講義の目標や内容を理解する。			1.5 時間
	3,4	復習	講義の方針を確認するとともに、討論で得た教育現場の諸問題を理解する。			1.5 時間
	講義内容	学校の教職員の実務理解				
2	該当する到達目標	予習	これまでの講義や実習での経験をもとに、教職員に求められる実務について考えておく。			1.5 時間
	2,4	復習	資料を読んで講義の内容を振り返り、学校の教職員に求められる実務について理解する。			1.5 時間
	講義内容	学校における同僚教職員・保護者・地域住民との連携協力				
3	該当する到達目標	予習	学校へのクレーム・事件について、新聞・ニュース等資料を収集しておく。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	学校における地域・社会との連携について、現状と課題を理解し、まとめる。			1.5 時間
	講義内容	文系教科の指導について				
4	該当する到達目標	予習	モジュール授業について配布の資料を読む。			1.5 時間
	2, 3	復習	文系教科でどのようにモジュール授業が生かせるのか、授業プランを考える。			1.5 時間
5	講義内容	理系教科の指導について				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教育実習の経験を振り返り、理系教科の指導の特徴をまとめておく。	1.5 時間
		復習	自分の考えとディスカッションした内容を整理してまとめておく。	1.5 時間
6	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 実技系教科について		
		予習	自らの小・中学校の実技に関する行事や授業を振り返り、指導目的を考える。	1.5 時間
		復習	実技教科の目的及び技術指導の目的を理解し、指導の留意点をまとめる。	1.5 時間
7	該当する到達目標 1, 3, 4	講義内容 英語の指導について		
		予習	小学校外国語活動・英語の指導方法に関する資料に目を通す。	1.5 時間
		復習	講義で扱った小学校外国語活動・英語の具体的な指導方法を理解する。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1	講義内容 特別支援教育について		
		予習	実習の経験やこれまでの講義内容を振り返る。	1.5 時間
		復習	特別支援教育の視点からの自己理解を深め、インクルーシブ教育下での学び続ける教師像を理解する。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,4	講義内容 学校現場の教師を招いての講話		
		予習	現在の学校現場をめぐる諸問題について、新聞・インターネット・書籍などで調べておく。	1.5 時間
		復習	講話を振り返り、自分の問題意識を整理して文章化する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 2,3,4	講義内容 学校現場の教師の講話(前回)に関する学生同士の討議		
		予習	前回の講話について振り返り、自分の意見をまとめる。	1.5 時間
		復習	他の学生から出た意見を参考に、自分になかった視点について振り返る。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,4	講義内容 近隣の学校現場訪問(学校長などの講話)		
		予習	訪問する学校のホームページなどをもとに、観察の視点を定める。	1.5 時間
		復習	学校長などの講話をもとに、観察の視点に基づき学校現場の現状を理解する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,4	講義内容 近隣の学校現場訪問(授業参観、生徒指導など)		
		予習	実習の経験をもとに、学習指導や生徒指導に関する視点を定める。	1.5 時間
		復習	授業参観などで教育現場の実態を理解し、教職への意欲を高める。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 近隣の学校現場訪問に関する討論		
		予習	学校現場訪問について振り返り、授業内で相互に報告する準備を行う。	1.5 時間
		復習	学生相互の報告・討論を振り返り、現場訪問での学びをさらに深める。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2	講義内容 学校事故等と教師の対応・役割		
		予習	小・中学校における安全教育について、実践例を調べる。	1.5 時間
		復習	安全教育の観点をまとめ、危機管理シミュレーションを行う。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,2,3,4	講義内容 児童・生徒指導における教師の役割／教師になる意思の確認		
		予習	事例をあげ、児童・生徒指導上の教師の役割を考える。	1.5 時間
		復習	これまでの講義を振り返り、教職への意欲を高める。	1.5 時間
備考	・松田直(オフィスアワー: 月曜 3 限、木曜 3 限 メールアドレス: matsuda-t@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 1 階 学部長室) ・吉田(オフィスアワー: 月曜 1 限、火曜 1 限 メールアドレス: yoshiikei@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 503) ・中村(オフィスアワー: 水曜 1 限、木曜 5 限 メールアドレス: nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 302) ・小西(オフィスアワー: 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス: konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 409) ・松田幸(オフィスアワー: 木曜 3 限、金曜 2 限 メールアドレス: matsuda-y@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 3 階 304)			

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・片山(オフィスアワー: 火曜 3 限、金曜 1 限 メールアドレス: katayama@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 4 階 411)・嶋田(オフィスアワー: 火曜 3 限、金曜 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303)・五十嵐(オフィスアワー: 木曜 2 限、金曜 2 限 メールアドレス: igarashi-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 506)・村田(オフィスアワー: 火曜 2 限、金曜 3 限 メールアドレス: murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 502)・角野(オフィスアワー: 月曜 4 限、火曜 4 限(後期) メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 405) |
|---|

科目名	卒業研究(卒業研究)			CET401	演習
担当教員	子ども教育学科各ゼミ担当教員				
学年・開講期	4 年 通年	必選・単位数	必修 4 単位		
講義目標	学生の興味・関心による選択に基づいて研究テーマを設定し、学生の自主性を最大限尊重して指導する。この卒業研究でのテーマとなりうるのは、保育・教育に関わる諸課題であり、事実に基づく実証的論文であることが目標である。音楽・美術などの実技的分野においては、表現発表も可能であるが、その場合でも論文を作成することが求められる。(詳細は卒業研究に関する学科の申し合わせを参照すること)				
到達目標	1. 保育・教育を巡る諸課題に関する明確な問題意識を持つこと。 2. 問題を整理し、先行研究を踏まえて研究目的を明確にすること。 3. 研究目的にふさわしい研究方法を考え、具体化すること。 4. 研究方法に基づいて、先行論文等を読んだり、データを収集すること。 5. データを適切な方法で整理し、分析すること。 6. 研究目的に照らしてデータから言えることは何かを検討すること。 7. 問題意識に照らして、今後の検討課題は何であるかを検討すること。 8. 学科の定めた卒業論文の様式に従って文章化すること。				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	テーマの内容、問題意識、文献の検索、取り組みへの積極性、執筆に際しての主体性、執筆内容、ゼミでの発言、発表の仕方等を総合して評価する。				
課題に対する フィードバック	学生の研究テーマや研究方法はそれぞれ異なることから、ゼミの担当教員は随時学生に必要なフィードバックを行う。なお、学生の自主性・自律性を最大限尊重するために、教員からのアドバイスは必要最小限に留める。				
使用教材	卒業研究に必要な教材は、随時紹介または提供する。				
1	講義内容	卒業研究とは			
	該当する到達目標	予習	先輩の卒論や抄録を読み、卒論の構想を考える。		1.5 時間
	1,2	復習	ゼミで出た意見を参考にして構想を深める。		1.5 時間
2	講義内容	保育・教育を巡る諸課題についての検討(その 1)ー研究テーマの検討			
	該当する到達目標	予習	自分の関心事に関する新聞記事やインターネットのニュースを読む。		1.5 時間
	1,2	復習	ゼミで出た意見を参考にして、テーマ設定について考える。		1.5 時間
3	講義内容	保育・教育を巡る諸課題についての検討(その 2)ー暫定的研究テーマの決定			
	該当する到達目標	予習	新聞記事やインターネット、書籍等の資料に目を通し、研究テーマを考える。		1.5 時間
	1,2	復習	ゼミで出た意見を参考にして、研究テーマの暫定案を決める。		1.5 時間
4	講義内容	研究テーマに関連する先行研究の検討(その 1)ー先行研究の探索			
	該当する到達目標	予習	研究テーマに関連する先行研究を探し、目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	ゼミで出た意見を参考にして、さらに先行研究を探し、目を通す。		1.5 時間
5	講義内容	研究テーマに関連する先行研究の検討(その 2)ー問題意識のすり合わせ			
	該当する到達目標	予習	先行研究に目を通し、自分の問題意識とすり合わせる。		1.5 時間
	1,2	復習	ゼミで出た意見を参考にして、先行研究を概括する。		1.5 時間

6	講義内容	研究目的に関する検討(その 1)ー研究目的の明確化		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自分の問題意識と先行研究をもとにして、研究目的の明確化を図る。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、研究目的について検討を深める。	1.5 時間
7	講義内容	研究目的に関する検討(その 2)ー研究目的の文章化		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	研究目的の文章化を図る。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、研究目的の文章を整える。	1.5 時間
8	講義内容	研究方法に関する検討(その 1)ー研究方法の明確化		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	研究目的に適した研究方法について検討する。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、研究方法の明確化を図る。	1.5 時間
9	講義内容	研究方法に関する検討(その 2)ー研究方法の文章化		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	研究方法の文章化を図る。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、研究方法の文章を整える。	1.5 時間
10	講義内容	データの整理方法についての検討(その 1)ーデータ整理に関する先行研究参照		
	該当する到達目標 4,5	予習	データの整理方法について先行研究も参考にして調べる。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データの整理方法について考える。	1.5 時間
11	講義内容	データの整理方法についての検討(その 2)ーデータ整理の明確化		
	該当する到達目標 4,5	予習	データの整理方法について明確化を図る。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データの整理方法について明確化を図る。	1.5 時間
12	講義内容	データの整理方法についての検討(その 3)ーデータ整理の文章化		
	該当する到達目標 4,5	予習	データの整理方法について文章を整える。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データの整理方法について文章を整える。	1.5 時間
13	講義内容	データの分析方法についての検討(その 1)ーデータ分析の準備		
	該当する到達目標 4,5	予習	データの分析方法について下調べをする。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データ分析の方法について検討を加える。	1.5 時間
14	講義内容	データの分析方法についての検討(その 2)ーデータ分析方針の検討		
	該当する到達目標 4,5	予習	データ分析の方針を検討する。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データ分析の方法を決める。	1.5 時間
15	講義内容	データの分析結果についての検討(その 1)ーデータ分析の概括		
	該当する到達目標 5,6	予習	データの分析に着手し、結果の概括を進める。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データ分析を進める。	1.5 時間
16	講義内容	データの分析結果についての検討(その 2)ーデータ分析の進化		
	該当する到達目標 5,6	予習	データ分析を進める。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、データ分析を進める。	1.5 時間
17	講義内容	データの分析結果についての検討(その 3)ーデータ分析の文章化		
	該当する到達目標 5,6	予習	結果の概括を踏まえて文章化を進める。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、結果の総括を文章化する。	1.5 時間
18	講義内容	データの分析結果についての検討(その 4)ーデータ分析の文章整理		
	該当する到達目標 5,6	予習	結果の文章を整える。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を踏まえて、結果の文章を整える。	1.5 時間
19	講義内容	考察の検討(その 1)ー考察の柱立て		
	該当する到達目標 6,7	予習	考察の柱立てを考える。	1.5 時間
		復習	ゼミで出た意見を参考にして、考察の柱立てと内容を考える。	1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

20	講義内容	考察の検討(その 2)ー考察の文章化		
	該当する到達目標	予習	考察の柱に沿って、文章化に着手する。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、文章化を進める。	1.5 時間
21	講義内容	考察の検討(その 3)ー考察の深化		
	該当する到達目標	予習	考察全体の文章化を進める。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、考察の文章を整える。	1.5 時間
22	講義内容	論文全体を通しての検討		
	該当する到達目標	予習	論文全体の構成や文章を見直す。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、論文全体を整える。	1.5 時間
23	講義内容	卒論提出に向けての最終チェック(その 1)ー論文の整合性チェック		
	該当する到達目標	予習	研究テーマ・研究方法・研究結果・考察・文献など、内容の整合性を検討する。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、論文全体を見直す。	1.5 時間
24	講義内容	卒論提出に向けての最終チェック(その 2)ー論文様式のチェック		
	該当する到達目標	予習	論文の様式が学部指定の様式に合致しているか検討する。	1.5 時間
	8	復習	ゼミで出た意見を参考にして、論文の様式を確認し、必要な修正を加える。	1.5 時間
25	講義内容	卒論を提出した後の振り返り		
	該当する到達目標	予習	卒業研究を通して学んだことを振り返る。	1.5 時間
	1,2,6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、卒業研究全体を振り返る。	1.5 時間
26	講義内容	卒論の抄録用原稿作成		
	該当する到達目標	予習	抄録用の原稿を作成する。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、抄録用の原稿を完成させる。	1.5 時間
27	講義内容	卒論発表会のパワーポイント作成		
	該当する到達目標	予習	卒論発表会用のパワーポイントを作成する。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、パワーポイントを完成させる。	1.5 時間
28	講義内容	卒論発表会のリハーサル(その 1)ー発表原稿の作成		
	該当する到達目標	予習	卒論発表会用の原稿を作成する。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミでのリハーサルで出た意見を参考にして、発表用原稿を整える。	1.5 時間
29	講義内容	卒論発表会のリハーサル(その 2)ー発表原稿の修正		
	該当する到達目標	予習	発表の練習を繰り返し、原稿の修正を行う。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミでのリハーサルで出た意見を参考にして、原稿を完成させる。	1.5 時間
30	講義内容	卒論発表会の振り返り		
	該当する到達目標	予習	パワーポイントと発表原稿が意を尽くしていたか、振り返る。	1.5 時間
	6,7	復習	ゼミで出た意見を参考にして、今後の課題を考える。	1.5 時間
備考	卒業研究は大学生活の総決算です。明確な問題意識と主体的・持続的な取り組みが不可欠です。保育・教育の専門職を志す者として、オリジナリティに富んだ卒論を仕上げてください。 ゼミ教員のオフィスアワー、メールアドレスは省略します。 なお、上記のシラバスは、研究テーマや方法によって講義内容の回数が変動することがあります。			

科目名	特別支援教育概論(特別支援)				CEE111	講義
担当教員	松田直					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	学生が平成 19 年度から実施されている特別支援教育期の趣旨、特別支援教育に関わるシステム、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室それぞれの役割、実践事例などについて理解すること。					
到達目標	1. 特別支援教育の目的を理解する。 2. 特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室・通常学級それぞれの役割を理解する。 3. 特別支援学校のセンター的役割について理解する。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	授業中の発言(10%)、毎回のリアクションペーパー(20%)、試験(70%)を総合して評価する。					
課題に対する フィードバック	毎回のリアクションペーパーには、授業の感想・疑問・意見を書いてもらい、次回の授業の冒頭で松田が補足説明や感じたことを伝える。					
使用教材	教科書(後日決定)を使用する。特別支援学校学習指導要領を随時参照する。					
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標 1	予習	教科書を概観し、構成について理解する。			1.5 時間
		復習	授業内容と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
2	講義内容	特別支援教育の意義と本質				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	特別支援教育の制度				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	特別支援教育の教育課程				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	視覚障害とその教育				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	聴覚障害とその教育				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	言語障害とその教育				
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	運動障害とその教育				
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。			1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	健康障害とその教育		
	該当する到達目標 1,2,3,	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	知的障害とその教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)とその教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	自閉症・情緒障害とその教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	重度・重複障害とその教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	障害児の移行支援		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努めること。	1.5 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書全体を概観し理解を深めること。	2.0 時間
		復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	2.0 時間
備考	特別支援学校教員採用試験は、この教科書を理解することと、教育実習での実践的学びを通して対応可能であると 考えられる。 オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	特別支援教育の課題と実践(特別支援)				CEE131	講義
担当教員	五十嵐 一徳					
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位			
講義目標	学生が特別支援教育に関する基礎的事項、特別支援教育に関する現状と課題、特別なニーズを要する子どもへの支援方法について理解すること。					
到達目標	1.特別支援教育に関する基礎的事項について説明できる。 2.特別支援教育に関する現状と課題について説明できる。 3.特別なニーズを要する子どもへの支援方法について説明できる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	試験の成績を 90%、レポート・授業態度 10%として評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	随時、わからないことなどについて質問を受け付ける。					
使用教材	講義のスライド等を随時プリントして配付する					
1	講義内容	ガイダンス。特別支援教育について				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	特別支援教育体制の現状と課題Ⅰ(特別支援学校)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	2	復習	特別支援学校における現状と課題について振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	特別支援教育体制の現状と課題Ⅱ(特別支援学級)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	2	復習	特別支援学級における特別支援教育の現状と課題について振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	特別支援教育体制の現状と課題Ⅲ(通常学級)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	2	復習	通常学級における特別支援教育の現状と課題について振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	特別支援教育の実際Ⅰ(知的障害)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1時間
	2,3	復習	知的障害児への対応について振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	特別支援教育の実際Ⅱ(病弱)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	2,3	復習	病弱児への対応について振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	特別支援教育の実際Ⅲ(肢体不自由)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間
	2,3	復習	肢体不自由児への対応について振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	子どもの生活面における課題とその対応Ⅰ(幼児)				
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	3	復習	幼児の生活面における課題とその対応について振り返る。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの生活面における課題とその対応Ⅱ(小・中学生)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	小・中学生の生活面における課題と対応について振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	特別支援教育を推進する条件の整備Ⅰ(特別支援教育コーディネーター)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	特別支援教育コーディネーターの役割等について振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	特別支援教育を推進する条件の整備Ⅱ(家族支援、放課後保障)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	家族支援、放課後保障について振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	特別支援学校の授業づくりⅠ(教科)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	特別支援学校の授業づくりについて振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	特別支援学校の授業づくりⅡ(自立活動)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	特別支援学校の授業づくりについて振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	特別支援学校の授業づくりⅢ(教科等合わせた指導)		
	該当する到達目標	予習	2 年次までの特別支援教育に関連する授業内容を振り返る。	1 時間
	3	復習	特別支援学校の授業づくりについて振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	14 回までの講義内容を復習する。	0.5 時間
	1,2,3	復習	14 回までの講義内容を復習する。	2 時間
備考	・オフィスアワー:五十嵐:木曜日 2 限目、金曜日 2 限目、質問はメールでも受け付ける。 ・メール:igarashi-k@takasaki-u.ac.jp ・研究室 8 号館 5 階 506 ・予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		知的障害児の心理・生理・病理			CEE121	講義
担当教員		村田 美和				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		知的障害児の状態像を心理的側面や生理的側面、病理的側面、脳科学の側面から理解し、知的障害児の適切な実態把握や教育的視点からの対応ができるようになることを目指す。知的障害の中核的障害は認知機能の障害であり、特に、知覚、認知、記憶、言語、注意、情動などに関係する脳の仕組み、および脳の損傷によって起こるこれらの心理機能の障害を中心に学ぶ。また、知的障害と関連する発達障害について最新の脳科学の知見を学び、障害の理解を深める。				
到達目標		1. 知的障害児の心理・生理・病理について脳科学的な観点から説明できる。 2. 脳の構造と機能について説明できる。 3. 認知機能(知覚、認知、記憶、言語、注意、情動)に関連する脳の仕組みを説明できる。 4. 脳の損傷によって起こる様々な認知機能の障害を説明できる。 5. 発達障害を脳科学の観点から説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験 70%、レポート 30%で評価する。				
課題に対するフィードバック		レポートには評価を付して返却する。 定期試験の前に、出題について口頭で示す。				
使用教材		教科書は使用しないが、参考図書として、①「新脳の探検上」フロイト・E・ブルーム著、中村克樹・久保田木競監訳(講談社)ISBN4-06-257431-4C0247、②「新脳の探検下」フロイト・E・ブルーム著、中村克樹・久保田木競監訳(講談社)ISBN4-06-257432-2C0247、③「知的障害児の心理学」小池俊英・北島善夫著(北大路書房)ISBN4-7628-2215-9、④「脳科学と発達障害」榊原洋一著(中央法規)ISBN978-4-8058-3008-6C0047を推薦する。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、本講義の目標を理解する。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1 時間
2	講義内容	知的障害の心理特性				
	該当する到達目標 1,3	予習	参考図書などを読んで、知的障害の心理特性についてまとめておく。			1.5 時間
		復習	知的障害の心理特性を理解する。			1 時間
3	講義内容	知的障害の原因と病理				
	該当する到達目標 1,3	予習	参考図書などを読んで、知的障害の原因と病理についてまとめておく。			1.5 時間
		復習	知的障害の原因と病理を理解する。			1 時間
4	講義内容	知的障害の心理学的・生理学的研究方法				
	該当する到達目標 1,3	予習	参考図書などを読んで、知的障害の心理学的・生理学的研究方法についてまとめておく。			1.5 時間
		復習	知的障害の心理学的・生理学的研究方法を理解する。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

5	講義内容	脳の構造と機能(その1)脳の区分および大脳の感覚野と連合野の機能		
	該当する到達目標 2,3	予習	参考図書などを読んで、脳の区分および大脳の感覚野と連合野の機能についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	脳の区分および大脳の感覚野と連合野の機能を理解する。	1 時間
6	講義内容	脳の構造と機能(その2)脳の損傷と心理機能の障害との関係		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、脳の損傷と心理機能の障害との関係についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	脳の損傷と心理機能の障害との関係を理解する。	1 時間
7	講義内容	認知の側面		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、認知機能およびその障害と脳との関連についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	認知機能およびその障害と脳との関連を理解する。	1 時間
8	講義内容	言語の側面		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、言語機能およびその障害と脳との関連についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	言語機能およびその障害と脳との関連を理解する。	1 時間
9	講義内容	記憶の側面		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、記憶およびその障害と脳との関連についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	記憶およびその障害と脳との関連を理解する。	1 時間
10	講義内容	注意の側面		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、注意およびその障害と脳との関連についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	注意およびその障害と脳との関連を理解する。	1 時間
11	講義内容	情動の側面		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	参考図書などを読んで、情動およびその障害と脳との関連についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	情動およびその障害と脳との関連を理解する。	1 時間
12	講義内容	自閉症スペクトラム障害と脳科学		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	参考図書などを読んで、自閉症スペクトラム障害と脳科学についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	自閉症スペクトラム障害と脳科学を理解する。	1 時間
13	講義内容	注意欠陥多動性障害と脳科学		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	参考図書などを読んで、注意欠陥多動性障害と脳科学についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	注意欠陥多動性障害と脳科学を理解する。	1 時間
14	講義内容	学習障害(主に読み書き障害)と脳科学		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	参考図書などを読んで、学習障害(主に読み書き障害)と脳科学についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	学習障害(主に読み書き障害)と脳科学を理解する。	1 時間
15	講義内容	知的障害の心理・生理・病理の理解のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	これまでに学習してきた事柄についてまとめておく。	1.5 時間
		復習	知的障害の心理・生理・病理について理解する。	1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

備 考	オフィスアワー: 月曜 2 限、火曜 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 502 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。

科目名		肢体不自由児の心理・生理・病理(特別支援)			CEE122	講義
担当教員		松田直				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		学生が肢体不自由児の感覚・認知面、運動面などの基礎的能力の発達状態を教育的視点から理解すること、また、医学的・心理学的な背景も理解すること。				
到達目標		1.肢体不自由児の感覚・認知面、運動面などの基礎的能力の障害状況について理解すること。 2.肢体不自由児の発達状態を医学的・心理学的な背景も含めて理解すること。 3.肢体不自由児の実態を把握する基本的視点を理解すること。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中の発言(20%)、毎回のリアクションペーパー(20%)、試験(60%)を総合して評価する。				
課題に対するフィードバック		毎回のリアクションペーパーに書かれた感想・疑問・意見について、次回の授業の冒頭で取り上げ、補足説明や松田の感想・意見を伝える。				
使用教材		教科書「竹田一則(肢体不自由児、病弱・身体虚弱児教育のためのやさしい医学・生理学)ジアース教育新社)を使用する。必要な資料は随時配布する。特別支援学校学習指導要領を随時参照する。				
1	講義内容	オリエンテーションー肢体不自由という概念について				
	該当する到達目標	予習	教科書を概観し、構成について理解する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容と紹介したビデオを振り返る。			1.5 時間
2	講義内容	肢体不自由児の状態像				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	肢体不自由児の医学的側面				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	2	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	肢体不自由児の心理学的側面				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	2	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	運動面の実態				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	1	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	感覚・認知面の実態				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	1	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	コミュニケーションの実態(その 1)ー受信面				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	コミュニケーションの実態(その 2)ー発信面				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
9	講義内容	日常生活動作の実態(その 1)ー食事・排泄		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活動作の実態(その 2)ー着脱・清潔		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	作業動作の実態		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	余暇活動の実態		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	肢体不自由児の学校教育と卒後の生活		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	運動機能の低下について		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み理解に努める。	2.0 時間
	1,2,3	復習	授業内容をと紹介したビデオについて振り返る。	2.0 時間
備考	授業で必要な資料を随時配布するので、授業後に繰り返し読むこと。専門用語で十分理解できなかった言葉については、必ず医学事典や心理学事典などの書籍やインターネットで検索して理解できるようにしておくこと。土日や夏休みなどに、肢体不自由児との直接のかかわりをボランティア活動で行うこと。 オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		病弱児の心理・生理・病理(特別支援)			CEE123	講義
担当教員		吉野 浩之				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		病弱児について、身体・心理・社会的な観点から解説する。疾患特性に合わせた個々の乳幼児・児童・生徒への教育的アプローチや、その子の親やきょうだい児を含めた家族の支援について学ぶ。また、近年の小児医療の急激な進歩に伴う、教育現場や子どもの成育環境の変遷についても学ぶ。				
到達目標		1.病弱児をめぐる、教育・医療・福祉などの社会的要因を理解する。 2.病弱児の身体的特性(病態生理、心身の虚弱性、疾患ごとの特性など)を理解する。 3.病弱児の心理的特性(疾患ごとの感情や葛藤、死や障害との向き合いなど)について説明できる。 4.病弱児本人はもちろん、親やきょうだい児などをふくめて総合的に理解する。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験(100%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		期末試験の後に出題の意図を明らかにし、解説を行う。				
使用教材		教員の自作のプリントを使用する。				
1	講義内容	ガイダンス、病弱児の概念				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、病弱児について考察する			1 時間
	1	復習	講義の意味を理解し、病弱児の概念を理解する			2 時間
2	講義内容	各県における病弱教育と医療の関係性				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	1,2	復習	医療と教育の関係を正しく理解する			2 時間
3	講義内容	群馬県における病弱児教育と医療の課題				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	1	復習	群馬県の教育の特殊性と医療との関係を理解する			2 時間
4	講義内容	病弱児における心理的諸問題Ⅰ				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	1,3,4	復習	病弱教育の場である病院の理解と児童生徒の心を理解する			2 時間
5	講義内容	病弱児における心理的諸問題Ⅱ				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	2,3	復習	精神医学を含む心の問題を理解する			2 時間
6	講義内容	小児がんと教育Ⅰ				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	2	復習	小児がん患児の心理的特性と医療の変化を理解する			2 時間
7	講義内容	小児がんと教育Ⅱ				
	該当する到達目標	予習	プリントの事前学習			1 時間
	1,2	復習	疾患の特殊性と教育の関係を理解する			2 時間
8	講義内容	肢体不自由児と病弱児の境界領域				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,4	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	県により異なる境界について理解する	2 時間
9	講義内容	腎疾患と病弱教育		
	該当する到達目標 2	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	腎疾患の治療の変化と教育の関係を理解する	2 時間
10	講義内容	呼吸器疾患と病弱教育(感染症を含む)		
	該当する到達目標 2	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	呼吸器疾患の特殊性と共通性について理解する	2 時間
11	講義内容	消化器疾患と病弱教育		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	食と教育についてしっかり理解する	2 時間
12	講義内容	自己免疫疾患と病弱教育		
	該当する到達目標 2	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	様々な自己免疫疾患について理解し、教育の現状を理解する	2 時間
13	講義内容	心疾患と病弱教育		
	該当する到達目標 1,2	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	感染症の変化と教育現場について理解する	2 時間
14	講義内容	循環器疾患の特殊性と共通性について理解する		
	該当する到達目標 3,4	予習	プリントの事前学習	1 時間
		復習	命の教育について考察する	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	講義全体の振り返り	1 時間
		復習	講義全体の理解	2 時間
備考	オフィスアワー: 講義終了後の時間に受け付ける。メールはいつでも可。 メールアドレス: hyoshino@gunma-u.ac.jp 研究室: 非常勤控え室(講義日以外は群馬大学) 予習復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	障害児の発達診断(特別支援)			CEE201	講義
担当教員	五十嵐 一徳				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	本講義では児童生徒や園児の実態把握に必要な発達診断の技術を習得することを目指す。学生が①代表的な知能検査である WISC－Ⅳと田中ビネー知能検査Ⅴ、②代表的な認知検査である KABC－Ⅱ(Kaufman Assessment Battery for Children Second Edition)、③代表的な発達検査である新版 K 式発達検査、④言語・コミュニケーション発達スケールについて理解すること。				
到達目標	1.発達障害児や発達障害が疑われる児童に対するアセスメントの意義や方法について説明できる。 2.代表的な知能検査である WISC－Ⅳと田中ビネー知能検査Ⅴについて説明できる。 3.代表的な認知検査である KABC－Ⅱ について説明できる。 4.代表的な発達検査である新版 K 式発達検査について説明できる。 5.言語・コミュニケーション発達スケールについて説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	試験の成績を 50%、レポート・授業態度 50%として評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	随時、わからないことなどについて質問を受け付ける。				
使用教材	講義のスライド等を随時プリントして配付する				
1	講義内容	ガイダンス。検査について。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1 時間	
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	WISC－Ⅳ①検査の目的・内容・実施方法			
	該当する到達目標	予習	手引書などを読んで、検査の目的・内容・実施方法をまとめておく。	1 時間	
	2	復習	WISC－Ⅳの検査の目的・内容・実施方法を理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	WISC－Ⅳ②検査の実施			
	該当する到達目標	予習	WISC－Ⅳの実施の手引きを熟読しておく。	1 時間	
	2	復習	WISC－Ⅳの実施方法を理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	WISC－Ⅳ③結果のまとめ			
	該当する到達目標	予習	WISC－Ⅳの手引書を読んで、採点方法をまとめておく。	1 時間	
	2	復習	WISC－Ⅳの採点方法を理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	田中ビネー知能検査Ⅴ①検査の目的・内容・実施方法			
	該当する到達目標	予習	手引書などを読んで、検査の目的・内容・実施方法をまとめておく。	1時間	
	2	復習	田中ビネー知能検査Ⅴの目的・内容・実施方法を理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	田中ビネー知能検査Ⅴ②検査の実施			
	該当する到達目標	予習	田中ビネー知能検査Ⅴの実施の手引きを熟読しておく。	1 時間	
	2	復習	田中ビネー知能検査Ⅴの実施方法を理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	田中ビネー知能検査Ⅴ③結果のまとめ			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	田中ビネー知能検査Ⅴの手引書を読んで、採点方法をまとめておく。	1 時間
	2	復習	田中ビネー知能検査Ⅴの採点方法を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	KABC—Ⅱ①検査の目的・内容・実施方法		
	該当する到達目標	予習	手引書などを読んで、検査の目的・内容・実施方法をまとめておく。	1 時間
	3	復習	KABC—Ⅱの目的・内容・実施方法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	KABC—Ⅱ②検査の実施		
	該当する到達目標	予習	KABC—Ⅱの実施の手引きを熟読しておく。	1 時間
	3	復習	KABC—Ⅱの実施方法を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	KABC—Ⅱ③結果のまとめ		
	該当する到達目標	予習	KABC—Ⅱの手引書を読んで、採点方法をまとめておく。	1 時間
	3	復習	KABC—Ⅱの採点方法を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	新版 K 式発達検査①検査の目的・内容・方法		
	該当する到達目標	予習	手引書などを読んで、検査の目的・内容・実施方法をまとめておく。	1 時間
	4	復習	新版 K 式発達検査の目的・内容・実施方法を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	新版 K 式発達検査②検査の実施		
	該当する到達目標	予習	手引き書などを熟読しておく。	1 時間
	4	復習	新版 K 式発達検査の実施方法を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	新版 K 式発達検査③結果のまとめ		
	該当する到達目標	予習	手引書を読んで、採点方法をまとめておく。	1 時間
	4	復習	新版 K 式発達検査の採点方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	言語・コミュニケーション発達スケール①検査の目的・内容・方法		
	該当する到達目標	予習	手引書を読んで、検査の目的・内容・実施方法をまとめておく。	1 時間
	5	復習	言語・コミュニケーション発達スケールの目的・内容・実施方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	言語・コミュニケーション発達スケール②検査の実施および結果のまとめ		
	該当する到達目標	予習	実施方法と採点方法を熟読しておく。	0.5 時間
	5	復習	言語・コミュニケーション発達スケールの実施方法・採点方法を理解する。	2 時間
備考	・オフィスアワー：五十嵐：木曜日 2 限目、金曜日 2 限目、質問はメールでも受け付ける。 ・メール：igarashi-k@takasaki-u.ac.jp ・研究室 8 号館 5 階 506 ・予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	知的障害児の指導(特別支援)			CEE141	講義
担当教員	浦崎 源次				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標	知的障害児学校や学級で授業を計画し実践するために必要な知識を得る。さらに、知的障害教育における授業の通常の学校における授業との共通点と差異点を知る。				
到達目標	1. 学習指導要領における知的障害領域に関する内容を理解する。 2. 知的障害教育における教科の特徴を理解する。 3. 知的障害教育における教科内容をスモールステップで自分なりに系統化する。 4. 指導案を作成できる。 5. 授業における教師の言動を評価する視点をもつ				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 30%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	講義中にコメントする。 定期試験の前に、出題について口頭で示す。				
使用教材	教科書は使用しないが、特別支援学校学習指導要領とその解説を読むことを予習課題としている回があるので、各自所持していることが望ましい。				
1	講義内容	特別支援学校の教育課程			
	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領の総則を読む。	1.5 時間	
	1.2	復習	特別支援学校における教育課程の特徴、知的障害特別支援学校の教育課程の特徴をまとめる。	1 時間	
2	講義内容	個別の教育支援計画・個別の指導計画			
	該当する到達目標	予習	文献やインターネットで個別の教育支援計画と個別の指導計画を渉猟し、実例をみておく。	1.5 時間	
	1.4	復習	個別の教育支援計画と個別の指導計画の違い、授業との関係についてまとめる。	1 時間	
3	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(1)—生活科の意義			
	該当する到達目標	予習	小学校と特別支援学校の学習指導要領や解説の生活科の部分を読む。	1.5 時間	
	1.2,3,4	復習	知的障害教育における生活科の特徴を小学校と比較してまとめる。	1 時間	
4	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(2)—生活科の内容			
	該当する到達目標	予習	配付資料の生活科の箇所を読む。	1.5 時間	
	1.2,3,4,5	復習	生活科の内容を教科内容の視点で整理する。	1 時間	
5	講義内容	知的障害特別支援学校における自立活動			
	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領と解説における自立活動の箇所で知的障害について記述されている箇所を読む。	1.5 時間	
	1.2. 4	復習	生活科と自立活動の関係を整理する。	1 時間	
6	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(3)—国語(音声言語)			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領の国語科における「話す・聞く」の箇所を読む。	1.5 時間
	1.2.3.4.	復習	1段階の「話す・聞く」の内容を教科内容の視点で整理する。	1 時間
7	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(4)―国語(書記言語)		
	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領の国語科における「読む」、「書く」の箇所を読む。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	2段階までの「読む」、「書く」の内容を教科内容の視点で整理する。	1 時間
8	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(5)―算数(数と計算)		
	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領の算数科における「数と計算」の箇所を読む。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	10までの数の学習を教科内容の視点で整理する。	1 時間
9	講義内容	知的障害特別支援学校の教科内容(6)―算数(量と測定)		
	該当する到達目標	予習	特別支援学校学習指導要領の算数科における「量と測定」の箇所を読む。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	長さの学習を教科内容の視点で整理する。	1 時間
10	講義内容	日常生活の指導・遊びの指導		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読んで、優れた点、問題点をみつける。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	日常生活の指導、遊びの指導の指導計画のポイントをまとめる。	1 時間
11	講義内容	生活単元学習・作業学習		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読んで、優れた点、問題点をみつける。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	生活単元学習、作業学習の指導計画のポイントをまとめる。	1 時間
12	講義内容	授業におけるノンバーバルコミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	言葉を使わずに何かが伝わる例を考えたり、思い出したり、みつける。	1.5 時間
	5	復習	ノンバーバルコミュニケーションの種類と例をまとめる。	1 時間
13	講義内容	授業におけるバーバルコミュニケーション構造と機能		
	該当する到達目標	予習	言葉を使っているのに伝わらない例を考えたり、思い出したり、みつける	1.5 時間
	2,5	復習	言葉かけのポイントをまとめる。	1 時間
14	講義内容	授業分析の方法		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む	1.5 時間
	2,5	復習	授業分析の方法の長短をまとめる。	1 時間
15	講義内容	授業評価の視点		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業評価の視点をまとめる	1 時間
備考	オフィスアワー:金曜 2 限 メールアドレス:g-urasaki@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 407 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		肢体不自由児の指導(特別支援)			CEE142	講義
担当教員		松田直				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		学生が肢体不自由児(単一障害、重複障害)に対して、個々の実態に適した指導のあり方を具体的に理解すること。				
到達目標		1.肢体不自由のある幼児・児童・生徒に対して就学前の機関(保育所・幼稚園・療育機関等)で実践されている指導法の要点を理解すること。 2.肢体不自由のある児童生徒を対象とする特別支援学校や特別支援学級で実践されている教育課程や主な指導法の要点を理解すること。 3.一人一人の児童・生徒の実態を把握して指導の方針を考える基礎を身に付けること。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中の発言(20%)、毎回のリアクションペーパー(20%)、試験(60%)を総合して評価する。				
課題に対する フィードバック		リアクションペーパーに書かれた感想・疑問・意見について、次回の授業の冒頭で取り上げ、補足説明や松田の感想を伝える。				
使用教材		必要な資料は随時配付する。特別支援学校学習指導要領を随時参照する。				
1	講義内容	オリエンテーションー肢体不自由児の状態像の多様性				
	該当する到達目標	予習	肢体不自由児の心理・生理・病理で学んだことを振り返る。			1.5 時間
	3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
2	講義内容	特別支援学校における教育課程				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	2.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	特別支援学級における教育課程				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	2.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	個別の指導計画と自立活動の指導				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	運動面の指導				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	感覚・認知面の指導				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	コミュニケーションの指導(その 1)ー発信面				
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	コミュニケーションの指導(その 2)ー受信面				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
9	講義内容	探索活動の指導		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活動作の指導(その 1)－食事について		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	日常生活動作の指導(その 2)－排泄・着脱について		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	作業動作の指導		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	余暇活動の指導		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	進路の指導		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	配付した資料を読んで理解に努める。	2.0 時間
	1.2.3.	復習	授業で配付した資料と紹介したビデオについて振り返る。	2.0 時間
備考	随時配布する資料を授業の前後に繰り返し読むこと。専門用語で十分に理解できなかった言葉については、必ず医学事典や心理学事典、障害児教育学事典などの書籍やインターネットで検索して理解できるようにしておくこと。 肢体不自由児一人ひとりに適切な指導を考えることを身につけてほしい。 オフィスアワー: 火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス: matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		病弱児の指導(特別支援)			CEE143	講義
担当教員		松田直				
学年・開講期		4 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		学生が病弱児を対とする特別支援学校・特別支援学級の教育について概要を理解し、種々の病気に罹患している児童生徒一人ひとりの実態に適した教育を具体的に考えること。				
到達目標		1.病弱児教育の骨格を理解する。 2.児童生徒の病状と学校教育の場の関係について理解する。 3.病塾教育の教育課程、指導上の配慮について理解する。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中の発言(20%)、毎回のリアクションペーパー(20%)、試験(60%)を総合して評価する。				
課題に対するフィードバック		毎回のリアクションペーパーに書かれた感想・疑問・意見について、次回の冒頭で補足説明や松田の感想を伝える。				
使用教材		必要な資料は随時配布する。特別支援学校学習指導要領を随時参照する。				
1	講義内容	オリエンテーションー病弱児の実態と教育課程				
	該当する到達目標	予習	病弱児を受け入れる特別支援学校のホームページを検索して、病弱児教育の骨格について理解に努める。			1.5 時間
	1,2	復習	授業で配布した資料について振り返る。			1.5 時間
2	講義内容	病弱児教育の変遷と全国および群馬県の現状				
	該当する到達目標	予習	群馬県の病弱児教育について調べる。			1.5 時間
	1,2	復習	授業で配布した資料とビデオについて振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	病弱児への教科指導と自立活動の指導				
	該当する到達目標	予習	自立活動について理解を深めておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	呼吸器疾患を伴う児童生徒の指導				
	該当する到達目標	予習	呼吸器疾患について理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	心臓疾患を伴う児童生徒の指導				
	該当する到達目標	予習	心臓疾患について理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	腎臓・泌尿器疾患を伴う児童生徒の指導				
	該当する到達目標	予習	腎臓・泌尿器疾患について理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料とビデオについて振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	消化器疾患を伴う児童生徒の指導				
	該当する到達目標	予習	消化器疾患について理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	骨・関節疾患および二分脊椎を伴う児童生徒の指導				
	該当する到達目標	予習	骨・関節疾患と二分脊椎について理解に努める。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
9	講義内容	進行性筋ジストロフィ症を伴う児童生徒の指導		
	該当する到達目標	予習	進行性筋ジストロフィ症について理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	脳性まひを伴う児童生徒の指導		
	該当する到達目標	予習	脳性まひについて理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料とビデオについて振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	心身症・精神疾患を伴う児童生徒の指導		
	該当する到達目標	予習	心身症・精神疾患について理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	内分泌・代謝疾患および肥満を伴う児童生徒の指導		
	該当する到達目標	予習	内分泌・代謝疾患について理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	悪性腫瘍を伴う児童生徒の指導		
	該当する到達目標	予習	悪性腫瘍について理解に努める。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	死に瀕した児童生徒および周囲の人への指導		
	該当する到達目標	予習	死に瀕した児童生徒への教育的係わりについて考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料について振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめー多職種連携について		
	該当する到達目標	予習	医療関係者・福祉関係者と教育者の連携について考える。	2.0 時間
	1,2,3	復習	授業で配布した資料とビデオについて振り返る。	2.0 時間
備考	多様な状態像を示す病弱児一人ひとりに適切な教育を行うための教員のあり方について、多くの側面から弾力的に考えられるようになってほしい。 オフィスアワー：火曜日 2 限目、木曜日 3 限目 メールアドレス：matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	知的障害児教育演習(特別支援)				CEE301	演習
担当教員	浦崎 源次					
学年・開講期	4 年 通年	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位			
講義目標	障害児教育の問題は情緒的に語られたり、経験至上主義に陥ることが多々ある。そこで、まず、理論的に考える習慣を身につけたい。次に実践について多角的にみる習慣を身につけたい。					
到達目標	1. 障害児教育の諸問題について自分なりの意見を論理的に表現できる。 2. 知的障害教育の諸問題について自分なりの意見を論理的に表現できる。 3. PDCAの視点をもって授業を実践する態度を身につける。 4. 研究的な視点をもって子どもとかかわる態度を身につける。					
学位授与方針	✓	豊かな人間性と教養				
との対応	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	✓	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	レポート 60%、演習中の発言 40%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対する フィードバック	演習中に適宜コメントする。					
使用教材	原則として検討する教材は学会誌などから学生がみつけたものとする。 指導案の検討においてはできれば学生が教育実習において作成した指導案を教材としたい。適当なものがない場合は学生が見つけた指導案を教材とする。					
1	講義内容	授業の概要と進め方(オリエンテーション)				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	指導案の検討(1)日常生活の指導－指導計画について				
	該当する到達目標 2.3.4	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。			1.5 時間
		復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる。			1 時間
3	講義内容	指導案の検討(2)日常生活の指導－授業の展開について				
	該当する到達目標 2.3.4	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。			1.5 時間
		復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる			1 時間
4	講義内容	指導案の検討(3)遊びの指導－指導計画について				
	該当する到達目標 2.3.4	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。			1.5 時間
		復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる			1 時間
5	講義内容	指導案の検討(4)遊びの指導－授業の展開について				
	該当する到達目標 2.3.4	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。			1.5 時間
		復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる			1 時間
6	講義内容	指導案の検討(5)生活単元学習－指導計画について				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。	1.5 時間
	2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる	1 時間
7	講義内容	指導案の検討(5)生活単元学習－授業の展開について		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読んで優れた点、問題点を整理する。	1.5 時間
	2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に配付資料の優れた点、問題点をまとめる	1 時間
8	講義内容	「障害児教育は教育の原点である」について考える(1)語られ方と機能		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1.2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
9	講義内容	「障害児教育は教育の原点である」について考える(2)原点の意味		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
10	講義内容	「障害は個性である」について考える(1)積極的主張の立場		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
11	講義内容	「障害は個性である」について考える(2)懐疑的立場		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
12	講義内容	出生前診断について考える		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
13	講義内容	早期発見・早期治療(支援)について考える		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
14	講義内容	「知的障害教育の本質は生活か教科か」問題を考える(1)生活重視の立場		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
15	講義内容	「知的障害教育の本質は生活か教科か」問題を考える(2)教科重視の立場		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
16	講義内容	「知的障害教育の本質は生活か教科か」問題を考える(3)「教科も生活も」は可能か		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
17	講義内容	知的障害教育における学力について考える		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
18	講義内容	インクルーシブ教育時代における知的障害教育の課題)		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
19	講義内容	知的障害児の言語発達に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
20	講義内容	知的障害児の国語科に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
21	講義内容	知的障害児の算数能力の発達に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
22	講義内容	知的障害児の算数・数学科に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
23	講義内容	知的障害児の運動発達に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
24	講義内容	知的障害児の描画発達に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
25	講義内容	知的障害児の音楽能力に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
26	講義内容	知的障害児の言語障害に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
27	講義内容	知的障害児の青年期教育に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1.2.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
28	講義内容	知的障害児教育の幼児教育・療育に関する文献を読む		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1.2.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
29	講義内容	知的障害教育における専門性について考える(1)関連領域の職種との関係において		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1.2.3.4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
30	講義内容	知的障害教育における専門性について考える(2)他の教職との関係において		
	該当する到達目標	予習	配付資料を読む。配付資料に示されている参考文献を1つ探して読む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	メンバーの意見や教員のコメントを参考に自分の意見をまとめる	1 時間
備考	オフィスアワー: 金曜 1 限 メールアドレス: g-urasaki@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 407			

科目名		肢体不自由児教育演習(特別支援)			CEE302	演習
担当教員		松田直				
学年・開講期		4 年 通年	必選・単位数	選択必修 2 単位		
講義目標		多様な状態像を示す肢体不自由児の実態をとのように捉え、どのような保育・教育を試みるか、様々な実践事例を読み、理解を深め、自分が担当であれば具体的にどのような改善を図るか考える場にしたい。また、卒業研究で実践研究を行っている学生にも論文作成の参考になる演習にしたい。				
到達目標		1.肢体不自由児の実態を理解する。 2.肢体不自由児に対する保育・教育の実践を理解する。 3.肢体不自由児に対する教育実践論文を主体的・批判的に読む力を付ける。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		実践論文の紹介、意見交換において、理解力 70%・批判力 30%で評価する。				
課題に対する フィードバック		実践論文についての質疑応答・意見交換のなかで、松田が補足説明やコメントを述べる。比較的読みやすい実践論文、難易度が中程度の実践論文、やや難易度の高い実践論文へとステップアップしていく。				
使用教材		「障害児教育学研究」、「重度重複障害児の事例研究」から学生が選択する教育実践論文。学習指導要領を随時参照する。				
1	講義内容	オリエンテーション、実践論文の選択、発表の順番を決定				
	該当する到達目標	1	予習	肢体不自由児について 3 年間に学んだことを振り返る。		1.5 時間
		1	復習	自分が紹介する実践論文を読む。		1.5 時間
2	講義内容	幼児期の肢体不自由児の保育実践事例(その 1)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	保育実践事例(その 1)を読む。		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	幼児期の肢体不自由児の保育実践事例(その 2)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	保育実践事例(その 2)を読む		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
4	講義内容	幼児期の肢体不自由児の保育実践事例(その 3)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	保育実践事例(その 3)を読む		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
5	講義内容	幼児期の肢体不自由児の保育実践事例(その 4)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	保育実践事例(その 4)を読む		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
6	講義内容	幼児期の肢体不自由児の保育実践事例(その 5)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	保育実践事例(その 5)を読む		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
7	講義内容	小学部低学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 1)				
	該当する到達目標	1,2,3	予習	小学部低学年の教育実践事例(その 1)を読む		1.5 時間
		1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。		1.5 時間
8	講義内容	小学部低学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 2)				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	小学部低学年の教育実践事例(その 2)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	小学部低学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 3)		
	該当する到達目標	予習	小学部低学年の教育実践事例(その 3)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	小学部低学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 4)		
	該当する到達目標	予習	小学部低学年の教育実践事例(その 4)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	小学部低学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 5)		
	該当する到達目標	予習	小学部低学年の教育実践事例(その 5)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	小学部高学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 1)		
	該当する到達目標	予習	小学部高学年の教育実践事例(その 1)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	小学部高学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 2)		
	該当する到達目標	予習	小学部高学年の教育実践事例(その 2)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	小学部高学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 3)		
	該当する到達目標	予習	小学部高学年の教育実践事例(その 3)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	小学部高学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 4)		
	該当する到達目標	予習	小学部高学年の教育実践事例(その 4)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
16	講義内容	小学部高学年の肢体不自由児の教育実践事例(その 5)		
	該当する到達目標	予習	小学部高学年の教育実践事例(その 5)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
17	講義内容	中学部の肢体不自由児の教育実践事例(その 1)		
	該当する到達目標	予習	中学部の教育実践事例(その 1)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
18	講義内容	中学部の肢体不自由児の教育実践事例(その 2)		
	該当する到達目標	予習	中学部の教育実践事例(その 2)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
19	講義内容	中学部の肢体不自由児の教育実践事例(その 3)		
	該当する到達目標	予習	中学部の教育実践事例(その 3)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
20	講義内容	中学部の肢体不自由児の教育実践事例(その 4)		
	該当する到達目標	予習	中学部の教育実践事例(その 4)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
21	講義内容	中学部の肢体不自由児の教育実践事例(その 5)		
	該当する到達目標	予習	中学部の教育実践事例(その 5)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
22	講義内容	高等部の肢体不自由児の教育実践事例(その 1)		

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標	予習	高等部の教育実践事例(その 1)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
23	講義内容	高等部の肢体不自由児の教育実践事例(その 2)		
	該当する到達目標	予習	高等部の教育実践事例(その 2)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
24	講義内容	高等部の肢体不自由児の教育実践事例(その 3)		
	該当する到達目標	予習	高等部の教育実践事例(その 3)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
25	講義内容	高等部の肢体不自由児の教育実践事例(その 4)		
	該当する到達目標	予習	高等部の教育実践事例(その 4)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
26	講義内容	高等部の肢体不自由児の教育実践事例(その 5)		
	該当する到達目標	予習	高等部の教育実践事例(その 5)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
27	講義内容	卒後の教育実践事例(その 1)		
	該当する到達目標	予習	卒後の教育実践事例(その 1)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
28	講義内容	卒後の教育実践事例(その 2)		
	該当する到達目標	予習	卒後の教育実践事例(その 2)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
29	講義内容	卒後の教育実践事例(その 3)		
	該当する到達目標	予習	卒後の教育実践事例(その 3)を読む	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
30	講義内容	この演習で学んだことを振り返る		
	該当する到達目標	予習	これまで読んできた教育実践で特に興味を持った事例を読み返す	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業を振り返り、理解を深める。	1.5 時間
備考	毎回の発表者は、実践論文の要点をまとめたレジュメを用意し、内容を紹介すると共に、自分が担任であったとしたらどのような保育・教育実践を試みるかについても発表し、他の受講生と意見交換を活発に行うこと。難易度°の 高い実践論文については、数名のグループで読み進め、不明な事項は確実に解明していく。 オフィスアワー:火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名		病弱児教育演習			CEE303	演習
担当教員		村田 美和				
学年・開講期		4 年 通年	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		病弱児一人ひとりの実態に応じた教育課程、指導計画、指導実践の資料を理解し、具体的な支援についての考えを深めていく。病弱児特別支援学校や病弱児特別支援学級に在籍している児童・生徒を対象とした事例研究に関する研究的な討議を行い、多様な病状にある子どもの個々の状態に応じた合理的配慮について検討し、そういった子どもたちに対する教育の実践力を身につけていくことを目的とする。				
到達目標		1.多様な病状にある病弱児の実態に応じた支援について説明できる。 2.病弱児教育の実践事例をもとに、研究的な議論ができる。 3.病弱児の実態に応じた合理的配慮について説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		収集した資料の内容、資料整理の状態を 50%、研究討議における発言、報告会での発表を 50%として評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		疑問点や不明点について、質問を受け付ける。				
使用教材		学習指導要領。その他、必要な資料を授業内で配布する。				
	講義内容	オリエンテーション				
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、本講義の目標を理解する。			1.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針などを確認する。			1.5 時間
	講義内容	病弱児の心理等の実態について				
2	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	病弱児の心理等の実態について理解する。			1.5 時間
	講義内容	病弱児の教育課程について				
3	該当する到達目標	予習	学習指導要領に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	病弱児の教育課程について理解する。			1.5 時間
	講義内容	病弱児の指導法について				
4	該当する到達目標	予習	学習指導要領に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	病弱児の指導法について理解する。			1.5 時間
	講義内容	病弱児を対象とした実践研究について				
5	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	実践研究の重要性について理解する。			1.5 時間
	講義内容	研究対象児および保護者、所属機関に対する配慮について				
6	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	保護者や所属機関に対する配慮について理解する。			1.5 時間
	講義内容	実践研究のまとめ方について				
7	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。			1.5 時間
	1,2,3	復習	実践研究のまとめ方について理解する。			1.5 時間

8	講義内容	病弱児教育に関する参考文献の活用について		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	参考文献の活用について理解し、文献を実際に探してみる。	1.5 時間
9	講義内容	実践研究の事例紹介		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践研究の事例について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	実践事例の心理等の実態に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践事例の心理等の実態について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	実践事例の教育課程に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践事例の教育課程について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	実践事例の教科指導法に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践事例の教科指導法について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	実践事例に関連のある文献の検討(心理等に関して)		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践事例に関連する文献のポイントについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	実践事例に関連のある文献の検討(指導法に関して)		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	実践事例に関連する文献のポイントについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	実践事例の中間報告会		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	他の人の発表を理解し、今後の自分の発表に生かせる部分についてまとめる。	1.5 時間
16	講義内容	実践事例の「問題の所在」に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「問題の所在」について理解する。	1.5 時間
17	講義内容	実践事例の「目的・方法」に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「目的・方法」について理解する。	1.5 時間
18	講義内容	実践事例の「経過」(当初の参与観察)に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「経過」(当初の参与観察)について理解する。	1.5 時間
19	講義内容	実践事例の「経過」(第 1 期の関わり)に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「経過」(当初の参与観察)について理解する。	1.5 時間
20	講義内容	実践事例の「経過」(第 2 期の関わり)に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「経過」(第 2 期の関わり)について理解する。	1.5 時間
21	講義内容	実践事例の「経過」(第 3 期の関わり)に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「経過」(第 3 期の関わり)について理解する。	1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

22	講義内容	実践事例の「考察」に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	実践事例の「考察」について理解する。	1.5 時間
23	講義内容	「問題の所在」の見直し		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「問題の所在」について理解し自分の考えをまとめる。	1.5 時間
24	講義内容	「目的・方法」の見直し		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「目的・方法」について理解し自分の考えをまとめる。	1.5 時間
25	講義内容	「経過」のまとめ方の見直し		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「経過」について理解し自分の考えをまとめる。	1.5 時間
26	講義内容	「考察」のまとめ方の見直し		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	「考察」について理解し自分の考えをまとめる。	1.5 時間
27	講義内容	他の実践研究(文献)との比較に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	他の実践研究について理解を深める。	1.5 時間
28	講義内容	実践事例の報告会		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	他の人の発表を理解し、今後の自分の発表に生かせる部分についてまとめる。	1.5 時間
29	講義内容	実践事例を踏まえた病弱児の合理的配慮に関する研究討議		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	病弱児の合理的配慮について再確認する。	1.5 時間
30	講義内容	実践事例を踏まえた病弱児の合理的配慮に関するまとめ		
	該当する到達目標	予習	参考資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	病弱児の合理的配慮について再確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 2 限、火曜 5 限 メールアドレス: murata-m@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 502 号室			

科目名	視覚障害・聴覚障害教育総論(特別支援)			CEE101	講義
担当教員	金澤 貴之 中村 保和				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標	視覚障害教育および聴覚障害教育の概要と特徴について理解し、視覚障害児および聴覚障害児の指導の基本について理解を深め、こうした子どもたちに対する特別支援教育の視点を養う。				
到達目標	1.視覚障害および聴覚障害の生理・病理の基礎的事項について説明することができる。 2.視覚障害児および聴覚障害児の心理について理解し、教育場面や生活場面における心理面への対応を説明することができる。 3.視覚障害教育および聴覚障害教育の歴史や制度等について、保育や教育に関する基礎的事項を説明することができる。 4.視覚障害教育および聴覚障害教育の特徴を踏まえて、こうした子どもたちの教育課程や指導法の概要について説明することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	視覚障害教育に関する最終レポート(50%)と聴覚障害教育に関する最終レポート(50%)を総合して評価し、総合評価60%以上を合格とする。なお、これらの最終レポートは本講義数(全15回)の2／3以上を出席した者が提出できるものとし、出席回数が満たない者のレポートは評価の対象としない。				
課題に対する フィードバック	特に行わない。質問等があれば個別に応じる。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバス内容を読んで講義の目標等を理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与の方針、成績評価方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	視覚障害Ⅰ：視覚障害教育とは？視覚障害の定義、視覚障害教育の歴史と変遷、教育課程			
	該当する到達目標	予習	視覚障害教育の概要を文献等で調べ確認する。		1 時間
		3	復習	視覚障害の定義を踏まえたうえで、視覚障害教育の概要を理解する。	
3	講義内容	視覚障害Ⅱ：視覚障害の理解① ものを見る仕組みとその障害			
	該当する到達目標	予習	通常の目の働きについて、図書やインターネットを通して把握しておく。		1 時間
		1	復習	目のしくみやその障害について、理解する。	
4	講義内容	視覚障害Ⅲ：視覚障害の理解② 見え方の個人差と視機能評価			
	該当する到達目標	予習	ものの見え方や視力検査の方法などについて図書やインターネットで調べる。		1 時間
		1,2	復習	眼疾患ごとの見え方の違いについて理解し、視機能評価の種類について知る。	
5	講義内容	視覚障害Ⅳ：シミュレーションレンズによる弱視疑似体験、体験の振り返りと共有			
	該当する到達目標	予習	屈折異常や視野狭窄など種々の視覚障害の種類や程度について調べておく。		1 時間
		1, 2	復習	疑似体験で感じたことを振り返り、視覚障害の程度や種類の理解を深める。	
6	講義内容	視覚障害Ⅴ：視覚障害の子どもが日常生活および学校生活で遭遇する困難とそれへの配慮			
	該当する到達目標	予習	視覚障害児の抱える困難について調べておく。		1 時間
		2	復習	視覚障害がもたらす生活・学習上の困難とそれへの配慮について理解する。	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

7	講義内容	視覚障害VI: 視覚重複障害—盲ろう二重障害を中心に—		
	該当する到達目標 3	予習	知的障害や肢体不自由病弱などの他の障害種の特徴について確認しておく。	1 時間
		復習	視覚障害に他の障害を有する子ども達の発達上の困難について理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	視覚障害VII: 初期学習と概念形成—点字導入に向けて—		
	該当する到達目標 4	予習	盲学校(視覚特別支援学校)における学習内容や教育課程について調べておく。	1 時間
		復習	触覚による概念形成の特徴や点字学習の基礎について理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	聴覚障害 I: 「聴覚障害」とは？		
	該当する到達目標 1,2	予習	「聴覚障害」の概要を文献等で調べ確認する。	1 時間
		復習	聴覚障害の定義, 特性を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	聴覚障害 II: 聴覚特別支援学校(聾学校)の教育課程・指導法		
	該当する到達目標 3	予習	聾学校(聴覚特別支援学校)の教育課程と指導法について文献で調べておく。	1 時間
		復習	聾学校(聴覚特別支援学校)の教育課程の構造を確認し, 指導法を整理する。	1.5 時間
11	講義内容	聴覚障害 III: 乳幼児期の関わり方		
	該当する到達目標 1,2	予習	乳幼児期の聴覚障害児への関わり方について, インターネット等で調べておく。	1 時間
		復習	乳幼児期の関わりにおいて大切なことを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	聴覚障害 IV: 言語獲得の課題(話し言葉)		
	該当する到達目標 3	予習	聴覚障害児の話し言葉の獲得を巡る諸課題について, インターネット等で調べておく。	1 時間
		復習	言語指導の変遷および言語獲得のポイントを整理し, 理解する。	1.5 時間
13	講義内容	聴覚障害 V: 言語獲得の課題(書き言葉)		
	該当する到達目標 3	予習	聴覚障害児の書記日本語の習得を巡る諸課題について, インターネット等で調べておく。	1 時間
		復習	書記日本語の獲得を巡る課題および改善に向けた方策について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	聴覚障害VI: 手話の位置づけ		
	該当する到達目標 3	予習	「手話」について, 文献およびインターネット等で調べる。	1 時間
		復習	言語としての手話について理解を深め, その使用を巡る聾教育での課題について整理し, 理解する。	1.5 時間
15	講義内容	聴覚障害 VII: 重複障害児者の教育および卒後の支援		
	該当する到達目標 3,4	予習	「聾重複」について, 文献およびインターネット等で調べる。	1 時間
		復習	聾重複障害児者の教育および卒後の支援について, 構造的に理解する。	1.5 時間
備考	講義時および講義後の質問は積極的に受け付ける。講義担当者は非常勤講師のため、講義外での質問はメールで受け付ける。 代表メールアドレス : ynakamura@gunma-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		知的障害者教育総論(特別支援)			CEE102	講義
担当教員		浦崎 源次				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	保育・教育コース 選択 2 単位 教員養成コース 選択 2 単位		
講義目標		後に履修する心理・生理・病理や教育課程・指導法などの各論を学習するための基礎学習として、知的障害教育にかかる全般についての概念や用語など基礎的な知識を得る。あわせて、本学の教育課程において最初に学習する特別支援教育科目であることを踏まえ、特別支援教育や障害の全般にかかわる基礎的・基本的な知識を獲得する。				
到達目標		1. 特別支援教育の対象となる障害の種類・程度と教育機関について理解する。 2. 知的障害教育の現状を理解する。 3. 知的障害児の行動特性を理解する。 4. 知的障害の原因を理解する。 5. 特別支援教育史における知的障害児教育の歴史の特徴を理解する。 6. 知的障害児教育の教育課程の特徴を理解する。 7.知的障害児教育の授業の特徴を理解する。				
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と教養			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		定期試験 90%、授業中の発言等 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対する フィードバック		講義中にコメントする。				
使用教材		教科書は使用しない。 なお、第 3 回、第 11 回～第 14 回の講義では特別支援学校学習指導要領とその解説を読むことを予習課題にしているので各自購入しておくことが望ましい。				
1	講義内容	特別支援学校教員免許制度の概要				
	該当する到達目標 1	予習	群馬県教育委員会のHPに掲載されている「大学等で基礎資格と単位を修得し、特別支援学校教諭免許状を取得したい方」「複数の教育領域を取得する方法」を読んで、特別支援学校教諭免許取得の要件を理解する。			1 時間
		復習	特別支援学校免許を取得するための4年間の計画を立てる。			1.5 時間
2	講義内容	特別支援教育の概要				
	該当する到達目標 1,2	予習	文科省の HP に掲載されている「特別支援教育資料」の統計をもとに、文科省や国立特別支援教育総合研究所の HP に掲載されている「特別支援教育の対象の概念図」を最新の情報に置き換える。			1 時間
		復習	特別支援教育の対象者数の変遷をまとめる。			1.5 時間
3	講義内容	障害概念と知的障害				
	該当する到達目標 1,3	予習	・『障害者白書』に掲載されている障害者の統計資料を読む。 ・『特別支援学校学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部・高等部)』の「第3章今回の改訂の要点」の「2障害のとりえ方と自立活動」の「(1)障害のとりえ方の変化」を読む。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

		復習	ICFにおける障害のとらえかたの特徴をまとめる。知的障害の特徴を他の障害と比較しながらまとめる。	1.5 時間
4	講義内容	知的障害児の理解		
	該当する到達目標 3	予習	文科省 HP 掲載の『教育支援資料』の「第3編 障害の状態等に応じた教育的対応」の「Ⅲ 知的障害」の「4 知的障害の理解と障害の状態の把握」を読む。	1 時間
		復習	知的障害の定義と診断についてまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	知的障害の生理・病理Ⅰ－出生前(染色体異常)		
	該当する到達目標 4	予習	配付資料の染色体異常に関する箇所に目を通す。	1 時間
		復習	染色体異常と知的障害の関係をまとめる。	1.5 時間
6	講義内容	知的障害の生理・病理Ⅱ－出生前(代謝異常、その他)		
	該当する到達目標 4	予習	配付資料の周代謝異常とその他の箇所に目を通す。	1 時間
		復習	代謝異常等と知的障害の関係をまとめる。	1.5 時間
7	講義内容	知的障害の生理・病理Ⅱ－周産期、出生後		
	該当する到達目標 4	予習	配付資料の周産期、出生後の箇所に目を通す。	1 時間
		復習	知的障害の周産期、出生後の原因をまとめる。	1.5 時間
8	講義内容	知的障害教育の歴史－西洋		
	該当する到達目標 1,5	予習	配付資料「障害児教育の年表－西洋」に目を通す	1 時間
		復習	欧米における知的障害教育の創始と発展を他の障害と比較しながらまとめる	1.5 時間
9	講義内容	知的障害教育の歴史－日本(昭和 10 年代まで)		
	該当する到達目標 1,5	予習	国立特別支援教育総合研究所 HP 掲載の「障害児教育の歴史(1)就学義務制施行前」を読む。	1 時間
		復習	日本における知的障害教育の創始を他の障害や欧米と比較しながらまとめる	1.5 時間
10	講義内容	知的障害教育の歴史－日本(昭和 20 年代以降)		
	該当する到達目標 1,5	予習	国立特別支援教育総合研究所 HP 掲載の「障害児教育の歴史(2)就学義務制施行後」を読む	1 時間
		復習	知的障害教育の義務化の過程を他の障害と比較しながらまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	特別支援学校のエデュケーション		
	該当する到達目標 1,6,7	予習	『特別支援学校学習指導要領解説総則等編(幼稚園・小学部・中学部)』の第3編「小学部・中学部学習指導要領解説」の第2部「小学部・中学部学習指導要領総則等の解説」の第 1 章「教育課程の編成及び実施」の第7節「重複障害者等に関する教育課程の取り扱い」を読む	1 時間
		復習	特別支援学校のエデュケーションの特徴を小学校、中学校と比較しながらまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	知的障害特別支援学校のエデュケーション		
	該当する到達目標 1,6,7	予習	『特別支援学校学習指導要領解説総則等編(幼稚園・小学部・中学部)』の「第3編小学部・中学部学習指導要領解説」の「第2部小学部・中学部学習指導要領総則等の解説」の「第3章知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」の「第1節各教科の基本的な考え方」を読む	1 時間
		復習	知的障害特別支援学校のエデュケーションの特徴を他の障害と比較しながらまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	知的障害教育における教科の特徴		
	該当する到達目標 1,6,7	予習	『特別支援学校学習指導要領解説総則等編(幼稚園・小学部・中学部)』の「第3編小学部・中学部学習指導要領解説」の「第2部小学部・中学部学習指導要領総則等の解説」の「第3章知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学	1.時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

			校の各教科」の「第3節小学部の各教科」を読む	
		復習	知的障害特別支援学校生活科、国語科、算数科の特徴を小学校と比較しながらまとめる	1.5 時間
	講義内容	「合わせた指導」		
14	該当する到達目標 1,6,7	予習	馬県総合教育センターHP 掲載の「特別支援教育指導資料」21 集と 24 集所収の「遊びの指導」と「生活単元学習の指導」の箇所を読む。	1 時間
		復習	「合わせた指導」と「教科別の指導」の違いをまとめる。VTRを思い出しながら、子どもたちが学んだと判断したことをまとめる。	1.5 時間
	講義内容	知的障害児教育の課題について		
15	該当する到達目標 1,2	予習	・文科省 HP 掲載の『教育支援資料』の「第3編 障害の状態等に応じた教育的対応」の「Ⅲ 知的障害」の「1 知的障害のある子供の教育的ニーズ」を読む ・国立特別支援教育総合研究所 HP「障害のある子どもの教育の広場」の「3 知的障害教育」の「[4]職業教育と進路指導」を読む	1 時間
		復習	知的障害児の就学前と卒業後の課題を理解する	1.5 時間
備考	オフィスアワー:金曜 1 限 メールアドレス:g-urasaki@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 407 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		重複障害児教育総論(特別支援)			CEE103	講義
担当教員		松田 直				
学年・開講期		1 年 後期	必修・単位数	選択必修 2 単位		
講義目標		学生が感覚障害、運動障害、知的障害など多様な状態像を示す重複障害児を教育的な視点からどのように理解し、どのような教育課程を設定して具体的な指導を試みればよいかを理解すること。				
到達目標		1. 重複障害児の多様性を理解する。 2. 重複障害児の実態を把握する際の心理学的、医学的な視点を疑似体験も踏まえて理解する。 3. 重複障害児に対して具体的な指導を試みる際の基本的な留意点を理解する。				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と教養			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		授業中の発言(20%)、毎回のリアクションペーパー(20%)、試験(60%)を総合して評価する。				
課題に対する フィードバック		毎回の資料(ビデオ、文字資料など)に関するリアクションペーパーに書かれた疑問・感想・意見などについて、次回の授業の冒頭で取り上げ、学生の理解の修正と深化を図る。				
使用教材		必要な資料は随時配布する。毎回、重複障害児の教育実践ビデオを使用する。盲聾疑似体験教材も使用する。特別支援学校学習指導要領を随時参照する。				
1	講義内容	重複障害という概念について				
	該当する到達目標	予習	重複障害児について、インターネット等で調べる。			1.5 時間
	1	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
2	講義内容	重複障害児の状態像				
	該当する到達目標	予習	重複障害児の多様性について調べる。			1.5 時間
	1,2	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
3	講義内容	重複障害児教育の歴史と現状				
	該当する到達目標	予習	重複障害児教育の歴史について調べる。			1.5 時間
	1,3	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
4	講義内容	重複障害児の就学と教育課程				
	該当する到達目標	予習	配付資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1,3	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
5	講義内容	重複障害児の実態把握(医学的側面)				
	該当する到達目標	予習	重複障害児の医学的側面について、配付資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1,2	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
6	講義内容	重複障害児の実態把握(心理学的側面)				
	該当する到達目標	予習	重複障害児の心理学的側面について、配布資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1,2	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
7	講義内容	重複障害児の指導計画(その 1)ー指導計画の構成と内容				
	該当する到達目標	予習	重複障害児の指導計画について、配付資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間
8	講義内容	重複障害児の指導計画(その 2)ー指導計画の具体例				
	該当する到達目標	予習	指導計画の具体例について、配付資料を読んで理解に努める。			1.5 時間
	1,2,3	復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。			1.5 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

9	講義内容	重複障害児の探索活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	探索活動に関する配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
10	講義内容	重複障害児のコミュニケーション活動(その 1)―係わり手のあり方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	重複障害児のコミュニケーション活動に関する配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
11	講義内容	重複障害児のコミュニケーション活動(その 2)―盲聾疑似体験		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と盲聾疑似体験について振り返る。	1.5 時間
12	講義内容	医療的ケアを必要とする重複障害児の指導		
	1,2,3	予習	配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
13	講義内容	重複障害児の就学前の指導		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
14	講義内容	重複障害児の就学後の指導		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付資料を読んで理解に努める。	1.5 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	14 回までの配付資料に目を通す。	2.0 時間
		復習	配付資料と授業で紹介したビデオについて振り返る。	2.0 時間
備考	著しく障害の重い重複障害児も教育が可能であることを実感して欲しい。また、専門用語で授業中に十分に理解できなかった言葉については、必ず医学事典や心理学事典、障害児教育学事典などの書籍やインターネットで検索して理解できるようにしておいて欲しい。 オフィスアワー: 火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 メールアドレス: matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	発達障害児教育総論(特別支援)			CEE104	講義
担当教員	五十嵐 一徳 村田 美和				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「見えない障害」と称される発達障害の概念や具体的な障害(LD、ADHD、自閉症スペクトラム障害など)の特性について理解することにより、幼稚園・保育所および通常学級に通う子どもたちの多様性を捉える力をもつようになる。そして、子どもの実態を捉える方法(アセスメント)の結果に基づき指導方法・指導の手立てについて、ディスカッションも交えながら検討していくことで、基礎的な実践力を身につけていくことを目的とする。				
到達目標	1.発達障害の定義や障害種について説明できる。 2.発達障害に対するアセスメントについて説明できる。 3.発達障害に対する支援方法について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と教養			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	✓	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	試験の成績を 70%、レポート・授業態度 30%として評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	随時、わからないことなどについて質問を受け付ける。				
使用教材	講義のスライド等を随時プリントして配付する				
1	講義内容	ガイダンス 発達障害とは			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針などを確認する。 発達障害の定義について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	発達障害児の理解Ⅰ(LD)			
	該当する到達目標 1	予習	参考図書に目を通す。		1 時間
		復習	LD について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	発達障害児の理解Ⅱ(ADHD)			
	該当する到達目標 1	予習	参考図書に目を通す。		1 時間
		復習	ADHD について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	発達障害児の理解Ⅲ(自閉症スペクトラム障害)			
	該当する到達目標 1	予習	参考図書に目を通す。		1 時間
		復習	自閉症スペクトラム障害について理解する。		1.5 時間
5	講義内容	学習面におけるアセスメントⅠ(読み書きの速度と ICT の評価)			
	該当する到達目標 2	予習	参考図書①第 3、4 章に目を通す。		1 時間
		復習	学習面においてなぜアセスメントが必要なのか理解する。		1.5 時間
6	講義内容	学習面におけるアセスメントⅡ(認知機能の評価)			
	該当する到達目標 2	予習	参考図書①第 2 章に目を通す		1 時間
		復習	学習面におけるアセスメントの内容と種類について理解する。		1.5 時間
7	講義内容	学習面における支援方法Ⅰ(学校のリソースと ICT について)			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 3	予習	参考図書①第 5,6,10 章に目を通す。	1 時間
		復習	支援方法の根拠となる資料の解釈について理解する。	1.5 時間
8	講義内容 学習面における支援方法Ⅱ(小中学校における事例)			
	該当する到達目標 3	予習	参考図書①第 7、8 章に目を通す	1 時間
		復習	ICT を活用した支援方法について理解する。	1.5 時間
9	講義内容 学習面における支援のまとめ			
	該当する到達目標 2, 3	予習	参考図書①第 1 章に目を通す。	1 時間
		復習	学習面の困難さの多様性について理解する。	1.5 時間
10	講義内容 社会的コミュニケーションに対するアセスメント			
	該当する到達目標 2	予習	参考図書に目を通す。	1 時間
		復習	社会的コミュニケーションに対するアセスメントを理解する。	1.5 時間
11	講義内容 社会的コミュニケーションに対する支援方法			
	該当する到達目標 3	予習	参考図書に目を通す。	1 時間
		復習	社会的コミュニケーションに対する支援方法について理解する。	1.5 時間
12	講義内容 行動問題に対するアセスメント			
	該当する到達目標 2	予習	参考図書②に目を通す。	1 時間
		復習	行動問題に対するアセスメントについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容 行動問題に対する支援方法			
	該当する到達目標 3	予習	参考図書②に目を通す。	1 時間
		復習	行動問題に対する支援方法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容 社会的コミュニケーション・行動問題に対する支援のまとめ			
	該当する到達目標 2,3	予習	参考図書②に目を通す。	1 時間
		復習	社会的コミュニケーションと行動問題に対する支援について理解する。	1.5 時間
15	講義内容 まとめ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	14 回目までの講義内容を振り返る。	0.5 時間
		復習	14 回目までの講義内容を振り返り、発達障害に対する支援の全体像を理解する。	2 時間
備考	・質問はメールでも受け付ける。 ・担当教員情報 五十嵐 オフィスアワー:木曜日 2 限目、金曜日 2 限目、 メール igarashi-k@takasaki-u.ac.jp, 研究室:8 号館 5 階 506 村田 オフィスアワー:火曜 2 限、金曜 2 限、 メール:murata-m@takasaki-u.ac.jp, 研究室:8 号館 5 階 502 ・参考図書① 学校での ICT 利用による読み書き支援(金子書房)近藤武夫 編著 ・参考図書②「行動問題」解決ケーススタディ やさしく学べる応用行動分析(中央法規出版)小笠原恵 編著 ・その他の参考図書については、ガイダンス等で紹介する。 ・予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		学校経営と学校図書館(司書教諭)			-	講義
担当教員		井ノ口 雄久				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		情報メディアの収集・整理・保存・提供する図書館サービスを基本として、学校を経営する観点を持ち、社会的変化に対応した学校教育を支える機関としての機運が高まっている。教師と司書教諭による協働(コラボレーション)の大切さを理解し、学校の教育活動における学校図書館活動の課題と展望を考察する。				
到達目標		1. 学校教育における学校図書館活動の重要性を理解する 2. 実際の学校教育に生かすために、学校現場に定着する方法を考え、実践できるようになる				
学位授与方針との対応		-	豊かな人間性と教養			
		-	専門的知識			
		-	問題発見・解決力			
		-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
		-	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法		毎回の課題提出 40%、レポート2回 60%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		毎回の課題と授業の振り返りの提出を受けて、次回の授業で学生の疑問点やさらに解説が必要な事項について解説する。レポートは課題に対して評価できる点、不足している点のコメントを付けて返却する。				
使用教材		教科書「学校経営と学校図書館」 中村百合子編著 樹村房刊 ISBN978-4-88367-251-6 次回の課題、および必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス 司書教諭になるための学習				
	該当する到達目標 1	予習	シラバス、教科書の序文を読んで、講義の目標などを理解する。 第1章1～3に目を通す。			1 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価方法などを確認する。			1 時間
2	講義内容	福島第一原子力発電所事故後の世界と新しい知的社会				
	該当する到達目標 1	予習	第2章1～3に目を通して、課題を考える。			1 時間
		復習	専門的知識の限界と知の民主化が必要となった現代社会の知のあり方について理解する。			1 時間
3	講義内容	これからの学校教育とあるべき学びの形				
	該当する到達目標 1	予習	第3章1～3に目を通して、課題を考える。			1 時間
		復習	新しい知のあり方とは、専門家と市民が協同探求する知である。その知のあり方を実現するための学校教育のあり方と学び方を理解する。			1 時間
4	講義内容	メディアと人間の循環				
	該当する到達目標 1	予習	第4章1～3に目を通して、課題を考える。			1 時間
		復習	新しい知のあり方のための学校教育において、学校図書館はどうあるべきかを理解する。			1 時間
5	講義内容	学校の中の図書館				
	該当する到達目標 1	予習	第5章1～3に目を通して、課題を考える。			1 時間
		復習	日本における学校図書館を含む図書館制度及びその目的、そして学校図書館の目的実現の方法について理解する。			1 時間
6	講義内容	学校図書館の歴史(アメリカ)				
	該当する到達目標	予習	第6章1～3に目を通して、課題を考える。			1 時間

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	学校図書館の本質を具現化していると考えられるアメリカの学校図書館史を理解する。	1 時間
7	講義内容	学校図書館の歴史(日本)		
	該当する到達目標	予習	第 7 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	日本の学校図書館の源流について学び、近年どのように関心が寄せられているか理解する。	1 時間
8	講義内容	日本の学校図書館の現状		
	該当する到達目標	予習	第 8 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	日本の学校図書館の最新の実態により現状を把握し、新しい学校図書館のあり方を理解する。	1 時間
9	講義内容	学校図書館の目的と機能		
	該当する到達目標	予習	第 9 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	近代的学校教育の問題解決のための教育改革の中で誕生・発展してきた学校図書館の目的と機能を総合的に理解する。	1 時間
10	講義内容	学校図書館の図書館サービス		
	該当する到達目標	予習	第 10 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	奉仕機関であり、指導機関である学校図書館の各種のサービスについて理解する。	1 時間
11	講義内容	学校図書館の教育活動		
	該当する到達目標	予習	第 11 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	「読み」の教育、教育内容の改革、教育方法の改革の観点から、学校図書館に期待される教育活動について理解する。	1 時間
12	講義内容	学校図書館の担当者		
	該当する到達目標	予習	第 12 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1	復習	学校図書館運営のための協力体制と学校図書館専門職の成立の可能性の課題について理解する。	1 時間
13	講義内容	学校図書館のマネジメント		
	該当する到達目標	予習	第 13 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1・2	復習	学校図書館の「マネジメント」とその活動の「評価」の課題について理解する。	1 時間
14	講義内容	学校図書館の設計		
	該当する到達目標	予習	第 14 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	1・2	復習	学校図書館の目的・機能・活動のための施設設計どうあるべきかを理解する。	1 時間
15	講義内容	学校図書館研究と学校図書館の発展		
	該当する到達目標	予習	第 15 章 1～3 に目を通して、課題を考える。	1 時間
	2	復習	学校図書館の発展のために何が社会的課題か、何をなすべきかを話し合ったことを整理して自分なりの学校図書館像を考えてみる。	1 時間
備考	オフィスアワー:適宜受け付ける。メールでの予約する。 メールアドレス:katsuino1949@gmail.com 復習については、講師からのコメント回答により補完すること。 受講生の実習との兼ね合いで、できれば学校図書館見学を実施する予定。			

科目名	学校図書館メディアの構成(司書教諭)	-	講義

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

担当教員	小柳 聡美				
学年・開講期	4 年 前期		必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	学校図書館メディアの教育的意義・役割及び種類・特性等について学習し、その選択・収集・保存・提供等について考察する。特に、各種メディアへのアクセスを容易にするための資料組織化の技術を習得する。				
到達目標	1.学校図書館メディアの構成について、基本的な知識を身につける。 2.日本十進分類法による分類を説明できる。 3.学校図書館メディアを日本十進分類法により、組織化できる。 4.学校図書館メディアの収集・組織・提供ができる。 5.学校図書館メディアの配架ができる。				
学位授与方針との対応	-	豊かな人間性と教養			
	-	専門的知識			
	-	問題発見・解決力			
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	-	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	定期試験70%、授業参加度・授業態度・レポート(2回)30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートは講義内で発表時間を設け、講評する。 最終講義時、提出物(講義内容まとめ)へコメントをつけて返却する。 筆記試験の意図は、第1回の講義で説明する。				
使用教材	教科書『情報資源組織法 第2版』志保田務 高鷲忠美 編著 平井尊士 共著(第一法規) ISBN978-4-474-05430-1				
1	講義内容	学校図書館メディアの意義・役割			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書教諭免許を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。		1.5 時間
		復習	学校図書館メディアの構成とは何かを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	学校図書館メディアの種類・特性			
	該当する到達目標 1	予習	奥付とは何かを理解し、実例を挙げられるようにしておく。		1.5 時間
		復習	学校図書館メディアの定義・種類・特性を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	学校図書館メディアの選択と構成			
	該当する到達目標 1,4	予習	「図書館の自由に関する宣言」(日本図書館協会)を調べ、目を通しておく。		1.5 時間
		復習	資料選択方針について、理解する。		1.5 時間
4	講義内容	学校図書館メディアの組織化(1)分類の意義と機能			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書p6～10(「分類」ということ)、p184～187(資料分類表)に目を通す。		1.5 時間
		復習	分類とは何か、近代分類法出現以降の主要な分類表の歴史について理解する。		1.5 時間
5	講義内容	学校図書館メディアの組織化(2)日本十進分類法の概要			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書のp187～200に目を通す。		1.5 時間
		復習	類目表、綱目表、要目表について理解する。		1.5 時間
6	講義内容	学校図書館メディアの組織化(3)日本十進分類法の使い方①			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書のP200～256(分類作業、分類規定と各種概説)に目を通す。		1.5 時間
		復習	講義中に行った分類演習について復習する。		1.5 時間
7	講義内容	学校図書館メディアの組織化(4)日本十進分類法の使い方②			

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書のp256～262に目を通す。	1.5 時間
		復習	別置法、「図書記号」法について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	学校図書館メディアの組織化(5) 日本十進分類法の使い方③ レポート1提出		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書p263～269に目を通す。	1.5 時間
		復習	図書以外の資料(メディア)の保管と運用について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	学校図書館メディアの組織化(6) 件名標目表		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書のp165～182(主題からのアプローチ1)に目を通す。	1.5 時間
		復習	件名標目表、シソーラス、分類表について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校図書館メディアの組織化(7) 目録の意義と機能		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書のp13～36(目録法総論)に目を通す。	1.5 時間
		復習	目録とは何かを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	学校図書館メディアの組織化(8) 日本目録規則の概要		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書のp37～48(目録規則)に目を通す。	1.5 時間
		復習	目録規則の意義と構成について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	学校図書館メディアの組織化(9) 日本目録規則の使い方① レポート2提出		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書のp49～134(和資料記入の作成)に目を通す。	1.5 時間
		復習	欧米の目録規則の歴史、日本の目録規則の歴史、書誌記録の国際標準化について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	学校図書館メディアの組織化(10) 日本目録規則の使い方②		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書のp135～163(洋資料記入の作成)に目を通す。	1.5 時間
		復習	目録記入の実例集に目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	学校図書館メディアの組織化(11) 目録の電算化		
	該当する到達目標 1,4	予習	身近にあるコンピュータ目録は何かを確認する。	1.5 時間
		復習	コンピュータ目録の作成と検索について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	多様な学習環境と学校図書館メディアの配置		
	該当する到達目標 1,5	予習	自身が利用してきた学校図書館について、学習環境とメディア配置の特長、改善点について考察する。	1.5 時間
		復習	全講義、振り返り。	1.5 時間
備考	第2回より、導入で前回の講義内容を400字でまとめて提出。 授業外学習: 日本十進分類法 第2次区分表を暗記すること(教科書に収録されている)。			

科目名	学習指導と学校図書館(司書教諭)			-	講義
担当教員	斉藤 順二				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学校図書館が教師の学ぶ場となり、司書教諭が教師の学習活動を支援することができるように、学校図書館メディアの活用について理解を図ることができる。				
到達目標	1.児童生徒が、発達段階に応じて学校図書館メディアを活用できる。 2.学習指導において、教師の学校図書館メディア活用を支援できる。				
学位 授与方針との対応	-	豊かな人間性と教養			
	-	専門的知識			
	-	問題発見・解決力			
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	-	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読CDの感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。				
使用教材	堀川照代編集『学習指導と学校図書館』(樹村房)定価(1850 円+税)				
1	講義内容	学習指導のめざすもの			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の第 1 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	教育課程の展開について理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	情報化社会におけるリテラシーと学習指導			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第 2 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	学校教育と学校図書館について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	新しい学習指導と学校図書館			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第 3 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	カリキュラム編成と学校図書館について理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	学校図書館利用指導からリテラシー教育へ			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の第 4 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	学習情報センターとしての学校図書館について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	情報活用能力を育む指導			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の第 5 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	発達段階に応じた学習指導の在り方について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	テーマの設定と情報探索の計画			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	生涯学習の理念と学校図書館について理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	情報・資料の探索と収集			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1.5 時間	
		復習	メディア活用能力について理解する。	1.5 時間	
8	講義内容	情報・資料の活用			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章に目を通す。	1.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1	復習	図書館利用指導の目的と理念について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	情報・資料のまとめと伝達・保存		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	図書館利用指導の内容について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	問題解決学習の活動の評価		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	図書館利用指導の方法と評価について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	情報活用能力の育成と学校図書館		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	メディア活用の諸問題について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	学校図書館メディア活用能力の指導計画		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンス・サービスの実践について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	学校図書館メディア活用能力指導計画の実施		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	情報の収集と提供について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	学習指導における司書教諭の積極的な役割		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	情報サービスの実践について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	情報教育の一翼を担う司書教諭		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	ネットワーク情報資源の活用について理解する。	1.5 時間
備考	司書教諭資格科目			

科目名	読書と豊かな人間性(司書教諭)			-	講義
担当教員	斉藤 順二				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学校図書館の読書センターとしての役割の実際を把握し、児童・生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法への理解を図ることができる。				
到達目標	1.読書の意義と目的を理解し、心の教育としての読書習慣の指導ができる。 2.発達段階に応じた読書の指導と計画が立案できる。 3.児童生徒向け図書の種類を理解し、有効活用の支援ができる。				
学位授与方針	-	豊かな人間性と教養			
との対応	-	専門的知識			
	-	問題発見・解決力			
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	-	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読CDの感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。				
使用教材	朝比奈大作編集『読書と豊かな人間性』(樹村房)定価(1850 円＋税)				
1	講義内容	現代における読書の意義			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章に目を通す。	1.5 時間	
	1	復習	子どもたちの読書状況について理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	学校教育における読書(1)識字教育としての読書、心の教育としての読書			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間	
	1	復習	識字教育・心の教育としての読書について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	学校教育における読書(2)文学教育としての読書、科学教育としての読書			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 3・4 に目を通す。	1.5 時間	
	1	復習	文学教育・科学教育としての読書について理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	発達段階と読書(1)発達課題と読書興味、幼少期の読書とその指導			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間	
	1,2	復習	発達課題と読書興味について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	発達段階と読書(2)小学校期・中学校期・高等学校期の読書とその指導			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3・4・5 に目を通す。	1.5 時間	
	1,2	復習	幼少期、小・中・高校期の読書とその指導について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	読書指導の実際(1)読書環境の整備、学校図書館における読書指導計画			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間	
	2	復習	読書環境の整備と読書指導計画について理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	読書指導の実際(2)教科指導と読書指導、生活指導と読書指導			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 3・4 に目を通す。	1.5 時間	
	2	復習	教科指導・生活指導と読書指導について理解する。	1.5 時間	
8	講義内容	読書指導の方法(1)ミニシアターのいろいろ、読み聞かせとストーリーテリング			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間	

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	1,2	復習	読書指導のいろいろについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	読書指導の方法(2)ブックトークとブックリスト、アニメーションと読書会		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 3・4 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	読書感想文・読書発表会等について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	生涯学習への読書(1)選択能力の育成、批判能力・討論能力の育成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	選択能力・批判能力・討論能力について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	生涯学習への読書(2)家庭・地域との連携、公共図書館との連携		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 3・4 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	家庭・地域、公共図書館との連携について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	読書材の選択(1)書物の本質と構造、子どものための本		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 1・2 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	書物の本質と構造、子どものための本について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	読書材の選択(2)現代の出版流通、「読書センター」のコレクション作り		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 3・4 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	現代の出版流通・読書センターについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	読書活動における司書教諭の役割		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	学校図書館の整備と司書教諭の役割につて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	子どもの読書活動の推進		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	子どもの読書活動推進法と学校図書館構想について理解する。	1.5 時間
備考	司書教諭資格科目			

科目名	情報メディアの活用(司書教諭)				-	講義
担当教員	太田 克子					
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	学校図書館では、教科、特別活動、児童生徒の日常の疑問に対応するため、様々な情報メディアが必要となる。その特性を理解し評価して収集しなくてはならない。そのための情報メディアの活用法を学ぶ。					
到達目標	(1)様々な情報メディア(印刷メディア、視聴覚メディア、教育ソフト、データベース等)の特性を理解し、評価できるようになる (2)実際の活用を想定して、メディアを活用できるようになる。					
学位授与方針との対応	-	豊かな人間性と教養				
	-	専門的知識				
	-	問題発見・解決力				
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)				
	-	自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	レポート・確認テスト・制作物70% 発表15% 授業貢献度15%を総合評価					
課題に対するフィードバック	レポートにコメントを付けて返却する。					
使用教材	レポート課題:『みんなでつくろう学校図書館』 成田康子著(岩波ジュニア新書) 講義中にプリントを配付する。					
1	講義内容	ガイダンス 情報メディアの基礎				
	該当する到達目標	予習	どのような司書教諭になりたいか考えておくこと			1 時間
	1	復習	各自図書館に行って、本時で扱った情報メディアを確認すること			1.5 時間
2	講義内容	レファレンスブック(ものごと・ことば・ひと・とき・ところ)				
	該当する到達目標	予習	昼休み、放課後、児童生徒がどのように利用してほしいか考えておくこと			1 時間
	1	復習	各自図書館でレファレンスブックを選んで書誌事項と特徴を記録すること			1.5 時間
3	講義内容	レファレンスブック(書誌・目録・統計等)				
	該当する到達目標	予習	学校行事に向けた展示企画を考えておくこと			1 時間
	1,2	復習	各自図書館で人に紹介したいレファレンスブックを 1 冊選んで POP にすること			1.5 時間
4	講義内容	レファレンスブックを人に薦めてみよう(発表)				
	該当する到達目標	予習	各自図書館で人に紹介したいレファレンスブックを 1 冊選んで POP にすること (続き)			1 時間
	1,2	復習	発表を聞いて、印象的だったレファレンスブックの感想と評価を記述すること			1.5 時間
5	講義内容	学校図書館と情報リテラシー教育				
	該当する到達目標	予習	各自、近隣の図書館で、百科事典・図鑑の目次、索引を比べておくこと			1.5 時間
	1	復習	学び方の指導体系表をインターネットで複数収集すること			1 時間
6	講義内容	インターネットの情報源をつかってみよう				
	該当する到達目標	予習	インターネットで子供向けの図鑑のページを探しておくこと			1 時間
	1,2	復習	課題に従って、各自インターネットの情報源を検索すること			1.5 時間
7	講義内容	学内のデータベースをつかってみよう				
	該当する到達目標	予習	各自「学校図書館」に関する論文を1つ検索しておくこと			1 時間
	1,2	復習	学内の PC で有料データベースを検索すること			1.5 時間
8	講義内容	テーマを決めよう&インタビュー				

平成 30 年度子ども教育学科シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	具体的な教科単元を考えて、方針を決めておくこと	1 時間
		復習	ブックリストを作成すること	1.5 時間
9	講義内容 該当する到達目標 1,2	卒業旅行の情報をあつめよう(必ず教育関係施設の見学を含むこと)		
		予習	テーマ、目的地、方針を決めておくこと	1 時間
		復習	ブックリストを作成すること	1.5 時間
10	講義内容 該当する到達目標 1	高度情報化社会における倫理と法		
		予習	ネチケット関係について調べておくこと	1 時間
		復習	確認テストをするので、本字の復習をしておくこと	1 時間
11	講義内容 該当する到達目標 1,2	著作権確認テスト&パスファインダーをつくってみよう		
		予習	具体的なテーマを立て、利用者の立場でものを調べるときの観点を複眼的に考えておくこと	1 時間
		復習	パスファインダーを作成すること	1.5 時間
12	講義内容 該当する到達目標 2	広報紙をつくろう		
		予習	図書館イベント(図書館ツアー、レファレンスブック講習会、読書会、ビブリオバトル、動画の作り方など)の企画を立てておくこと	1.5 時間
		復習	広報紙制作後の感想と評価を書くこと	1 時間
13	講義内容 該当する到達目標 2	電子文房具で広報をしてみよう		
		予習	自分と本の物語をパワーポイント 5 枚程度で制作すること	1 時間
		復習	自分と本の物語をパワーポイント 5 枚程度で制作すること(続き)	1.5 時間
14	講義内容 該当する到達目標 2	課題発表		
		予習	自分と本の物語をパワーポイント 5 枚程度で制作すること(続き)	1.5 時間
		復習	制作しての感想と評価を書くこと	1 時間
15	講義内容 該当する到達目標 1,2	・発表		
		予習	情報メディアを活用した授業を考えてシートにまとめること	1.5 時間
		復習	各自、もう一度、様々な情報メディアを活用してみる。	1 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日2限(図書館本館) 質問はメールでも受け付けます。 e-mail:ota-y@takasaki-u.ac.jp 参考図書:『読書の力』(三省堂)『子どもはハテナでぐんぐん育つ』(岩崎書店)『学校司書たちの開拓記』(国土社)			